平成２７年度

主要施策の成果説明書

松　島　町

目　　次

◆一般会計

款		項		目		ページ
1	議会費	1	議会費	1	議会費	1
2	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	4
				2	文書費	12
				3	広報広聴費	14
				6	財産管理費	15
				8	企画費	16
				9	交通安全費	19
				10	諸費	21
				11	電子計算費	23
				12	町民バス運行費	24
				13	施設管理費	27
				15	地上デジタル放送無線共聴施設管理費	28
				18	復興推進費	29
				19	地方創生費	35
		2	徴税費	1 2	税務総務費 賦課徴収費	39
		3	戸籍住民基本台帳費	1	戸籍住民基本台帳費	42
		4	選挙費	3	宮城県議会議員選挙費	44
				4	松島町長選挙費	45
		5	統計調査費	1 2	統計調査総務費 指定統計費	46
3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	47
				2	障害者福祉費	49
				3	老人福祉費	53
				4	国民年金費	54
				5	介護保険対策費	55
				6	保健福祉センター管理費	56
				7	臨時福祉給付金費	58
		2	児童福祉費	1 2	児童福祉総務費 児童措置費	59
				3	保育所費	60
				4	母子福祉費	62
				5	子ども医療対策費	63
				6	子育て支援事業費	64
				7	児童福祉施設費	66
				8	児童館費	67
				9	子育て世帯臨時特例給付金費	69

款		項		目		ページ
4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	70
				2	予防費	72
				3	健康館費	75
				4	母子衛生費	76
				5	環境衛生費	78
				6	公害対策費	83
		2	清掃費	1 2	塵芥処理費 し尿処理費	84
5	労働費	1	労働諸費	1	勤労青少年ホーム費	85
				2	労働諸費	87
6	農林水産業費	1	農業費	1	農業委員会費	88
				3	農業振興費	89
				4	農地費	92
				5	園芸振興費	94
				6	畜産振興費	95
				7	農業振興地域整備事業費	96
		2	林業費	2	林業振興費	97
		3	水産業費	2	水産業振興費	103
				4	漁港建設費	106
7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	107
				3	観光費	109
				4	文化観光交流館費	116
8	土木費	2	道路橋梁費	1	道路橋梁総務費	118
				2	道路維持費	119
				3	道路新設改良費	122
		3	河川費	1	河川総務費	126
		5	都市計画費	1	都市計画総務費	127
				3	公園管理費	128
				5	街路事業費	131
		6	住宅費	1	住宅管理費	132
				2	木造住宅等震災対策事業費	134
				3	住宅環境整備費	135
				4	耐震対策緊急促進費	136
				5	災害公営住宅整備費	137
9	消防費	1	消防費	1 2 3	非常備消防費 水防費 災害対策費	138

款		項		目		ページ
10	教育費	1	教育総務費	2	事務局費	140
		2 3	小学校費 中学校費	1 1	小学校管理費 中学校管理費	142
		2 3	小学校費 中学校費	2 2	教育振興費(小学校) 教育振興費(中学校)	143
		2 3	小学校費 中学校費	3 3	学校保健衛生費(小学校) 学校保健衛生費(中学校)	145
		2	小学校費	4	学校建設費(小学校)	147
		4	社会教育費	1	社会教育総務費	148
				2	公民館費	150
				3	文化財保護費	152
				4	町民の森費	154
				5	地域交流センター費	156
		5	保健体育費	1	保健体育総務費	157
				2	海洋センター費	159
				3	給食施設費	160
		6	幼稚園費	1	幼稚園費	163
11	災害復旧費	1	農林水産業施設 災害復旧費	2	農業用施設災害復旧費	165
		2	公共土木施設災害復旧費	1	公共土木施設災害復旧費	166

◆特別会計

国民健康保険特別会計	168
後期高齢者医療特別会計	171
介護保険特別会計	173
介護サービス事業特別会計	181
観瀾亭等特別会計	182
下水道事業特別会計	187

一　般　会　計

一　般　会　計

1　款	1　項	1　目	議　会　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	議会事務局
	111,848	109,677		

実績

1　会議の開催状況

○定 例 会

	会　期	日数	審議件数	原案可決	修正可決	否決	撤回	継続審査	審議未了	一般質問 人数	一般質問 件数	備　考
第1回	3月6日 ～ 3月20日	15	48	48	0	0	0	0	0	5	9	
第2回	6月12日 ～ 6月16日	5	21	21	0	0	0	0	0	5	9	専決処分承認4件
第3回	9月25日 ～ 10月9日	15	32	32	0	0	0	0	0	6	11	
第4回	12月11日 ～ 12月16日	6	24	24	0	0	0	0	0	8	15	

○臨 時 会

	会　期	日数	審議件数	原案可決	修正可決	否決	撤回	継続審査	審議未了	備　考
第1回	2月4日	1	5	5	0	0	0	0	0	
第2回	7月13日	1	12	12	0	0	0	0	0	
第3回	9月15日	1	12	12	0	0	0	0	0	
第4回	11月25日	1	1	1	0	0	0	0	0	

※会議の開催状況の期間については『平成27年1月1日～平成27年12月31日』

2　全員協議会の開催状況

・開催回数　5回（開催日 6/12・7/13・9/15・11/25・2/18）
・案件概要　報告事項 6件 ・ 協議事項 6件

3　特別委員会の設置状況

・議会広報発行対策特別委員会　（H25.12.16設置）
・東日本大震災復興対策特別委員会　（H25.12.20設置）
・議会活性化調査特別委員会　（H26. 3.20設置）
・東北放射光施設誘致調査特別委員会　（H26. 3.20設置）

4　議会報告会

・開催日程　平成27年11月7日 ～ 平成27年11月21日
・開催場所　12行政区
・出席者数　262名（延べ人数）
・備　考　3月町広報紙配布時に『議会報告会まとめ』を全戸配布

〈次頁へつづく〉

1　款	1　項	1　目

実績

5　広報「議会だより」の発行

・発行回数　年4回【定例会ごと】※発行月　5月・8月・12月・2月
・発行費用　899,122円
・発行部数　5月～12月:5,500部　2月:5,600部

6　一般会議

H27.4.15　松島医療生活協同組合 まつしまくらしの助け合いの会『松島町議会議員との懇談会』
(参加者数　医療生協7名　・　議員8名)
H27.10.9　行政区長と議会との意見交換会(松島町議会報告会の報告内容等について)
(参加者数　行政区長等12名　・　議員13名)
H27.12.16　松島町議会議員と利府松島商工会役員との懇談会
(参加者数　商工会役員等25名　・　議員12名)

7　常任委員会の活動

● 第1常任委員会
○委員会開催日数　11日間
○所管事務調査内容
◇本町の6次産業化の推進について
※調査期間　平成26年3月～平成27年12月
◇外国人観光客受入れ(インバウンド)について
※調査期間　平成27年3月～平成28年12月
○調査活動並びに視察研修内容
※日程:平成27年7月1日～3日【2泊3日】
◇広島県　世羅町　(6次産業化の取り組みについて)
◇山口県　萩市　(6次産業化の取り組みについて)

● 第2常任委員会
○委員会開催日数　18日間
○所管事務調査内容
◇子育て・教育の総合支援について
※調査期間　平成26年12月～平成27年12月
◇「子育て・教育の総合支援アンケート」調査結果の広報について
※調査期間　平成27年12月～平成28年3月
◇少子化対策について
※調査期間　平成28年3月～平成29年9月
○調査活動並びに視察研修内容
※日程:平成27年7月6日～8日【2泊3日】
◇福岡県　大刀洗町(子育て・教育の一貫支援について)
◇佐賀県　みやき町(子育て支援の町宣言について)
◇佐賀県　白石町　(コミュニティータクシー予約制いこカーについて)

〈次頁へつづく〉

1　款	1　項	1　目

実績

8　議会の要望活動等

H27.4.22　東日本大震災の集中復興期間の延長と特例的な財政支援の継続に関する要望
（宮城県議会、沿岸15市町議会による要望活動）
※提出先：内閣府、各関係省庁

H27.11.5　江合・鳴瀬・吉田川水系三河川改修促進に関する要望
（江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会による要望活動）
※提出先：宮城県知事、国土交通省地方整備局長

H27.11.19　平成28年度町村復興対策に関する要望
（宮城県町村議会議長会による要望活動）
※提出先：宮城県知事

9　意見書等

議決日	件　　名	提出先
H27.6.16	ウイルス性肝疾患の患者に対する支援の拡充を求める意見書について	衆議院議長ほか4名
H27.6.16	人種差別を扇動するヘイトスピーチに対する法整備を求める意見書について	衆議院議長ほか3名
H27.12.16	東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず平成28年度継続するための財政措置を求める意見書について	衆議院議長ほか5名
H27.12.16	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書について	内閣総理大臣ほか2名
－	「松島町の観光振興対策に関する請願」の送付並びに処理の経過及び結果の報告について	松島町長

10　議会の視察受入状況

H27.8.6　広島県廿日市市議会 会派（クラブみらい・クラブひびき）合同視察研修
○災害復旧、復興の状況及び課題について
○震災前と後での防災体制の違いについて

H27.10.27　島根県議会 民主県民クラブ視察研修
○景勝地を生かした観光政策について

H28.2.4　福島県北塩原村議会 議会運営委員会視察研修
○東日本大震災からの復興について
○議会基本条例制定の経緯等について

一　般　会　計

2　款	1　項	1　目	一　般　管　理　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	総務課総務管理班
	252,197	249,578		

目標

最少の経費で最大の効果を上げるため、人事管理の面から職員の研修、福利厚生を実施することにより、人材育成、組織の活性化を図る。

実績

1　健康診断

・職員等健康診断実施状況

健診区分	職員（派遣職員含む）	臨時職員	計	受診区分割合
定期健康診断	54人	80人	134人	50.3%
人間ドック（30歳以上の職員で希望者）	132人	－	132人	49.7%
町福利厚生事業	85人	－	85人	－
市町村共済事業・地方職員共済事業	47人	－	47人	－
未受診者	0人	－	0人	0%
計	186人	80人	266人	100%

・受診結果

受診結果区分	職員（派遣職員含む）		臨時職員	計	受診結果区分割合
	定期健診	人間ドック	定期健診		
異常なし	15人	1人	8人	24人	9.0%
軽度異常の項目あり	15人	9人	16人	40人	15.0%
要経過観察の項目あり	12人	49人	23人	84人	31.6%
要治療の項目あり	2人	54人	5人	61人	23.0%
要精密検査の項目あり	10人	19人	28人	57人	21.4%
（うち要医療継続の項目あり）	（7人）	（31人）	（21人）	（59人）	
計	54人	132人	80人	266人	100%

・各種がん健診等受診状況（職員）

健診区分	対象区分	対象人数	希望人数	受診人数
脳ドック	希望者（40歳以上）	100人	18人	18人
子宮がん検診	希望者（年齢制限なし）	78人	32人	32人
乳がん検診	希望者（年齢制限なし）	78人	25人	25人
前立腺がん検診	希望者（50歳以上）	25人	2人	2人

〈次頁へつづく〉

成果

松島町職員安全衛生管理規程に基づき、各種健康診断を実施し、受診結果において、再検査が必要な職員に対して医療機関を受診するよう通知するなど、職員の健康保持・増進が図られた。

松島町職員研修規程に基づき、各種研修を実施し、職務に必要な知識、技能等の習得が図られた。

2　款	1　項	1　目

実績

2　職員研修
（研修所等派遣）

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数（人）
新規採用職員研修 新入社員研修会 （七十七銀行） 市町村等新規採用職員研修 （宮城県町村会）	地域住民の視点に立った行政の担い手としての使命や、公務員として必要となる基本知識と技能を学ぶことで、職務遂行能力の向上を図る。新社会人として挨拶・電話対応等の基本を実習する。	・公務員としての使命 ・人間関係とコミュニケーション ・地方公務員制度 ・自治体職員とまちづくり ・地方自治のしくみ ・ＣＳ接遇	12
一般職員研修Ⅰ	これまでの実務を振り返り、職場で中心的な役割を担っていく中堅職員を目指し、さらなる職務遂行に必要な知識を習得するとともに、地方公共団体を取り巻く環境の変化に対応するために必要な能力の向上を図る。	・地域活性化のデザイン～自治体職員だからこそできること～ ・行政法入門 ・対人対応力向上 ・発想力・創造力育成	5
一般職員研修Ⅱ	地方分権が進む中、中堅職員として、魅力あるまちの創造や地域課題を解決するための政策形成の基礎知識と職場内におけるマネジメント能力の向上を図る。	・まちづくり・行政事例発表 ・まちづくり視点 ・チームマネジメント ・政策形成入門	1
管理者研修Ⅰ	変革期における管理者として、的確に状況を把握し、今後の自治体政策の方向性を探るとともに、適切に処理できる職務遂行能力の向上を図る。	・政策財務 ・組織マネジメント	5
管理者研修Ⅱ	今日の地方公共団体を取り巻く環境の変化や行政課題を的確に捉え、管理者として組織を効率的かつ効果的に運営するため、必要となるマネジメント能力の向上を図る。	・自治体マネジメント	2
研修担当職員研修	限られた人員や財源の中で分権時代を担う職員を育成するため、自治体が行わなければならない職員研修のあり方や効果的な進め方を習得する。	・人材育成	1
民法研修	法律の仕組みなどの基礎知識から、自治体職員として、業務遂行上必要となる民法の知識について、事例や判例を通して習得する。	・民法入門	2
行政法研修	行政法に関する基礎的な解釈や運用について知識を習得する。	・行政法	3

〈次頁へつづく〉

2　款	1　項	1　目

実績

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数(人)
政策法務研修(基礎)	地方公共団体における政策の実現や課題を解決するために、条例を始めとする法令の基礎知識や地方分権時代における政策法務の基本的考え方を習得する。	・政策法務入門	1
条例･規則作成研修(基礎)	法制執務の基礎や条例・規則の立案形式などを学び、基礎的な条例の一部改正等が理解できるなど、実務遂行能力の向上を計る。	・条例・規則作成	1
条例･規則作成研修(中級)	多くの改正演習を通じて、基礎的な条例・規則の立案方式の理解をさらに深め、実践的な立法技術や法令読解力の向上を図る。	・条例・規則作成	3
契約事務研修	契約事務を適切に執行するために必要となる、民法や地方自治法の基礎的な知識の習得を図る。	・契約事務	3
労務管理研修	臨時・非常勤職員等の任用に関する諸問題や最近の動向についての知識を習得する。	・労務管理	1
コミュニケーション研修	職場や住民との良好な人間関係を築くため、また、職務を円滑に遂行するために必要となる、コミュニケーションに関する知識や技能を習得する。	・コミュニケーション力	1
ファシリテーション研修	住民との協働のまちづくりや日常業務における会議において、参加者の理解と共感を得ながら中立的な立場で議論を促進し、合意形成や相互理解を導くために有効なファシリテーション技法を習得する。	・ファシリテーター養成	2
クレーム対応研修	苦情やトラブルの本質を学び、豊富な自治体事例の活用により、特に不当クレーム・難クレームに対する実践的な対応力を身につける。	・クレーム対応力	1

〈次頁へつづく〉

2　款	1　項	1　目

実績

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数(人)
地域ブランディング戦略研修	持続可能な自治体経営を目指す手段として、地域にある資源のブランド化やブランド力の可視化の手法、長期戦略やアクションプランについて学ぶ。また、一度構築したブランド化に対するリスク等における現状把握と予防の方法を学ぶとともに、管理の重要性を理解する。	・地域ブランディング戦略	1
折衝力・交渉力・プレゼン研修	関係団体や住民との折衝・交渉に関して必要な基礎知識、話し合いの運び方、説得や傾聴等の技法を習得し、意思疎通能力と顧客対応能力を身につけるとともに、プレゼンテーションの基本的なスキルを習得する。	・折衝力 ・交渉力 ・プレゼン	4
住民協働とパートナーシップ講座	仕事を進める上で、住民協働やパートナーシップが求められるが、いかに住民と協働して仕事を進めていくのか、住民協働の基礎的な知識を習得する。	・「参加と協働」の意義 ・事例研究（宮城県内における参加・協働の取組） ・協働のパートナーとしての市民セクター ・ＮＰＯの基礎知識 ・ソーシャルビジネスの現状と将来性 ・事例研究（様々な参加と協働の仕組み） ・コーディネーターに求められる行動・態度・技法	1
任期付職員研修	公務員としての社会的責任や倫理、さらには良好な住民との対応方法を学ぶことにより、公務員としての自覚と責任感を高め職務遂行能力の向上を図る。	・地方公務員の基本 ・対人対応力向上	1
任期付職員フォローアップ研修（被災市町派遣職員対象）	任期を定めて採用され被災市町に派遣された職員が、復興事業の進捗や課題、及び自らの役割について改めて認識するとともに、心身ともに健康にかつ円滑に業務を進めるための方法を学ぶこと等により、復興事業に取り組む意欲のさらなる向上を図る。	・復興まちづくりの現状と課題 ・復興現場視察（女川町） ・メンタルヘルス講座 ・これまでを振り返って（グループワーク）	1
震災復興に係る「他県他市町村派遣職員等メンタルヘルス研修」	震災からの復旧・復興業務のため、全国の自治体等から各市町村等へ派遣されている職員を対象に、精神的負担の軽減、精神疾患予防及び受講者同士の交流を図る。	・震災復興に係る派遣職員等におけるメンタルヘルスケア ・基調講義～みやぎの文化・風土・まちづくり～	4

〈次頁へつづく〉

2　款	1　項	1　目

実績

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数(人)
OA研修	（基礎）基本操作と各種機能を習得する。 （応用）作業効率を上げる実務的な機能を習得する。	・Word応用　2名 ・Excel応用　1名 ・PowerPoint基礎　2名 ・Access基礎　2名	7
セミナー 「地方創生に観光が果たす役割」	人口減少時代における地方公共団体が取るべき対策や施策、認識すべき重要課題や進むべき方向性について、今後の施策の推進や東北地方が抱える問題解決を考えていく。	・メガトレンドセミナー	3
セミナー 「人口減少時代のまちづくり～あなたの自治体は生き残れるか～」	震災以前より議論されていた地方の人口減少について、各自治体においても地域活性化を図るため試行錯誤しながら進めていかなくてはならない状況の中で、各地で取組まれている町づくり事例等を参考に地域の未来をつくる一助とする。	・トップセミナー	1
市町村職員中央研修 「議会事務」	本会議及び委員会運営をはじめとする議会事務局が担う各業務のポイントや地方議会をめぐる改革の最新状況及び課題と方向性を学ぶとともに、議会事務局職員として必要な議会運営のための専門知識を習得し、実務遂行能力の向上を図る。	・議会事務局職員の使命と役割 ・地方議会の改革と活性化 ・議会運営実務のポイント ・議会資料の電子化～タブレット端末の導入等～ ・議会条例立案のポイント ・議会広報紙作成のポイント ・課題解決フォーラム ・インターネット活用のポイント	1
市町村職員中央研修 「研修講師養成講座(地方自治制度)」	各自治体の職員研修において地方自治制度の研修を行う講師の養成を目的として、地方自治制度を体系的に学ぶ講義とともに、レッスンプラン等の作成、プレゼンテーション話法等の研修講師技法に関する講義、演習及び模擬講義等を行い、地方自治制度に関する研修講師として必要となる知識・技能の習得を図る。	・地方自治制度の要点 ・地方自治制度の課題 ・講師の心構えと講義のポイント ・プレゼンテーションの話法 ・講義技法実習 ・講師認定審査用レッスンプラン及びレジュメの作成、講義練習 ・講師認定審査 ・地方自治法等の最近の動向	1
市町村職員中央研修 「情報公開と個人情報保護」	増加し複雑化している開示決定等の判断や、個人情報の取扱いに必要な専門知識を習得し、判例分析、事例演習、情報交換を通して、課題を解決する知識・能力を身につける。	・情報公開をめぐる現状と課題 ・個人情報保護をめぐる現状と課題 ・情報公開条例と個人情報保護条例をめぐる諸問題 ・行政不服審査制度の見直しの概要 ・行政情報の提供のあり方 ・これからの自治体の情報公開と個人情報保護を考える ・情報公開と個人情報保護の判例と動向	1

〈次頁へつづく〉

2　款	1　項	1　目

実績

		・番号法と自治体の個人情報保護 ・公文書管理のあり方 ・情報セキュリティの諸問題	
市町村職員中央研修 「自治体財政運営講座」	市町村の財政部門担当者を対象とし、市町村運営の根幹である財政運営に必要な制度や仕組みとその最新の動向等のほか、資産管理の手法、民間企業の経営戦略等を学ぶことにより、市町村における財政運営の実務遂行能力の向上を図る。	・地方財政の展望と自治体の対応 ・地方交付税の現状と改革の動向 ・地方債制度の現状と改革の動向 ・課題解決フォーラム ・公共施設マネジメントと地方公会計の整備促進 ・自治体のストックマネジメントＰＰＰ ・公営企業等の諸課題 ・地方税制の現状と今後の課題 ・民間企業の経営戦略	1
全国市町村国際文化研修 「地域産業のイノベーション」	多様な機関や事業者と連携し、協働することなどにより現状から一歩進んだ各地域の特性を生かした産業の新機軸を探る方策を学ぶ。	・日本における地域産業の現状と課題 ・ピンチをチャンスに変える地方創生 ・ＩＣＴ活用による地域産業創生 ・松山市におけるテレワーク在宅就労促進の取り組み ・地域資源と住民をつなぐ東近江市のまちづくり ・多摩信用金庫の地域産業活性化支援の取り組み ・地域ビジネス最前線事例紹介 ・地域資源を生かした事業作成ワークショップ	1
全国市町村国際文化研修 「シニアマネージャー研修」	住民の負託と信頼に応え、行政課題の解決を実現していくため、管理職には高度なマネジメント能力が求められており、講義や演習を通じて総合的なマネジメント能力の向上を図る。	・人口減少社会における自治体 ・自治体の人材育成と職員の動機づけ ・地方自治体の内部統制とガバナンス ・組織経営とリーダーシップ～コーチング～ ・変化する課題に対応する力	1
全国市町村国際文化研修 「海外へ売り込め！地域資源を活用した国際観光戦略」	地域の経済を活性化させる方策の一つとして、地域にある資源の特色を活かし、世界に通用する魅力ある観光地域づくりを行うための戦略、手法などを学ぶ。	・地域資源を活用した国際観光戦略 ・外国人観光客誘致施策 ・外国人観光客誘致に向けて～マーケティング、仕組みづくり、戦略～ ・ニーズの把握と情報発信 ・国際観光の現状と今後について ・観光による地域振興～民間事業者の立場から～	1

〈次頁へつづく〉

2　款	1　項	1　目

実績

全国市町村国際文化研修「住民との協働によるまちづくり～まちづくりコーディネーターの役割と技術の習得～」	住民との協働によるまちづくりを推進していくために、協働によるまちづくりの具体的手法や、まちづくりをコーディネートするためのスキルなどについて実践的に学びます。	・住民協働の意味と行政の役割 ・小規模多機能自治による住民主体のまちづくり ・まちづくりコーディネーター育成研修 ・新潟発！行政参加のまちづくり	1
全国市町村国際文化研修「保育士･幼稚園教諭のための保育行政～子育て支援施策の最新動向～」	すべての子ども・子育て家庭を対象に幼児教育、保育、地域の子ども・子育て支援の質・量の拡充を目的とした子ども・子育て支援新制度を機に保育行政にも新たな展開が期待されていることから、現場で実際に支援を行う保育士・幼稚園教諭を対象に、より高度な知識と実務遂行能力の向上を図る。	・子ども・子育て支援新制度の実施に伴う保育行政の最新動向 ・保育指導の実践や保護者との関わり方 ・発達障害の子どもへの対応 ・子どもや保護者、同僚と信頼関係を築くコミュニケーション ・幼保連携や地域と連携した子育て支援に取り組んでいる自治体及び保育所の事例紹介	1
全国市町村国際文化研修「超高齢化社会にむけて～高齢者が安心して暮らせるまちづくり～」	世界でも類を見ない超高齢化社会において、高齢者が安心して暮らし続けられるまちを、いかにつくるかを総合的に学ぶ。	・超高齢化社会にむけて、高齢者が安心して暮らせるまちづくり ・地域との連携～みまもりネットワークの構築～ ・災害から高齢者を守りたい～独自の防災マニュアルを中心に～ ・介護予防で元気に暮らせるまちづくり	1

（職場研修）

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数（人）
メンタルヘルスセミナー「メンタルヘルス研修」～ストレスと上手くつき合う～	知識の習得、ストレス対処法、予防法等を身につける。	（（株）フイスメック） ・メンタルヘルスの基礎知識 ・ストレスの表れ方 ・ストレスと上手くつき合う ・職場で出来るリラクゼーション法 ・日常生活で意識したいこと	135
職員研修「マイナンバー制度研修会」※事務担当職員向け研修	個人情報保護条例と番号法についての必要な知識の確認及び番号制度事務の準備作業についての理解を促す。	（総務課総務管理班） ・特定個人情報の庁内連携について ・マイナンバー制度実施のための準備事項について	23
職員研修「個人情報保護制度研修会」	番号制度事務の前提となる個人情報保護の基礎として、公文書管理、情報公開制度との関連性について、内容の理解を深める。	（ぎょうせい総合研究所） ・個人情報保護制度について ・番号制度と番号法の規制 ・改正個人情報保護条例等 ・番号法・個人情報保護法改正	95

〈次頁へつづく〉

2　款	1　項	1　目

実績

職員研修 「マイナンバー制度に係る研修会」	情報セキュリティ、個人情報保護及び特定個人情報保護の関係性を説明し、個人番号の取扱いの留意点についての理解を深める。	（ぎょうせい総合研究所） ・特定個人情報取扱いについての留意点	97
職員研修 「財政研修・契約事務研修」	知識向上・内容理解を深める。	（財務課財政班） ・予算とは ・予算の執行について ・予算の流用・執行変更及び予備費充用 ・補正予算 （建設課復興班） ・契約事務全般について	167
職員研修 「接遇・マナーについて」	窓口応対等の基礎的な接遇・マナーの習得、並びに再確認を行い、住民対応等に活かしていく。	（七十七銀行営業渉外部） ・接遇応対	107

〈次頁へつづく〉

一 般 会 計

2 款	1 項	2 目	文 書 費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	総務課総務管理班
	8,804	8,534		

目標

行政需要の増大と複雑化及び多様化に対処し、事務の迅速かつ正確な処理を行うため、文書管理の充実と例規等の整備を図る。

町民の知る権利を明らかにして町が保有する情報の公開性を高めるとともに、町の諸活動を町民に説明する責務を果たすことにより、町政への町民参加を一層促進する。また、マイナンバー制度の実施にあわせ、個人情報保護条例及び個人情報保護制度を実施する体制の整備を行う。

実績

1　情報公開

・松島町情報公開条例の規定による公文書の開示等の件数　（単位：件）

処理内容／請求先	公文書開示請求件数	全部開示決定件数	部分開示決定件数	不開示決定件数	不服申立処理件数
企画調整課	1	1	0	0	0
教育委員会	1	0	1	0	0

2　文書整理・文書収受・文書保存

・総務管理班において行った文書整理、文書収受及び文書保存の件数

○文書整理　（単位：件）

区分	文書引継件数	文書廃棄件数
件数	0	0

○文書収受　（単位：件）

事務部局	収受総数
町長の事務部局	6,190
教育委員会の事務部局	918
選挙管理委員会	111
農業委員会	262
固定資産評価審査委員	0
総計	7,481

〈次頁へつづく〉

成果

文書収受については、実績欄記載の件数を処理した。

規程形式文書の審査にあたっては、例規整備情報等の把握に努め、文書（条例・規則等）の正確性・統一性が図られた。

個人情報保護制度については、マイナンバー制度も見据え個人情報を取り扱う事務の洗い出しを行い、個人情報保護制度の実施に向けて体制の構築を行った。

その他行政不服審査法の改正による例規の整備を実施し、行政不服審査の公平性及び利便性の向上を図った。

2　款	1　項	2　目

実績

○文書保存

平成28年3月31日現在における、庁舎書庫内保存文書件数【参考】（単位:件）

事務部局	収受総数
町長の事務部局	43,152
教育委員会の事務部局	376
選挙管理委員会	1,979
農業委員会	3,655
固定資産評価審査委員会	2
総計	49,164

3　規程形式文書審査事務取扱規程第2条の規定による審査実施件数

（単位:件）

区分	条例	規則	訓令	その他	計
件数	41	22	3	19	85

4　個人情報保護制度構築支援業務委託（平成27年度分）　1,421,280 円

・ 個人情報保護条例制定のための影響度調査及び例規作成支援（平成26年度から継続）

・ マイナンバー制度実施のための例規作成支援（平成26年度から継続）

5　マイナンバー制度職員研修業務委託　253,800 円

・ 全職員に向けてのマイナンバー制度の概要、利用のガイドラインについての研修業務

6　行政不服審査法の改正に伴う例規整備支援業務委託　972,000 円

・ 行政不服審査法改正のための条例規則等の作成支援

一　般　会　計

2　款	1　項	3　目	広　報　広　聴　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	企画調整課
	5,896	5,734		

目標

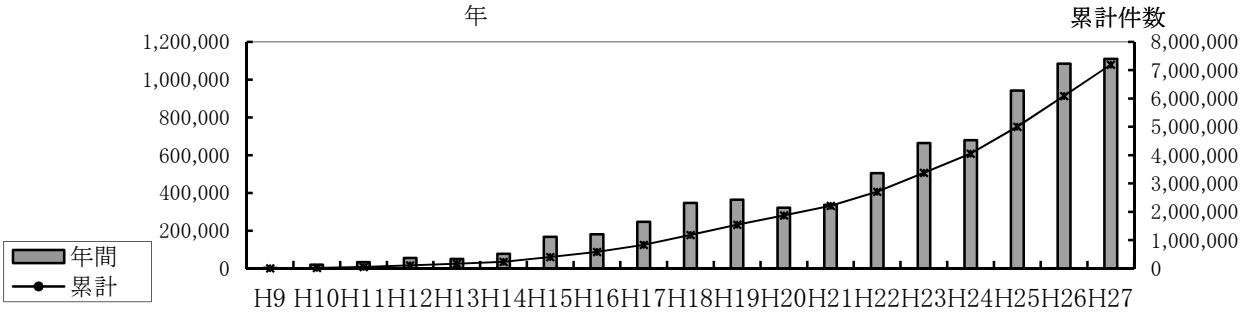
あらゆる機会をとらえて、情報の提供を行うとともに、地域あるいは、全町の建設的意見を集約して、相互理解のもとに、まちづくりを推進する。

実績

1　「広報まつしま」の発行
- 発行回数等　　毎月1回（年間12回）通常号：毎月5,600部
- 配布先　　町内全世帯及び関係機関

2　行政相談等　　13 件
- 随時相談（窓口・電話相談等）
  ①近隣トラブル関係（3件）　②行政関係（6件）　③その他（4件）
- 行政相談週間　　行政相談 10月16日/保健福祉センター　15名出席
  10月21日/保健福祉センター　16名出席
- 弁護士無料法律相談　毎月第2火曜日　　53 件

3　松島町ホームページの管理・運営
- アクセス数
  平成　27 年　4 月　1 日～平成　28 年　3 月　31 日　　1,109,850 件
  平成　9 年　10 月　開設　～平成　28 年　3 月　31 日　　7,191,203 件



- 外国語ページアクセス数
  平成　27 年　4 月　1 日～平成　28 年　3 月　31 日　　3,763 件
  平成　24 年　4 月　開設　～平成　28 年　3 月　31 日　　10,221 件

4　松島町フェイスブックの管理・運営
- アクセス数
  平成　25 年　4 月　開設　～平成　28 年　3 月　31 日　　566,134 件
- お気に入り登録数
  平成　25 年　4 月　開設　～平成　28 年　3 月　31 日　　777 件

成果

町民と行政相互のコミュニケーションの媒体として、町政や町の動きを紹介することに努めた。また、町内の事業所を連載で紹介するなどして、最新情報や身近な情報を整理し、必要な周知事項などを紹介した。

月1回定例の行政相談所を設け、住民の日常生活での苦情や困り事について相談を行ったほか、地元出身弁護士の協力による月1回の無料法律相談を開催し、住民生活の不安を解消した。

また、取材した情報を随時更新するホットニュースや行政・観光情報等、求められる情報をホームページやフェイスブックにより即時性をもって発信し、フェイスブックの新規お気に入り登録数は前年度から215件増加した。

一　般　会　計

2　款	1　項	6　目	財　産　管　理　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	財務課財政班
	134,549	132,713		

目標

財務課財政班所管財産の維持管理に努め、土地・建物の貸付・使用等により有効活用を図る。
また、庁舎内設備の保守点検や、機器等の賃貸借の見直しによりコスト削減を目指すと共に、共用車の適切な管理と事故防止について、庁内啓発を行う。

実績

1　庁舎等管理

・手数料	事業系ごみ処理手数料他	（	6 件）	1,029,042 円
・業務委託	宿日直・清掃業務委託他	（	8 件）	8,397,961 円
・用地賃借	庁舎用地賃借	（	1 件）	12,912,000 円
・機器等賃借	電話交換機等設備リース他	（	4 件）	839,307 円
・備品購入	椅子購入他	（	4 件）	683,119 円

2　治祐ヶ森管理及び自然公園等管理

・治祐ヶ森管理		（	1 件）	260,000 円
・自然公園等草刈及び樹木剪定		（	3 件）	1,035,720 円

3　松島フットボールセンター管理

・修繕料	雨水排水ポンプ水位計修繕他	（	4 件）	354,240 円
・業務委託	機械警備業務委託他	（	7 件）	1,510,657 円
・工事請負費	体育館改修工事他	（	2 件）	34,957,440 円

4　その他管理

・修繕料	公用車車検整備に係る修繕	（	1 件）	55,836 円
・手数料	安全運転管理者講習手数料他	（	4 件）	114,068 円
・業務委託	入札参加資格登録（平成28年度追加登録分）			
	情報入力業務委託	（	107 者）	97,200 円
	建設工事	（	37 者）	
	設計コンサル	（	14 者）	
	物品・役務	（	56 者）	
・賃借	公用車リース	（	4 件）	1,871,100 円
・普通財産建物解体工事		（	1 件）	2,775,600 円

5　土地境界立会　（ 11 件）

6　マイクロバス運行　（ 108 件）

7　財産運用

・土地貸付	東北電力（株）他	（	20 件）	2,382,619 円
・土地建物貸付	松島町シルバー人材センター他	（	3 件）	1,047,900 円
・土地売払い	高城字水溜上地内他	（	1 件）	361,515 円
・公共物（公共財産道水路）使用許可		（	47 件）	862,168 円
・行政財産目的外使用許可		（	16 件）	282,848 円

成果

財産の貸付・使用許可については、昨年度に引き続き有効活用を図り、収入を得ている。また、普通財産の整理として土地の払い下げや建物の解体を行い、維持管理費の削減に寄与した。
庁舎等管理としては、複合機賃貸借の条件整理を実施し、賃借料を大幅に削減した。また、共用車の適切な維持管理と共に、昨年度同様交通安全研修を行い、事故防止の啓発を行った。

一　般　会　計

2　款	1　項	8　目	企　画　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	企画調整課
	60,242	51,586		

目標

町民等の満足度を高める施策を効率的・効果的に推進し、誰もが「住んでよかった」と感じられるまちづくりを推進する。

実績

1　松島町長期総合計画及び第4次国土利用計画策定業務委託　12,204,000 円
（平成27年度計画策定経費分）

(1)　総合計画審議会の開催

開催日	内容	場所
平成27年 6月2日	①松島町長期総合計画の体系について ②住民アンケート調査結果（概要版）について	役場3階 大会議室
平成27年 8月3日	①松島町長期総合計画策定検討委員会の提言書について ②将来像、基本目標（計画の柱）について ③将来人口フレームについて	
平成27年 10月16日	①将来経済フレームについて ②松島町長期総合計画　基本計画素案について	
平成28年 1月25日	①計画案に対する意見等と計画への反映結果について ②松島町長期総合計画の答申案について	

〈次頁へつづく〉

成果

新たな松島町長期総合計画及び第4次国土利用計画を策定するにあたり、総合計画審議会での審議や長期総合計画策定検討委員会、長期総合計画策定検討庁内委員会、若手プロジェクト会議での検討を行い、各計画の策定作業を実施した。

また、新たな長期総合計画で町が目指すべき望ましい姿や計画の基本的な目標などについて広く知っていただく機会としてシンポジウムを開催した。

平成26年6月1日から景観条例を施行し、景観計画の運用を通して、町民や事業者の方々と建物の建築の際に、地区ごとに定められた景観形成基準について、理解をいただきながら景観まちづくりを推進した。

景観条例施行前に、景観計画の運用について、地域住民の方々と意見交換を行い、円滑な制度施行がなされるように、景観重点地区を対象とした説明会を開催するなどの活動に対し都市景観大賞「景観づくり活動部門」において大賞を受賞した。

また、景観条例施行と同時に開始した景観重点地区景観整備事業補助金制度の運用により、補助対象地区における地区ごとの景観形成基準や景観形成ガイドラインを遵守し、より景観へ配慮した建築物へ補助金を交付し、良好な景観形成を推進した。

定住促進事業としては、農商工の連携や農業の6次産業化に取り組んでいる経営コンサルタントを講師として招き、商工会青年部メンバーと町内に通学している松島高校生徒などを対象とした定住促進セミナーを開催した。セミナーでは松島町の魅力や特色について参加者内で議論したあと、町を紹介するパンフレットの提案を行い、定住意識や移住意識の向上を図った。また、定住促進ガイドブックを制作し、県が設置した「みやぎ移住サポートセンター」やハウスメーカーなどに配布し、本町への移住・交流を促すためのPRを行った。さらに、復興支援定住促進事業補助金、津波被災住宅再建支援事業補助金を継続して実施し町外からの移住促進に努めた。

企業誘致に関しては、「東北放射光施設」の整備実現に向けた取組を推進している東北大学や東北経済連合会、理化学研究所が運営する放射光施設「SPring-8」などを訪問し、松島町での建設実現に向けた要望などの活動を行った。また、東北大学・東北経済連合会・県などが主催する放射光施設に関連したセミナーに参加し、関係者などと情報交換を行うなどして誘致に向けた松島町の熱意をPRすることができた。さらに「松島町東北放射光施設誘致協議会」では、町民向けの放射光施設についての啓発活動として町内在住または通学している高校生や町内主要団体役員と「SPring-8」を視察し、町内での誘致気運を盛り上げた。

また、県主催の企業立地セミナーに参加し、宮城県で事業展開を検討している企業と情報交換や意見交換を行ったほか、放射光施設の誘致取組状況を説明し、施設建設候補地周辺での事業展開の可能性を検討してもらえるようPR活動を行った。

実績

(2) 長期総合計画策定検討委員会の開催

開催日	内　　容	場　所
平成27年 4月15日	①まちの望ましい姿の検討(第3回)(ワークショップ)	役場3階 大会議室
平成27年 5月27日	①まちの望ましい姿の整理(ワークショップ)	
平成27年 6月24日	①計画の柱・将来像のテーマ検討 ②提言書体裁案の確認	
平成27年 10月21日	①松島町長期総合計画基本計画素案について ②主要施策と委員会より提言された主体別取組との関係 ③水族館跡地利用について	
平成28年 3月23日	①松島町長期総合計画について	

(3) 長期総合計画策定検討庁内委員会の開催

開催日	内　　容	場　所
平成27年 4月7日	①これまでの経緯と今後のスケジュール ②次期計画の主要施策について	役場3階 大会議室
平成27年 5月20日	①主要施策(各課ヒアリング結果)の確認について ②松島町長期総合計画の体系について	
平成27年 6月3日	①松島町長期総合計画実施計画書の記載依頼について ②主要施策(各課ヒアリング結果)の変更箇所の確認	
平成27年 7月1日	①松島町長期総合計画策定検討委員会の提言内容の確認 ②将来像・計画の柱、計画の柱を実現するための主体別取組 ③主要施策と提言された主体別取組との関係	
平成27年 8月5日	①昨年度の事務事業(予算ナビ)と今年度の事務事業の比較 ②実施計画の事務事業一覧の確認 ③会計別事業費の確認	
平成27年 9月2日	①主要施策別の事務事業一覧の確認 ②実施計画の事務事業一覧の確認 ③会計別事業費の確認	
平成27年 11月4日	①第3回松島町総合計画審議会意見要旨と対応方針 ②松島町長期総合計画　基本計画素案について	
平成27年 12月2日	①松島町長期総合計画　基本計画修正案について ②松島町長期総合計画シンポジウムにおける意見について ③松島町長期総合計画に関するパブリックコメントについて	
平成28年 1月6日	①松島町長期総合計画案について	

(4) 長期総合計画策定検討若手プロジェクト会議の開催

開催日	内　　容	場　所
平成27年 8月20日	①意見書体裁案の確認 ②松島町長期総合計画の策定状況	役場3階 大会議室

(5) 長期総合計画シンポジウム

開催日	内　　容	場　所
平成27年 11月28日	①基調講演(中西哲生氏(スポーツジャーナリスト)) ②長期総合計画の概要説明(松島町企画調整課) ③パネルディスカッション 　コーディネーター:宮原育子氏 　パネリスト:櫻井町長、卯月盛夫氏、朱二太氏、鈴木幸太郎氏、 　　藤澤美子氏	松島町文化 観光交流館

〈次頁へつづく〉

2　款	1　項	8　目

実績

2　景観審議会の開催　1 回（委員12人）

開催日	内　容	場　所
平成28年 3月24日	報告事項　松島町景観計画の運用状況について	役場2階 201会議室

3　景観重点地区景観整備事業補助金　交付件数　1件　1,000,000 円

4　景観計画の運用状況について
・景観法における届出件数　2件
・景観条例における事前協議件数　36件

5　都市景観大賞受賞記念碑設置工事　1,296,000 円

6　定住セミナーの開催　1 回　（参加者20人、講師2人）

開催日	内　容	場　所
平成28年 2月28日	経営コンサルタントの庄司和弘氏を招いて、セミナー参加者間で松島町の持つ魅力や特色について議論をさせた後、町を紹介するパンフレットの原案を考案させるなどして、町民の定住意識の向上と、商工会青年部や町へ通学している若年層に対し移住意識の向上を図った。	役場大会議室

・ 定住促進ガイドブック発行　1,000 部

7　松島町復興支援定住促進事業補助金　14,350,000 円
交付件数　町内 7世帯 23 人　町外 23世帯 77人

8　松島町津波被災住宅再建支援事業補助金　14,790,000 円
交付件数　町内 2世帯 6人　町外 11世帯 25人

9　企業誘致に関する取り組み
・ 企業誘致交渉　36 社
・ 宮城県企業立地セミナー in Tokyo、宮城県企業立地セミナー in Nagoyaに参加
・ 松島町東北放射光施設誘致協議会を通じての放射光施設誘致活動

（繰越明許費）

10　松島町復興支援定住促進事業補助金　1 世帯　500,000 円

11　松島町津波被災住宅再建支援事業補助金 1 世帯　1,500,000 円

一　般　会　計

2　款	1　項	9　目	交　通　安　全　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	総務課環境防災班
	8,133	6,409		

目標

次世代を担う子どもと交通事故死者数の多くを占める高齢者を交通事故から守ることを重点目標として、交通道徳の向上と交通マナーについての啓発活動を家庭や学校を通じて積極的に推進し、幼児から高齢者までの交通安全教育を行うことによって、交通安全意識の高揚に努める。

また、通学路での交通安全指導を行い、通勤・通学者の交通ルールの徹底を図るとともに、交通事故防止対策として、カーブミラー等の交通安全施設整備を行う。

さらに、交通安全協会等の関係民間団体及び警察等の協力を得ながら安全運転の啓発と交通安全思想の普及を推進する。

実績

1　交通安全教育

- 各小学校・幼稚園における交通安全教室　4 回
- 高齢者交通安全教室　2 回(39人)

2　交通安全思想普及活動

- 春の交通安全町民総ぐるみ運動　5月11日～5月20日
- 秋の交通安全町民総ぐるみ運動　9月21日～9月30日
- 交通安全施設の点検　毎月

3　交通安全街頭指導　（指導員10人）

- 総出動回数　延べ　768 回
- 平均出動数　月平均　約64 回
- 出動内容
  - ①交通安全日街頭指導
  - ②春の交通安全運動
  - ③秋の交通安全運動
  - ④松島流灯会　海の盆
  - ⑤KHB松島ハーフマラソン
  - ⑥第35回全日本実業団女子駅伝競走大会
  - ⑦かき祭り
  - ⑧各種行事の街頭指導
  - ⑨各地区行事の街頭指導

4　交通安全団体に対する補助事業

- 交通安全協会松島支部　250,000 円
- 交通安全母の会　100,000 円

〈次頁へつづく〉

成果

交通安全指導員の街頭指導及び各小学校や幼稚園等の交通安全教室の実施により、住民や児童・生徒への交通事故防止と交通安全意識の高揚に努めた。

また、交通安全母の会や塩釜地区交通安全協会松島支部の活動を支援し、観光客や住民、特に高齢者を対象として交通安全意識の向上と事故防止を呼びかけた。さらに、交通安全施設については、町の危険箇所にカーブミラー及び区画線を設置することにより、交通事故の未然防止に努めた。

その結果、平成28年3月3日に交通死亡事故ゼロ1000日を達成し、宮城県警察本部長から褒状をいただいた。

2　款	1　項	9　目

実績

5　交通安全施設整備事業

・交通安全施設整備工事　1,350,000 円
カーブミラー設置工等　N= 7基
○シングルミラー設置工　N = 3 基
○ダブルミラー設置工　N = 1 基
○シングルミラー撤去工　N = 2 基
○鏡面交換工　N = 1 基

・区画線整備工事　918,000 円
○破線　L = 65.0 m
○実線　L = 742.5 m
○矢印・文字　L = 81.8 m
○スクールゾーン　L = 16.5 m
○ゼブラゾーン　L = 27.1 m

一　般　会　計

2　款	1　項	10　目	諸　　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	総務課総務管理班 総務課環境防災班 企画調整課
	34,031	32,316		

目標

自治活動の普及推進を図り、町民の自治意識の高揚と社会福祉の増進に寄与する。

実績

【総務課 総務管理班所管】

1　行政区長等報酬　112人　18,322,680円
行政区長移動研修会
(1)期間：平成27年11月26日～11月27日
(2)場所：埼玉県滑川町
(3)内容：自治会活動に係る取り組み等について（滑川町区長会との意見交換）
(4)参加人数：11人

2　町民新年会　224人　867,395円
(1)開催日：平成28年1月8日
(2)表彰者：8人
(3)参会者：216人

【総務課 環境防災班所管】

1　主な防犯活動
○ 春・夏・年末の地域安全運動
○ 松島流灯会海の盆警備活動
○ 不審者情報に対する町内パトロール活動

2　防犯指導隊への補助　5団体　300,000円

3　防犯灯設置等補助　65基　650,775円
（松島地区・本郷地区・手樽地区・北小泉地区・根廻地区）

〈次頁へつづく〉

成果

【総務課 総務管理班所管】
区長等を通じて町と町民との連絡を密にすることで、行政事務の円滑、かつ、効果的な運営を図ることができた。
また、行政区長移動研修会の実施により、震災復興支援をとおして新たに生まれた埼玉県滑川町との交流促進が図られた。
町民新年会については、平成28年の新しい年を迎え、町民が一堂に会して新春を祝うとともに、永年にわたり善行・功労のあった町内8名の方々に対して表彰状を贈呈した。
【総務課 環境防災班所管】
地域住民の安全・安心及び防犯意識の高揚を図るため、防犯指導隊など関係団体との連携を図り地域の防犯に努めた。また、各地区防犯灯の維持管理・電気料の助成を行い、犯罪が発生しにくい環境づくりに努め、各地域の防犯・非行の未然防止を図った。
【企画調整課所管】
品井沼ステーション(有)の運営を支援することで、品井沼駅の利便向上と周辺地域コミュニティの維持・活性化に寄与した。

2　款	1　項	10　目

実績

4	防犯灯電気料助成(12行政区・品井沼街灯組合)	1,675 基	4,791,797 円
5	通学路防犯灯LED照明付替工事 （松島地区・高城地区・磯崎地区・幡谷地区）	28 基	3,233,520 円

【企画調整課所管】

1	品井沼ステーション運営費補助金		900,000 円

一　般　会　計

2　款	1　項	11　目	電　子　計　算　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	企画調整課
	79,902	66,563		

目標	電算システムの円滑な処理と安定化による事務処理の一層の高度化・効率化を図り、高度情報化社会における住民ニーズへの対応、行政サービスの向上に努める。
実績	1　住民情報システム ・住民情報システム保守業務委託　22,081,420 円 （ハードウェア及びソフトウェアの保守、大量データ作成） ・住民情報システム改修業務委託　14,169,600 円 （社会保障・税番号制度対応関係） ・社会保障・税番号制度中間サーバー接続等環境構築業務委託　1,310,040 円 ・住民情報システム賃貸借　9,347,940 円 （ハードウェア及びソフトウェアの賃貸借） 2　財務会計システム ・財務会計システム保守業務委託　2,249,856 円 （ハードウェア及びソフトウェアの保守） ・財務会計システム賃貸借　3,696,840 円 （ハードウェア及びソフトウェアの賃借） 3　総合行政ネットワークシステム（LGWAN） ・総合行政ネットワークシステム保守業務委託　661,262 円 （ハードウェア及びソフトウェアの保守） ・総合行政ネットワークシステム賃借　1,747,620 円 （ハードウェア及びソフトウェアの賃借） 4　地域情報システム ・地域情報システム賃貸借　3,875,040 円 （ハードウェア及びソフトウェアの賃借） ・サーバーライセンス使用料　194,400 円 （ウィルスセキュリティ対策）
成果	住民情報システム、財務会計システム、総合行政ネットワークシステムに関する保守業務、ハードウェア及びソフトウェアの賃借を実施した。 また、社会保障・税番号制度対応として、住民情報システムの改修および中間サーバーへの接続環境の構築を実施し、平成29年7月に開始される地方公共団体の情報提供ネットワークシステムを介した情報連携に向けたシステム環境整備を計画的に行うことができた。

一　般　会　計

2　款	1　項	12　目	町　民　バ　ス　運　行　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	総務課環境防災班
	31,352	30,679		

目標

公共交通空白地域における生活利便性の向上及び福祉の増進を図るとともに、高齢者等の交通弱者の移動手段として町内全域に町営の路線バスを運行させ、交通の地域格差の是正に努める。
また、総合交通対策に努めることにより、町民の地域間交流を促進し活力のあるまちづくりに寄与する。

実績

内容／路線	便数	運行日数	走行距離(km)	利用人数(人)	収入金額(円)
北松島線〔中廻含む〕	14 (4)	363	127,181 (19,469)	31,180 (7,667)	461,000
松島東線	8 (4)	363	53,761 (15,038)	10,790 (7,192)	92,600
松島西線	5	363	42,389	11,250	273,000
定期券・回数券	―	―	-	-	321,510
計	―	―	223,331 (34,507)	53,220 (14,859)	1,148,110

※（　）内は通学便分

成果

高齢者をはじめとする交通弱者の交通手段を確保し、住民生活の利便性向上、福祉の増進、さらには交通の地域格差の是正を図った。
また、旧三小学区及び旧四小学区の児童・幼児の通学通園のため、通学便を運行し、安全・安心な運転に努めた。
町民バスは東北運輸局宮城運輸支局より平成26年10月1日から平成29年9月30日まで（3年間）の運行許可を受けて運行している。

平成27年度町営バス月別利用状況

（ 北松島線分 ）

月	運行日数	走行距離（km）	70才以上無料カード利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児乗車券利用人数	身体障害者乗車券利用人数	合計		備考
				定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数	定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数			利用者数	使用料収入額	
4	30	10,516	1,477	25	12	186	223	754	0	5	759	106	271	2,836	37,700	
5	31	10,782	1,382	30	14	157	201	816	0	10	826	125	252	2,786	32,400	
6	30	11,149	1,363	40	27	215	282	1,015	0	7	1,022	144	260	3,071	43,700	
7	31	10,627	1,252	17	17	193	227	689	0	41	730	97	255	2,561	42,700	
8	31	9,608	1,051	11	6	175	192	268	0	26	294	39	188	1,764	37,600	
9	30	10,731	1,095	34	20	171	225	850	0	9	859	123	226	2,528	35,100	
10	31	11,299	1,313	32	22	203	257	971	0	7	978	112	210	2,870	41,300	
11	30	10,706	1,181	27	19	189	235	877	1	14	892	121	165	2,594	39,200	
12	31	10,697	1,241	28	8	197	233	755	2	12	769	119	174	2,536	40,600	
1	28	9,736	1,160	28	16	165	209	706	5	25	736	99	174	2,378	35,500	1月1日～3日運休
2	29	10,443	1,315	10	14	190	214	783	3	13	799	106	217	2,651	39,300	
3	31	10,887	1,294	5	24	164	193	761	1	31	793	84	238	2,602	35,900	
合計	363	127,181	15,124	287	199	2,205	2,691	9,245	12	200	9,457	1,275	2,630	31,177	461,000	
月平均		10,598	1,260	24	17	184	224	770	1	17	788	106	219	2,598	38,417	

（ 松島東線分 ）

月	運行日数	走行距離（km）	70才以上無料カード利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児乗車券利用人数	身体障害者乗車券利用人数	合計		備考
				定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数	定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数			利用者数	使用料収入額	
4	30	4,207	326	0	1	52	53	534	0	8	542	34	3	958	11,200	
5	31	4,714	327	1	0	56	57	591	0	0	591	109	5	1,089	11,200	
6	30	5,004	252	0	0	62	62	704	0	0	704	143	9	1,170	12,400	
7	31	4,377	270	1	1	43	45	464	0	1	465	83	5	868	8,700	
8	31	3,418	201	0	0	36	36	193	0	3	196	21	2	456	7,500	
9	30	4,709	233	0	0	39	39	556	0	1	557	112	1	942	7,900	
10	31	5,020	236	0	0	38	38	639	0	0	639	127	0	1,040	7,600	
11	30	4,742	253	0	0	34	34	567	1	0	568	120	2	977	6,800	
12	31	4,452	220	0	0	24	24	497	0	0	497	101	2	844	4,800	
1	28	4,042	208	3	0	29	32	492	0	0	492	82	1	815	5,800	1月1日～3日運休
2	29	4,523	238	1	3	20	24	535	0	0	535	104	0	901	4,000	
3	31	4,553	155	0	0	23	23	460	8	1	469	78	5	730	4,700	
合計	363	53,761	2,919	6	5	456	467	6,232	9	14	6,255	1,114	35	10,790	92,600	
月平均		4,480	243	1	0	38	39	519	1	1	521	93	3	899		

平成27年度町営バス月別利用状況

(松島西線分)

月	運行日数	走行距離(km)	70才以上無料カード利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児乗車券利用人数	身体障害者乗車券利用人数	合計		備考
				定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数	定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数			利用者数	使用料収入額	
4	30	3,486	585	32	6	111	149	132	11	13	156	0	73	963	23,500	
5	31	3,456	515	45	8	119	172	137	0	4	141	3	59	890	24,200	
6	30	3,554	552	44	13	119	176	161	2	4	167	0	64	959	24,200	
7	31	3,643	570	35	24	107	166	107	5	16	128	0	73	937	23,000	
8	31	3,661	478	37	16	92	145	33	5	15	53	3	65	744	19,900	
9	30	3,448	462	36	19	116	171	215	11	11	237	1	54	925	24,300	
10	31	3,662	529	37	11	117	165	276	6	15	297	0	58	1,049	24,900	
11	30	3,440	434	35	18	105	158	240	24	17	281	2	61	936	22,700	
12	31	3,654	439	42	15	103	160	220	11	9	240	0	59	898	21,500	
1	28	3,304	412	39	11	89	139	214	4	55	273	0	35	859	23,300	1月1日～3日運休
2	29	3,426	521	44	22	93	159	261	23	14	298	0	58	1,036	20,000	
3	31	3,655	615	36	37	104	177	180	9	7	196	0	66	1,054	21,500	
合計	363	42,389	6,112	462	200	1,275	1,937	2,176	111	180	2,467	9	725	11,250	273,000	
月平均		3,532	509	39	17	106	161	181	9	15	206	1	60	938		

定期券・回数券	321,510

(合 計)

月	運行日数	走行距離(km)	70才以上無料カード利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児乗車券利用人数	身体障害者乗車券利用人数	合計		備考
				定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数	定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数			利用者数	使用料収入額	
合計	363	223,331	24,155	755	404	3,936	5,095	17,653	132	394	18,179	2,398	3,390	53,217	1,148,110	

(回数券・定期券販売実績)

種類	回数券		定期券												
区分	一般	小中学生	小学生			中学生			高校生			一般(69歳以下)			
金額	2,000円	1,000円	900円	2,565円	4,860円	1,800円	5,130円	9,720円	3,600円	10,260円	19,440円	6,000円	17,100円	32,400円	
4月	3	1				3	3			1					
5月	3					3	1					2			
6月	1					3	1					1			
7月	4	1							1						
8月	2					2	4			1		1			
9月	3	1				2	1					1			
10月	5					1	1					1			
11月	1	3				4			1			1			
12月	2	2					2					1			
1月	1	1				2	2		1			1			
2月	5	3				1						1			
3月	7	4									1	1			
販売数(件)	37	16	0	0	0	21	15	0	3	2	1	11	0	0	

一　般　会　計

2　款	1　項	13　目	施　設　管　理　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	総務課総務管理班 建設課管理班
	19,818	19,507		

目標

高城コミュニティセンターの建設に伴い、老朽化の著しい高城公会堂を解体し地域の安全性を確保するとともに、併設施設である老人ふれあいの家の環境整備を図る。また、明るく住みよい地域社会づくりのため、公衆便所の修繕、集会施設の改修工事・修繕等を実施する。

実績

【総務課 総務管理班所管】

1　工事請負費
・町内集会場等改修工事　1,998,000 円
改修箇所：4箇所
垣ノ内集会場、中通支館、上幡谷生活センター、初原コミュニティーセンター

（繰越明許費）

1　手数料
・完了検査申請手数料　17,000 円

2　工事請負費
・旧高城公会堂解体改修工事　13,625,120 円
旧高城公会堂解体　延床面積　A=251.11㎡
老人ふれあいの家改修（玄関・ホール増築）　延床面積　A=45.54㎡

【建設課 管理班所管】

◇　公衆便所（高城駅前　愛宕駅前　元禄潜穴）と集会施設（29箇所）の維持管理

1　需用費　（修繕料）　1,198,854 円
・元禄潜穴公衆便所修繕　（目隠し板、ドア、臭突）　150,120 円
・愛宕駅前公衆便所修繕　（フラッシュバルブ止水栓）　49,356 円
・本郷ふれあいセンター引込分電盤修繕　67,392 円
・萱倉支館屋根塗装修繕　499,683 円
・上初原支館修繕　（トイレ、物置屋根）　432,303 円

2　役務費　（火災保険料）
・公衆便所3箇所、集会施設29箇所　568,944 円

3　委託料　171,180 円
・公衆便所清掃業務委託（3箇所　月2回実施）

成果

【総務課 総務管理班所管】
集会施設4箇所の改修工事を行い、地域住民の交流の場である集会施設の利便性の向上が図られた。
また、高城公会堂の解体工事を完成させ、安全確保を図るとともに、老人ふれあいの家の玄関・ホールを増築し、より利用しやすい施設整備を図った。
【建設課 管理班所管】
集会施設について指定管理者より報告を受けた3箇所の修繕と公衆便所の修繕を実施し、良好な環境が保たれ地域住民の利便性の向上が図られた。

一　般　会　計

2　款	1　項	15　目	地上デジタル放送無線共聴施設管理費	（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	企画調整課 建設課管理班
	1,356	1,331		

目標

松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金を交付し、快適な地上デジタル放送の受信環境を提供する。
また、町内で、地形等の理由により地上デジタル放送が難視聴になっている地区に設置した地上デジタル放送無線共聴施設について、維持管理を実施する。

実績

【企画調整課所管】

1　負担金補助及び交付金

・松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金

○帰命院地区テレビ共同受信組合　(144世帯)　120,000 円

○霞ヶ浦テレビ共同受信施設組合　(36世帯)　15,000 円

【建設課 管理班所管】

◇　地上デジタル放送無線共聴施設(受信・送信点11箇所)の維持管理
松島海岸・小石浜地区　(受信点:3箇所　送信点:5箇所)
反町・初原地区　(受信点:1箇所　送信点:2箇所)

1　需用費 (修繕料、光熱水費)　159,128 円

・地上デジタル放送無線共聴施設修繕(ケーブル修繕)　96,120 円
・無線共聴施設電気料　63,008 円

2　役務費 (火災保険料)　63,120 円

・受信点4箇所、送信点7箇所

3　委託料　847,800 円

・地上デジタル放送無線共聴施設保守点検業務委託 (年1回)

4　使用料及び賃借料　125,868 円
・電波利用料、電柱共架料(東北電力)、電柱添架料(NTT)

成果

地上デジタル放送無線共聴施設の修繕を実施し、快適な地上デジタル放送が受信できるようになった。

一　般　会　計

2　款	1　項	18　目	復　興　推　進　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名
	4,431,213	2,361,647	総務課環境防災班 企画調整課震災復興対策室 町民福祉課こども支援班 産業観光課観光班 建設課建設班 建設課復興班

目標

震災復興計画の具現化に向けて、復興事業の事業間調整、関係機関協議を行い復興交付金事業計画を作成し、住民や観光客等の安全を確保するための避難所建設や、地盤沈下への対応として名籠漁港背後地等の地盤嵩上げ、集落道の生活基盤整備等の各種復興事業を推進し、早期の復興を図る。

実績

【総務課 環境防災班所管】

1　委託料	5,900,000 円
・松島地区復興まちづくり拠点施設建設工事施工監理業務委託（前払金）	1,200,000 円
・三十刈地区避難施設建設工事施工監理業務委託(前払金)	874,000 円
・緑松会館避難施設建設大規模改修工事施工監理業務委託（前払金）	1,100,000 円
・松島運動公園備蓄倉庫建設工事施工監理業務委託（前払金）	900,000 円
・三十刈地区備蓄倉庫建設工事施工監理業務委託（前払金）	426,000 円
・松島第一小学校備蓄倉庫建設工事施工監理業務委託（前払金）	1,400,000 円

〈次頁へつづく〉

成果

【総務課 環境防災班所管】
東日本大震災復興交付金として防災センター1施設と避難施設4施設、備蓄倉庫2施設、耐震性貯水槽6箇所の整備が完了したほか、自家発電装置の整備に着手するなど、復興計画及び津波避難計画に位置付けた復興事業の推進が図られ、震災復興計画の具現化に寄与した。
【企画調整課 震災復興対策室所管】
復旧・復興関連事業間の調整を行うとともに、避難道路等の各種復興事業の検討を行い復興交付金事業計画を作成し、第12回から第14回の申請において12事業（町実施主体）に係る交付金約11億9,800万円の配分を受け、各種復興事業を推進し震災復興計画の具現化に寄与した。
【町民福祉課 こども支援班所管】
東日本大震災復興交付金として採択を受けた事業について、町の復興計画に基づき防災広場トイレ設置に係る設計業務を実施し、復興事業を推進した。
【産業観光課 観光班所管】
東日本大震災復興交付金として採択を受けた事業について、町の復興計画に基づき事業箇所の調査設計業務を実施し、避難施設や避難場所等の工事を推進した。
【建設課 建設班所管】
東日本大震災復興交付金として採択を受けた事業について、町の復興計画に基づき富山避難道路の用地測量設計業務を実施するとともに、事業用地の土地購入を行い復興事業の推進が図れた。
【建設課 復興班所管】
東日本大震災復興交付金として採択を受けた事業について、銭神・大浜地区の漁業集落機能強化工事及び東浜地区避難場所整備工事が完成し、三十刈・石田沢地区避難場所整備工事については造成工事を終え、舗装工事（2期工事）に着手する等、復興事業の推進が図れた。

2　款	1　項	18　目

実績

2　工事請負費	444,089,320 円
・石田沢地区防災まちづくり拠点施設建設工事(前払金)	212,925,000 円
・松島地区復興まちづくり拠点施設建設工事(前払金)	34,300,000 円
・三十刈地区避難施設建設工事(前払金)	30,524,000 円
・緑松会館避難施設建設大規模改修工事(前払金)	23,700,000 円
・松島運動公園備蓄倉庫建設工事(前払金)	26,300,000 円
・三十刈地区備蓄倉庫建設工事(前払金)	28,176,000 円
・松島第一小学校備蓄倉庫建設工事(前払金)	13,300,000 円
・石田沢地区備蓄倉庫建設工事(前払金)	37,575,000 円
・耐震性貯水槽整備工事(磯崎地区)	28,489,320 円
・松島フットボールセンター自家発電設備整備工事(前払金)	8,800,000 円
3　補償費	360,300 円
・三浦地区避難施設建設工事物件等移転補償金	360,300 円
(繰越明許費)	
4　委託料	231,689,015 円
・帰命院地区避難施設建設工事施工監理業務委託	1,408,800 円
・長田地区避難施設建設工事施工監理業務委託	5,940,000 円
・古浦地区避難施設建設工事施工監理業務委託	2,235,600 円
・三浦地区避難施設建設工事施工監理業務委託(前払金)	900,000 円
・名籠地区避難施設建設工事施工監理業務委託(前払金)	800,000 円
・本郷地区備蓄倉庫建設工事施工監理業務委託	1,282,000 円
・手樽地域交流センター備蓄倉庫建設工事施工監理業務委託	3,348,000 円
・松島フットボールセンター備蓄倉庫用地測量設計業務委託	6,804,000 円
・高城地区津波避難施設建設工事委託	208,970,615 円

〈次頁へつづく〉

2　款	1　項	18　目

実績

5　工事請負費	519,091,520 円
・帰命院地区避難施設建設工事	32,624,000 円
・長田地区避難施設建設工事	167,400,000 円
・古浦地区避難施設建設工事	54,486,000 円
・三浦地区避難施設用地造成工事	23,642,280 円
・三浦地区避難施設建設工事（前払金）	22,400,000 円
・名籠地区避難施設用地造成工事（前払金）	9,800,000 円
・名籠地区避難施設建設工事（前払金）	25,400,000 円
・本郷地区備蓄倉庫建設工事	34,680,000 円
・手樽地域交流センター備蓄倉庫建設工事	68,040,000 円
・松島運動公園備蓄倉庫用地造成工事（前払金）	22,400,000 円
・耐震性貯水槽整備工事 （松島第一小学校、手樽地域交流センター、松島運動公園）	35,700,000 円
・耐震性貯水槽整備工事（石田沢避難所）	12,320,000 円
・耐震性貯水槽整備工事（松島フットボールセンター）	10,199,240 円
（事故繰越費）	
6　委託料	41,624,800 円
・手樽地区復興まちづくり拠点施設建設工事施工監理業務委託	2,744,800 円
・石田沢地区防災まちづくり拠点施設建設実施設計業務委託	38,880,000 円
7　工事請負費	67,394,280 円
・松島地区復興まちづくり拠点施設整備工事（前払金）	4,774,280 円
・手樽地区復興まちづくり拠点施設建設工事	62,620,000 円

〈次頁へつづく〉

2　款	1　項	18　目

実績

【企画調整課 震災復興対策室所管】

1　復興まちづくり庁内調整会議の開催　　9 回　(委員18人)

期日及び回数	内　　容	場　所
第1回～第9回 平成27年4月～ 平成27年11月	復興交付金事業の進捗管理 復興交付金申請事業(第12回～第14回)の検討及び調整	松島町役場

2　委託料　　21,816,000 円

・松島地区等復興まちづくり推進事業業務委託　　21,816,000 円
　(復興事業推進等の支援業務)

【産業観光課 観光班所管】

1　委託料　　1,200,000 円

・松島海岸公園避難施設整備工事施工監理業務委託(前払金)　　1,200,000 円

2　工事請負費　　38,000,000 円

・松島海岸公園避難施設整備工事(前払金)　　38,000,000 円

(繰越明許費)

1　委託料　　2,872,000 円

・西行戻しの松公園防災器具庫等建設工事施工監理業務委託　　1,296,000 円

・復興まちづくり支援施設(パノラマハウス)建設工事施工監理業務委託　　1,576,000 円

2　工事請負費　　256,625,716 円

・西行戻しの松公園避難場所整備工事　　129,700,000 円

・西行戻しの松公園植栽整備工事　　745,200 円

・西行戻しの松公園防災器具庫建設工事　　34,664,520 円

・復興まちづくり支援施設(パノラマハウス)建設工事　　88,974,000 円

・復興まちづくり支援施設ロールスクリーン設置工事　　2,081,160 円

・復興まちづくり支援施設機械警備設備設置工事　　277,776 円

・パノラマハウス屋根改修工事　　183,060 円

〈次頁へつづく〉

2　款	1　項	18　目

実績

【建設課 建設班所管】

1　委託料	1,656,720 円
・富山避難道路用地測量設計業務委託	1,656,720 円
2　土地購入費	2,025,000 円
・富山避難道路整備事業土地購入	2,025,000 円

【建設課 復興班所管】

1　委託料	3,078,000 円
・早川地区排水路実施設計業務委託	1,188,000 円
・漁業集落防災機能強化事業測量業務委託	1,890,000 円
2　工事請負費	8,208,000 円
・災害公営住宅(美映の丘地区)外構整備工事	8,208,000 円
3　補償金	332,200 円
・漁業集落防災機能強化事業(集落間道路)　物件等移転補償金	332,200 円
(繰越明許費)	
4　工事請負費	634,280,640 円
・漁業集落防災機能強化工事(銭神・大浜地区)	30,756,760 円
・東浜地区避難場所整備工事	44,480,000 円
・三十刈地区避難場所整備工事	204,780,000 円
・石田沢地区避難場所整備工事	212,640,000 円
・三十刈地区避難場所整備その2工事(前払金)	66,000,000 円
・石田沢地区避難場所整備その2工事(前払金)	50,500,000 円
・漁業集落防災機能強化工事(早川地区)(前払金)	23,600,000 円
・漁業集落防災機能強化付帯工事	1,523,880 円
5　土地購入費	4,877,609 円
・漁業集落防災機能強化事業(手樽地区)　土地購入	4,877,609 円
6　補償金	7,773,754 円
・漁業集落防災機能強化事業(手樽地区)　物件等移転補償金	7,773,754 円

〈次頁へつづく〉

2　款	1　項	18　目

実績

（事故繰越費）

7	土地購入費	2,172,000 円
・	松島地区安全･安心なまちづくり基盤整備事業（三十刈地区）　土地購入	2,172,000 円
8	補償金	58,335,354 円
・	漁業集落防災機能強化事業（手樽地区）　物件等移転補償金	58,335,354 円

【町民福祉課 こども支援班所管】

1	委託料	972,000 円
・	災害公営住宅防災広場トイレ設置実施設計業務委託	972,000 円

一　般　会　計

2　款	1　項	19　目	地　方　創　生　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名
	145,431	59,189	町民福祉課福祉班 健康長寿課高齢者支援班 産業観光課産業振興班 産業観光課観光班

目標

地方創生に係る施策を先行的に推進する地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業を活用した各種事業を展開し、障害者の社会参加の促進、高齢者の自立促進・総合的な高齢福祉の向上や地域産業振興・地元経済の復興を図る。

実績

【町民福祉課 福祉班所管】

1　松島町障害者等相談支援事業

地域の障害者等(身体障害・知的障害・精神障害・難病等)やその家族等からの福祉に関する各般の相談に対して、必要な情報提供や権利擁護のための援助支援、本町を含め関係機関等との連携を図ることによる地域社会全体での見守り環境体制の整備、また計画相談支援にも対応し適正なサービス利用を促し、障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことが出来るよう必要な支援を行った。

・支援対象人数　214 人

・相談件数　1,422 件

・委託料　4,755,175 円

〈次頁へつづく〉

成果

【町民福祉課 福祉班所管】

障害者ひとりひとりに寄り添った専門的な助言を行い、効果的な相談支援を行った。また、重度の身体・知的・精神・難病等の障害者を対象にタクシー利用助成等を行い、外出の支援を図った。

【健康長寿課 高齢者支援班】

独居高齢者や高齢者世帯に対して、宅配夕食サービスの提供や外出時のタクシー利用助成及び、緊急時の通報システム事業を実施し、地域と連携しながら安心な暮らしを守る一助となった。

【産業観光課 産業振興班所管】

震災により被災した町民への生活支援と、冷え込んだ消費活動の促進を図るため、町内参加加盟130店で使用できる、3割増し商品券を発行し、地域商工業の活性化による地元経済の復興を図ることを目的として実施したことにより、町民へ購買意欲を向上促進させることができ、地域商工業の経済効果を高めることができた。

【産業観光課 観光班所管】

Matsushima Free Wi-Fiを町内の施設に導入し、インターネットサービス利用の円滑化を図ることで観光客等の情報収集及び発信の利便性を高めた。また、ディスカバージャパン誌での松島特集ページとして松島の魅力を発信し、プロモーションイベント企画を行った。

実績

2　障害者(児)外出支援事業
在宅で重度の身体・知的・精神・難病等の障害者を対象にタクシー利用と燃料費助成を実施し、社会参加できるよう外出の支援を図った。
・支援対象者
身体障害者手帳1・2級所持者
療育手帳A所持者
精神保健福祉手帳1・2級所持者
特定疾患・小児慢性特定疾患受給者重症者認定の方

・障がい者(児)タクシー利用助成とガソリン等燃料費助成の共通券の交付者数　358 人

・事業費　3,357,500 円

【健康長寿課 高齢者支援班所管】

1　高齢者タクシー助成事業
75歳以上の高齢者世帯(住民税非課税世帯)を対象にタクシー利用助成を実施し、外出にかかる経済的な支援を行った。
・ 交付者数　209 人
・ 事業費　1,062,202 円

2　宅配夕食サービス事業(お晩ディッシュ)
おおむね65才以上の単身または高齢者世帯等で、調理等が困難な高齢者を対象に栄養バランスのとれた食事を提供し、健康で自立した生活が送れるよう支援した。

延べ実施日数(日)	288
延べ配食数(食)	8,628
1日平均食数(食)	30

※登録者数　69人(男性:26人、女性:43人)
※利用頻度　毎日:40人、週5回:3人
週3～4回:9人、週1～2回:15人
不定期:2人

・ 事業費　8,902,884 円

3　ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業
おおむね65歳以上の虚弱なひとりぐらし高齢者等23件に緊急通報システムを設置し、緊急事態が発生したとき、協力員または警備会社が訪問し、適切な処置をとることで、安心した生活を送ることができるよう支援した。また、緊急時に安否確認を行う協力員が近隣に居ることで地域福祉のネットワークを確立した。

・ 緊急通報システム機器(協力員対応型)　18 台
・ 緊急通報システム機器(警備会社対応型)　5 台
・ 事業費　861,008 円

【産業観光課産業振興班】

(繰越明許費)
補助金　28,291,115 円

まつしま復興支援プレミアム商品券発行事業補助金

・事業主体　利府松島商工会
・販売日時　平成27年6月21日午前9時～午後3時

〈次頁へ続く〉

2　款	1　項	19　目

実績

・販売場所　松島町文化観光交流館
・販売対象　松島町在住の小学生以上
・販売価格　10,000円（500円券×26枚綴り）※3割増し商品券
・販売数量　7,300セット（完売）
・販売制限　1人3セットまで
・使用期間　平成27年6月21日～同年8月31日
・加盟店舗　130事業所

地産地消の推進　985,000 円

・ 松島町、仙台農業協同組合松島支店、宮城県漁業協同組合松島支所、利府松島商工会、（一社）松島観光協会、宮城中央森林組合の関係機関団体の支援を受け、松島町内の農林水産関係各種団体で設立された「松島町地産地消実行委員会」により、安心・安全な地場産の農林水産物の提供と生産者と消費者が交流を楽しめる「まつの市」と「産業まつり」等が実施され、地産地消の推進が図られた。

○「松島のマルシェまつの市」
開催時期：6月・7月・8月・9月　4回開催
会　場：松島町役場駐車場
参加団体：平均 12団体
延来場者：1,250人
総販売額：962,400円

○「まつしま産業まつり」
開催日時：11月1日
会　場：文化観光交流館駐車場
参加団体：40団体
延来場者：10,000人
販 売 額：2,887,645円

○ 埼玉県滑川町開催「滑川まつり」
開催日時：11月3日
会　場：滑川町総合運動公園
出店団体：5団体（松島町）
販 売 額 ：571,550円

地域資源活用事業

・ 農業関係機関と一体となった連携組織により、味噌・漬け物等の地場産品の商品化研究と販売促進を図った。

○ 事業主体　For’00松島・夢・農業農村活性化推進協議会
○ 補助額　1,000,000 円

〈次頁へ続く〉

2　款	1　項	19　目

実績

【産業観光課 観光班所管】

（繰越明許費）

1　委託料

・ 松島町観光施設Wi－Fi環境整備業務委託　5 拠点　4,860,000 円
（整備公共施設：文化観光交流館、松島海岸駅前V案内所、カフェベイランド、観瀾亭、パノラマハウス）

・ 雑誌とタイアップした松島PR事業委託　3,490,000 円
（松島のプロモーションイベントを開催し、内容を雑誌へ掲載してPR事業を実施）

2　補助金

・ Matsushima Free Wi-Fi設置促進事業補助金　14 件　1,495,050 円
（Matsushima Free Wi-Fiを町内の民間施設等に導入するための補助金）

一　般　会　計

2　款	2　項	1 2　目	税務総務費 賦課徴収費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	財務課税務班 財務課特別滞納整理室
	68,716 29,551	68,014 25,319		

目標

課税資料の収集と課税台帳の整備をし、適正な課税を行う。また、的確な滞納整理を行い、滞納額の圧縮を図る。

実績

1　個人町民税

・現年課税分の内訳

所得区分		課税額（千円）	納税義務者（人）
給与所得者		457,175	5,289
営業等所得者		27,046	339
農業所得者		236	11
その他の所得者		59,612	1,363
家屋敷等のみ		10	3
計		544,079	7,005
内訳	特別徴収にかかる課税	410,945	5,005
	普通徴収にかかる課税	133,134	2,000

※所得区分は、総務省統計の課税状況等調査区分による。
※「その他の所得者」の主な者は、年金所得者、譲渡所得者である。

・申告相談受付　期間　平成 28 年　2 月 16 日～　3 月 15 日
　　場所　松島町文化観光交流館
　　件数　確定申告　1,489 件
　　町・県民税申告　595 件

2　法人町民税

・現年課税分の内訳

区分	課税額（千円）	納税義務者（事業所）
均等額	30,617	327
税割	45,122	113
計	75,739	440

3　固定資産税

・現年課税分の内訳

区分	課税額（千円）	納税義務者（人）
土地	220,780	6,432
家屋	390,130	5,140
償却資産	196,076	350
国有資産等所在市町村交付金	5,761	3
計	812,747	11,925

〈次頁へつづく〉

成果

適正課税を図るとともに、個別状況に応じ、粘り強い納税交渉や滞納処分を行い、累積滞納防止に努め、前年比徴収率で現年課税分が0.2ポイント増、滞納繰越分が2.2ポイント減、町税全体で、調定額1,777,377千円に対し、収入済額1,677,746千円となり、前年度より0.4ポイント増の94.4％と滞納額を圧縮することができた。

実績

4 軽自動車税

区　分	課税額(千円)	課税台数(台)
原動機付自転車	446	389
軽 自 動 車	25,349	4,073
小型特殊自動車	644	358
二輪の小型自動車	480	120
計	26,919	4,940

5 町たばこ税

区　分	課税額(千円)	売上本数(本)
旧3級品以外	95,410	18,131,821
旧 3 級 品	2,703	1,083,440
計	98,113	19,215,261

6 入湯税

区　分	課税額(千円)	入湯者数(人)
宿　泊	45,282	301,877
日 帰 り	3,117	62,351
計	48,399	364,228

7 都市計画税

・現年課税分の内訳

区　分	課税額(千円)	納税義務者(人)
土　地	29,713	3,423
家　屋	39,400	3,395
計	69,113	6,818

8 徴収の状況

・現年課税分

区分	平成27年度			平成26年度			比較増減(27年度-26年度)		
税目	調定額(千円)	収入済額(千円)	徴収率(%)	調定額(千円)	収入済額(千円)	徴収率(%)	調定額(千円)	収入済額(千円)	徴収率(%)
町民税	619,818	612,586	98.8	610,777	603,274	98.8	9,041	9,312	0.0
(個人)	544,079	537,079	98.7	535,122	527,819	98.6	8,957	9,260	0.1
(法人)	75,739	75,507	99.7	75,655	75,455	99.7	84	52	0.0
固定資産税	812,747	806,248	99.2	827,342	817,776	98.8	△ 14,595	△ 11,528	0.4
軽自動車税	26,919	26,776	99.5	26,510	26,233	99.0	409	543	0.5
町たばこ税	98,113	98,113	100	100,349	100,349	100	△ 2,236	△ 2,236	0.0
入湯税	48,399	48,399	100	46,630	46,630	100	1,769	1,769	0.0
都市計画税	69,113	68,437	99.0	71,061	69,934	98.4	△ 1,948	△ 1,497	0.6
計	1,675,109	1,660,559	99.1	1,682,669	1,664,196	98.9	△ 7,560	△ 3,637	0.2

・滞納繰越分

区分	平成27年度			平成26年度			比較増減(27年度-26年度)		
税目	調定額(千円)	収入済額(千円)	徴収率(%)	調定額(千円)	収入済額(千円)	徴収率(%)	調定額(千円)	収入済額(千円)	徴収率(%)
町民税	33,059	6,540	19.8	37,657	8,708	23.1	△ 4,598	△ 2,168	△ 3.3
(個人)	32,376	6,236	19.3	36,497	8,313	22.8	△ 4,121	△ 2,077	△ 3.5
(法人)	683	304	44.4	1,160	395	34.1	△ 477	△ 91	10.3
固定資産税	62,237	9,201	14.8	65,715	10,788	16.4	△ 3,478	△ 1,587	△ 1.6
軽自動車税	1,175	314	26.8	1,370	270	19.7	△ 195	44	7.1
都市計画税	5,796	1,132	19.5	6,015	1,256	20.9	△ 219	△ 124	△ 1.4
計	102,267	17,187	16.8	110,757	21,022	19.0	△ 8,490	△ 3,835	△ 2.2

〈次頁へつづく〉

2　款	2　項	1 2　目

実績

9　納税貯蓄組合関係

・納税貯蓄組合からの収入状況

税　　目	収入件数(件)	収入金額　(千円)	組合数
個人町県民税	717	16,735	57
固定資産税・都市計画税	4,232	66,323	
軽自動車税	696	3,149	
国民健康保険税	3,164	43,746	
計	8,809	129,953	

※本表の件数は、納期単位でカウントしています。

・補助金交付額　　町税関係(一般会計)　　2,149,750 円
　　国民健康保険税関係(国保会計)　　850,041 円

10　口座振替の状況

(単位:件、千円)

税　　目	口　座　振　替					
	請求(依頼)件数①	請求(依頼)金額②	振替件数③	振替金額④	振替不能件数(①-③)	振替不能金額(②-④)
個人町県民税	1,171	37,628	1,117	36,615	54	1,013
固定資産税・都市計画税	7,426	149,777	7,251	146,777	175	3,000
軽自動車税	464	2,190	456	2,161	8	29
国民健康保険税(普通徴収)	6,478	95,079	6,221	90,332	257	4,747
計	15,539	284,674	15,045	275,885	494	8,789

※本表の件数は、納期単位でカウントしています。

11　催告文書等発送

・督促状　　9,086 通
・催告書　　954 通
・その他催告文書　　322 通

12　滞納処分状況

区　　分		件数(件)
差　押	不動産	17
	預貯金	96
	給与	0
	国税・県税還付金	31
	その他債権	4
	自動車・小型船舶	0
	動産	0
参加差押	不動産	15
計		163

※　期間は、H27.6.1からH28.5.31まで

一　般　会　計

2　款	3　項	1　目	戸籍住民基本台帳費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課町民サービス班
	39,868	34,656		

目標

行政及び社会経済生活の基盤となる住民の居住関係、身分関係等を正確、迅速に記録し、住民ニーズに公平・公正・親切な対応を心がけ、適法な事務の処理に努めるとともに個人情報保護には特に留意する。

実績

1　戸籍事務

・本籍数・本籍人口数(平成28年3月31日現在)

本籍数	7,692
本籍人口数	18,408

・戸籍編纂　（単位：件）

新戸籍編製数	123
除籍数	146

・戸籍届出件数　（単位：件）

出生	151	死亡	212	婚姻	212	離婚	35
転籍	96	養子縁組	23	養子離縁	11	氏の変更	1
法第77条の2※	14	認知	3	後見	4	法第73条の2※	1
入籍	53	分籍	3	復氏	1		
職権訂正	12	帰化	1	姻族関係終了	1	合計	834

※　戸籍法第77条の2（離婚の際に称していた氏を称する届）、戸籍法第73条の2（離縁の際に称していた氏を称する届）

・戸籍謄抄本交付件数　（単位：件）

種別	一般交付	公用交付	合計
戸籍謄本	2,231	533	2,764
戸籍抄本	726	71	797
除籍謄本	1,966	1,031	2,997
除籍抄本	9	1	10
受理証明	25	0	25
戸籍届出証明	3	1	4

〈次頁へつづく〉

成果

戸籍・住民基本台帳等の個人情報を扱う端末について、外部ネットワークとの分離、機器の設置やシステムの利用状況の管理を実施し、個人情報の適正な処理を行うとともに、異動や住民票等の発行の迅速化に努め、行政サービスの向上を図った。平成28年1月からマイナンバーカードの交付が始まり、交付の迅速化及び普及に努めた。

2　款	3　項	1　目

実績

2　住民基本台帳事務

・住民基本台帳登録者数(平成28年3月31日現在)

人口及び世帯数	日　本　人	14,779 人	5,649 世帯
	外　国　人	38 人	34 世帯
	計	14,817 人	5,683 世帯

・異動関係

区　分		処　理　件　数	
転入届		306 件	467 人
転出届		380 件	462 人
転居届		180 件	374 人
世帯主変更届		116 件	
住民票職権修正		437 件	
内訳	出生	76 件	
	死亡	182 件	
	その他修正	179 件	

・交付件数　(単位:件)

種　別	一般交付	公用交付	合　計
住民票謄本	2,765	256	3,021
住民票抄本	4,699	226	4,925
住民票閲覧	65	142	207
附票	416	762	1,178
住基カード	25	0	25
広域交付住民票	9	0	9

・住基カード交付件数　25 件　　登録済件数　508 件
・個人番号カード交付件数　758 件
(マイナンバーカード)

3　印鑑登録事務
・新規登録件数　316 件　　登録済件数　10,315 件
・印鑑再登録　211 件　　公用交付　12 件
・印鑑証明　一般交付　4,955 件

4　埋火葬許可に関する事務
・許可件数　179 件

5　戸籍住民基本台帳等手数料

種　別		交付数(件)	金額(円)	延長窓口交付数(件)	金額(円)	手数料計(円)
戸籍関係		4,901	2,789,900	59	31,800	2,821,700
住民票関係		7,764	1,551,800	181	37,200	1,589,000
印鑑証明		5,013	1,002,600	153	30,600	1,033,200
住基ネット	広域	9	2,700			2,700
	カード	25	12,500			12,500
その他証明	身分証明	183	36,600	1	200	36,800
	独身証明	6	1,200	2	400	1,600
通知カード		42	21,000			21,000
計		17,943	5,418,300	396	100,200	5,518,500

一　般　会　計

2　款	4　項	3　目	宮城県議会議員選挙費	（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	選挙管理委員会
	1,084	1,081		

目標	宮城県議会議員一般選挙の適正な執行による宮城選挙区の議員の選出を行う。
実績	1　選挙期日の告示日　平成27年10月16日 2　選挙の期日（投開票日）　平成27年10月25日 3　投票の結果　無　投　票 4　当選人　安　部　孝 5　有権者数　男　6,110人　女　6,733人　合計　12,843人
成果	任期満了に伴い宮城県議会議員一般選挙が行われたが、立候補届出締切日現在で届出した候補者の数が、選挙すべき宮城県議会議員の数の1人を超えないため、無投票となった。

一　般　会　計

2　款	4　項	4　目	松　島　町　長　選　挙　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	選挙管理委員会
	6,785	6,710		

目標

松島町長選挙の適正な執行により、町長の選出を行う。

実績

1　選挙期日の告示日　　平成27年8月25日

2　選挙の期日（投開票日）　　平成27年8月30日

3　期日前投票者数

投票日	期日前投票者数（人）			期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）		
	男	女	計	男	女	計
H27.8.30	802	1,075	1,877	22.33	25.57	24.08
H23.9.11	826	1,199	2,025	22.33	24.81	22.75

+1.33

4　投票の結果　　＊前回（H23.9.11）の投票率

区分	有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）	投票率（%）
男	6,056	3,591	59.30	66.08
女	6,683	4,204	62.91	70.60
計	12,739	7,795	61.19	68.46

-7.27

5　開票の結果（得票数）

【候補者別得票数】

桜井公一　　4,162　票

大橋健男　　3,548　票

投票総数　7,795　票

有効投票数　7,710　票

無効投票数　85　票

成果

東日本大震災からの復興が進む中、町政の方向性を定める重要な選挙で、公正な選挙が確保され、投票率アップを図るため、有権者への棄権防止を呼びかける啓発等を行った。前回の松島町長選挙より最終的な投票率は7.27％下回ったが、期日前投票者数が、投票者総数に占める割合が1.33％増加した。

一 般 会 計

2 款	5 項	1 2 目	統計調査総務費 指定統計費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	企画調整課
	4,182 5,904	4,081 5,601		

目標

各種行政施策立案等の基礎資料を得るため、統計調査を迅速、かつ、正確に実施することに努める。

実績

指定統計調査

調査名	調査基準日	調査員数	調査客体
平成27年経済センサス調査区管理	6月1日	－	32調査区
平成27年国勢調査	10月1日	指導員 10人 調査員 76人	107調査区

・平成27年経済センサス調査区管理
経済センサス調査区管理は、事業所又は企業を対象とする各種統計調査実施の基礎資料として利用するため、平成21年経済センサス－基礎調査において設定した調査区を管理し、必要な修正を行うもの。

・平成27年国勢調査
国勢調査は、国の最も重要で基礎的な統計調査で、我が国に居住する全ての人・世帯を対象に調査するもの。平成27年国勢調査は世帯員に関する事項と、世帯に関する事項の合計17項目により調査を実施した。
また、全世帯を対象にオンラインによる調査を導入し、若い世代の回答促進を図った。

成果

統計調査総務費については、本町の統計調査の円滑な推進と統計調査員の調査環境改善及び新規統計調査員の確保を目的とし、事業の推進が図られた。
また、統計調査が正確に行われたことにより、調査結果は国や地方公共団体の行政施策のための基礎資料となった。また、東日本大震災後初の実施となった平成27年国勢調査では、震災が与えた影響を把握するため、その前後の時点における人口移動状況を把握する調査項目を追加し、人口移動などの把握、大規模災害等の発生時における被害状況の把握・影響の推計、復興状況を評価する際のデータとして活用される。

一　般　会　計

3　款	1　項	1　目	社　会　福　祉　総　務　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課福祉班
	232,685	229,866		

目標

地域社会における社会福祉の諸問題に取り組み、福祉の向上を図るため、関係団体との連携、支援を行い、その活動の円滑な推進を図る。また、高齢者や障がい者を含めた低所得世帯の相談窓口となり、生活の安定に向けた支援を行う。

実績

1　民生委員等事業

・民生委員推薦会委員報酬　127,500 円
　2回開催（平成27年4月8日開催・平成27年12月22日開催）　委員14名

・民生委員児童委員活動報償　1,864,000 円
　支給人数　39人（再任38人、新任1人）

2　社会福祉団体等に対する補助事業

・(社)松島町社会福祉協議会　8,500,000 円
　社会福祉協議会の地域福祉活動、ボランティア活動及び運営に関する事業の経費について助成を行った。

・塩釜地区人権擁護委員協議会　47,000 円
　塩釜地区人権擁護委員協議会の事業に要する経費について助成を行った。

・松島町保護司会　200,000 円
　保護司会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行った。

・松島町更生保護女性会　30,000 円
　更生保護女性会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行った。

・松島町遺族会　400,000 円
　戦没者遺族の援護事業に関する事業の経費について助成を行った。
　また、戦没者追悼式を実施した。

〈次頁へつづく〉

成果

民生委員児童委員の地域に根差した活動を支援し、住民の福祉向上、安心な生活環境づくりに寄与した。また民生委員推薦会を2回実施し、2名の委員の推薦を行い、定員40名を確保した。
福祉団体への活動支援として、事業助成を実施し、社会福祉の増進に努めた。
東日本大震災後、経済的に生活が困難な低所得世帯や、高齢、病気による生活相談も増え、宮城県や関係機関と連携しながら相談対応に努めた。
東日本大震災の被災者支援として、引き続き災害援護資金の貸付及び災害公営住宅入居支援金の給付を行った。

3　款	1　項	1　目

実績

3　災害援護資金貸付金

東日本大震災関係　2 件　2,200,000 円

4　災害公営住宅入居支援金　28 件　4,080,000 円

5　その他

・生活保護申請受付件数　14 件　相談件数　33 件

・法外援護旅費受付件数　99 件　支給額　39,600 円

一　般　会　計

3　款	1　項	2　目	障　害　者　福　祉　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課福祉班
	287,842	276,110		

目標

障害者自立支援給付事業及び地域生活支援事業の実施により、福祉サービス体制の充実を図り、障がい者・障がい児の自立や社会参加を支援すると共に、家族や支援者の負担の軽減につなげる。

また、心身障がい者の医療費を助成することにより、医療機会を確保し、心身障がい者の家庭の経済的安定と福祉の向上を図る。

実績

1　障害支援区分にかかる審査判定

障がい福祉サービスのうち介護給付利用申請者について、自立支援法施行に伴う障害支援区分の審査判定を塩釜地区消防事務組合の障害者自立支援審査会にて実施し、支給決定を行った。

○ 平成27年度審査受付数　　22　人（うち継続 14人）

2　障がい福祉サービス等

○ 障がい福祉サービス

・ 障がい福祉サービス受給者証交付　113人（身体18人、知的53人、精神27人、児童15人）

・ 支給決定者数及び利用者数

サービス種類	支給決定者数（人）	利用者数（人）
居宅介護（身体・家事・通院介助）	24	21
行動援護	4	1
同行援護	4	3
生活介護	41	24
短期入所	17	16
ケアホーム（共同生活介護）	9	7
施設入所支援	15	16
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	6	4
就労移行支援	2	3
就労継続支援（A）	16	18
就労継続支援（B）	36	33
グループホーム（共同生活援助）	13	12
療養介護	1	1
計画相談支援	96	96

事業費　　180,577,963円

○ 障がい児通所支援

・ 障がい児通所支援受給者証交付　15人

・ 支給決定者数及び利用者数

サービス種類	支給決定者数（人）	利用者数（人）
児童発達支援	1	1
放課後等デイサービス	12	12
障害児相談支援	7	7

事業費　　13,256,220円

〈次頁へつづく〉

成果

障がい福祉サービスの必要な方に認定を行い、サービスを提供することにより生活の支援が図られた。

また、障がい福祉サービス等の利用者に対して計画相談支援及び障害児相談支援を行い、適切なサービス利用につながっている。

身体に障がいのある方の機能の補完・代替として利用される補装具費の給付について、購入及び修理に係る適切な給付を行い、障がい者等の自立した生活や社会参加を促すことができた。

障がいのある方の悩みや生活全般に対する相談、サービス利用などについて、より分かりやすい説明や相談窓口での具体な対応を心がける一方、専門的な知識を有する相談支援事業所などを活用し、適切なサービス提供や安心した生活の支援を行った。

3　款	1　項	2　目

実績

○ 高額障害福祉サービス等給付事業　給付世帯　1世帯
給付額　90,260 円

○ 補装具費給付事業(購入及び修理)　給付人数　延べ　37 人
(補聴器、下肢装具、電動車いす、座位保持いす、大腿義足など)
事業費　1,929,551 円

○ 自立支援医療給付(更生医療)事業
・ 利用者　実人数　給付人数　55 人
(腎臓45人、肢体不自由3人、心臓6人、肝臓1人)
事業費　24,540,545 円

○ 自立支援医療給付(育成医療)事業
・ 利用者　実人数　1 人
(肢体不自由1人)
事業費　65,240 円

○ 療養介護医療給付事業
・ 利用者　実人数(身体障害1人)　1 人
事業費　839,463 円

○ 養育医療給付事業
・ 利用者　実人数　2 人
事業費　291,096 円

3　地域生活支援事業
在宅の障がい者の自立を目的として各種の事業を行った。

○ 相談支援等事業(平成18年10月より開始:相談支援専門員4名)
障がい者に対し生活の中での困り事、就労、就学、金銭に関することなどの悩み等に的確に対応するため、宮城県社会福祉協議会に相談支援事業を委託し、社会福祉士、精神保健福祉士による専門的な知識を生かした相談支援を実施し、自立した日常生活又は社会生活と権利擁護のための必要な相談支援を実施した。
・ 支援対象者　延べ　40 人
・ 相談件数　147 件
・ 委託料　1,875,000 円

○ 地域活動支援センター事業(平成19年4月より開始)
障がい児や障がい者、その家族の方が交流し、社会参加しやすい環境づくりとして、希望園を地域活動支援センターとして開所し、週1回は障がい者の交流サロンとして運営、週4日は、障がい児及び保護者の日中支援事業として、日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう事業を実施した。
・ 地域活動支援センター基礎的事業(毎週水曜)　通所者 実10人 延べ　209人 (1日平均4.0人)
・ 地域活動支援センター日中一時支援事業　通園者 実 9人 延べ　642人 (1日平均3.4人)
・ 基礎的事業委託料　1,478,800 円
・ 日中一時支援事業委託料　5,915,200 円

〈次頁へつづく〉

3　款	1　項	2　目

実績

○ 日中一時支援事業(町外等利用分)
町外の施設を利用して、障がい児・障がい者の日中一時支援を実施し、療育支援と保護者の介護負担の軽減を図った。
・ 利用者　実人数 3 人
・ 利用回数　延べ 4 回
・ 事業費　37,093 円

○ 移動支援事業
・ 訪問介護事業所のホームヘルパー利用　人数 6 人　延べ 383 時間
事業費　880,135 円

○ 日常生活用具給付事業
障がい者に必要な日常生活用具の給付を実施し、自立支援を図った。
・ 利用者　実人数 37 人
・ 利用件数　延件数 135 件
(ストマ用装具、住宅改修、音声拡大読書器、透析液加温器他)
・ 事業費　2,903,874 円

○ コミュニケーション支援事業
・ 声の広報(視覚障がいの方へ広報等の作成・配布) 利用者　10 人

○ 自動車免許取得・改造費助成事業
・ 自動車免許取得・改造費助成　利用者　1 名
助成額　100,000 円

○ 訪問入浴サービス事業
・ 訪問入浴サービス　利用者　3 名
事業費　1,541,250 円

4　在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業
在宅酸素の療法を必要とする呼吸器機能障がい者に対し、酸素濃縮器の使用に要する電気料金の一部を助成し、当該障がい者の家庭の経済的負担の軽減を図った。
・ 利用者　16 人
・ 助成額　164,190 円

5　心身障害者医療費助成事業
身体障害者手帳1・2級及び内部障がいの3級所持者、療育手帳A所持者に医療費を助成し、心身障がい者の適正な医療の確保と経済的負担の軽減に努めた。

年度	対象者数	助成件数	助　成　額
平成25年度	395人	8,406人	36,474,017円
平成26年度	433人	8,657人	43,974,341円
平成27年度	429人	8,626人	35,644,179円

〈次頁へつづく〉

3　款	1　項	2　目

実績

6　障がい者団体への支援

○ 松島町心身障害児(者)を持つ手をつなぐ親の会　56,000 円
　障がい者の手をつなぐ親の会事業の助成を通じて、研修や会員相互の親睦を図り、地域在住の障がい者の福祉増進が図られた。

○ 松島町身体障害者福祉協会　80,000 円
　会員である障がい者の自立更生に努め、体育大会や移動研修などの各種事業を通じて会員相互の親睦を図り、地域在住の障がい者の福祉増進が図られた。

一　般　会　計

3　款	1　項	3　目	老　人　福　祉　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	健康長寿課高齢者支援班
	280,783	278,975		

目標

高齢化社会の実情を踏まえて、高齢者自身の能力を生かしつつ、意欲や目標を持って生活機能の維持・向上のための活動を積極的に進め、社会参加、社会貢献、健康づくりを推進し在宅福祉に努める。

実績

本格的な高齢化社会の中、介護予防と在宅福祉サービスに重点を置き、元気で生きがいを持って安心した生活を営んでもらうため、次の事業を行った。

1　老人クラブ事業

老人クラブの普及発展を図るため、地区老人クラブ相互の連絡を密にし、円滑なる運営と親睦を図り、かつ、教養を高めるため研修並びに福祉の増進に努め、老人福祉の向上を図った。

- 会員数　755 人
- 単位老人クラブ（12クラブ）補助金　749,000 円
- 町老人クラブ連合会補助金　320,000 円

2　敬老会事業

77歳以上の高齢者を招待し、式典を行うとともにアトラクションを催し、長寿を祝い激励した。

- 開催日　平成27年9月13日
- 招待者　2,441 人
- 事業費　3,151,057 円

3　特別敬老祝い金支給事業

88歳（米寿）に達したとき5万円を支給、99歳（白寿）に達したとき10万円を支給し、敬老の意を表し、福祉の増進を図った。

- 88歳に達した方　94 人
- 99歳に達した方　9 人
- 支給費　5,600,000 円

4　老人保護措置事業

家庭の事情や身体が弱いなどのため、日常生活の困難な高齢者を養護老人ホームや特別養護老人ホーム等への保護を行った。

- 入所者数　1 人
- 事業費　2,271,561 円

- 緊急保護者数　2 人
- 事業費　184,553 円

成果

高齢者の自主的な活動の場や交流の場を支援し、敬老の事業を行うことで社会参加や生きがいを持って生活できる一助となった。

また、老人保護措置事業については、高齢者虐待等やむを得ない事由による保護措置を行うことで、高齢者の生命の安全を図ることができた。

一　般　会　計

3　款	1　項	4　目	国　民　年　金　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課町民サービス班
	7,731	7,335		

目標

法定受託事務である国民年金の事務事業として、資格取得、喪失等の届出の受理、審査並びに報告事務等をはじめ、年金事務所との協力・連携事務として年金制度に関する相談業務や広報等について推進を図る。

実績

1　法定受託事務（町の受付状況）

（単位：件）

区分＼年度	平成27年度	平成26年度	区分＼年度	平成27年度	平成26年度
資格取得届	255	295	任意加入	4	3
資格喪失届	2	3	付加年金加入	4	6
種別変更届	40	56	免除申請（一般）	492	728
氏名変更届	30	25	免除申請（学生）	97	115
転入届	72	98	免除申請（法定）	8	21
転居届	102	68			
転出届	153	153			

2　被保険者状況

第1号被保険者状況　（単位：人）

区分＼年度		平成27年度	平成26年度
年間平均被保険者		1,759	1,894
うち	付加年金加入者数	69	65
	免除者数	608	711
	20歳到達者	65	87

成果

国民年金保険料の資格異動、免除申請等の受付業務及び死亡による未支給年金、障害年金等の請求受付業務を年金事務所と連携を図りながら行った。また、通年をとおして国民年金制度の周知や、経済的な理由等で国民年金保険料を納付することが困難な場合の免除申請についての制度の周知、情報提供に努めた。

一　般　会　計

3　款	1　項	5　目	介　護　保　険　対　策　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	健康長寿課高齢者支援班
	257,813	257,752		

目標

介護保険事業の運営を健全、かつ、円滑に行うために、低所得者世帯を対象に利用者負担を軽減する施策を実施し、制度普及を図る。

実績

1　介護保険特別会計への繰出金　257,288,000 円

内訳

・介護給付費分　171,296,000 円

・地域支援事業分

介護予防事業分　1,437,000 円

包括的支援・任意事業分　8,628,000 円

・低所得者保険料軽減分　2,256,000 円

・職員給与費等分　24,867,000 円

・事務費分　48,804,000 円

2　利用料の軽減対策

・社会福祉法人等利用者負担軽減措置

特別養護老人ホーム（4施設）　利用者数　8 人　軽減額　282,781 円

・訪問介護等利用者負担額軽減措置

訪問介護　利用者数　1 人　軽減額　139,078 円

成果

介護保険特別会計へ町負担分を繰り出すことで、安定した介護保険の運営につながった。
平成27年度の介護保険制度一部改正に伴う、保険料設定の変更や低所得者の保険料負担軽減について、周知に努め、制度の普及を図った。

一　般　会　計

3　款	1　項	6　目	保健福祉センター管理費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	健康長寿課高齢者支援班
	47,907	41,370		

目標

保健・福祉の複合施設としての保健福祉センター「どんぐり」を拠点として、住民が健やかに生まれ、健やかに老い、生涯元気で暮らせるよう、健康増進、疾病予防、健康診査等の保健福祉事業を実施する。

実績

1　保健福祉事業

・健康増進事業
　総合健診・健康相談・ノルディックウォーキング教室・特定保健指導
　食生活改善推進員育成講習会・いちおし健康塾・栄養教室・健康増進機器利用講習会、他

・母子保健事業
　3～4か月児健診・ハイハイ赤ちゃんセミナー・親子よちよちセミナー・1歳6か月児健診
　2歳児歯っぴー健診・2歳6か月児歯科健診・3歳6か月児健診・母子健康手帳交付、他

・地域支援事業
　介護予防事業
　（シルバー昼食サービス事業、まつしま元気塾、保健福祉ボランティア育成事業、他）
　地域包括支援センター業務(総合相談業務、権利擁護業務、包括的・継続的ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ、他)

（単位：人）

	平成27年度						平成26年度					
	健康増進事業	母子保健事業	子育て支援事業	地域支援事業	その他	合　計	健康増進事業	母子保健事業	子育て支援事業	地域支援事業	その他	合　計
4月	41	79	15	229	154	518	22	70	398	272	73	835
5月	34	41	36	300	114	525	54	42	493	245	120	954
6月	33	68	33	274	146	554	19	44	568	420	62	1,113
7月	44	31	10	316	106	507	21	61	745	349	46	1,222
8月	39	103	21	207	103	473	27	104	468	323	36	958
9月	3,314	37	4	194	85	3,634	3,297	17	266	269	95	3,944
10月	37	52	9	300	150	548	36	74	470	550	36	1,166
11月	17	50	38	254	87	446	16	55	443	340	122	976
12月	35	66	10	88	104	303	22	53	407	308	102	892
1月	69	28	3	160	74	334	58	70	338	254	103	823
2月	96	79	15	225	92	507	33	68	507	337	97	1,042
3月	61	56	0	247	95	459	42	12	258	427	193	932
計	3,820	690	194	2,794	1,310	8,808	3,647	670	5,361	4,094	1,085	14,857

※　子育て支援センターは一部を除き、平成27年4月1日より児童館にて事業を実施している。

〈次頁へつづく〉

成果

住民一人一人が生涯にわたり健康でいきいきとした生活をおくることができるよう、乳幼児期から高齢期まで各種の保健福祉事業を実施し、健康に関する正しい知識の普及と自らの健康は自らが守るという意識付けにつながった。

ふれあいの湯の町内利用者はやや減少傾向であるが、60歳以上の利用者が増加しており、高齢者の交流の場となっており、健康増進や、閉じこもり予防等につながった。

長松園デイサービスセンターについては、保健福祉センターの一部を指定管理として活用することで介護保険サービスの充実及び家族の介護負担軽減の一助となった。

3　款	1　項	6　目

実績

2　ふれあいの湯利用状況

	町内				町外				計	入浴料（円）
	60歳以上	高校生～59歳	中学生以下	小計	高校生以上	小・中学生	乳幼児	小計		
H12年度	19,919	6,600	3,333	29,852	5,161	196	238	5,595	35,447	3,423,600
H13年度	41,984	12,557	5,730	60,271	16,521	933	869	18,323	78,594	9,306,400
H14年度	30,809	10,408	3,720	44,937	17,502	791	774	19,067	64,004	12,321,500
H15年度	30,529	10,756	3,538	44,823	15,176	684	526	16,386	61,209	11,497,800
H16年度	31,476	10,204	3,316	44,996	12,803	659	357	13,819	58,815	10,441,400
H17年度	33,150	10,722	3,309	47,181	11,065	460	352	11,877	59,058	9,977,400
H18年度	34,930	11,476	2,937	49,343	9,458	474	367	10,299	59,642	9,666,200
H19年度	35,589	9,915	3,016	48,520	7,849	294	279	8,422	56,942	8,740,300
H20年度	33,816	9,711	3,628	47,155	7,123	267	223	7,613	54,768	8,226,400
H21年度	35,755	8,402	3,308	47,465	8,403	340	203	8,946	56,411	8,685,100
H22年度	34,105	8,017	2,753	44,875	6,577	246	108	6,931	51,806	7,693,900
H23年度	31,583	7,756	2,922	42,261	6,255	116	59	6,430	48,691	5,875,300
H24年度	35,798	8,672	2,802	47,272	5,377	203	72	5,652	52,924	7,505,600
H25年度	35,997	6,745	2,170	44,912	4,788	240	115	5,143	50,055	6,911,900
H26年度	37,602	5,490	1,884	44,976	4,270	132	91	4,493	49,469	6,578,000
平成27年度										
4月	3,500	420	103	4,023	306	38	10	354	4,377	557,200
5月	3,328	478	152	3,958	376	34	18	428	4,386	585,600
6月	3,164	434	128	3,726	251	3	4	258	3,984	504,200
7月	3,122	396	155	3,673	301	20	5	326	3,999	515,800
8月	2,926	436	172	3,534	341	39	12	392	3,926	524,000
9月	2,948	492	119	3,559	375	36	14	425	3,984	550,400
10月	3,045	495	129	3,669	363	20	6	389	4,058	552,700
11月	3,135	496	125	3,756	346	3	11	360	4,116	551,700
12月	2,909	404	126	3,439	274	9	6	289	3,728	483,100
1月	2,963	495	119	3,577	287	7	11	305	3,882	511,500
2月	3,253	488	119	3,860	355	10	14	379	4,239	566,900
3月	3,273	521	159	3,953	290	6	2	298	4,251	548,700
計	37,566	5,555	1,606	44,727	3,865	225	113	4,203	48,930	6,451,800

3　松島長松園デイサービスセンター利用状況

保健福祉センターに併設しているデイサービスセンターを、平成18年度より社会福祉法人千賀の浦福祉会を指定管理者として指定し、介護保険の在宅サービスの質の向上を図った。

（単位：人）

	平成27年度			平成26年度		
	活動日数	延べ人数	1日平均利用人数	活動日数	延べ人数	1日平均利用人数
4月	22	482	21.9	21	591	28.1
5月	18	451	25.1	20	532	26.6
6月	22	553	25.1	21	564	26.9
7月	22	568	25.8	22	579	26.3
8月	21	526	25.0	21	548	26.1
9月	19	501	26.4	20	537	26.9
10月	21	566	27.0	22	587	26.7
11月	19	525	27.6	18	442	24.6
12月	19	522	27.5	19	448	23.6
1月	19	481	25.3	19	497	26.2
2月	20	532	26.6	19	514	27.1
3月	22	537	24.4	22	583	26.5
計	244	6,244	25.6	244	6,422	26.3

一　般　会　計

3　款	1　項	7　目	臨　時　福　祉　給　付　金　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課福祉班
	26,624	22,189		

目標	消費税率引き上げに伴い、低所得者への負担の影響を鑑み、暫定的・臨時的な給付措置として支給するものであり、対象者の経済的支援を行う。
実績	1　臨時福祉給付金事業費 支給対象者　平成27年度住民税が非課税の方 （課税者の被扶養者や生活保護受給者は除く） 支給決定者　2,557 人 支給額　1人につき　6,000 円 支給額計　15,342,000 円
成果	申請に基づき給付することにより、低所得者の経済的支援の一助が図られた。

一　般　会　計

3　款	2　項	1 2　目	児童福祉総務費 児童措置費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課福祉班
	622 171,985	531 169,820		

目標

児童福祉業務の円滑かつ適正な実施。ならびに、次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。

実績

1　児童手当の支給（平成27年6月・10月、平成28年2月支払分）

中学校修了前までの児童を養育するものに支給される。

○ 支給額（月額）　3歳未満　一律　15,000 円

3歳以上小学校修了前
第1子　10,000 円
第2子　10,000 円
第3子以降　15,000 円

中学生　一律　10,000 円
特例給付　一律　5,000 円

27年度	3歳未満受給者	3歳以上小学校修了前受給者	小学校修了後中学校修了前受給者	支給額
6月支払分	211 人	580 人	344 人	56,545,000 円
10月支払分	195 人	542 人	259 人	55,710,000 円
2月支払分	198 人	556 人	259 人	57,565,000 円

成果

適切な事務の実施により児童福祉の向上に寄与した。また、次世代の社会を担う子どもの健全な育成の向上が図られた。

一　般　会　計

3　款	2　項	3　目	保　育　所　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課こども支援班
	214,357	203,196		

目標

保育の必要性がある家庭の乳幼児を保育することで、入所児童の健全育成を図る。
また、適切な施設管理運営を行い、安全で良好な保育環境の整備に努める。

実績

1　通常保育事業

○ 入所児童状況（平成28年3月31日現在）

保育所名	定員（人）	保育実児童数（人）	年間延保育児童数(人)	充足率(%)
高城保育所	120	82	963	68.3
高城保育所分園	29	23	257	79.3
松島保育所	60	32	370	53.3
磯崎保育所	60	48	550	80.0
計	269	185	2,140	68.8

2　（特別）延長保育事業

保護者の就労形態の多様化や通勤時間の増加等に伴い、延長保育の需要に対応するため、4保育所で午前7時30分から午後6時まで延長保育を実施した。更に高城保育所においては、午前7時から午後7時まで特別延長保育を実施した。

○ 延長保育（4保育所）　（単位：人）

		高城保育所	高城保育所分園	松島保育所	磯崎保育所
入所児童数（月平均）		80	21	33	46
延長保育児童数（延べ）	7:30～ 8:00	5,704	1,134	2,527	2,499
	16:00～18:00	10,983	3,778	4,772	5,070
一日平均児童数	7:30～ 8:00	21	4	9	8
	16:00～18:00	40	13	16	17

○ 特別延長保育（高城保育所）　（単位：人）

実保育児童数	延べ児童数		一日平均児童数	
	7:00～7:30	18:00～19:00	7:00～7:30	18:00～19:00
37	1,405	3,185	5.1	11.6

〈次頁へつづく〉

成果

保護者の労働等により保育を必要とする乳幼児を、保育所にて保育を行うことにより、入所児童の健全育成及び子育て家庭への支援を行うことができた。
また、（特別）延長保育事業や一時預かり事業の実施により、多様化する保育需要に対応した。
特に一時預かり事業は、事業内容が浸透し保護者のニーズにあわせた対応を行ったことから、前年と比較し、利用児童数の大幅な増となった。

3　款	2　項	3　目

実績

3　一時預かり事業

磯崎保育所において、保護者の就労・職業訓練等で保育が断続的に困難な時、入院・通院・出産・介護・冠婚葬祭等の緊急の時、保護者の育児疲れ等のリフレッシュ・ボランティア活動・学校行事等を理由とした、1歳から就学前までの乳幼児を一時的に預かる事業として実施した。

○利用実績(利用延べ人数・年齢別延べ人数)

登録児童数	利用児童数		利用年齢				
	半日	1日	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
32人	153人	232人	168人	197人	0人	18人	2人

○利用料金

世帯区分	半日利用	1日利用	給食利用
生活保護法による被保護世帯	0円	0円	300円
上記以外の世帯	1,000円	2,000円	300円

4　施設等修繕

・高城保育所未満児室回転窓修繕業務
・高城保育所給食室水回り等修繕業務
・松島保育所温水ポンプ修繕業務
・磯崎保育所調理室搬入口ドア交換業務 等　　計　1,642,013 円

5　委託料

・松島町立保育所建築物定期調査報告書作成業務委託　　237,600 円

6　工事請負費

・高城保育所遊具撤去・新設工事　　680,400 円

一　般　会　計

3　款	2　項	4　目	母　子　福　祉　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課福祉班
	4,772	4,106		

目標

母子父子家庭に医療費を助成することにより、医療機会を確保し、生活の安定と福祉の向上に努める。
貸付事業により、母子・寡婦家庭に経済的自立と生活意欲の助長を図る。
母子福祉協議会へ補助金を交付し、母子家庭の支援や相談援助の充実を図る。

実績

1　母子父子家庭医療費助成事業

・助成対象者

母子・父子家庭の18歳の年度末までの児童

母子家庭の母、父子家庭の父

父母のいない18歳の年度末までの児童

年　度	対象者数(10/1)	助成件数	助成額
平成25年度	341 人	1,378 件	3,477,820 円
平成26年度	330 人	1,348 件	3,612,803 円
平成27年度	324 人	1,382 件	3,403,490 円

2　福祉団体等に対する補助事業

・松島町母子福祉協議会　31,000 円
母子寡婦福祉事業及び行事を実施し、母子家庭の暮らしに対する相談、支援を充実し、母子家庭の母子が地域において安心して暮らすことができるように努めた。

成果

母子父子家庭に対し、医療費の自己負担分を一部助成することにより、医療機会を確保し、生活の安定と福祉の増進が図られた。
また、母子福祉協議会による事業実施により、他市町村母子福祉協議会と会員相互の親睦を深め、また、母子寡婦福祉事業、各種行事への参加により、母子福祉の充実向上に寄与した。

一　般　会　計

3　款	2　項	5　目	子　ど　も　医　療　対　策　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課福祉班
	28,997	28,502		

目標

子どもの医療費を助成することにより、医療機会を確保し、経済的安定と福祉の向上に努める。

実績

1　子ども医療費助成事業

・助成対象年齢

通院・入院　0歳から15歳に達する最初の年度末まで

年　度	対象者数(10/1)	助成件数	助成額
平成25年度	1,388 人	7,685 件	14,910,319 円
平成26年度	1,375 人	7,143 件	13,440,956 円
平成27年度	1,400 人	7,892 件	27,676,163 円

成果

通院対象年齢を拡大することにより、医療機会を確保し、更なる子どもの福祉増進が図られた。

一　般　会　計

3　款	2　項	6　目	子　育　て　支　援　事　業　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課こども支援班
	8,573	8,045		

目標

地域における子育ての交流等を促進する子育て支援センター事業により、親子が安心して遊ぶことができる場や情報を提供し、育児中の人が子育て仲間との交流を図ることができるようにする。また、地域への周知により子ども達の育ちの見守りを行う。

子育て支援の総合的なコーディネートとして、安心して楽しく子育てできるよう妊婦や母親等の相談事業、子育て家庭への育児支援、各種育児講座、親子向けの教室を実施し、子育て支援の充実を図る。

実績

1　各種相談事業

分　類	実施回数(回)	利用者(人)
巡回心理相談	14	165
電話相談	46	46
訪問相談	89	152
来所(面接)相談	33	33
計	168	231

2　仲間づくり支援事業

事業名	実施回数(回)	参加者(人)
あそびの広場(自由来館)	190	7,797
わくわく広場(各集会所等)	29	250
計	219	8,047

3　親子教室関係

教室名	実施回数(回)	参加者(人)
読み聞かせの会	9	374
リズム遊びの会	6	253
なかよし教室(ひよこ組)	11	299
(ぱんだ組)	11	310
計	37	1,236

〈次頁へつづく〉

成果

児童館において子育て支援センター事業を実施することにより、新生児の親から小・中学校の親までの幅広い年齢層の親同士が交流する場を提供でき、交流の中で子育てに対する不安や悩み、孤立感の軽減や解消を図ることができた。訪問相談についても、生後4ヶ月未満の赤ちゃんのいる家庭に直接出向く乳児家庭全戸訪問を実施し、子育てに対する不安軽減を図った。

また、各種イベントや育児講座、親子向けの教室を実施し、親子の交流を図り子育て支援の充実を行った。特に児童館以外でも、町内各集会所等を利用しての「わくわく広場」を開催し、交通手段がない保護者の参加を促し、身近な場所で参加しやすい事業展開を図った。

児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会として個別ケース会議、実務者会議、代表者会議を実施し、関係機関、地域との連携を強化することができた。

3　款	2　項	6　目

実績

4　各種イベント事業

事　業　名	回数(回)	参加者(人)
なかよしまつり	1	109
親子クッキング教室	2	62
ハロウィン会	1	50
クリスマス会	1	52
3B体操	4	72
親子ベビーヨガ	1	20
計	10	365

5　社会全体の子育てへの関心を高めるための取り組み

事　業　名	回数(回)	備考
児童館だよりの発行	12	毎月5,600部 (全戸配布)
育児サークル支援	2	30

6　子ども虐待防止事業

事　業　名	実施回数(回)	参加者(人)
要保護児童対策地域協議会	2	38
ケース会議	4	54
計	6	92

7　障がい児等育児支援

事　業　名	実施回数(回)	利用者(人)
親の会定例会	12	107
希望園に行ってみよう会	10	母19　幼20　乳児5
計	22	151

8　子育てボランティア協力・育成事業

事　業　名	実施回数(回)	活動者数(人)
ハンドベルくらぶ	8	4 (　32)
人形劇サークル	10	11 (　110)
読み聞かせの会	11	9 (　33)
なかよしまつり	1	11 (　11)
合　　計	30	35 (　186)

※(　)内は延べ人数

9　子ども・子育て会議
・委員報酬　　5回開催　　281,600 円

10　委託料
・子ども・子育て支援システム保守業務委託　　907,200 円
・保育所等利用者負担軽減システム改修業務委託　　648,000 円

11　施設型給付費
・秋田県羽後町田代保育園　　3,038,360 円

一　般　会　計

3　款	2　項	7　目	児　童　福　祉　施　設　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	建設課管理班 町民福祉課こども支援班
	3,338	3,083		

目標

児童が安心・安全に遊べる環境を提供するため児童公園の維持管理を行い、児童が健康で情緒豊かになることを目的とする。

実績

【建設課 管理班所管】
◇　児童公園(21箇所)の維持管理

1　需用費（修繕料）　412,452 円

・ 白萩児童公園照明修繕　104,760 円
・ 高城児童公園看板修繕　53,352 円
・ 夕陽が丘児童遊園遊具修繕（滑り台）　254,340 円

2　役務費（手数料）事業系ごみ処理手数料　167,324 円

・ 除草した草の処分料　159,840 円
（公園の草刈は、地域の清掃活動及び建設課直営で実施）
・ し尿汲取料　7,484 円

3　役務費（火災保険料）　9,671 円

・ 公衆便所　8箇所

4　委託料（施設管理委託料）　666,204 円

・ 児童公園公衆便所清掃業務委託（9箇所　月1回実施）　242,244 円
・ 児童公園遊具定期点検業務委託（20箇所　年1回実施）　308,880 円
・ くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回実施）　29,760 円
・ くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回実施）　85,320 円

【町民福祉課 こども支援班所管】
1　工事請負費

・ 愛宕児童公園遊具設置工事　1,296,000 円

成果

【建設課 管理班所管】
児童が安心・安全に遊べるよう公園の修繕や点検整備を実施し、児童の健康促進に貢献した。

【町民福祉課 こども支援班所管】
高城字愛宕一地区内にある児童公園に遊具設置工事を実施し、子育て環境の向上を図った。

一　般　会　計

3　款	2　項	8　目	児　童　館　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課こども支援班
	19,120	16,458		

目標

児童館は、地域の児童健全育成及び子育て支援の拠点として、子ども達に健全な遊びの場を提供し、子ども達の自主性や創造性などを育みながら、ルールを守ることの大切さや挑戦する意欲を育てる。
また、留守家庭児童学級は、放課後保護者のいない家庭の児童を対象に、児童の健全な育成の向上を図ることを目的とする。

実績

1　児童館

・年間利用者数

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生	401	236	472	427	423	236	287	378	285	224	272	449	4,090
中学生	8	28	11	28	24	7	6	19	8	8	5	8	160
高校生	1	2	0	0	4	0	0	19	1	0	0	0	27
一般	170	154	120	159	223	70	95	137	77	68	35	254	1,562
相談	3	0	10	4	2	1	4	1	2	1	5	0	33
合計	583	420	613	618	676	314	392	554	373	301	317	711	5,872

・各種イベント事業

事　業　名	回数(回)	参加者(人)
児童館体験会	1	213
ひねりパン作り	1	50
3B体操	2	29
交通安全教室	1	32
親子クッキング教室	2	52
救命救急講習会	2	43
児童館まつり	1	99
親子ヨガ	1	17
親子ゲートボール体験・いも煮会	1	77
遊具設置オープニングイベント	1	89
せんべい焼き体験・七草粥	1	76
紙粘土ひな人形作り職員研修会	1	10
木の温もりとふれあい体験イベント	1	28
計	16	815

・工事請負費
児童館遊具設置工事　　1,445,040 円

〈次頁へつづく〉

成果

子どもの居場所づくりの拠点として児童館が開館し、遊びを通して子ども同士、親同士の交流の場の提供を図った。また、イベント行事は小学生やその親を対象に土・日曜日を中心に開催し、児童館のPRに努め、利用促進を図った。そのことにより、入館証の発行も400名程となった。
留守家庭児童学級においては、対象児童を小学六年生まで拡大して利用者のニーズに対応し、保護者の仕事と子育ての両立の支援を行い児童の健全育成を図ることができた。

3　款	2　項	8　目

実績

2　留守家庭児童学級

・学級児童数(平成28年3月31日現在)　(単位:人)

施設名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
松島第一小学校(たんぽぽ学級)	13	11	5	3		1	33
松島第二小学校(ひまわり学級)	6	10	6	1	1		24
松島第五小学校(どんぐり学級)	6	1	4	2			13
計	25	22	15	6	1	1	70

※実施場所

一小:児童館(土曜・長期休業は合同学級)　二小:学校内　五小:品井沼農村環境改善センター

・年間利用児童数及び開設日数

上段:延べ利用児童数　(単位:人)

下段:開設日数　(単位:日)

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校(たんぽぽ学級)	744	619	546	722	668	438	521	461	510	508	450	530	6,717
	24	22	24	26	23	22	25	22	23	23	23	26	283
松島第二小学校(ひまわり学級)	306	364	409	242	76	287	369	347	306	282	382	246	3,616
	15	17	21	12	4	19	21	18	15	15	19	13	189
松島第五小学校(どんぐり学級)	148	190	236	140	31	186	214	210	181	184	199	200	2,119
	14	17	21	12	3	18	22	18	20	15	19	21	200
計	1,198	1,173	1,191	1,104	775	911	1,104	1,018	997	974	1,031	976	12,452
	53	56	66	50	30	59	68	58	58	53	61	60	672

一　般　会　計

3　款	2　項	9　目	子育て世帯臨時特例給付金費	（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課福祉班
	5,786	5,183		

目標	消費税率引き上げに伴う子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、臨時的な給付措置として支給するものであり、対象者の経済的支援を行う。
実績	1　子育て世帯臨時特例給付金事業費 支給対象者　平成27年6月分の児童手当受給者の方（特例給付による受給者は除く） 支給決定者　1,365 人 支給額　対象児童1人につき　3,000 円 支給額計　4,095,000 円
成果	申請に基づき給付することにより、子育て世帯の経済的支援の一助が図られた。

一　般　会　計

4　款	1　項	1　目	保　健　衛　生　総　務　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	健康長寿課健康づくり班
	67,106	66,862		

目標

町民が生涯にわたり、安心して健康的な生活ができるように、保健・医療・福祉の連携を図りながら、各ライフサイクルにあった健康プランの推進に努める。

実績

1　休日昼夜間診療　（単位：人）

年度＼市町名	松島町	東松島市	その他	計
平成27年度	624 (71.8%)	65 (7.5%)	180 (20.7%)	869 (100.0%)
平成26年度	715 (71.9%)	92 (9.3%)	187 (18.8%)	994 (100.0%)

・負担金　6,750,000 円

2　塩釜地区休日急患診療　（単位：人）

年度＼市町名		松島町	塩竈市	多賀城市	七ヶ浜町	利府町	その他	計
平成27年度	日曜日・祝日	152 (4.8%)	846 (26.5%)	1,086 (34.0%)	178 (5.6%)	600 (18.8%)	330 (10.3%)	3,192 (100.0%)
	土曜日準夜帯	21 (4.4%)	127 (26.8%)	174 (36.7%)	29 (6.1%)	79 (16.7%)	44 (9.3%)	474 (100.0%)
平成26年度	日曜日・祝日	165 (4.2%)	1,021 (25.8%)	1,402 (35.4%)	226 (5.7%)	697 (17.6%)	450 (11.4%)	3,961 (100.0%)
	土曜日準夜帯	23 (5.1%)	136 (30.3%)	154 (34.3%)	24 (5.3%)	76 (16.9%)	36 (8.0%)	449 (100.0%)

・分担金　1,221,422 円

3　塩釜地区休日救急歯科診療　（単位：人）

年度＼市町名	松島町	塩竈市	多賀城市	七ヶ浜町	利府町	その他	計
平成27年度	22 (5.3%)	136 (32.8%)	142 (34.2%)	39 (9.4%)	25 (6.0%)	51 (12.3%)	415 (100.0%)
平成26年度	14 (3.7%)	127 (33.3%)	127 (33.3%)	34 (8.9%)	35 (9.2%)	44 (11.5%)	381 (100.0%)

・分担金　274,051 円

〈次頁へつづく〉

成果

住民が安心して必要な医療が受けられるよう、休日及び夜間の医療提供体制の確保と、救急医療機関の適正な利用の啓発に努めた。

1について
松島町、東松島市の地域住民の救急医療を確保するため、松島病院の協力を得て、休日の昼夜間診療を実施し、住民の医療に対する安心と信頼の確保に寄与した。
2について
塩釜地区二市三町で公益社団法人宮城県塩釜医師会と提携し、塩釜地区休日急患診療センターで休日急患診療を実施し、医療が適切に提供される体制整備の確保・充実を図った。
3について
塩釜地区二市三町で一般社団法人塩釜歯科医師会と提携し、休日救急歯科診療を実施し、歯科医療が適切に提供される医療体制整備の確立に努めた。

4　款	1　項	1　目

実績

4　食生活改善推進事業補助金　130,000 円

野菜を1日5皿食べよう講習会	8　回	163　人
食育推進事業(うす味定着化事業)	1　回	311　人
おやこの食育教室	1　回	26　人
生涯骨太クッキング事業	8　回	162　人
TUNAGU(繋ぐ)パートナーシップ事業	1　回	162　人
肥満予防講習会	1　回	81　人
集会による伝達活動	580　回	4,447　人
対話・訪問による伝達活動	1,392　回	3,037　人

5　献血推進事業補助金　200,000 円

(献血実施状況)

献血種別	採血目標	献血受付者数	採血者数	不採血者数	構成比	達成率
全血献血(200ml)	12人	252人	7人	45人	3.4%	58.3%
全血献血(400ml)	211人		200人		96.6%	94.8%

※不採血内訳:比重不足、服薬中、血管細、食事をしていない、他

献血を推進するため、健康づくり年間カレンダー、町の広報紙やホームページ、ポスター等に献血実施日を掲載し、献血協力者の確保に努めた。また、成人式においてちらし等の配布を行い、若年者への啓発活動を行った。

6　自殺対策緊急強化事業

東日本大震災による心身の疲労や環境の変化に伴う、うつ状態、孤立化、健康状態の悪化等を予防するため、健康相談や訪問指導、各種講座等を実施した。

事 業 名	実施状況
民間賃貸住宅入居者等健康調査	訪問・面接等による支援(18世帯、実26人、延63人)
心の健康相談コーナー(住民健診)	心の相談、疲労度テスト等の実施(10日間、345人)
心の健康サポーター養成講座	心の健康を考える住民養成講座の実施(5回、延139人)
心の健康サポーターフォローアップ研修	養成講座修了者を対象に地域での支援者となるための研修を実施(2回、25人)
心と体の健康講座	リフレッシュを目的とした軽運動等の健康講座の実施(3回、延54人)
精神保健福祉ネットワーク研修会	メンタルヘルス事業取組のための研修を実施(1回、23人)
普及啓発事業	総合健診会場においてパンフレットを配布、広報による啓発

成果

住民が生涯にわたり、心身共に健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、関係団体と連携・協力し、保健事業の充実を図った。

4について

「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、健康プランや食育プランに基づき、生活習慣病予防と食生活改善を推進し、住民一人一人が主体的に健康づくりに取り組むよう支援した。

5について

医療機関からの需用が増加している400ml献血由来製剤を確保するため、献血車1台につき献血者45人を目指す「9545 ACTION」を周知し、必要血液量の確保に努めた。

6について

心と体の健康づくりを目的とした様々な保健事業や心の健康サポーターの養成、健康相談等を通じ、よりきめ細かな個別対応を図るとともに関係機関と連携して、地域で支え合う体制づくりを推進し、住民のメンタルヘルスの向上の一助となった。

一　般　会　計

4　款	1　項	2　目	予　防　費	（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	健康長寿課健康づくり班
	67,789	64,501		

目標

生涯にわたって健やかな生活を送るための健康が確保されるよう、日常生活における個人の視点を重視した保健・栄養指導を実施し、町民の主体的な健康づくりを支援する。

実績

1　予防接種事業

※各種予防接種の理解と意識を高めるため、予防接種手帳を交付し接種勧奨を行った。また各種乳幼児健診や就学前に、未接種者に対しちらし等による接種勧奨を行った。

※高齢者のインフルエンザについては、各種健診の申し込みと同時に申し込み受付をした他、接種時期を広報にて周知し、予診票を随時発行した。

種　類	対象者(人)	接種者(人)	実施率(%)	備　考
三種混合	61	58	95.1	H27年度中に7歳5か月に達した者
BCG	76	74	97.4	1歳未満の者
二種混合	119	73	61.3	小学6年生対象
麻しん風しん混合1期	86	84	97.7	対象者は生後12月から24月未満
麻しん風しん混合2期	95	83	87.4	H28年度就学予定の5歳以上7歳未満
水痘	163	124	76.1	生後12月から36月未満
高齢者肺炎球菌ワクチン	1,192	186	15.6	65歳以上で5歳刻みの者。過去に1度も接種していない者
高齢者インフルエンザ	5,205 申込者 (3,584)	2,858	54.9 (79.7)	65歳以上の者及び60歳以上65歳未満の者で心臓、腎臓、呼吸器機能に障害を有する者。 町外の施設へ入所中のため指定医療機関で接種できない高齢者に対し、償還払いで接種費用助成を行った。（11名）

※BCG接種は、平成21年度より結核予防会に委託し実施している。平成25年度より対象月齢が1歳未満までに拡充された。個別通知を実施し、生後5か月から受けられるよう配慮した。

※日本脳炎ワクチンは平成17年から平成21年度まで接種を見合わせていたため、その間に接種の機会を逃していた方について、平成27年度も通常の対象者（3～4歳）に加えて、小学校1年生から4年生に対して1期、18歳に達する者に対して2期の個別通知による接種勧奨を行った。平成27年度の接種者は、１期320人、2期108人であった。

※平成24年11月1日から四種混合ワクチンが導入された。接種回数は延べ246回であった。

※平成25年4月から、ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチンが定期接種となった。（延べ接種回数：ヒブワクチン279回、小児肺炎球菌ワクチン279回）子宮頸がん予防ワクチンについては平成25年4月から定期接種となったが、同年6月から積極的接種勧奨の見合わせが行われており、平成27年度の接種者は1件もなかった。

※平成26年10月より、高齢者肺炎球菌ワクチン及び小児の水痘ワクチンが定期接種となった。

任意接種助成事業

※高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業・・70歳以上を対象に通年で実施し、17名に助成した。

※風しんワクチン接種費用助成事業・・・19歳から49歳までの男女、妊婦の配偶者を対象に通年で実施し、8名に助成した。（男1名、女7名）

〈次頁へつづく〉

成果

予防接種法や健康増進法に基づく予防接種及び各種健(検)診、一次予防に重点をおいた健康づくり事業の実施により、生活習慣病予防やその他の健康に関する正しい知識の啓発普及に努めた。また、スマートみやぎ健民会議に参画し、適正体重維持のための3S(スマートライフ・スマートボディ・スマートアクション)の推奨に努め、住民の「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高めた。平成27年度より脳検診費用助成事業を実施し、脳検診に係る費用負担を軽減し、町民の脳疾患の予防と早期発見を推進した。

4　款	1　項	2　目

実績

2　感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び、健康増進法、がん対策基本法等に基づく各種検診、保健指導

・各種健(検)診受診状況

○受診率

年　度	平成27年度			平成26年度		
内訳 検診名	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)
結核・肺がん検診	6,252	2,446	39.1	6,045	2,433	40.2
子宮がん検診	4,241	1,235	29.1	4,101	1,163	28.4
胃がん検診	5,406	1,473	27.2	5,928	1,499	25.3
乳がん検診	4,322	633	14.6	4,242	649	15.3
大腸がん検診	5,964	1,925	32.3	5,728	1,838	32.1
前立腺がん検診	3,780	459	12.1	3,786	486	12.8
青年健康診査	1,774	255	14.4	1,699	308	18.1
お達者健康診査	1,965	562	28.6	2,529	545	21.6
骨粗しょう症健診	683	89	13.0	721	113	15.7
肝炎ウイルス検査	161	33	20.5	160	29	18.1
訪問基本健康診査	希望者	5	－	希望者	5	－
歯周疾患検診	希望者	12	－	希望者	26	－

※子宮がん（20歳）及び乳がん検診（40歳）、大腸がん検診（40～60歳までの5歳きざみ）は「がん検診推進事業」における無料検診（クーポン券使用）の受診者も含む（子宮頸がん5名、乳がん22名、大腸がん174名）

※乳がん検診は、マンモグラフィー検査・視触診併用方式で実施した。対象者は40歳以上の女性。検診は偶数年齢で実施。

※お達者健康診査は、平成20年度より75歳以上及び65歳以上75歳未満の障害認定者を対象に実施した。

※骨粗しょう症健診については、対象者以外で40歳以上の希望者（男性含む）については骨量測定として同じ検査を行った。（554名に対して実施）

※歯周疾患検診の対象を40・50・60・70歳とし、一般社団法人塩釜歯科医師会に委託して実施した（平成18年度より実施）。また、総合健診会場では歯周病予防・義歯管理など歯科相談を129名に対して実施した。

※各種健診の対象者は、申し込み者と申し込み理由不明者（未提出者を除く）とした。ただし、お達者健診については、健診実施日において後期高齢者医療制度加入者全員を対象者とした。

※基本健康診査は、平成20年度より特定健康診査として国保加入者を対象に実施した。（実施状況は国保事業参照）

○申し込み状況　　（単位:人）

	対象人口	申込者	申し込まない理由				
			病院・職場等	入院・入所	寝たきり等	その他	不明(未提出含む)
結核・肺がん検診	10,052	2,782	2,900	111	53	178	4,028
子宮がん検診	6,691	1,821	1,107	72	43	377	3,271
胃がん検診	11,568	2,013	3,465	105	53	434	5,498
乳がん検診	5,368	750	470	42	23	135	3,948
大腸がん検診	10,052	2,525	2,616	106	49	296	4,460
青年健康診査	2,946	397	890	1	1	66	1,591
お達者健康診査	2,830	642	662	85	47	68	1,326

※乳がん検診の奇数年令の者は、不明分に含めた。

※4月の申し込み終了後も随時受け付けた他、母子保健等、各種保健事業や介護予防事業、各種イベントの中で健診の必要性を説明し、受診をすすめた。

○脳検診費用助成事業　　※平成27年度新規事業

40歳から75歳までの5歳刻みの年齢の方を対象に脳検診に係る費用の一部助成事業を新たに実施した。

対象者(申込者) 161名、受診者108名、受診率67.1%

〈次頁へつづく〉

実績

3　健康手帳の交付

健康増進法に基づき、特定健診・保健指導の記録、その他健康の保持増進のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に資することを目的に健康手帳を交付した。節目の60歳の町民には健康手帳の活用方法や生活習慣病の予防に関するリーフレットを作成して送付し、壮年期における健康づくりの意識向上を図った。

（交付状況）　（単位：人）

区分＼年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
60 歳	213	210	229
希望者（随時）	35	12	28

4　健康相談・健康教育実施状況

健康の保持増進及び生活習慣病の重症化予防を図ることを目的として、40歳から64歳までの町民を対象に、各種保健事業を実施した。平成27年度は新規に地域で運動普及を推進する運動サポーター養成講座、産業まつり及びまつの市において健康づくりコーナーを実施し、健康や運動、食育に関する事項について正しい知識と情報を伝達・普及した。

事　業　名	回数（回）	参加人数（人）	実施内容
総合健康相談	63	214	個別健康相談
重点健康相談	60	264	病態別・歯周疾患・骨粗しょう症等の健康相談
集団健康教育	64	659	歯周疾患・病態別・一般健康教育
【健康教育内訳】（※65歳以上を含む）			
健康まつり	1	150	がん予防・健康マップ・体組成測定・食育コーナー、パネル展示
まつの市・健康づくりコーナー	4	269	糖尿病・骨粗しょう症・血圧・がん予防に関する展示、体験実習
食生活改善推進員育成事業	10	324	講話及び実技研修、調理実習（食生活改善推進員数41人）
地区栄養教室	16	325	健康講話、調理実習、健康相談、軽体操（各地区年2回実施）
ノルディックウォーキング教室	11	178	ノルディックウォーキングの実技指導
減る脂クラブⅠ（メタボ予防教室）	4	57	生活習慣病予防のための講話及び運動の実技指導
減る脂クラブⅡ（メタボ改善教室）	4	74	生活習慣を改善するための講話及び運動の実技指導
健康の日にちなむ事業	12	120	水中運動の実技指導
運動サポーター養成講座	6	98	健康講話、運動の実技指導、運動サポーター証の交付
健康増進機器利用講習会	241	256	講習会の実施及び利用推進
出前健康講座	7	81	各種団体の希望するテーマにあわせた健康講座

5　訪問指導事業

健診の要指導者、医療機関未受診者など健康上保健指導が必要な方（40～64歳）に対し保健師、栄養士、歯科衛生士等による訪問指導を行った。また、東日本大震災による民間賃貸住宅入居者の訪問健康調査、個別相談を継続して実施した。

○ 被指導延べ人数　122 人（※訪問健康調査、個別相談を含む）

一　般　会　計

4　款	1　項	3　目	健　康　館　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	健康長寿課健康づくり班
	2,191	2,176		

目標

町民の健康づくりへの意識向上及び生涯にわたる健康保持を支援するとともに、高齢になっても住み慣れた地域で相互に支え合いながら暮らしていける体制の充実を図る。

実績

1　健康館利用状況

内　容	回数(回)	利用人数(人)
地区栄養教室	4	85
一般利用	7	76
合　計	11	161

2　健康館デイサービスセンター利用状況

健康館デイサービスセンターは社会福祉法人松島町社会福祉協議会が指定管理者となり、適正かつ円滑な管理運営を行っている。(月曜日から土曜日の週6日開所)

	平成27年度			平成26年度		
	活動日数(日)	通所者延べ人数(人)	1日平均利用人数(人)	活動日数(日)	通所者延べ人数(人)	1日平均利用人数(人)
4月	25	359	14.4	25	379	15.2
5月	23	353	15.3	24	353	14.7
6月	26	430	16.5	25	349	14.0
7月	26	434	16.7	26	383	14.7
8月	26	400	15.4	26	358	13.8
9月	23	357	15.5	24	348	14.5
10月	25	404	16.2	26	376	14.5
11月	24	359	15.0	23	330	14.3
12月	23	356	15.5	23	325	14.1
1月	23	311	13.5	23	306	13.3
2月	24	327	13.6	23	322	14.0
3月	25	314	12.6	25	359	14.4
計	293	4,404	15.0	293	4,188	14.3

成果

1について

地区栄養教室では、バランスのとれた食生活や運動習慣の定着を啓発・普及し、地域住民に生活習慣病の重症化予防の大切さを意識づけた。また、食生活改善推進員及び各種団体等の活動を支援し、地域との連携を強化した。

2について

健康館デイサービスセンターについては、要支援・要介護者が居宅介護サービスを利用することにより、通所者及び家族の負担を軽減し、住み慣れた地域において日常生活を送る一助となった。必要に応じて施設の整備及び修繕を実施し、適切な管理運営を行った。

一　般　会　計

4　款	1　項	4　目	母　子　衛　生　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	健康長寿課健康づくり班
	10,735	10,461		

目標

妊娠期及び乳幼児期において、疾病の予防、早期発見、早期治療を促すとともに、身体発育、精神発達の面から、重要な時期に総合的な健康診査、健康相談を実施し、適正な指導を行うことにより、基本的な生活習慣の獲得と良好な母子関係が築けるよう支援する。

実績

1　母子保健事業

事業内容	回数(回)	参加延べ人数(人)
母子健康手帳交付	24	78
妊産婦・新生児訪問指導	87	87
ハイハイ赤ちゃんセミナー(6～7か月児子育て相談)	6	70
親子よちよちセミナー(1歳児子育て教室)	4	57
保育所・幼稚園児対象わんぱく教室	30	530
小学生のための元気っ子クラブ	2	57
小学校歯科指導	24	599
希望園歯科指導	6	48
栄養だよりの発行	4	5,028
おやこの食育教室	1	26

出前健康講座

事業内容	回数(回)	参加延べ人数(人)
食育指導：松島第二幼稚園 園児 調理実習、配膳、試食、歯磨き指導	1	43

思春期保健指導

事業内容	回数(回)	参加延べ人数(人)
保健講座：松島第五小学校　6学年 講話「たばこ・アルコール・薬物乱用防止」	1	15
保健講座：松島中学校　全校生徒 講話「大切な命について」	1	317

健康相談・訪問指導

電話相談(回)			来所相談(回)	訪問指導	
健診	予防接種	発育・発達		乳児	幼児
24	75	110	112	延べ80人	延べ81人

〈次頁へつづく〉

成果

1について

妊娠期から子育て期にかけて生じる様々なニーズに対し、保健師、栄養士、歯科衛生士等専門職種による相談支援を実施し、継続支援が必要な方には保健師が家庭訪問を行う等、保護者の不安軽減と育児に関する知識の向上を図った。ハイリスク者に対しては、保健師の早期介入と関係機関との連携により、良好な母子関係の構築を支援した。また、保育所・幼稚園、小・中学校と連携し食育や歯科保健事業を実施し、生活習慣や健康づくりに対する正しい知識の普及に努めると共に、小・中学生に対する思春期保健指導に力を入れ、児童・生徒が自分を大切にし、「自分の健康は自分で守る」ことができるよう正しい知識の普及と健康意識の向上に努めた。

4　款	1　項	4　目

実績

2　乳幼児健康診査事業

年度・内訳 / 診査区分	平成27年度 受診者/対象者(人)	平成27年度 受診率(%)	平成26年度 受診者/対象者(人)	平成26年度 受診率(%)
3～4か月児健康診査	71(1) ／ 71	100.0	67 ／ 69	97.1
1歳6か月児健康診査	78(1) ／ 79	98.7	71 ／ 72	98.6
2歳児歯科健康診査	75(2) ／ 85	88.2	58 ／ 73	79.5
2歳6か月児歯科健康診査	76(4) ／ 82	92.7	70 ／ 76	92.1
3歳6か月児健康診査	68(2) ／ 75	90.7	88 ／ 93	94.6
乳幼児精密健康診査	10 ／ 10	－	11 ／ 11	－

※(　)内は受診者のうち前年度未健者

＊乳幼児健診未受診理由

健診名	未受診者数(人)	未受診理由
3～4か月児健康診査	1	次回に実施(1)
1歳6か月児健康診査	2	次回に実施(1)、保護者が希望しない(1)
3歳6か月児健康診査	9	次回に実施(4)、保護者が希望しない(5)

＊乳幼児健診後の経過観察者については、児童相談所の乳幼児精神発達精密健康診査や希望園の紹介、医療機関の紹介等、母子の課題に合わせた相談先を紹介し、希望に合わせて保健師の同行も行っている。養育面で課題が見られる場合は個別に担当保健師が関わり、家庭訪問や保育所訪問、電話相談等を実施している。

3　妊婦・乳児一般健康診査

乳児一般健康診査	
2か月	8～9か月
67人	53人
合計　122人	

妊婦健康診査						
初回	12～15週	16～19週	20～23週	24～25週	26～27週	28～29週
75人	71人	70人	73人	74人	72人	71人
30～31週	32～33週	34～35週	36週	37週	38週	39週
69人	68人	64人	66人	62人	52人	35人
多胎用 0回分	延べ　922件(その他、18件は里帰り先で受診)					

＊妊娠中の健康管理と、経済的負担軽減のため、計14回の妊婦健診自己負担分を助成した。県外で受診する方については償還払いとして助成を行った。

＊乳児一般(2か月児・8～9か月児)健康診査、妊婦健康診査は、公益社団法人宮城県医師会に委託し実施した。

成果

2について
乳幼児健診の場において、子どもが健康に育つことができるよう、保護者に対し養育に関する個別相談に力を入れて実施した。未受診者への対応を強化するため、家庭訪問や児童相談所などの専門機関との連携し、その子らしい成長ができるよう支援を行った。また、虐待予防の観点から母親のメンタルヘルスに関して適宜相談に応じ、不安の軽減につながった。

3について
妊娠中に必要な全回数分の妊婦健康診査の助成を実施することにより、妊婦が経済的に不安なく、健康で無事な出産を迎えられるよう支援した。

一　般　会　計

4　款	1　項	5　目	環　境　衛　生　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	総務課環境防災班 水道事業所施設班
	58,035	57,506		

目標

町民の健全な環境衛生の意識高揚のため、ごみゼロ運動や秋の一斉清掃活動等を全町で実施し、ごみの減量化をはじめ環境美化を推進する。
また、公共下水道計画区域以外の区域において、合併処理浄化槽設置整備事業を推進し、町民の生活環境の向上と公共用水域の水質保全等を図る。

実績

【総務課 環境防災班所管】

1　ごみゼロ運動・秋の一斉清掃
・全町民参加のもと、ごみ拾いなど地域の清掃を行うことで環境美化意識の高揚を図り、環境保全への積極的な参加の機会を設けることで、町民相互間のコミュニケーションの場やきれいなまちづくりへの推進を図った。
○一斉清掃実施回数　2 回　（5・9月）
（各地区や各種団体において年間を通じて清掃活動を実施している）
○ごみ回収量　208 m^3

2　不法投棄廃棄物回収
・後を絶たない廃棄物の不法投棄について、NPO法人マリソル松島と共に不法投棄ごみの回収を行った。
○不法投棄廃棄物回収量　6 m^3
○不法投棄回収箇所数　2 箇所
（①高城～白坂沿い②長老坂利府町境～旧町道湯ノ原線沿い）

3　松島町環境美化推進員の設置
○環境美化推進員　24 名（各行政区2名）　○不法投棄防止巡回パトロール　334 回

4　犬の登録及び狂犬病予防注射
・窓口での申請事務手続きを行い、また、町内11会場において狂犬病予防集合注射を実施し、犬の登録及び狂犬病注射済票等の交付を実施した。

○犬の新規登録数　38 頭
○狂犬病予防注射済票交付頭数　629 頭（盲導犬1頭含む）
○狂犬病予防集合注射実施会場　11 会場（町内）

〈次頁へつづく〉

成果

【総務課 環境防災班所管】
住みよい環境づくりに向け、地域住民や各種団体、小中高校生が一体となって町内の環境美化運動を通し、ごみ減量化や再利用に関して意識高揚を図った。また、12行政区から各2名の計24名を環境美化推進員に委嘱して、ごみの不法投棄防止や早期発見、回収のため巡回パトロールを行っていただき、清潔な環境づくりを図った。
他方、公益社団法人宮城県獣医師会と連携し、町内11会場において狂犬病予防集合注射を実施し、狂犬病の感染予防に努めた。

【水道事業所 施設班所管】
公共下水道計画区域以外の区域における、合併処理浄化槽設置者に対して補助金を交付し、水洗化による生活環境の向上及び公共用水域の水質保全等に努めた。

4　款	1　項	5　目

実績

【水道事業所 施設班所管】

1　合併処理浄化槽設置整備事業

（事業内容）

合併処理浄化槽人槽区分	補助基数（基）	補助金額（円）
5　人槽	7（　0）	2,324,000
6　～　7　人槽	9（　0）	3,726,000
8　～　10　人槽	0（　0）	0
合　計	16（　0）	6,050,000

※上記表中、補助基数の内（　）の数字は、優良田園住宅「くぬぎ台」設置分である。

2　浄化槽法関連権限移譲事務処理実績

①浄化槽の設置等に関する届出受理件数（建築確認経由分を含む。） ※法第5条第1項、第2項、第4項、法第10条の2に基づく事務	30　件
②浄化槽管理者等への立入検査・報告徴収件数 ※法第12条、第53条に基づく事務	0　件
③浄化槽工事業者への指示件数 ※法第32条第1項に基づく事務	0　件

3　合併処理浄化槽設置等改造資金斡旋状況

（単位：件：円）

斡旋申請件数	斡旋金額	利子補給金額	
		予算計上額	決算額
1	1,000,000	185,000	3,050

合併処理浄化槽設置整備事業の整備状況

年　度	設置基数（基）	使用人口（実人口：人）	累計人口（人）	設置基数内訳（基）				総事業費（千円）	内訳（千円）			備　考
				5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上		国庫補助金	県補助金	一般財源	
平成　3～12　年度	140	685	685	6	39	87	8	100,542	33,512	33,512	33,518	
平成　13　年度	10	46	731	1	9	0	0	4,053	1,351	1,351	1,351	
平成　14　年度	10	41	772	1	9	0	0	4,053	1,351	1,351	1,351	
平成　15　年度	23	109	881	5	18	0	0	9,168	3,056	3,056	3,056	くぬぎ台=5人槽4基・7人槽3基=処理人口27人
平成　16　年度	28	120	1,001	7	20	1	0	11,217	3,739	3,739	3,739	くぬぎ台=5人槽6基・7人槽9基・10人槽1基=処理人口73人
平成　17　年度	25	101	1,102	6	18	1	0	10,041	3,347	3,347	3,347	くぬぎ台=5人槽5基・7人槽7基・10人槽1基=処理人口45人
平成　18　年度	15	46	1,148	6	8	1	0	5,913	3,450	1,463	1,000	補助金額改定
平成　19　年度	16	85	1,233	4	11	1	0	6,460	2,760	1,071	2,629	補助金額改定
平成　20　年度	12	54	1,287	4	8	0	0	4,640	966	773	2,901	
平成　21　年度	9	45	1,332	3	6	0	0	3,480	552	580	2,348	
平成　22　年度	5	23	1,355	1	4	0	0	1,988	87	331	1,570	
平成　23　年度	16	69	1,424	6	9	1	0	6,266	2,138	1,044	3,084	
平成　24　年度	42	206	1,630	13	26	3	0	17,138	5,326	2,787	9,025	
平成　25　年度	32	147	1,777	14	18	0	0	12,100	3,895	2,016	6,189	
平成　26　年度	9	31	1,808	6	3	0	0	3,234	1,078	0	2,156	
平成　27　年度	16	65	1,873	7	9	0	0	6,050	2,017	0	4,033	
計	408	1,873		90	215	95	8	206,343	68,625	56,421	81,297	

※補助金額（平成19年度より改定）　（単位：千円）

	5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上
17年度まで	354	411	519	981
18年度まで	342	414	537	939
現行(19年度から)	332	414	548	939

合 併 処 理 浄 化 槽 地 域 別 設 置 状 況

年 度	松 島		高 城		桜渡戸		手 樽		根 廻		初 原		幡 谷		竹 谷		北小泉		小 計	
	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数
平成 3～12 年度			9	35	6	22	46	232	12	63	20	98	27	133	12	57	8	45	140	685
平成 13 年度			2	10	1	3	3	13					4	20					10	46
平成 14 年度			4	17			1	1	1	6	1	4	2	9	1	4			10	41
平成 15 年度							4	18	1	5	1	5	11	50	5	28	1	3	23	109
平成 16 年度					1	4	3	14			1	6	18	75	3	11	2	10	28	120
平成 17 年度			1	4			3	18	3	13			16	55	1	6	1	5	25	101
平成 18 年度			1	3			1	3					12	37			1	3	15	46
平成 19 年度							1	6	1	5	1	7	9	48	3	16	1	3	16	85
平成 20 年度			1	5			2	5	2	8			7	36					12	54
平成 21 年度							2	11			1	4	3	13	3	17			9	45
平成 22 年度			1	5			2	11					2	7					5	23
平成 23 年度			4	16	2	9	3	12			2	7	5	25					16	69
平成 24 年度							10	55	4	17	1	5	16	76	9	44	2	9	42	206
平成 25 年度					1	4	4	16			1	4	17	82	7	32	2	9	32	147
平成 26 年度							6	21					3	10					9	31
平成 27 年度					3	13	5	17			2	6	3	10	2	12	1	7	16	65
計			23	95	14	55	96	453	24	117	31	146	155	686	46	227	19	94	408	1,873

し尿処理の状況（人口内訳の推移）

年度	計画処理区域面積	計画処理区域内世帯数	総人口	計画処理区域内人口	非水洗化人口			水洗化人口			浄化槽人口						水洗化率	備考
						し尿汲取り人口	自家処理人口		公共下水道人口	コミプラ人口		合併処理浄化槽人口				単独処理浄化槽人口		
													補助	農業	その他			
	(km^2)	(世帯)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	
平成 13 年度	54.00	5,461	16,990	16,990	5,947	5,947	0	11,043	8,139	0	2,904	972	731	0	241	1,932	65.0	
平成 14 年度	54.00	5,505	16,819	16,819	5,666	5,666	0	11,153	8,279	0	2,874	1,032	772	0	260	1,842	66.3	
平成 15 年度	54.00	5,492	16,649	16,649	5,148	5,148	0	11,501	8,480	0	3,021	1,184	881	0	303	1,837	69.1	
平成 16 年度	54.00	5,517	16,542	16,542	4,618	4,618	0	11,924	8,724	0	3,200	1,369	1,001	0	368	1,831	72.0	
平成 17 年度	54.00	5,549	16,420	16,420	4,259	4,259	0	12,161	8,872	0	3,289	1,473	1,102	0	371	1,816	74.0	
平成 18 年度	54.00	5,554	16,168	16,168	3,833	3,833	0	12,335	8,975	0	3,360	1,544	1,148	0	396	1,816	76.2	
平成 19 年度	54.00	5,477	15,863	15,863	3,314	3,314	0	12,549	9,104	0	3,445	1,629	1,233	0	396	1,816	79.1	
平成 20 年度	54.00	5,494	15,694	15,694	2,965	2,965	0	12,729	9,222	0	3,507	1,691	1,287	0	404	1,816	81.1	
平成 21 年度	54.00	5,496	15,540	15,540	2,680	2,680	0	12,860	9,303	0	3,557	1,741	1,332	0	409	1,816	82.7	
平成 22 年度	54.00	5,487	15,340	15,340	2,356	2,356	0	12,973	9,381	0	3,592	1,776	1,355	0	421	1,816	84.5	
平成 23 年度	54.00	5,495	15,255	15,255	2,122	2,122	0	13,133	9,465	0	3,668	1,852	1,424	0	428	1,816	86.0	
平成 24 年度	54.00	5,507	15,104	15,104	1,488	1,488	0	13,616	9,731	0	3,885	2,087	1,630	0	457	1,798	90.1	
平成 25 年度	54.00	5,576	15,040	15,040	946	946	0	14,094	10,075	0	4,019	2,239	1,777	0	462	1,780	93.7	
平成 26 年度	53.56	5,647	14,918	14,918	961	961	0	13,957	9,929	0	4,028	2,280	1,808	0	472	1,748	93.5	
平成 27 年度	53.56	5,683	14,817	14,817	896	896	0	13,921	9,251	0	4,670	2,929	1,873	0	1,056	1,741	93.9	

○人口は各年度の3月31日現在の人数とする。
○用語の解説
　コミプラ・・・コミュニティプラント　　補助・・・合併処理浄化槽設置整備事業により整備したもの　　農業・・・農業集落排水施設
○公共下水道、浄化槽等の人口は当該年度内に設置したもの

一　般　会　計

4　款	1　項	6　目	公　害　対　策　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	総務課環境防災班
	637	482		

目標

生活環境の騒音に関する実態を把握するため、町内5地点において騒音測定を実施する。

実績

1　自動車騒音測定

・町内主要幹線道路3地点について測定　（単位：dB）

測定地点	調査結果	
	昼　間	夜　間
①根廻交差点 （国道45号・三陸自動車道）	68	64
②初原町営住宅入口 （県道仙台松島線・三陸自動車道）	62	59
③磯崎長田 （奥松島松島公園線）	66	58
環境基準値	70	65
規制（要請限度）基準値	75	70

2　環境騒音測定

・町内2地点について測定　（単位：dB）

測定地点	調査結果	
	昼　間	夜　間
④華園集会場	47	37
⑤垣ノ内集会場	49	47
環境基準値	55	45

成果

自動車騒音測定を町内3地点で実施し、昼夜ともに要請限度及び環境基準を満足する結果であった。また、環境騒音測定を町内2施設で行い、供に昼の環境基準を満足する結果であったが、垣ノ内集会場の夜間については環境基準を2dB超過する結果であった。

一　般　会　計

4　款	2　項	1 2　目	塵芥処理費 し尿処理費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	総務課環境防災班
	174,843 46,248	173,237 46,248		

目標

一般廃棄物の処理に関する計画に基づき、収集運搬を行うと供に廃棄物の減量化を図り、再利用を促進することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。
また、町内のし尿・汚泥の処理を促進し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

実績

1　ごみ処理実績

（単位：ｔ）

区分	種別＼年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
生活系ごみ	可燃ごみ	2,992	3,039	2,949
	不燃ごみ	92	89	99
	プラスチック製容器包装	90	93	106
	粗大ごみ	185	200	197
	資源物	665	695	692
	小計	4,024	4,116	4,043
事業系ごみ	可燃ごみ	1,709	1,764	1,779
	不燃ごみ	7	6	7
	小計	1,716	1,770	1,786
直接搬入ごみ		564	701	843
合計		6,304	6,587	6,672

2　ごみ処理施設等見学・研修会

【見学施設】(株)中村環境相馬工場（福島県相馬市）　　仙南リサイクルセンター（柴田町）
(株)ジェー・エー・シー資源リサイクル工場(蔵王町)

・見学会実施回数　6 回　　・参加者数　110 名

3　し尿・汚泥処理実績

種別＼年度	平成27年度 (kℓ)	平成26年度 (kℓ)	前年比 (%)
し尿	3,110	3,358	92.6
汚泥	1,411	1,118	126.2

成果

生活系のごみについては、町内199箇所に設置した集積所より、町委託業者が収集し、事業所が排出する事業系ごみは、当該許可業者が収集し、これらのごみを、宮城東部衛生処理組合の焼却施設や森郷埋立地に運搬して処理を行った。ごみ搬入量は、前年度より283tの減少となった。
また、年4日の移動祝日（ハッピーマンデー）には対象地区の可燃ごみの回収を実地し、公衆衛生の保全に努めた。
廃棄物の発生抑制・減量化・再資源化の推進及び啓発活動を実施するとともに、公衆衛生組合連合会との連携により、集積所での分別収集の必要性を指導することで、3R{発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）・再生利用（リサイクル）}の意識高揚を図った。
塩釜地区環境センターにおいて、し尿及び汚泥を処理し、公衆衛生の保全に努めた。

一　般　会　計

5　款	1　項	1　目	勤労青少年ホーム費	（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	勤労青少年ホーム
	9,929	8,891		

目標

施設の有効活用のために町民への貸出しや自主グループの育成を図る。
また、ITルーム及び図書室については、利用促進に努め、知識や教養を培う場として管理運営を行う。

実績

1　講座・事業等

名称	内容	期日	回数
図書巡回文庫	幼稚園、保育所、児童館、小学校など計9箇所に移動文庫を設置し、子どもが本と触れ合い親しむ機会の提供を行った。	毎月	○幼稚園、小学校11回 ○保育所、児童館12回
家族ふれあい料理教室	町内ホテルのシェフ指導の下、小学生とその家族を対象に松島の食材を使った料理作りを行い、料理を作る喜びや食べる楽しみを体験した。	12月20日	1回
パソコン講座	初心者を対象に、パソコンを利用する上で役に立つ基礎知識や基本的な操作方法から応用に至るまでの解説・指導を行った。	11月～12月	30回 （8講座）

・松島町勤労青少年ホーム運営委員会（2回）
第1回　12月1日　　第2回　3月25日

2　平成27年度施設利用状況
・集会室、講座室、音楽室、調理室

区分	平成 27 年度		平成 26 年度	
	利用回数（回）	利用人数（人）	利用回数（回）	利用人数（人）
一般	792	5,562	830	6,247

〈次頁へつづく〉

成果

勤労青少年の健全な育成と福祉の増進を図るため、貸館業務や各種講座を開催し、町民の学習意欲の向上を図った。
ITルームについては、パソコン講座で基本的な操作方法や文書作成・表計算・インターネットなどの知識と技術の習得を図った。
図書室については、一般図書や子ども向けの図書を中心に購入し、児童図書の充実と親子で利用できる環境整備を図ることができた。
また、春には「子ども読書の日ブックラリー」、夏にはキッズルームにて、「子どもの本移動展示会」、秋には「秋のブックラリー」を開催して、本町の図書室利用及び読書の推進を図った。

5　款	1　項	1　目

実績

・ITルーム

区　分	利用人数(人)
小・中学生	740
高校・大学生	32
一　般	79
パソコン講座	269
合　計	1,120

・図書室

利用人数等

	区　分	利用人数及び貸出冊数		1日平均	
		人数(人)	冊数(冊)	人数(人)	冊数(冊)
松島分	一　般	5,740	17,715	18.9	58.3
	児　童	1,504	6,402	4.9	21.1
仙台都市圏	一　般	135	326	0.4	1.1
町　外	一　般	27	79	0.1	0.3
県図書	一　般	170	615	0.6	2.0
閲覧者	全	4,518	－	14.9	－
合　計	－	12,094	25,137	39.8	82.7

※開館日数　304日

※上表に、図書巡回文庫の利用は含まない。

ブックラリー参加者

	実施期間	参加者数(人)	貸出冊数(冊)
春のブックラリー	4月25日から5月31日まで	25	250
秋のブックラリー	10月24日から11月29日まで	34	340

※上表は、「利用人数等」の利用人数、冊数に含む。

子どもの本移動展示会

実施期間　平成27年8月11日から8月22日まで　11日間(休館日を除く)

展示冊数　400冊　・　期間中の閲覧者数　約100人

※「子どもの本移動展示会」は県内の希望する市町村図書館・図書室を巡回展示し、児童書に触れる機会や新しい本との出会いの場として、また選書の参考として宮城県図書館が実施する事業である。

※「子どもの本移動展示会」閲覧者数は、「利用人数等」の閲覧者に含まない。

蔵書内訳

区　分	蔵書冊	蔵書比率
一般図書	30,564	70.40 %
児童図書	11,672	26.89 %
洋　書	184	0.42 %
参考書	22	0.05 %
郷土資料	971	2.24 %
合　計	43,413	100 %

※平成28年3月末日の蔵書冊数は、43,413冊である。

(平成27年度新刊図書　一般図書 596冊　児童図書 166冊　郷土資料 17冊　洋書1冊 計 780冊)

一　般　会　計

5　款	1　項	2　目	労　働　諸　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	産業観光課産業振興班
	38,790	38,781		

目標

中小企業勤労者の生活向上及び安定の推進のため、融資制度の推進を図る。
また、高年齢者や若者に対して就業機会の支援を図る。

実績

1　勤労者福祉一般預託金　30,000,000 円

・貸付限度額　個人・団体会員　1億円、貸付期間　最長35年
（住宅35年、教育ローン15年、無担保住宅ローン20年、マイカーローン10年等）
・利用者数　32 件　貸付総額　143,510 千円

2　松島町勤労者生活安定資金融資預託金　3,000,000 円

・貸付限度額　150万円以内、貸付期間5年以内、利率2.50%
・利用者数　0 件　貸付総額　0 円

3　(公社)松島町シルバー人材センター事業補助金　5,600,000 円

・平成27年度会員数　113 人
・受注件数　450 件
・契約金額　35,916 千円

受注件数内訳
公共事業　21 件
民間事業　429 件

成果

中小企業に勤務する勤労者の福祉増進が図られた。
また、シルバー人材センターの会員減少対応として町広報紙に募集記事を掲載したり、チラシの折り込みをすることによって、日頃の活動内容等についての周知を図り、働く意欲のある高齢者の就業機会の確保等支援に努めた。

一　般　会　計

6　款	1　項	1　目	農　業　委　員　会　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	産業観光課産業振興班
	14,008	13,468		

目標

農地の売買、使用貸借、賃貸借、利用権設定等の権利移動や農地転用に関し、農地法及び他法令等による基準に基づく農地の公平・公正な審査業務を実施する。
また、認定農業者の育成と認定農業者等の担い手への農用地利用集積の推進を図る。
さらに、農業者年金制度の事務手続を円滑に実施し、農業者の老後生活の安定と農村福祉の向上に資する。

実績

1　農業委員会活動

・農地法第3条の規定による所有権の移転、使用貸借権の設定
13 件　100,910.75 m²　（ 前年度　22 件　83,508.09 m² ）
・農地法第4条の規定による農地の転用
6 件　12,703 m²　（ 前年度　0 件　0 m² ）
・農地法第5条の規定による農地の転用
11 件　39,377 m²　（ 前年度　7 件　5,344.55 m² ）
・農地法第4条第1項第7号による転用届出（市街化区域内）
0 件　0 m²　（ 前年度　0 件　0 m² ）
・農地法第5条第1項第6号による転用届出（市街化区域内）
1 件　874 m²　（ 前年度　2 件　1,298 m² ）
・非農地証明願
14 件　23,802.30 m²　（ 前年度　17 件　28,612.12 m² ）
・農地移動適正化あっせん事業による農地売買あっせん
0 件　0 m²　（ 前年度　0 件　0 m² ）
・農地中間管理事業における農用地利用配分（案）
74 件　534,845.70 m²　（ 前年度　1 件　5,729 m² ）

2　農業経営基盤強化法による農用地利用集積活動

・所有権の移転
1 件　3,555 m²　（ 前年度　5 件　18,860 m² ）
・利用権の設定
117 件　908,363.70 m²　（ 前年度　27 件　127,753 m² ）

3　農業者年金事業

・受給者　133 人　（ 前年度　146 人 ）

成果

農業委員会活動については、農地法の規定による許可申請に対する許可及び意見決定の処理のための定期総会を12回開催した。また、農地パトロール実施や女性農業者に対する研修会を実施した。
農業経営基盤強化法による農用地利用集積活動については、農業経営基盤強化促進法規定による、認定農業者、担い手農家への利用集積（所有権移転、利用権設定）計画に対し、農業委員会として意見決定を行い、円滑な事務手続きを図った。
みやぎの農地中間管理事業を活用して農地の有効利用と、認定農業者の担い手へ農地集積を図った。
農業者年金事業については、農業者年金基金法に基づき、受給該当者及び加入対象者に対し、随時相談に応じ円滑な事務手続きを図った。

一　般　会　計

6　款	1　項	3　目	農　業　振　興　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	産業観光課産業振興班 建設課管理班
	411,405	23,308		

目標

水田農業については、水田農業構造改革対策に基づき、「松島町地域水田農業ビジョン」を指針として、水稲の生産調整の円滑な実施と認定農業者及び生産組織等の担い手による集団転作・遊休農地の活用等を推進する。また、農業関係の各種団体の活動への支援と農業制度資金への支援を実施し、農業振興と農業経営の安定に資する。

品井沼農村環境改善センターについては、指定管理者制度による施設管理として経費節減と施設の有効利用を図る。

実績

【産業観光課 産業振興班所管】

1　産地づくり対策事業（地域とも補償推進対策）

・地域水田農業の確立を目指し、稲作と転作の複合経営に資するため転作集団組織の連携を図るとともに、生産組織等の育成と生産組織への作業委託の推進を図り、集団転作を実施した。

とも補償拠出	21,372,000 円
町補助金	1,500,000 円
農協負担金	2,671,000 円
計	25,543,000 円

対象水田：	847.0 ha
生産数量目標面積：	535.0 ha
転作率：	34.21 %
主食用水稲作付面積：	507.3 ha
実施農家数：	543 戸

（転作実施面積）	339.7 ha
一般作物	138.2 ha
大豆	53.0 ha
飼料用米	75.5 ha
WCS	5.6 ha
飼料作物	4.1 ha
永年作物（果樹・花木他）	4.0 ha
特例作物（野菜）	30.7 ha
調整水田	1.8 ha
自己保全管理	112.1 ha
加工用米・備蓄米	38.3 ha
その他	14.6 ha

左記の内（集団転作）	98.8 ha
(有)F・F磯崎（飼料用米）	15.5 ha
古浦営農生産組合（大豆）	7.7 ha
(有)ｾﾝﾄﾗﾙﾗｲｽ中通（飼料用米・大豆等）	6.6 ha
松島町小ヶ谷生産組合（大豆）	7.2 ha
ｱｸﾞﾘｻｰﾋﾞｽ土手外（WCS・飼料用米・大豆）	16.8 ha
松島前の沢生産組合（飼料用米・大豆）	15.4 ha
ｸﾞﾘｰﾝﾌｧｰﾑ松島（大豆・そば）	27.7 ha
根廻転作組合（飼料用米・景観形成作物）	1.9 ha

〈次頁へつづく〉

成果

【産業観光課 産業振興班所管】

水稲の生産調整については、松島町地域農業推進協議会を構成する仙台農業協同組合等の関係機関と連携し、認定農業者及び生産組織等の担い手を主体として、大豆等の集団転作を推進し、産地づくり対策事業により円滑に実施された。また、農業制度資金への支援措置により農業経営の安定に資することができた。

品井沼農村環境改善センターの管理運営については、指定管理者による適切な管理運営がなされた。

【建設課 管理班所管】

手樽海浜公園他3箇所の維持管理を実施することで環境を整備することができた。

6　款	1　項	3　目

実績

2　経営所得安定対策等推進事業

・　協議会を構成する町、農協等の関係者が連携し、地域の実情に応じて、各種説明会や農協の地区別懇談会等を活用し、本対策の趣旨、内容の周知等の推進活動を行った。

○ 事業主体　　松島町地域農業推進協議会
○ 補助額　　1,604,000 円
○ 国から農業者への交付実績

米の直接支払交付金	316 件	34,420,000 円
水田活用の直接支払交付金	48 件	87,599,167 円
産地資金	106 件	20,590,918 円
合計	470 件	142,610,085 円

3　農業制度資金融資事業

・農業経営基盤強化資金利子助成事業
○ 融資対象農家数　　4 戸
○ 利子助成額　　190,750 円

4　品井沼農村環境改善センター指定管理料　　4,236,000 円

○ 利用件数　　769 件
○ 利用者数　　10,559 人

5　松島町の主食用水稲作付面積

作物名 / 年度	主食用水稲作付面積 ha
平成22年度	578
平成23年度	558
平成24年度	574
平成25年度	566
平成26年度	548
平成27年度	507

農家数

単位:戸

販売農家		293
	専業農家	52
	第1種兼業	42
	第2種兼業	199
自給的農家		115
合　計		408

(2015年農林業センサスより)
※経営耕地面積が30a以上の規模の農家が対象

6　JA仙台出荷農産物(JA仙台資料)

分類 / 単位	環境保全米 t	一般米 t	加工用米・備蓄米 t	飼料用米 t	大豆 t
平成25年度	592	1,163	148	178	63
平成26年度	554	1,137	194	190	51
平成27年度	506	915	201	840	75

〈次頁へつづく〉

6　款	1　項	3　目

実績

7　緊急雇用創出事業

・ 松島町ウミネコ等被害防止対策事業業務委託　9,936,000 円

○雇用人数　2 名

○ 業務概要
ウミネコの営巣地である磯島の草刈りや個体数調査を行い、松林へのウミネコ被害の軽減に向け、営巣しにくい環境整備に努めた。

【建設課 管理班所管】

◇　手樽海浜公園　農村公園（古浦　上竹谷　下竹谷・北小泉）の維持管理

1　役務費 （手数料） 事業系ごみ処理手数料　1,471,833 円

・ 除草した草の処理料　1,078,920 円
・ 伐採した松の処理料　316,872 円
・ し尿汲取料　76,041 円

2　委託料　2,232,360 円

・ 手樽海浜公園除草業務委託 （年2回実施）　1,252,800 円
・ 手樽海浜公園清掃業務委託 （週1回実施）　604,800 円
・ 手樽海浜公園他遊具定期点検業務委託 （年1回実施）　46,440 円
・ 手樽海浜公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託 （月1回実施）　59,400 円
・ 手樽海浜公園公衆便所浄化槽清掃業務委託 （年1回実施）　268,920 円

一　般　会　計

6　款	1　項	4　目	農　地　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	産業観光課産業振興班 建設課建設班 建設課管理班
	52,373	50,591		

目標

松島農業振興地域整備計画に位置づけられている農業生産基盤整備事業を、各種農業・農村整備事業により実施し、優良農地の区画整理による効率的利用と、基幹水利施設の整備により、湛水・冠水被害の防止を図り、農作物の安定生産と農業経営の効率化に資する。

また、農業生産基盤整備と土地改良施設の整備改修等により、農地の保全と農業用排水等の円滑化を図り、農作物の安定生産と農作業の効率化に努める。

実績

【産業観光課 産業振興班所管】

1　県営経営体育成基盤整備事業負担金（下志田地区）（受益12%）

・負担金　360,000 円　（事業費 30,000,000円）
・事業量　付帯工　一式

2　多面的機能支払交付金に係る事業補助金

・協議会数　9協議会
・補助金　18,826,990円

3　農業経営高度化支援事業補助金　12,006,000円

〈次頁へつづく〉

成果

【産業観光課 産業振興班所管】

県営経営体育成基盤整備事業（下志田地区）については、当初の予定通り付帯工が実施され、地権者等の意見が反映された。

多面的機能支払交付金事業については、各地域の9協議会によって道刈り・泥上げ等が実施され、地域環境等の保全管理が図られた。

【建設課 建設班所管】

県営かんがい排水事業については、用水路工事を実施し、農業用排水等の円滑化が図られた。

農村地域復興再生基盤総合整備事業（手樽地区）については、事業計画書作成業務と排水機場の設計業務を実施し、老朽化した銭神排水機場に代わる施設の新設に向け事業進捗が図られた。

土地改良施設維持管理経費については、ため池のネットフェンス設置工事を実施し、転落事故防止が図られた。

6　款	1　項	4　目

実績

【建設課 建設班所管】

1　県営土地改良事業負担金　10,209,000 円

・県営かんがい排水事業負担金(銭神地区)
　負担金　2,389,000 円　(事業費 135,000,000円)
　事業量　用水路工
　(大型フリューム:B2,100×H1,300) L=326m

・農村地域復興再生基盤総合整備事業負担金 (手樽地区)
　負担金　7,820,000 円　(事業費　27,240,000円)
　事業量　事業計画書作成業務
　排水機場設計業務

2　工事請負費　2,499,120 円

・惣利田ため池外フェンス設置工事　1,242,000 円
　ネットフェンス設置工(H=1,200) L=84m
　門扉設置工 N=1基

・農道弁天１号線外舗装補修工事　1,257,120 円
　As舗装工 A=90㎡

【建設課 管理班所管】

◇　土地改良施設の維持管理

1　委託料

・土地改良施設維持管理業務委託 (水路補修等)　1,944,000 円

2　原材料費

・維持管理用原材料 (側溝蓋等)　99,984 円

一　般　会　計

6　款	1　項	5　目	園　芸　振　興　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	産業観光課産業振興班
	1,588	1,488		

目標	「まつの市」「産業まつり」への支援を行い、地産地消の推進を図る。
実績	1　地産地消の推進 ・松島町、仙台農業協同組合松島支店、宮城県漁業協同組合松島支所、利府松島商工会、(一社)松島観光協会、宮城中央森林組合の関係機関団体の支援を受け、松島町内の農林水産関係各種団体で設立された「松島町地産地消実行委員会」により、安心・安全な地場産の農林水産物の提供と生産者と消費者が交流を楽しめる「まつの市」と「産業まつり」等が実施され、地産地消の推進が図られた。 ○「松島のマルシェまつの市」 開催時期：6月・7月・8月・9月　4回開催 会　場：松島町役場駐車場 参加団体：平均 12団体 延来場者：1,250人 総販売額：962,400円 ○「まつしま産業まつり」 開催日時：11月1日 会　場：文化観光交流館駐車場 参加団体：40団体 延来場者：10,000人 販 売 額：2,887,645円 ○埼玉県滑川町開催「滑川まつり」 開催日時：11月3日 会　場：滑川町総合運動公園 出店団体：5団体（松島町） 販 売 額 ：571,550円 ○ 補助額　松島町地産地消実行委員会　300,000 円 2　地域資源活用事業 ・農業関係機関と一体となった連携組織により、味噌・漬け物等の地場産品の商品化研究と販売促進を図った。 ○ 事業主体　For’00松島・夢・農業農村活性化推進協議会 ○ 補助額　500,000 円
成果	地産地消支援事業としては、まつの市が4回、11月には産業まつりが実施され、地場産の新鮮な農林水産物の提供がなされ、生産者と消費者の交流が図られた。

一　般　会　計

6　款	1　項	6　目	畜　産　振　興　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	産業観光課産業振興班
	320	320		

目標

稲作と畜産の複合経営推進のため、畜産団体への支援を図る。

実績

1　和牛生産団体育成支援事業

・事業主体　松島町和牛改良組合（17戸）
・補助額　50,000 円
・事業内容
　繁殖牛の資質向上による優良仔牛の生産並びに母牛の生産率向上
　町内産優良仔牛の保留

2　平成27年出荷実績

・仔牛出荷頭数　86 頭
・仔牛出荷額　57,067,000 円

3　松島町の飼養頭羽数

年度＼作物名	繁殖牛 頭	乳用牛 頭	繁殖豚 頭	採卵鶏 千羽
平成22年度	148	41	40	153
平成23年度	176	40	0	203
平成24年度	135	38	0	203
平成25年度	128	28	0	155
平成26年度	125	26	0	151
平成27年度	121	24	0	193

成果

稲作と畜産の複合経営推進のため、畜産団体への支援措置を行った。

一　般　会　計

6　款	1　項	7　目	農業振興地域整備事業費	（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	産業観光課産業振興班
	22,442	22,354		

目標

農振法に基づく農振農用地の適正な管理と、農業経営基盤強化法に基づく認定農業者の認定、集落営農組織の設立への支援を実施する。
また、担い手への農地の利用集積を促進する支援制度により、農業経営の基盤強化と効率化を図る。

実績

1　新規就農者促進対策資金利子補給事業

・融資対象農家数　1 戸

・利子助成額　2,195 円

2　認定農業者連絡協議会育成支援事業

・事業主体　松島町認定農業者連絡協議会（52経営体）

・補助額　50,000 円

・事業内容
○ 松島町農業委員との意見交換会及び講演会
○ 農業経営確立セミナー等各種講演会、説明会への参加

3　農業経営基盤強化法等に基づく審査

・農業振興対策委員会開催数　6 回

・遊休農地等対策委員会開催数　1 回

4　農地集積･集約化対策事業補助金

	地域集積協力金	経営転換協力金	耕作者集積協力金
補助対象	2地区	29戸	8戸
補助金額	7,432千円	13,500千円	1,264千円

・事業内容
農地中間管理機構を活用し、地域の担い手に対して農地の集積に協力した農業者及び農地集積率の向上を図った地域への協力金

成果

認定農業者、集落営農組織への農地の利用集積が図られた。また、新規就農者促進対策資金利子補給事業を実施し、農業経営の基盤強化が図られた。さらに、農業経営改善計画作成の基礎資料となる各種農地データの収集整理がなされた。

一　般　会　計

6　款	2　項	2　目	林　業　振　興　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	産業観光課産業振興産班
	46,964	46,837		

目標

町内の森林を適正に保護するとともに、自然環境の保全を推進する。
特別名勝「松島」地域内の松林の景観保持・保全のため、松くい虫被害の拡大防止を図る。
林業関係各種団体の事業を支援し、林業振興と緑化推進を図る。

実績

1　松くい虫防除事業

・特別防除事業（空中散布）

区　分	実施面積(ha)	事　業　費（円）	主な実施箇所
宮城県分	53.98	3,000,731	雁金森・湯ノ原 白坂山・三十刈
松島町分	43.59	2,423,156	
全　体	97.57	5,423,887	

事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注

・地上散布事業

区　分	実施面積(ha)	事　業　費（円）	主な実施箇所
宮城県分	30.27	2,709,666	大沢平・雁金森 東浜・名籠・銭神 西ノ浜・長松園
松島町分	33.90	2,889,810	
全　体	64.17	5,599,476	

事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注

・伐倒駆除事業（上段：H26実績・下段：H27実績）

区　分	被害本数(本)	材積(m^3)	事業費(円)
補助対象	518	406.391	13,585,137
	284	345.143	12,559,506
対象外	129	117.274	3,231,543
	310	298.202	11,216,694
計	647	523.665	16,816,680
	594	643.345	23,776,200

・松くい虫被害木調査業務委託　　864,000 円

〈次頁へつづく〉

成果

特別名勝「松島」地域内の松林を保全するため、松くい虫防除対策として、薬剤散布事業を実施するとともに、被害拡大防止のため、伐倒駆除事業を実施した。
長松園森林公園、治祐ヶ森に道刈りを行い、町有林の管理を継続的に実施し、公園環境の向上が図られた。
町緑化推進委員会及び森林組合等の林業関係団体の活動を積極的な支援により、各団体を通じて町内の森林環境の整備等が図られた。

6　款	2　項	2　目

実績

・抵抗性松植樹箇所下刈業務委託　378,000 円

抵抗性松を植栽した4箇所において、下草の刈払い集積を行った。

○ 大沢平(パノラマ線沿線)	刈払面積	1,200 ㎡
○ 雁金森	刈払面積	1,750 ㎡
○ 西ノ浜	刈払面積	2,100 ㎡
○ 双観山	刈払面積	1,500 ㎡

2　林業振興事業

・長松園等生活環境保全林施設管理及び道刈業務委託　4,644,000 円
○刈払面積:152,800㎡

・ふれあいの森づくり事業業務委託　1,188,000 円
○対象地:松島町根廻字清水地内(長松園)
○モミジ植樹:100本, ヤマボウシ植樹:15本, コシアブラ植樹:15本,
ヤマツツジ植樹:10本, センノキ植樹:10本

3　林業団体活動育成事業補助

No.	団 体 名 等	補助額
(1)	広域森林組合運営推進事業補助	200,000 円
(2)	松島町緑化推進委員会緑化推進事業補助	200,000 円

主な事業内容
(1)林業振興・林業諸施策等の情報提供及び林業後継者の育成・組織強化への支援
(2)町内の緑化活動、みどりの少年団育成への支援

(参考)
※広域森林組合運営推進事業助成に係る関係市町負担金一覧

松島町	200,000 円
岩沼市	153,000 円
名取市	222,300 円
利府町	200,000 円
亘理町	135,000 円

4　緊急雇用創出事業

・松島町山林等整備事業業務委託　8,919,720 円
○雇用人数　3 名
○事業概要　被災求職者を雇用し、松島町内の未整備山林・竹林等で木や竹が混み合っている箇所の間伐・作業道路の整備・施肥等の作業を行った。また併せて、森林施業に関する基礎研修(OFF－JT)及び実務研修(OJT)等を実施し、地域のニーズに応じた人材育成及び就労支援を通して雇用者の安定した雇用を図った。

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策（被害発生状況）

1，年度別松くい虫被害発生状況

平成28年3月末現在　（単位：m³）

年度 / 市町	昭和 52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元
塩竈市	63	207	88	52	37	16	18	11	30	41	41	65	249
多賀城市	4	1	－	－	3	－	－	－	－	－	4	－	－
松島町	19	12	7	11	20	9	6	21	25	57	45	45	61
七ヶ浜町	41	45	5	13	9	2	7	10	11	4	19	9	63
利府町	23	6	14	10	1	1	6	11	3	18	13	24	7
東松島市（旧鳴瀬町）	78	76	25	68	30	109	107	277	846	765	1,058	1,560	1,315
特別名勝計(A)	228	347	139	154	100	137	144	330	915	885	1,180	1,703	1,695
県全体　(B)	532	1,452	1,784	2,521	3,661	5,181	5,826	7,797	12,841	14,060	14,324	13,952	13,756
(A)／(B)　(%)	42.9	23.9	7.8	6.1	2.7	2.6	2.5	4.2	7.1	6.3	8.2	12.2	12.3

年度 / 市町	平成 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
塩竈市	923	281	456	561	313	1,719	2,644	1,473	1,235	900	688	316	1,298
多賀城市	－	1	16	27	15	50	13	10	－	34	－	－	－
松島町	277	415	249	923	602	1,189	1,198	1,178	628	622	637	827	887
七ヶ浜町	188	158	207	306	469	362	760	1,863	1,060	1,351	389	1,048	907
利府町	22	23	35	19	169	370	524	1,414	896	871	651	459	734
東松島市（旧鳴瀬町）	1,699	1,952	2,203	1,865	2,502	3,115	3,108	3,819	4,173	5,300	2,595	1,884	1,682
特別名勝計(A)	3,109	2,830	3,166	3,701	4,070	6,805	8,247	9,757	7,992	9,078	4,960	4,534	5,508
県全体　(B)	18,552	18,255	18,402	17,651	21,185	27,731	28,986	28,353	26,195	26,287	20,465	21,562	23,447
(A)／(B)　(%)	16.8	15.5	17.2	21.0	19.2	24.5	28.5	34.4	30.5	34.5	24.2	21.0	23.5

年度 / 市町	平成 15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
塩竈市	574	364	293	325	364	198	120	206	261	617	708	223	518
多賀城市	－	15	9	3	－	－	－	－	－	－	1	―	―
松島町	737	734	959	643	779	577	457	506	312	655	933	1,658	3,192
七ヶ浜町	1,276	654	429	630	256	161	125	134	157	349	2167	987	1,249
利府町	1,037	1,198	773	1111	672	597	260	308	40	649	731	1,069	1,513
東松島市	1,982	1,607	2,250	1,715	1,705	1,681	1,751	2,041	1,014	3,357	3,665	3,503	2,884
特別名勝計(A)	5,606	4,572	4,713	4,427	3,776	3,214	2,713	3,195	1,784	5,627	8,205	7,440	9,356
県全体　(B)	23,455	23,132	19,253	18,428	17,445	14,213	13,742	13,742	11,160	15,401	17,335	15,208	16,523
(A)／(B)　(%)	23.9	19.8	24.5	24.0	21.6	22.6	19.7	23.2	16.0	36.5	47.3	48.9	56.6

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策（防除事業実施状況：空中散布）

２－１，年度別松くい虫防除事業実施状況（空中散布）

（単位：ha）

	年度 / 市町	昭和 52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元
空中散布	塩竈市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	100	100	110	110	113	113	113	150	150	150	160	160	160
	七ヶ浜町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	利府町	88	88	78	78	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東松島市（旧鳴瀬町）	132	146	20	30	32	33	33	33	33	156	156	188	189
	特別名勝計（D）	320	334	208	218	145	146	146	183	183	306	316	348	349
	県全体　（E）	493	472	548	539	467	327	327	391	424	577	622	636	654
	（D）／（E）（%）	64.9	70.8	38.0	40.4	31.0	44.6	44.6	46.8	43.2	53.0	50.8	54.7	53.4

	年度 / 市町	平成 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	平成 14
空中散布	塩竈市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	160	160	100	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90
	七ヶ浜町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	利府町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東松島市（旧鳴瀬町）	189	182	96	75	75	73	73	73	73	73	73	73	73
	特別名勝計（D）	349	342	196	165	165	163	163	163	163	163	163	163	163
	県全体　（E）	647	625	402	312	312	310	344	459	388	386	418	417	415
	（D）／（E）（%）	53.9	54.7	48.8	52.9	52.9	52.6	47.4	35.5	42.0	42.2	39.0	39.1	39.3

	年度 / 市町	平成 15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
空中散布	塩竈市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	90	98	98	98	98	98	98	98	－	－	98	98	98
	七ヶ浜町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	利府町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東松島市	73	73	73	73	67	67	67	67	－	－	67	61	58
	特別名勝計（D）	163	171	171	171	165	165	165	165	－	－	165	159	156
	県全体　（E）	415	434	392	392	386	386	386	386	－	－	386	379	377
	（D）／（E）（%）	39.3	39.4	43.6	43.6	42.7	42.7	42.7	42.7	－	－	42.7	42.0	41.4

※H23,24は東日本大震災の影響ため実施せず

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策（防除事業実施状況：地上散布）

２－２，年度別松くい虫防除事業実施状況（地上散布）

（単位：ha）

	年度 / 市町	昭和 52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元
地上散布	塩竈市	10	10	10	9	9	－	－	－	－	－	－	－	－
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	96	96	80	80	80	80	80	90	90	90	75	73	73
	七ヶ浜町	5	5	5	4	4	－	－	－	－	－	－	－	－
	利府町	31	31	22	22	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東松島市（旧鳴瀬町）	15	15	8	12	15	－	－	－	－	－	－	10	15
	特別名勝計（D）	157	157	125	127	108	80	80	90	90	90	75	83	88
	県全体　（E）	174	174	160	150	133	88	93	103	115	120	138	192	196
	（D）／（E）（%）	90.2	90.2	78.1	84.7	81.2	90.9	86.0	87.4	78.3	75.0	54.3	43.2	44.9

	年度 / 市町	平成 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
地上散布	塩竈市	6	6	6	6	6	6	6	22	22	22	22	22	22
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	73	73	74	74	74	74	74	91	91	91	90	94	62
	七ヶ浜町	－	－	－	－	－	－	40	40	40	61	50	45	45
	利府町	－	－	－	－	－	－	11	11	14	15	15	13	8
	東松島市（旧鳴瀬町）	15	17	17	17	17	17	17	17	17	37	37	37	37
	特別名勝計（D）	94	96	97	97	97	97	148	181	184	226	214	211	174
	県全体　（E）	203	207	240	243	279	323	412	477	452	540	478	487	487
	（D）／（E）（%）	46.3	46.4	40.4	39.9	34.8	30.0	35.9	37.9	40.7	41.9	44.8	43.3	35.7

	年度 / 市町	平成 15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
地上散布	塩竈市	22	22	22	22	22	22	22	22	19	19	19	19	19
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	62	62	62	62	61	66	65	65	43	65	65	64	64
	七ヶ浜町	50	50	50	51	50	50	50	50	0	28	36	36	35
	利府町	8	8	8	9	8	8	8	8	0	6	8	8	8
	東松島市	37	26	37	67	68	67	67	67	0	8	－	－	－
	特別名勝計（D）	179	168	179	211	209	213	212	212	62	126	128	127	126
	県全体　（E）	490	524	430	593	547	580	577	586	106	200	227	223	221
	（D）／（E）（%）	36.5	32.1	41.6	35.6	38.2	36.7	36.7	36.2	58.5	63.0	56.4	57.0	57.0

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策（防除事業実施状況：樹幹注入）

２－３，年度別松くい虫防除事業実施状況（樹幹注入）

（単位：本）

	年度 / 市町	昭和 52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元
樹幹注入	塩竈市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	25	20
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	－	－	－	－	－	－	－	746	1,367	1,198	738	585	738
	七ヶ浜町	－	－	－	－	－	－	－	－	21	－	21	21	20
	利府町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東松島市（旧鳴瀬町）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	特別名勝計（D）	0	0	0	0	0	0	0	746	1,388	1,198	759	631	778
	県全体　（E）	0	0	0	0	0	0	0	746	1,794	1,649	1,266	1,178	1,412
	（D）／（E）（%）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	77.4	72.7	60.0	53.6	55.1

	年度 / 市町	平成 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
樹幹注入	塩竈市	90	66	139	69	90	69	154	776	848	1,097	832	841	900
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	60	34	76	28
	松島町	708	738	725	833	793	838	793	838	887	819	419	588	661
	七ヶ浜町	22	23	21	22	25	25	68	105	114	243	466	81	269
	利府町	－	－	－	－	－	21	58	60	101	115	177	140	111
	東松島市（旧鳴瀬町）	－	53	47	112	422	440	780	702	613	366	－	596	394
	特別名勝計（D）	820	880	932	1,036	1,330	1,393	1,853	2,481	2,563	2,700	1,928	2,322	2,363
	県全体　（E）	1,611	1,702	1,951	3,213	3,463	3,629	4,130	4,845	4,787	4,480	3,392	4,318	4,337
	（D）／（E）（%）	50.9	51.7	47.8	32.2	38.4	38.4	44.9	51.2	53.5	60.3	56.8	53.8	54.5

	年度 / 市町	平成 15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
樹幹注入	塩竈市	799	845	－	809	797	466	258	845	248	170	177	－	－
	多賀城市	41	25	34	44	－	66	69	－	73	43	70	44	68
	松島町	430	－	691	722	363	253	696	558	105	31	－	－	551
	七ヶ浜町	442	－	68	256	306	96	68	203	0	292	－	－	－
	利府町	140	－	120	111	117	0	133	93	93	115	－	－	134
	東松島市	453	－	325	587	364	94	673	455	566	108	65	－	－
	特別名勝計（D）	2,305	870	1,238	2,529	1,947	975	1,897	2,154	1,085	759	312	44	753
	県全体　（E）	4,456	3,333	3,293	5,020	2,818	2,914	3,773	4,067	2,274	1,846	2,495	1,856	2,070
	（D）／（E）（%）	51.7	26.1	37.6	50.4	69.1	33.5	50.3	53.0	47.7	41.1	12.5	2.4	36.4

一　般　会　計

6　款	3　項	2　目	水　産　業　振　興　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	産業観光課産業振興班
	3,378	3,364		

目標

カキ・アサリ等の浅海養殖漁業の振興を図る。

実績

1　水産業振興事業補助金

内　容	事業費	補助金額
アサリ稚貝撒布事業	2,490　千円	3,000　千円
ｻｷｸﾞﾛﾀﾏﾂﾒﾀ駆除事業	830　千円	
カキ衛生対策事業	9,130　千円	
合　計	12,450　千円	3,000　千円

・アサリ稚貝・母貝育成事業及びサキグロタマツメタ駆除事業

アサリの採取を行っている漁場において成貝採取時に混獲される稚貝を買取り散布を行い、天敵であるサギグロタマツメタが異常繁殖している事を踏まえ、駆除も実施し生産増加に努めた。

撒布漁場名	アサリ撒布量	アサリ採種量	ｻｷｸﾞﾛﾀﾏﾂﾒﾀ		備考
			成貝駆除量	卵塊駆除量	
松島地区	465.8　kg	2,670　kg	37.1　kg	9.1　kg	
磯崎地区	68.6　kg	1,200　kg	19.3　kg	9.8　kg	
高城地区	0　kg	0　kg	0　kg	1.3　kg	
元手樽地区	0　kg	0　kg	2.2　kg	0　kg	
名込地区	251.0　kg	2,663　kg	7.5　kg	9.2　kg	
古浦地区	159.7　kg	1,984　kg	9.0　kg	7.6　kg	
早川地区	1.9　kg	150　kg	1.1　kg	0　kg	
計	947.0　kg	8,667　kg	76.2　kg	37.0　kg	

・カキ衛生対策事業

町内各カキ処理場において、松島町産「生カキ」の生産のため殺菌海水使用人工浄化施設を活用し衛生対策の徹底を図り、消費者へ安全・安心な食品の提供に努めた。

○ 松島地区カキ処理場　　10 経営体
○ 磯崎地区カキ処理場　　37 経営体
○ 名込地区カキ処理場　　3 経営体
○ 古浦地区カキ処理場　　9 経営体

〈次頁へつづく〉

成果

アサリについては、漁協で取り組んでいる稚貝・母貝育成事業への支援を実施し、特に最近アサリ貝が生息する漁場が減少し、また、天敵のサキグロタマツメタが大発生してることに鑑み、地種稚貝購入により地種を主体とした適切な管理を図り、生産増加に努めた。

また、鮮カキ生産者は安全安心な食品を消費者へ提供するため殺菌海水の導入により、人工浄化を実施することにより万全を期することができた。

6　款	3　項	2　目

実績

2　漁業後継者育成支援事業補助金

・　かき養殖研修会等への参加や、牡蠣の種付け時期の調査や水質調査を行うことで、漁業経営者の経営安定を図った。また、体験学習の実施やかき祭り等の各イベントに参加し、漁業の周知を図った。

○ 事業主体　　宮城県漁業協同組合松島支所青年研究会
○ 補助額　　50,000円

平成27年度　かき水揚げ高調べ

（資料:宮城県漁業協同組合松島支所）

平成27年10月～平成28年3月

（ 単位 : kg ・ 円 ）

地　区	松　島		磯　崎		名　込		古　浦		合　計		備 考
月	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
10月	2,915.7	5,330,766	12,174.4	28,308,497	130.0	232,470	2,220.0	5,127,732	17,440.1	38,999,465	
11月	4,685.7	5,434,830	8,539.0	13,157,801	940.0	1,332,190	1,600.0	2,408,002	15,764.7	22,332,823	
12月	6,763.1	7,783,616	5,233.2	8,094,910	1,040.0	1,484,373	340.0	504,337	13,376.3	17,867,236	
1月	6,429.1	6,497,595	5,644.4	7,536,149	600.0	687,290	1,260.0	1,630,272	13,933.5	16,351,306	
2月	5,106.1	5,064,823	3,715.1	4,695,373	320.0	360,471	1,080.0	1,275,651	10,221.2	11,396,318	
3月	1,060.5	901,567	1,558.0	1,700,433	―	―	―	―	2,618.5	2,602,000	
計	26,960.2	31,013,197	36,864.1	63,493,163	3,030.0	4,096,794	6,500.0	10,945,994	73,354.3	109,549,148	
kg当たり単価		1,150		1,722		1,352		1,683		1,493	

一　般　会　計

6　款	3　項	4　目	漁　港　建　設　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	建設課建設班
	663,395	59,650		

目標	古浦漁港及び銭神漁港について、新たな防潮堤整備を行い高潮や津波から背後施設の保全を図る。また、東日本大震災により被害を受けた磯崎漁港の漁具倉庫を解体したのちに新たな漁具倉庫建設を行うとともに名籠、古浦、銭神漁港の沈下した漁港施設用地の嵩上げ及び舗装の整備を行い漁港施設の機能回復を図る。
実績	（繰越明許費） 1　委託料　5,837,760 円 ・磯崎漁港漁具倉庫建設工事施工監理業務委託（前払金）　900,000 円 ・銭神漁港防潮堤詳細設計業務委託　3,911,760 円 ・銭神漁港防潮堤用地測量調査業務委託　1,026,000 円 2　工事請負費　27,200,000 円 ・古浦・名籠・銭神漁港用地嵩上げ工事（前払金）　27,200,000 円 （事故繰越） 3　委託料　26,059,960 円 ・古浦・銭神漁港防潮堤測量設計業務委託　23,163,960 円 ・古浦・銭神漁港防潮堤整備工事費積算業務委託　2,896,000 円
成果	漁港海岸・海岸保全施設築造事業については、古浦漁港及び銭神漁港の防潮堤整備に係る調査設計業務や工事費積算業務を実施し、防潮堤築造工事へ向け事業推進が図られた。 東日本大震災復興交付金として採択を受けた磯崎漁港漁具倉庫建設工事及び古浦漁港、名籠漁港、銭神漁港の用地嵩上げ工事に着手し、復興事業の推進が図られた。

一　般　会　計

7　款	1　項	2　目	商　工　業　振　興　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	産業観光課産業振興班
	60,774	58,725		

目標

商工業の振興とともに、被災した商工業者の経営安定等を図るため、商工団体と連携を深め、適正な育成・指導を行う。
また、消費者の保護とトラブル防止を図るために、消費生活相談員による相談等に努める。

実績

1　消費生活相談員設置事業（週2回）

・相談処理件数　計53件

○内訳

訪問販売	4 件	通信販売	4 件
電話勧誘	2 件	開運商法	3 件
架空（メール・ハガキ）請求	7 件	中古車トラブル	2 件
賃貸住居退居トラブル	1 件	住宅修繕トラブル	2 件
その他	7 件	多重債務整理	2 件
特殊詐欺	8 件		
インターネットトラブル	7 件		
光回線接続等トラブル	4 件		

2　利府松島商工会地域総合振興事業補助金　6,000,000 円

・会員数　351 人

3　小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業補助金　600,000 円

・【来て見て食べて体験して感じる新しい松島の四季彩食】着地型観光推進事業

4　中小企業融資資金預託事業

・預託金

○振興資金　42,000,000 円
貸付限度額　1,000 万円　貸付期間　7 年以内（運転資金）
10 年以内（設備資金）
利　率　2.2 %　融資件数　17 件（　6,917 万円 ）

○小口資金　6,000,000 円
貸付限度額　300 万円　貸付期間　5 年以内
利　率　2.2 %　融資件数　0 件（　0 万円 ）

5　松島町中小企業振興資金融資等保証料補給事業　2,158,315 円

・中小企業振興資金申請者　17 人　保証料補給金額　2,158,315 円
・小企業小口資金申請者　0 人　保証料補給金額　0 円

〈次頁へつづく〉

成果

本町商工業を取り巻く経営環境は、震災以降、以前にも増し厳しい状況が続いていることから、商工会への支援や中小企業に対する融資などの対応に努めた。
震災に被災した町民への生活支援と冷え込んだ消費活動の促進を図るため、プレミアム商品券を販売し、町民の購買意欲を向上促進させることができ、地域商工業の経済効果を高めることができた。
消費者の安心・安全な暮らしを実現するため、市町村消費者行政活性化事業を活用し、相談窓口の強化や周知活動として啓発用パンフレットの配布や講習会を開催し、必要な情報や知識を提供し、消費者トラブルの未然防止を図った。

7　款	1　項	2　目

実績

6　市町村消費者行政活性化事業　974,588 円

・消費生活講習会開催　1 回　参加人数 50名
・消費生活啓発品購入他
・まつの市でのパンフレット配布、消費生活相談会の開催
・消費者月間における町民ホールでのパネル展示、パンフレット設置

7　出会いサポート支援事業補助金　500,000 円

・事業名　ワクワクカップリングパーティー
・事業主体　利府松島商工会青年部
・開催日　平成27年7月12日
・開催場所　ホテル海風土他
・参加人数　40名（男性:20名、女性:20名）　7組のカップル成立

8　特定計量器定期検査

・受験件数　61 件
合格件数　57 件
不合格　4 件

一　般　会　計

7　款	1　項	3　目	観　光　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	産業観光課観光班
	111,184	97,711		

目標

松島観光の復興とともに、観光客の来訪を促進するため、積極的な情報提供や宣伝活動を行う。
また、観光客の利便と安全を確保するため、観光施設等の整備・管理を図る。

実績

1　観光客等年別入込数
- 観光客等年別入込数　（ 平成27年1月～12月 ）　2,809,753 人（ 前年　2,931,249 人 ）
- 観光客等年別宿泊数　（ 平成27年1月～12月 ）　642,277 人（ 前年　618,289 人 ）
- 主要観光イベント入込数　別頁（P.113）のとおり
- 松島海岸駅前案内所外国人利用者実績　8,882 人（ 前年　7,175 人 ）

2　管理業務
- 松島公園町管理清掃業務委託　3,929,040 円
  ○ 公衆便所清掃他
- 国際交流村環境整備業務委託　1,086,480 円
  ○ 散策路周辺草刈・除草作業　年2回
  広場内草刈・除草作業　年2回
- 国際交流村樹木剪定業務委託　2,160,000 円
  ○ 落葉樹剪定(サクラ)　N=97本
  針葉樹剪定（五葉松等）　N=53本
  樹木伐採工　N= 8本
- 富山観音トイレ建設工事施工監理業務委託　907,200 円

3　請負工事
- 富山観音トイレ建設工事　32,398,920 円
  ○鉄骨平屋建て（ユニット式）
  建設面積　A=14.96㎡・延べ床面積　A=14.96㎡
  既存トイレ解体
  木造平屋建て3箇所　A=14.6㎡

〈次頁へつづく〉

成果

松島観光の復興を全国にPRするため、積極的な誘客宣伝事業を行うとともに、受入体制の強化として、観光施設等の整備・管理を図った。
観光誘客宣伝事業としては、松島観光協会、日本三景観光連絡協議会、県観光連盟等との連携を図り、観光客の誘客及び受入体制の充実、イベント開催の充実に努めた。
なお、震災以降の観光客の誘致は、短時間で成果を上げることは容易ではないため、継続的な観光情報提供の強化と観光宣伝活動を実施した。
7月～9月には仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーンが実施され、松島の夏の魅力を全国に発信した。
また夫婦町交流事業の一環として、池田修三版画展を開催し、お互いの市町との交流を深めるとともに、各参加店舗に作品を展示し、地域住民・観光客への滞在型観光に取り組んだ。東日本大震災を契機に縁が結ばれた岡山県倉敷市及び岐阜県大垣市との観光交流事業や、再発見！松島“湾”ダーランド構想による松島湾岸3市3町との広域観光連携の取り組みにより県内外からの観光交流人口の拡大と交流促進に繋げることができた。
平成26年8月より国際交流員（CIR）を雇用し、国内外に向けて外国人から見た「Matsushima」の魅力発信を行うとともに、海外要人等の来客時の対応強化、「松島町からの英語のコンサルティング」事業の一環で、観光施設等での外国人の受入体制の整備を図った。他市町で開催されたインバウンドセミナーに国際交流員がパネリストとして参加をし、取り組みを共有することで、各市町との連携をさらに深めた。

7　款	1　項	3　目

実績

4　備品購入
・松島パノラマハウス庁用備品　一式　1,800,100 円

5　補助金等実績
・補助事業等　28,131,233 円
うち　せんだい・宮城フィルムコミッション　900,000 円
○ 撮影実績　69 件（ うち松島町　24 件 ）
○ 撮影実績内訳　映画 1件　TV番組 16件　CM 0件　その他 5件
うち　石巻港大型客船誘致協議会　120,000 円
○ 誘致実績　3 隻（コスタビクトリア：5月10日、にっぽん丸：5月15日、にっぽん丸：10月2日）
○ ポートセールス実績　2 回
うち　日本三景観光連絡協議会　600,000 円
○ 第38回松島かき祭り　日本三景キャンペーンレディによるステージPR（平成28年2月7日）
○ 日本三景キャンペーンレディの宮城県知事訪問（平成28年2月8日）
○ 第32回宮島かき祭り　日本三景キャンペーンレディによるステージPR（平成28年2月13日～14日）
うち　宮城県国際観光テーマ地区推進協議会　172,000 円
○「東北感謝イベントに併せた東北プロモーション」台湾訪日誘客事業（平成27年12月1日～4日）
・ 台中セミナー・商談会・情報交換会（松島町・松島温泉組合と合同PR）
うち　夫婦町交流事業池田修三版画展実行委員会　500,000 円
○ 夫婦町交流事業 池田修三版画展 つながり一象潟から松島へ一（平成27年7月23日～8月6日）
・ 会場　松島町内23ヶ所
・ 来場者　1,806人
うち　伊達な広域観光推進協議会　350,000 円
○ 宮城・仙台教育旅行体験学習説明会でのPR（平成27年12月2日～4日）
・ 会場　札幌市　函館市
・ 内容　パンフレットやDVDを用いた圏域のPR

6　受入体制整備
・「松島町からの英語によるコンサルティング」事業
○ 目的　観光施設・宿泊施設等の外国人受入体制を整備
○ 内容　各施設の相談内容に合わせ、メニュー等の翻訳、看板のサイン表記、
従業員へ向けた英語トレーニング　等の実施
○ 実績　17件

7　松島町もっともっとPR事業　2,313,000 円
・ 松島ファンクラブ事業　会員数 301人　会報 3回発行
ファンクラブのつどい実施（平成28年3月23日 24人参加）
松島パノラマハウス交流スペースでのセッコク苔玉づくり体験及び観月
・ 観光PRの実施
○ 東京都新宿区での芸団協主催「芸術体験ひろば」にて観光PRおよび竹細工体験
（平成27年5月5日）
○ 東北大学国際まつりでの松島町および松島町国際交流協会ブース出店　観光PR
（平成27年5月24日）
○ 岡山県倉敷市観光交流事業「観光特産品交流フェアinイオンモール名取」での観光PR
（平成27年7月11日～12日）
○ 東京都豊島区でのブース出店、観光PR　（平成27年10月24日～10月25日）
○ 岐阜県大垣市でのブース出店、観光PR及びメディア向け観光キャラバン
（平成28年3月4日～3月7日）

8　仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会
・ 東北ろっけんまつり「宮城の日」　（平成27年4月10日）
ご当地キャラクターによるステージでの観光PRおよびパンフレット配布
・ 首都圏キャラバン　（平成27年6月2日～6月3日）
JR東日本の首都圏の駅において旅行会社パンフレットおよび仙台・宮城の特産品1万セットの配布

〈次頁へつづく〉

7　款	1　項	3　目

実績

・仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンデー2015　（平成27年6月12日）
　イーグルスプラザ内協賛ブースにおいて各市町のパンフレットおよび特産品配布、
　ご当地キャラクターによるスタジアム正面広場ステージでの観光PR
・仙台・宮城まるっとスタンプラリー　（平成27年7月1日～9月30日）
　スタンプラリーを実施し、応募者に対し抽選で、宮城県内施設ペア宿泊券や協議会
　会員市町村等の特産品等を当選者にプレゼントした。
・仙臺鍋まつり（勾当台公園市民広場）　（平成27年11月12日～13日）
　地域の特産品を盛り込んだ“自慢の鍋”を販売し、観光チラシを配布して、地域の魅力をPR
　かき鍋、かきごはんを販売（F・F磯崎と出店）

9　再発見！松島“湾”ダーランド構想　松島湾岸3市3町との広域連携事業
・松島湾観光シンポジウム「広域観光の成功事例に学ぶ松島湾の魅力づくり」
　○開催日 平成27年7月16日
　○場所　東北歴史博物館
　○内容　『100年後も雪国であるために～雪国観光圏の取組事例～』
　　講師：井口　智裕　氏

・みなと塩竈・ゆめ博「地域連携復興市 ゆめ博・絆広場」
　○開催日　平成27年10月3日
　○場所　地域連携復興市　ゆめ博・絆広場（JR仙石線本塩釜駅前アクアゲートロ）
　○オープニングセレモニーおよび松島湾ダーランドブースでのパンフレット配布、ステージPR
　　3市3町の食のPRブース出店
・「松島湾ダーランド推進計画」策定

10　松島町国際交流協会主催 台湾訪問事業への参加
　○期間　平成27年11月8日～12日
　○場所　台北市　南投県　（埔里鎮　魚地郷）
　○参加者 21人
　○内容　11月9日　南投県埔里鎮　新故郷文教基金会主催交流会
　　11月10日　南投県魚地郷　日月潭国家風景区訪問・南投県渡船遊艇商業同業公會
　　11月11日　南投県埔里鎮　ペーパードーム視察　等

11　国際交流事業
・海外からの要人等来客の対応を行った
　○CIEE（国際教育交換協議会）留学生スタディーツアー
　○ロシア　ニジェゴロド州副知事一行来松
　○中国　中華民国工商協進会一行来松
　○パラオ　パラオ共和国大使来松
　○アメリカ　米国自治体幹部一行来松
　○タジキスタン・トルクメニスタン・アルメニア
　　青年研修「中央アジア・コーカサス混成/地域における観光振興コース」
　　表敬訪問及び松島町観光行政について講演実施
　○デンマーク王室合唱団松島訪問

・松島町国際交流員活用による事業の実施
　○「松島町からの英語によるコンサルティング」事業
　○「Visit Matsushima」フェイスブックページの運営
　○海外要人等来客の対応
　○他市町で開催されたインバウンドセミナーにパネリストとして参加
　○地域活動の参加等
　　・いやすこ作り隊　田植え参加
　　・松島流灯会　海の盆　留学生等の浴衣体験ボランティア　等

観光客年別月別入込数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	年	
8年	182,000	178,000	207,000	329,000	524,000	399,000	405,000	703,000	412,000	481,000	356,000	176,000	**4,352,000**	8年	3月仙台空港新旅客ターミナルビル国際線部分オープン
9年	178,000	177,000	217,000	312,000	482,000	366,000	412,000	697,000	446,000	474,000	378,000	151,000	**4,290,000**	9年	7月仙台空港新旅客ターミナルグランドオープン
10年	157,000	156,000	193,000	284,000	426,000	315,000	367,000	644,000	322,000	384,000	330,000	130,000	**3,708,000**	10年	3月仙台空港3,000m滑走路完成
11年	151,000	158,000	187,000	281,000	446,000	312,000	353,000	628,000	300,000	398,000	323,000	128,000	**3,665,000**	11年	12月山形新幹線新庄延伸
12年	165,000	165,000	188,000	286,000	416,000	307,000	360,000	639,000	309,000	380,000	320,000	126,000	**3,661,000**	12年	
13年	145,000	172,000	193,000	302,000	415,000	305,000	372,000	633,000	323,000	374,000	339,000	130,000	**3,703,000**	13年	宮城国体開催
14年	149,000	176,000	194,000	292,000	408,000	298,000	370,000	652,000	335,000	376,000	345,000	142,000	**3,737,000**	14年	ワールドカップサッカー競技開催・東北新幹線八戸開業
15年	163,000	179,000	207,000	286,000	393,000	303,000	371,000	626,000	318,000	373,000	343,000	136,000	**3,698,000**	15年	7月宮城県北部連続地震
16年	161,000	174,000	193,000	273,000	406,000	294,000	374,000	641,000	316,000	360,000	331,000	137,000	**3,660,000**	16年	新潟中越地震
17年	124,000	259,000	175,000	223,000	374,000	304,000	258,000	600,000	308,000	366,000	278,000	150,000	**3,419,000**	17年	東北楽天イーグルス誕生、名古屋万博「愛地球博」
18年	120,000	240,000	173,000	211,000	395,000	303,000	279,000	816,000	313,000	366,000	342,000	153,000	**3,711,000**	18年	8月五大堂御開帳祭典
19年	132,000	267,000	168,000	222,000	364,000	321,000	273,000	681,000	349,000	384,000	356,000	168,000	**3,685,000**	19年	3月18日仙台空港アクセス鉄道運行開始
20年	133,000	247,000	205,000	210,000	331,000	289,000	235,000	610,000	282,000	348,000	391,000	192,000	**3,473,000**	20年	8月松島温泉開湯、10月～12月宮城デスティネーションキャンペーン
21年	138,000	246,000	203,000	216,000	379,000	295,000	280,000	719,000	380,000	343,000	381,000	155,000	**3,735,000**	21年	3月ETC1,000円割引スタート、9月シルバーウィーク、9月瑞巌寺大改修開始
22年	137,986	216,572	183,826	192,126	337,265	287,199	281,213	714,110	302,772	341,763	385,404	188,474	**3,568,621**	22年	1～3月天候不順、2月28日大津波警報、7～8月夏猛暑
23年	150,024	245,152	45,739	93,634	186,917	152,531	195,141	319,965	194,921	227,657	280,565	145,552	**2,237,798**	23年	3月11日：東日本大震災　4月7日：余震　9月：台風15号
24年	114,862	173,494	151,754	149,475	240,288	228,818	222,488	430,654	257,229	270,335	287,176	124,211	**2,650,784**	24年	8/19,8/20宮城国際ヒーローサミット
25年	120,852	189,307	173,579	187,347	290,227	258,377	235,265	446,261	259,475	272,864	360,992	186,647	**2,981,193**	25年	4月～6月仙台・宮城ディスティネーションキャンペーン 9/28～10/13ルツェルンフェスティバルアークノヴァ松島2013
26年	140,419	170,119	179,370	181,883	284,594	253,048	218,269	434,181	273,807	280,683	365,518	149,358	**2,931,249**	26年	4/1消費税増税（8%） 9/20GLAY EXPO 2014 TOHOKU
27年	137,404	197,490	204,441	226,092	327,278	199,567	201,279	345,945	246,345	260,335	320,530	143,047	**2,809,753**	27年	3月1日常磐自動車道全線開通　5月10日マリンピア松島水族館営業終了 5月30日JR仙石線全線運転再開・JR仙石東北ライン開業

（過去20年分を記載）

観光客年別月別宿泊数

（単位：人）

年／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
8年	78,000	82,000	78,000	68,000	76,000	91,000	75,000	99,000	83,000	97,000	89,000	88,000	1,004,000
9年	70,000	74,000	80,000	71,000	87,000	85,000	87,000	108,000	87,000	92,000	96,000	89,000	1,026,000
10年	72,000	67,000	72,000	70,000	75,000	76,000	71,000	100,000	74,000	90,000	89,000	86,000	942,000
11年	67,000	61,000	70,000	63,000	65,000	67,000	78,000	99,000	71,000	96,000	86,000	82,000	905,000
12年	68,000	63,000	71,000	69,500	76,000	79,000	82,000	99,000	73,000	90,400	85,000	75,000	930,900
13年	62,600	56,400	67,000	65,500	76,200	79,200	64,500	91,600	75,800	94,600	77,500	75,200	886,100
14年	55,000	54,700	62,600	62,000	69,700	70,700	62,000	93,700	66,600	78,900	75,400	74,400	825,700
15年	53,500	48,500	60,900	50,700	69,300	70,600	61,900	85,600	65,500	73,200	75,700	76,200	791,600
16年	54,300	52,100	61,400	53,800	67,000	66,300	63,700	91,200	71,200	71,300	69,500	63,800	785,600
17年	43,900	44,000	50,700	49,300	56,500	59,100	53,400	77,800	54,000	67,900	58,600	62,300	677,500
18年	47,200	43,000	48,300	45,500	56,300	58,500	56,200	80,400	56,000	66,200	60,900	57,000	675,500
19年	41,200	42,800	48,000	43,600	59,100	62,400	54,900	81,900	56,300	66,700	60,500	56,600	674,000
20年	41,100	40,700	49,700	42,600	53,900	55,500	46,700	70,500	50,000	60,100	65,600	59,500	635,900
21年	43,900	44,200	53,400	48,500	55,500	57,800	55,200	77,800	56,000	64,700	65,100	53,800	675,900
22年	46,024	46,298	51,355	48,866	50,291	55,790	55,814	78,530	58,583	65,692	67,783	64,314	689,340
23年	52,920	45,625	20,160	76,163	112,004	95,693	96,112	90,645	69,615	71,293	79,045	74,298	883,573
24年	54,141	47,519	53,988	38,062	45,862	49,791	48,300	67,930	56,037	59,760	60,032	52,867	634,289
25年	45,365	46,384	55,053	45,577	49,530	52,843	50,484	69,728	54,325	57,997	62,038	55,036	644,360
26年	47,470	42,827	53,948	42,223	48,086	50,962	48,792	63,377	49,044	57,751	58,453	55,356	618,289
27年	46,546	41,827	51,065	44,506	48,781	48,279	52,348	73,764	54,644	62,202	61,563	56,752	642,277

（過去20年分を記載）

松島町主要観光イベント入込数

（単位：人）

年度	瑞巌寺灯灯道	灯籠流し花火大会	松島流灯会 海の盆	園遊茶会	紅葉ライトアップ	芭蕉祭並びに全国俳句大会	松島かき祭り	冬のとっておき松島
8		240,000		4,506		217人　1,832句	第19回　125,000	6,892
9	第１回　15,200	275,000		5,000		300人　1,770句	第20回　100,000	9,704
10	第２回　33,000	180,000		7,000		250人　1,976句	第21回　120,000	11,277
11	第３回　45,000	220,000		5,000		第45回　250人　1,964句	第22回　150,000	10,341
12	第４回　46,000	270,000		第12回　3,000		第46回　300人　1,837句	第23回　180,000	10,735
13	第５回　36,000	280,000		第13回　3,000		第47回　250人　1,866句	第24回　100,000	10,003
14	第６回　55,000	220,000		第14回　3,100		第48回　287人　2,072句	第25回　105,000	9,297
15	第７回　52,000	150,000		第15回　3,000		第49回　260人　2,087句	第26回　155,000	9,518
16	第８回　78,500	180,000		第16回　2,500		第50回　300人　2,536句	第27回　125,000	10,043
17	第９回　63,000	110,000		第17回　3,000		第51回　275人　2,019句	第28回　115,000	7,912
18	第10回　61,000	160,000		第18回　3,500	第１回　15,000	第52回　250人　2,145句	第29回　120,000	10,711
19	第11回　50,000	120,000		第19回　3,000	第２回　22,000	第53回　250人　2,098句	第30回　100,000	11,295
20	第12回　56,500	140,000		第20回　3,500	第３回　32,000	第54回　250人　1,839句	第31回　100,000	10,882
21	第13回　64,000	143,000		第21回　3,500	第４回　39,000	第55回　250人　1,722句	第32回　73,000	14,851
22	第14回　69,100	154,000		第22回　3,000	第５回　52,000	第56回　300人　2,054句	第33回　95,000	8,733
23	第15回　24,800	－	第1回　43,000	－	第６回　33,600	第57回　280人　2,108句	第34回　67,000	3,141
24	第16回　25,900	－	第2回　42,000	－	第７回　43,384	第58回　250人　1,893句	第35回　52,000	－
25	第17回　16,500	－	第3回　42,500	－	第８回　47,926	第59回　160人　1,852句	第36回　52,500	5,046
26	第18回　10,000	－	第4回　47.000	－	第９回　54,065	第60回　200人　1,893句	第37回　51,500	5,047
27	－	－	第5回　28,000	－	第10回　55,005	第61回　200人　1,758句	第38回　30,000	6,196

（過去20年分を記載）

年度別松島海岸駅前観光案内所外国人利用者実績

（単位：人）

国　名	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
アメリカ	638	814	690	962	806	1,022	803	1,078	848	1,098	879	838	875	276	524	643	609	712
台湾	335	254	385	449	629	324	617	976	1,149	1,270	1,201	1,081	1,525	248	876	1,139	1,695	2,491
フランス	105	99	132	143	266	194	200	354	373	493	671	557	627	65	152	204	232	293
シンガポール	100	39	40	54	109	65	130	127	184	264	301	406	613	52	101	93	116	143
ドイツ	142	131	116	122	235	201	231	243	326	311	397	395	442	61	105	202	216	268
韓国	269	402	454	471	729	517	682	665	598	752	581	597	750	80	260	223	166	219
イギリス	147	99	166	158	306	201	202	266	245	324	337	227	239	78	112	167	255	186
香港	1,289	1,632	1,101	1,341	1,995	899	1,326	966	1,135	2,497	1,674	1,505	1,936	87	260	242	485	389
中国	232	204	271	263	480	383	263	457	271	463	499	402	646	260	605	688	908	1,886
オーストラリア	115	110	167	159	168	204	240	240	289	373	514	378	478	39	188	158	308	291
カナダ	109	74	84	112	162	178	163	195	144	177	211	185	217	41	78	103	98	124
スイス	29	11	24	25	62	48	57	82	51	88	125	148	154	7	51	78	64	87
スペイン	37	20	18	19	45	69	77	94	288	171	272	308	320	29	67	80	109	131
ブラジル	35	22	17	28	31	51	33	34	23	28	44	17	42	13	33	16	71	27
アフリカ諸国	18	4	4	7	7	6	9	20	6	20	19	0	0	0	0	1	21	26
イスラエル	16	0	14	6	22	16	19	30	75	55	55	53	83	16	4	44	45	46
タイ	30	34	26	60	116	74	76	107	207	472	637	779	899	94	406	936	780	603
ロシア	16	21	22	33	33	43	32	52	58	53	30	61	57	18	51	40	47	39
ポーランド	13	0	9	12	8	8	14	14	39	45	48	42	119	14	21	64	28	60
フィリピン	2	20	6	14	25	12	23	47	19	23	31	25	20	3	20	29	57	44
スウェーデン	19	15	13	10	70	12	10	34	36	49	41	50	24	12	38	22	26	20
インド	41	57	82	109	65	60	135	80	86	125	133	72	73	33	61	57	93	88
マレーシア	22	7	5	17	18	30	38	38	35	32	85	49	125	35	52	71	99	88
イタリア		13	36	20	51	57	39	34	86	95	98	167	161	7	23	29	55	84
その他	1,856	1,282	2,087	2,051	3,389	2,366	2,713	2,515	3,708	630	528	646	709	185	458	564	592	537
人　数	5,615	5,364	5,969	6,645	9,827	7,040	8,132	8,748	10,279	9,908	9,411	8,988	11,134	1,753	4,546	5,893	7,175	8,882
国　数	51	54	54	54	73	57	66	71	76	79	79	84	87	66	74	78	90	69

※平成28年3月末現在の数値

一　般　会　計

7　款	1　項	4　目	文　化　観　光　交　流　館　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	中央公民館
	28,069	27,567		

目標

町の文化創造の拠点として、質の高い舞台芸術や音楽文化鑑賞などの学習機会を提供し、生涯学習の推進と芸術文化の裾野拡大を図る。

実績

1　主催事業

名　称	内　容	実施日	来館者数
松島笑タイム アトレ・る寄席	文化観光交流館特任館長の六華亭遊花さんによる東北弁落語を始め、北見翼さんの和製マジック和妻や、林家花さんの紙きりほか、江戸落語、講談、太神楽曲芸など、本町ではなかなか触れることができなかった質の高い伝統芸能を提供した。	5月24日	147人
松島アトレ・る音楽祭	ジャズを中心に様々な音楽の演出により、誰もが楽しめる音楽の祭典として開催した。文化観光交流館大ホールでのステージのほか、松島海岸中央広場や水主町民家前では無料ステージを開催した。また、子どもを対象にワークショップを行い、気軽に楽器に触れる機会を提供した。	7月19日	127人
早春の松島 現代狂言Ｘ	ウッチャンナンチャンでお馴染みの南原清隆さんや、狂言師の野村万蔵さんほか多数の豪華演出者により、狂言を現代のコント風に演じる「現代狂言」と、日本の伝統芸能である「古典狂言」に触れる機会を提供した。	2月20日	本公演 459人 ワーク ショップ 50人

2　指定管理者委託事業

- 指定管理料　　10,288,000円（平成27年10月から平成28年3月まで）
- 指定管理期間　　平成27年10月から平成32年9月まで（5年間）
- 指定管理者　　株式会社BBI

成果

1.日本の伝統芸能に触れる「アトレ・る寄席」や「現代狂言Ｘ」、ジャズを始めとする様々な音楽に触れる「松島アトレ・る音楽祭」の開催では、質の高い舞台芸術や音楽文化に触れる機会を提供し、本町の文化芸術の発展に寄与した。
2.平成27年10月から5年間、指定管理者制度を活用して、文化観光交流館の施設管理並びにイベント事業を委託した。民間のノウハウにより施設利用の利便性の向上や、様々なイベント事業の開催によりさらなる文化芸術の発展に寄与した。
3.施設の利用状況については、指定管理者によるイベント事業の開催等により昨年を上回る利用者数となった。
4.観光インフォメーションルームを活用することで、文化芸術の推進や本町の観光情報の発信、歴史文化の情報発信に寄与した。

7　款	1　項	4　目

実績

名　　称	内　　容	実施日	来館者数
お笑い大行進	地元の漫才師ニードルを始めとする若手お笑い芸人5組によるお笑いライブを開催した。会場は終始笑いに包まれ本格的なお笑いを提供した。	12月20日	179人
新春二人会	文化観光交流館特任館長の六華亭遊花さんと、津軽三味線奏者のえり奈さんによる「新春二人会」を開催した。津軽三味線の演奏に加え、歌やお笑いトークを交えた演出など、本格的音楽ライブを提供した。	1月17日	261人

3　利用状況

単位:人　（ ）内は申請件数

	一般	町外	社教	役場	教室	計
4月	1,424 (12)	821 (10)	132 (10)	518 (20)	1,232 (75)	4,127 (127)
5月	627 (7)	297 (6)	368 (9)	644 (19)	1,706 (70)	3,642 (111)
6月	584 (12)	818 (3)	184 (13)	2,014 (18)	893 (63)	4,493 (109)
7月	351 (13)	545 (5)	309 (12)	1,048 (19)	1,015 (67)	3,268 (116)
8月	505 (13)	119 (4)	62 (4)	473 (25)	1,162 (63)	2,321 (109)
9月	399 (7)	659 (6)	253 (15)	973 (19)	770 (56)	3,054 (103)
10月	247 (19)	4,317 (40)	407 (24)	954 (69)	541 (58)	6,466 (210)
11月	130 (11)	799 (15)	1,065 (26)	1,562 (73)	572 (54)	4,128 (179)
12月	41 (5)	594 (54)	547 (25)	317 (21)	628 (61)	2,127 (166)
1月	50 (6)	543 (17)	462 (8)	500 (22)	620 (59)	2,175 (112)
2月	99 (8)	372 (17)	960 (22)	1,897 (63)	640 (61)	3,968 (171)
3月	592 (27)	481 (18)	402 (30)	470 (33)	625 (60)	2,570 (168)
合計	5,049 (140)	10,365 (195)	5,151 (198)	11,370 (401)	10,404 (747)	42,339 (1,681)

※施設別利用状況

大ホール	会議室	調理室	リハーサル室	研修室	和室	講座室	その他
23,008	4,196	1,374	2,324	3,936	2,880	3,136	1,485

4　観光インフォメーションルーム利用状況

本町並びに近隣市町村の観光パンフレット常時設置、松島町文化観光交流祭展示コーナー、四季の松島写真コンテスト受賞作品展示会の開催をしている。また、中央公民館の教室・講座等において松島の文化・歴史等の説明としてミニシアターの上映や勉強会などで利用している。

一　般　会　計

8　款	2　項	1　目	道　路　橋　梁　総　務　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	建設課建設班 建設課管理班
	7,094	6,989		

目標	地域住民や観光客等が利用している道路について、渋滞の緩和や交通環境の改善を図る。 また、町道の効率的かつ適切な管理に努める。
実績	【建設課 建設班所管】 1　委託料　1,999,080 円 ・松島町道路台帳補修正業務委託　1,717,200 円 ・手樽字釜地前地内用地測量業務委託　281,880 円 【建設課 管理班所管】 ◇　国道45号の交通環境改善事業 1　委託料 ・国道45号通過交通軽減対策業務委託　4,644,000 円 （ラジオ広告27回、告知看板9基、誘導看板12基）
成果	【建設課 建設班所管】 過年度に実施した町道工事に伴う道路台帳の補修正等を実施し、適切な施設管理に努めた。 【建設課 管理班所管】 過年度に実施した交通社会実験を踏まえ、通過車輌の軽減効果を持続するための継続的な迂回協力を促す広報周知を実施した。

一　般　会　計

8　款	2　項	2　目	道　路　維　持　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	建設課建設班 建設課管理班 建設課復興班
	207,526	204,556		

目標

町道等の補修や草刈、除雪・融雪などを実施し、地域住民が利用しやすい道路環境を保全する。

実績

【建設課 建設班所管】

1　委託料	18,732,600 円
・明神橋橋梁補修設計業務委託	5,616,000 円
・根廻トンネル外補修設計業務委託	11,334,600 円
・町道根廻・品井沼線外舗装補修調査検討業務委託	1,782,000 円
2　工事請負費	55,939,680 円
・麦田橋外橋梁補修工事 剥落防止工　A=50㎡	2,652,480 円
・麦田橋橋梁下部補修工事 ひび割れ補修工　L=12m　剥落防止工　A=77㎡	11,048,400 円
・町道根廻・品井沼線外舗装補修工事 施工延長　L=600m　As舗装打換工　A=3,560㎡	22,194,000 円
・町道幡谷・十文字線舗装補修工事 施工延長　L=285m　As舗装打換工　A=1,280㎡	6,338,520 円
・町道人筈・一ノ渡線外道路維持工事 As舗装工　A=280㎡　側溝工　L=180m	9,020,160 円
・幡谷字鹿渡地内外道路維持工事 As舗装工　A=132㎡　側溝工　L=12m	4,048,920 円
・町道磯崎北線道路舗装補修工事 As舗装工　A=67㎡	637,200 円

〈次頁へつづく〉

成果

【建設課 建設班所管】
橋梁長寿命化対策事業については、橋梁長命化修繕計画に基づき設計業務を実施し事業推進を図るとともに、補修工事を実施し、施設の保全及び道路利用者の安全性の確保が図られた。
トンネル補修事業については、老朽化したトンネルの補修工事に向けて設計を実施し、事業推進が図られた。
舗装補修事業については、町道の舗装補修を行い、住民が快適で利用しやすい道路環境の保全が図られた。
道路維持工事経費については、側溝改良等の工事を実施し、住民が快適で利用しやすい道路環境の保全が図られた。
【建設課 管理班所管】
大和松島線公衆便所・駐車場について清掃を実施することにより、利用環境の保全に努めることができた。
町道等の草刈が実施され、快適な道路環境になった。また町道等の除雪を実施し、安全に通行できるようになった。
【建設課 復興班所管】
復興事業により整備した西行戻しの松公園と併せ、経年による劣化が見受けられた町道西行戻しの松線について舗装修繕を行い、西行戻しの松公園及びパノラマハウスの利用者等に対し道路環境の保全が図られた。

実績

・町道海洋センター線電柱移設工事 1,198,800 円
電柱移設工事 N=1本

（繰越明許費）

3 工事請負費 58,500,360 円

・麦田橋外橋面補修工事 14,101,560 円
As舗装工 A=379㎡ 橋面防水工 A=379㎡

・麦田橋外橋梁補修工事 44,398,800 円
ひび割れ補修工 L=8m 剥落防止工 A=369㎡

【建設課 復興班所管】

1 工事請負費 15,012,000 円

・町道西行戻しの松線舗装補修工事 15,012,000 円

【建設課 管理班所管】

◇ 町道 生活道路等と県道大和松島線公衆便所の維持管理

1 需用費 （消耗品費） 1,933,126 円

・融雪剤購入費 600袋（15,000kg） 706,320 円
融雪箱 83箇所（補充回数30回）
・草刈機刈刃(チップソー)購入費 200枚 378,000 円
松島地区・磯崎地区・手樽地区・北小泉地区・上竹谷地区
根廻地区・初原地区・桜渡戸地区

2 需用費 （光熱水費） 3,286,534 円

町内に設置されている街路灯の電気代及び水中ポンプ用の電気代
（磯崎地区、柿ノ浦地区、名籠地区）

3 役務費 （手数料） 事業系ごみ処理手数料 2,958,390 円

・除草した草の処理料 319,680 円
・伐採した松の処理料 2,617,110 円
・一般廃棄物手数料 21,600 円

4 委託料 40,251,000 円

・道路維持管理業務委託（その1～その3） 24,570,000 円
（道路補修・側溝補修・道路砕石敷・側溝清掃・防護柵補修等）
・道路除草業務委託 2,700,000 円
（8路線 年2回実施）
・道路除雪業務委託（北部・南部・西部） 10,002,960 円
（幹線道路等 年1回実施）
（小型除雪機6台を配置し、地域住民と共同の除雪を実施）
・道路融雪剤散布業務委託 2,026,080 円
（6路線 年9回実施）

〈次頁へつづく〉

8　款	2　項	2　目

実績

・ 大和松島線公衆便所清掃業務委託（週6回実施）　667,080 円
・ 大和松島線公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回実施）　49,440 円
・ 大和松島線公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回実施）　235,440 円

5　原材料費　4,347,029 円

・ 維持管理用原材料（常温合材・セメント・砕石・側溝蓋等）　4,347,029 円

一　般　会　計

8　款	2　項	3　目	道　路　新　設　改　良　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	建設課建設班
	5,254,381	1,491,299		

目標

震災復興計画の具体化に向け、復興交付金事業として避難道路を整備し、沿岸部の住民の迅速かつ安全な避難経路の確保を図る。
また、砂利道について舗装を行い、住民が快適で利用しやすい道路環境の整備を図る。

実績

町道整備等の状況
　改良率　69.00%
　舗装率　79.45%
うち幹線道路
　改良率　69.16%
　舗装率　81.70%

1　委託料	12,715,300 円
・松島町復興交付金事業避難道路・避難場所整備調査設計業務委託	12,715,300 円
松島地区避難路整備事業（前払金）	1,999,400 円
高城・磯崎地区避難路整備事業（前払金）	2,317,900 円
町道手樽・富山駅線道路整備事業（前払金）	494,000 円
町道高城・松島線道路整備事業（前払金）	5,630,300 円
町道上竹谷・高城線道路整備事業（前払金）	2,273,700 円
2　工事請負費	478,398,400 円
・町道品井沼大橋・志田谷地線外道路舗装工事 施工延長　L=360m　As舗装工　A=1,210㎡	6,976,800 円
・町道手樽・富山駅線法面保護工事 施工延長　L=32m　植生基材吹付工　A=200㎡	2,721,600 円
・町道手樽・富山駅線避難道路整備工事 （前払金）	120,000,000 円

〈次頁へつづく〉

成果

東日本大震災復興交付金として採択を受けた避難道路整備事業については、調査設計業務及び避難道路工事を実施し、事業の推進が図られた。
道路舗装事業については、町道及び生活道路の砂利道について舗装工事を実施し、住民が快適で利用しやすい道路環境の整備が図られた。

8　款	2　項	3　目

実績	・町道銭神・大浜線外避難道路整備工事（前払金）	80,900,000 円
	・町道名籠線避難道路整備工事（前払金）	38,000,000 円
	・町道柿ノ浦線避難道路整備工事（前払金）	60,000,000 円
	・町道高城・松島線避難道路整備その2工事（前払金）	36,700,000 円
	・高城枝2号線外避難道路整備工事（前払金）	8,600,000 円
	・町道上竹谷・高城線外避難道路整備工事（前払金）	43,200,000 円
	・町道磯崎・高城線外避難道路整備工事（前払金）	47,000,000 円
	・町道西柳・迎山線避難道路整備工事（前払金）	17,500,000 円
	・町道光陽台幹線外避難道路整備工事（前払金）	4,300,000 円
	・町道高城町線外避難道路整備工事（前払金）	12,500,000 円
	3　土地購入費	153,835,238 円
	・町道手樽・富山駅線道路整備事業土地購入	3,560,895 円
	・町道柿ノ浦線道路整備事業土地購入	17,223,110 円
	・町道高城・松島線道路整備事業土地購入	8,400,500 円
	・普賢堂外避難道路整備事業土地購入	9,731,000 円
	・町道上竹谷・高城線道路整備事業土地購入	49,274,149 円
	・土地開発基金買戻し用地土地購入（高城地区）	65,645,584 円
	4　補償金	521,232,528 円
	・町道手樽・富山駅線道路整備事業物件等移転補償金	20,322,367 円
	・町道柿ノ浦線道路整備事業物件等移転補償金	5,313,397 円
	・町道高城・松島線道路整備事業物件等移転補償金	46,850,365 円

〈次頁へつづく〉

8　款	2　項	3　目

実績

・ 普賢堂外避難道路整備事業物件等移転補償金　216,684,440 円

・ 町道上竹谷・高城線道路整備事業物件等移転補償金　232,061,959 円

（繰越明許費）

5　工事請負費　7,277,040 円

・ 町道内町線外道路照明灯設置工事　7,277,040 円
　街路灯設置工　N=3基　フットライト設置工　N=7基

6　土地購入費　37,264,151 円

・ 松島地区避難道路整備事業土地購入　9,157,802 円

・ 高城・磯崎地区避難道路整備事業土地購入　28,106,349 円

7　補償金　4,295,042 円

・ 高城・磯崎地区避難道路整備事業物件等移転補償金　4,295,042 円

（事故繰越）

8　委託料　1,278,800 円

・ 町道高城・桜渡戸線調査設計業務委託　1,278,800 円

9　工事請負費　169,258,040 円

・ 町道手樽・富山駅線外道路整備その2工事　41,520,000 円
　施工延長　L=680m　As舗装工　A=1,456㎡

・ 町道高城・松島線避難道路整備その1工事　64,220,000 円
　施工延長　L=305.1m　法面工　A=933㎡
　As舗装工　A=833㎡　側溝工　L=605m

・ (仮)町道松島海岸通線道路整備その1工事　31,823,720 円
　施工延長　L=320m　法面工　A=590㎡　As舗装工　A=1,638㎡

・ 町道白萩南線避難道路整備工事　5,076,000 円
　施工延長L=251.2m　As舗装工　A=93㎡
　誘導サイン　N=3箇所　ソーラータイル　N=14箇所

・ 町道上竹谷・高城線外避難道路整備その1工事　17,280,000 円
　施工延長　L=113.4m　As舗装工　A=590㎡
　側溝工　L=271m

・ 町道華園団地幹線外避難道路整備その1工事　9,338,320 円
　施工延長　L=1,029.7m
　カラー誘導線　N=68箇所　ソーラータイル　N=38箇所
　誘導灯　N=17箇所　誘導サイン　N=11箇所

〈次頁へつづく〉

8　款	2　項	3　目

実績

10　土地購入費	19,198,441 円
・町道手樽･富山駅線道路整備事業土地購入	13,321,491 円
・町道高城･松島線道路整備事業土地購入	594,450 円
・町道上竹谷･高城線道路整備事業土地購入	5,282,500 円
11　補償金	78,960,893 円
・町道手樽･富山駅線道路整備事業物件等移転補償金	18,228,277 円
・町道高城･松島線道路整備事業物件等移転補償金	699,757 円
・町道上竹谷･高城線道路整備事業物件等移転補償金	60,032,859 円

一　般　会　計

8　款	3　項	1　目	河　川　総　務　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	建設課管理班
	3,585	3,372		

目標

河川公園等を維持管理し地域住民や観光客の方々が利用しやすい環境を整備する他に、子どもなどが明治潜穴の構造物について見学しやすい公園づくりに努める。

実績

◇　明治潜穴公園　ふれあいの広場　やすらぎの水辺　かたらいの水辺の維持管理

1　委託料（施設管理委託料）　2,164,680 円

- 明治潜穴公園公衆便所他清掃業務委託　708,840 円
  （明治潜穴公園　週6回実施、その他の河川公園　月1回実施）
- 河川公園遊具定期点検業務委託（年1回実施）　15,120 円
- 明治潜穴公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回実施）　64,800 円
- 明治潜穴公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回実施）　285,120 円
- 高城川桜並木樹木剪定業務委託　864,000 円
- 高城川桜並木薬剤散布業務委託　226,800 円

成果

高城川桜並木の樹木剪定、薬剤散布を実施することで町民や観光客が立ち寄り易い環境を整備した。

一　般　会　計

8　款	5　項	1　目	都　市　計　画　総　務　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	企画調整課
	6,303	6,108		

目標	本町の将来像を踏まえ、バランスのとれた計画的な土地利用を図り、緑豊かな潤いのある都市を創出する。
実績	1　都市計画審議会の開催 ・第1回審議会（平成28年2月26日：松島町役場） 出席委員：10人 【諮問内容】 （1）仙塩広域都市計画下水道の変更について 東日本大震災の影響による地盤沈下に伴う雨水排水被害を解消するため、雨水排水計画を見直し、長田ポンプ場の追加について原案どおり承認する旨の答申を受けた。 2　地区計画内における行為の届出に関する業務（くぬぎ台） 平成27年度届出件数：3件 品井沼地区地区計画に基づき、優良田園住宅建築等の届出に関する受付及び審査事務を実施し、優れた住環境の維持・保全を図りつつ、整然とした中にも、ゆとりある緑豊かな田園景観と調和した良好な魅力あるまちづくりが図られた。 3　建築の許可に関する業務 平成27年度申請数：3件 都市計画施設内の区域内における建築物の建築に関する申請書類の審査事務を行い、許可証の発行を行った。
成果	本町の将来像を踏まえた建築物の建築に係る相談、指導を行うとともに、各種行為に対する審査事務等を迅速に行うことで、バランスのとれた計画的な土地利用に寄与した。

一　般　会　計

8　款	5　項	3　目	公　園　管　理　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	スポーツ振興センター
	59,170	59,066		

目標

スポーツを通し、町民の健康増進並びにスポーツ競技力向上のため、安全にそして快適にスポーツを楽しめるよう施設の充実を図る。また、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の利用者が、快適かつ安心して利用できる充実した施設の運営を図る。

実績

1　運動公園業務委託
・松島運動公園指定管理料　15,644,000 円

2　温水プール業務委託
・松島運動公園（温水プール）指定管理料　40,189,000 円

3　運動公園月別利用状況

（単位：人）

月	野球場	テニスコート	多目的運動広場	会議室	グラウンドゴルフ	合　計
4	0	744	2,555	133	164	3,596
5	0	1,347	2,108	140	61	3,656
6	784	832	2,756	320	156	4,848
7	1,010	881	2,425	91	34	4,441
8	1,225	660	4,337	105	100	6,427
9	1,240	891	1,733	97	111	4,072
10	1,230	927	2,594	184	394	5,329
11	460	570	1,748	70	110	2,958
12	57	488	1,035	43	95	1,718
1	0	353	782	22	25	1,182
2	0	404	1,055	55	81	1,595
3	200	911	1,830	124	124	3,189
計	6,206	9,008	24,958	1,384	1,455	43,011

〈次頁へつづく〉

成果

松島運動公園内にある野球場、テニスコート、多目的運動広場、グラウンドゴルフコース等の屋外スポーツ施設と温水プール施設の両施設は、それぞれの指定管理者が事業計画に沿って適切な管理運営を行い、利用者へのサービス向上に努めた。

運動公園は、多目的運動広場を天然芝から人工芝に整備したことで年間を通してスポーツ・レクリエーション活動に触れる機会が広がり利用者の増加に繋がった。また、温水プール施設も昨年度と比較して施設利用者が増えており、町民の健康志向の高まりから運動不足を意識して定期的な運動を心がける人が増加した。

実績

4 温水プール施設別利用状況

(プール) (単位:人)

月	町内(個人)			町外(個人)			計			コース貸		無料	幼児	合計
	学生	一般	計	学生	一般	計	学生	一般	計	利用者数	団体数			
4	131	377	508	68	255	323	199	632	831	237	12	0	12	1,080
5	144	382	526	106	284	390	250	666	916	250	13	0	19	1,185
6	127	373	500	78	249	327	205	622	827	423	20	0	20	1,270
7	766	595	1,361	361	374	735	1,127	969	2,096	700	30	2	66	2,864
8	525	578	1,103	363	434	797	888	1,012	1,900	369	17	7	155	2,431
9	159	328	487	62	200	262	221	528	749	429	13	6	25	1,209
10	75	273	348	21	156	177	96	429	525	308	16	2	9	844
11	92	331	423	40	178	218	132	509	641	313	17	4	19	977
12	121	303	424	48	184	232	169	487	656	252	15	16	12	936
1	112	321	433	15	223	238	127	544	671	273	16	16	13	973
2	109	346	455	17	276	293	126	622	748	282	15	8	25	1,063
3	164	329	493	41	183	224	205	512	717	260	17	3	18	998
計	2,525	4,536	7,061	1,220	2,996	4,216	3,745	7,532	11,277	4,096	201	64	393	15,830

(トレーニングジム) (単位:人)

月	町内計	町外計	講習会		無料	合計
			参加者数	件数		
4	243	79	13	7	0	335
5	230	50	19	8	0	299
6	234	108	11	7	0	353
7	248	130	17	9	0	395
8	244	148	14	9	0	406
9	188	87	7	2	0	282
10	219	79	12	6	0	310
11	269	112	17	10	0	398
12	273	120	17	6	0	410
1	341	111	16	8	1	469
2	365	140	25	7	7	537
3	395	110	17	7	7	529
計	3,249	1,274	185	86	15	4,723

(シルバートレーニングルーム) (単位:人)

月	町内計	町外計	教室		無料	合計
			参加者数	件数		
4	63	1	0	0	0	64
5	48	4	0	0	0	52
6	33	7	0	0	0	40
7	69	10	0	0	0	79
8	91	5	0	0	0	96
9	60	7	0	0	0	67
10	63	2	0	0	0	65
11	80	12	0	0	0	92
12	68	14	0	0	0	82
1	76	11	0	0	0	87
2	82	10	0	0	0	92
3	83	9	0	0	0	92
計	816	92	0	0	0	908

(スタジオ) (単位:人)

月	一 般		教 室		合計	
	利用者数	件数	参加者数	件数	人数計	件数計
4	88	9	0	0	88	9
5	74	8	21	1	95	9
6	102	10	18	1	120	11
7	134	14	17	1	151	15
8	59	7	13	1	72	8
9	76	9	0	0	76	9
10	89	9	0	0	89	9
11	90	10	24	1	114	11
12	69	8	17	1	86	9
1	90	8	21	1	111	9
2	83	8	23	1	106	9
3	104	9	0	0	104	9
計	1,058	109	154	8	1,212	117

(会員) (単位:人)

月	スクール	フルタイム	ナイト	合計
4	705	837	36	1,578
5	537	867	43	1,447
6	809	871	51	1,731
7	907	1,089	53	2,049
8	597	937	60	1,594
9	779	774	42	1,595
10	727	688	36	1,451
11	840	795	51	1,686
12	809	818	48	1,675
1	803	773	45	1,621
2	573	919	50	1,542
3	802	948	71	1,821
計	8,888	10,316	586	19,790

〈次頁へつづく〉

8　款	5　項	3　目

実績

（温水プール全施設月別集計人数）　（単位：人）

月	プール	トレーニングジム	シルバートレーニングルーム	スタジオ	会員	合計
4	1,080	335	64	88	1,578	3,145
5	1,185	299	52	95	1,447	3,078
6	1,270	353	40	120	1,731	3,514
7	2,864	395	79	151	2,049	5,538
8	2,431	406	96	72	1,594	4,599
9	1,209	282	67	76	1,595	3,229
10	844	310	65	89	1,451	2,759
11	977	398	92	114	1,686	3,267
12	936	410	82	86	1,675	3,189
1	973	469	87	111	1,621	3,261
2	1,063	537	92	106	1,542	3,340
3	998	529	92	104	1,821	3,544
計	15,830	4,723	908	1,212	19,790	42,463

（温水プール施設における教室）　（単位：人）

教室名	対象	回数	延べ参加者数
水中ウォーキング教室	会員	48	1,019
アクアエクササイズ・ウォーク教室	会員	96	1,812
アクアビクス教室	会員	44	157
初級水泳教室	会員	331	2,376
中級水泳教室	会員	170	921
春休み短期水泳教室	小学生	3	9
夏休み短期水泳教室	小学生	3	70
冬休み短期水泳教室	小学生	3	12
楽らくエアロビクス教室	会員	46	548
ピラティス・ストレッチ教室	会員	73	808
健康体操・バランスボール教室	会員	69	1,310
エアロビクス教室	会員	116	1,108
ヨガ教室	会員	155	1,507
筋力・シェイプアップ教室	会員	244	1,532

5　温水プールリース料（平成27年度分）
- トレーニングマシーンリース料（再リース、平成29年9月まで）　333,312 円
- スポーツ振興センター複写機賃貸借料（再リース、平成28年9月まで）　162,000 円

6　工事請負費
- 松島運動公園汚水排水管等補修工事　1,782,000 円

一　般　会　計

8　款	5　項	5　目	街　路　事　業　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	建設課建設班
	743,969	244,290		

目標	震災復興計画の具現化に向けて復興交付金事業として避難道路を整備し湾岸部の集落から迅速かつ安全な避難経路の確保を図る。また被災地と防災拠点及び緊急輸送路線等を結ぶどうろ整備を行い防災道路ネットワークの構築を図る。
実績	1　委託料　284,700 円 ・松島町復興交付金事業避難道路・避難場所整備調査設計業務委託　284,700 円 根廻・磯崎線道路築造事業（磯崎側） （前払金） 2　工事請負費　155,900,000 円 ・町道根廻・磯崎線避難道路整備工事（磯崎側）　155,900,000 円 （前払金） 3　土地購入費　3,241,800 円 ・町道根廻・磯崎線道路築造事業土地購入（磯崎側）　3,241,800 円 （繰越明許費） 4　委託料　1,453,200 円 ・町道根廻・磯崎線道路整備工事に伴う情報ボックス移転設計業務委託　600,000 円 （根廻側）（前払金） ・町道根廻・磯崎線道路整備工事に伴う標準地鑑定評価書作成業務委託　853,200 円 （根廻側） （事故繰越） 5　土地購入費　35,523,265 円 ・町道根廻・磯崎線道路築造事業土地購入（磯崎側）　35,523,265 円 6　補償金　47,688,083 円 ・町道根廻・磯崎線道路築造事業物件等移転補償金（磯崎側）　47,688,083 円
成果	東日本大震災復興交付金として採択を受けた根廻・磯崎線（磯崎側）については、調査設計業務及び土地購入を行い、避難道路整備事業の推進が図られた。また、避難道路工事について着工した。 社会資本総合交付金（復興枠）として採択を受けた根廻・磯崎線（根廻側）については、調査設計を実施し、道路築造事業の推進が図られた。

一　般　会　計

8　款	6　項	1　目	住　宅　管　理　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	建設課管理班
	10,977	10,297		

目標

住宅に困窮する低額所得者等に低廉な家賃で住宅を賃貸し、町民生活の安定と社会福祉の増進を図る。

実績

◇　町営住宅（164戸85棟）　災害公営住宅（52戸30棟）の維持管理

1　需用費　（修繕料）

・住宅別修繕内訳

住　宅	設置年数	修　繕　内　訳	金　額
愛宕	S39～43	水漏れ	28,674 円
上初原	S42～45	風呂、床、雨戸	250,328 円
幡谷	S42	玄関、排水溝、ベニヤ張り替え	64,584 円
高城	S56～57 H7	襖、壁、天井、塗装、ドア ガス給湯器、クロス張り替え	3,446,738 円
災害公営住宅 華園・美映の丘	H27	洗面化粧台	42,811 円
合　計			3,833,135 円

2　役務費（火災保険料）

・町営住宅火災共済（216戸）　379,133 円

3　委託料　（施設管理委託料）　532,440 円

・町営住宅遊具定期点検業務委託　46,440 円
・町営住宅高城団地定期調査業務委託　486,000 円

4　工事請負費

・愛宕町営住宅解体工事　（4戸）　3,920,400 円

〈次頁へつづく〉

成果

町営住宅の居住者より要望のあった箇所の修繕を実施し居住者が快適に生活できる環境造りに努めた。使用料徴収は計画的に行うことで、現年度の徴収率向上と滞納金額の整理に成果を得た。現年度駐車場使用料の徴収率は100％となった。

8　款	6　項	1　目

実績

5　町営住宅管理戸数及び住宅使用料徴収状況

住宅名	管理戸数(入居戸数)	住宅使用料徴収状況				備考
		調定済額(円)	収入済額(円)	収入未済額(円)	徴収率(%)	
愛　宕	15(13)	720,500	720,500	0	100.0	
上初原	50(45)	2,273,100	2,266,500	6,600	99.7	
幡　谷	10(10)	417,600	369,000	48,600	88.4	
小石浜	7(5)	297,600	297,600	0	100.0	
高　城	78(76)	20,468,100	20,021,800	446,300	97.8	
華園・美映の丘現年度分	52(51)	8,170,600	8,048,900	121,700	98.5	
現年度分	212(200)	32,347,500	31,724,300	623,200	98.1	
滞納繰越分		7,710,650	1,193,850	4,850,610	15.5	不納欠損2,335,740円
合　計		40,058,150	32,918,150	4,804,260	82.2	

6　町営住宅駐車場区画数及び駐車場使用料徴収状況

住宅名	利用数	駐車場使用料徴収状況				備考
		調定済額(円)	収入済額(円)	収入未済額(円)	徴収率(%)	
高城現年度分	33	898,000	898,000	0	100.0	
高城滞納繰越分		120,600	62,600	58,000	51.9	
合　計		1,018,600	960,600	58,000	94.3	

7　町営住宅敷金会計別状況

	戸　数(戸)	金　額(円)	備　考
一般会計分	91	2,593,200	2世帯退居　46,600 円
歳計外現金分	58	2,164,110	5世帯入居　322,500 円 3世帯退居　132,930 円
合　計	149	4,757,310	

一　般　会　計

8　款	6　項	2　目	木造住宅等震災対策事業費	（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	建設課管理班
	1,057	1,057		

目標

昭和56年度以前に建築された木造住宅に対し耐震化の促進を図り、今後発生する震災での住宅倒壊を最小限に抑える。

実績

◇　木造住宅耐震診断助成　木造住宅耐震改修・促進事業

1　木造住宅耐震診断助成事業業務委託

・平成27年度実績　3件　420,000円

助成内訳

国1/2 （70,000円/件） 210,000円	県1/4 （35,000円/件） 105,000円	町1/4 （35,000円/件） 105,000円

・1件あたり(床面積200㎡まで)140,000円を助成し、個人負担は8,300円

2　木造住宅耐震改修工事助成事業補助金

・平成27年度実績　1件　300,000円

助成内訳

国1/2 150,000円	町1/2 150,000円

・助成割合は、対象工事費60万円以上の場合、費用の1/3で限度額30万円
（対象工事費20万円未満は実費助成、20万円以上60万円未満は20万円固定額助成）

3　木造住宅耐震改修工事促進事業補助金

・平成27年度実績　1件　250,000円

助成内訳

県1/1　全額県費 250,000円

・耐震改修工事とリフォーム工事を同時に行う場合、費用の5/18で限度額25万円
（耐震改修工事のみの場合、費用の1/6で限度額15万円）

成果

木造住宅の耐震診断やリフォームを含めた耐震改修工事の助成制度を実施し事業の推進に努めた。

一　般　会　計

8　款	6　項	3　目	住　宅　環　境　整　備　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	企画調整課震災復興対策室
	7,670	5,628		

目標

東日本大震災により地盤沈下の影響を強く受けている沿岸部で浸水の恐れがある地域の浸水被害対策の促進と、被災した宅地等所有者の生活再建の負担軽減を図る。

実績

東日本大震災により地盤沈下の影響を強く受けている沿岸部で浸水の恐れのある地域において、対象者が行う宅地かさ上げ等の防災対策工事に対し補助金を交付した。

1　松島町宅地かさ上げ等事業費補助金

・交付件数　　2 件

・交付額　　1,570,000 円

・交付状況

地　区	交付件数	うち盛土	うち基礎かさ上げ
松　島	2件	1件	1件
合　計	2件	1件	1件

2　松島町津波被災住宅再建支援事業補助金(宅地かさ上げ分)

・交付件数　　2 件

・交付額　　2,000,000 円

・交付状況

地　区	交付件数	うち盛土	うち基礎かさ上げ
高　城	2件	1件	1件
合　計	2件	1件	1件

（繰越明許費）

3　松島町宅地かさ上げ等事業費補助金　　1 件(高城地区)　　1,000,000 円

4　松島町津波被災住宅再建支援事業補助金(宅地かさ上げ分)
1 件(手樽地区)　　1,000,000 円

成果

松島町宅地かさ上げ等事業費補助金制度を活用していただくために、事前相談の受け付けや広報で告知を行い、浸水被害対策が講じられるよう事業を推進した。

また、対象区域内で住宅が建設された箇所などについても、松島町復興定住促進事業、松島町津波被災住宅再建支援事業補助金と連携し、申請の勧奨を行うことで、被災した宅地等所有者の生活再建の負担軽減に寄与した。

一　般　会　計

8　款	6　項	4　目	耐震対策緊急促進費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	建設課管理班
	9,343	9,343		

目標

平成25年度の耐震改修促進法改正により耐震診断が義務化された、昭和56年度以前に建築された不特定多数の者が利用する大規模建築物について、耐震化への助成を行い、今後発生する地震での倒壊等を最小限に抑える。

実績

◇　大規模建築物の耐震化に関する助成事業

1　要緊急安全確認大規模建築物耐震補強設計助成事業補助金

・事業概要　要緊急安全確認大規模建築物に該当する施設を所有する民間事業者等が耐震補強設計等を行う場合に、民間事業者等に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。

・助成割合・助成実績　耐震補強設計　1件　9,343,000円

補助金額実績　9,343

（千円）

国費	県費	町費	国直接補助	事業者
2/6(4,671)	1/6(2,335)	1/6(2,337)	1/6(2,664)	1/6(2,993)

事業費　15,000　（補助対象経費　14,015）

成果

補助金の助成により、事業者は耐震診断義務化対象建築物の耐震補強設計を実施した。

一　般　会　計

8　款	6　項	5　目	災害公営住宅整備費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	建設課復興班
	100,949	100,949		

目標	東日本大震災により住宅が滅失した住民の方々が入居できる災害公営住宅を整備する。
実績	（事故繰越費） 1　委託料　3,344,000 円 ・松島町災害公営住宅建設工事施工監理業務委託　3,344,000 円 2　工事請負費　97,604,360 円 ・松島町災害公営住宅15号棟建設工事　8,796,000 円 ・松島町災害公営住宅16号棟建設工事　31,953,960 円 ・松島町災害公営住宅18号棟建設工事　8,294,400 円 ・松島町災害公営住宅19号棟建設工事　16,068,000 円 ・松島町災害公営住宅20号棟建設工事　16,308,000 円 ・松島町災害公営住宅21号棟建設工事　16,184,000 円
成果	美映の丘地区に追加で整備を進めていた災害公営住宅（木造住宅10戸）を完成し、町内すべての災害公営住宅が完成した。

一　般　会　計

9　款	1　項	1 2　目 3	非常備消防費 水防費 災害対策費	(単位:千円)

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	総務課環境防災班
	34,718 647 12,019	32,778 615 11,240		

目標

住民の生命、財産を火災や自然災害から守るため、関連機関並びに各団体及び行政区、自主防災組織との連携強化、情報共有、資機材等の充実を図り、相互協力の下、消防防災活動に努める。

実績

1　火災発生状況

・建物火災	2 件	(磯崎地区1件、手樽地区1件)
・車輌火災	1 件	(松島地区1件)
・その他の火災	1 件	(桜渡戸地区1件)

2　消防団員出場状況

・火災出場	3 人
・警戒出場	
○災害警戒(関東・東北豪雨等)	64 人
○火気警戒(行事等)	115 人
・訓練	
○放水訓練及び小型ポンプ取り扱い訓練	36 人
○夏季規律訓練及び小型ポンプ操法訓練	231 人
○文化財防火デー警防演習	27 人
○防災訓練等(各地区及び自主防災組織等)	14 人
・研修	
○警防研修会(消防団員の健康管理)	6 人
○松島町消防団幹部研修	17 人
○防災講演会(七ヶ浜町)	8 人
・水防関係	
○重要水防箇所合同巡視	6 人
○防潮堤門扉点検	164 人
・火災予防啓発	
○春・秋の火災予防運動一斉広報	102 人
○防火査察及び消防水利点検等	151 人
・出初式	156 人

〈次項へつづく〉

成果

災害から住民の生命・財産を守るとともに、防火意識高揚を図るための啓蒙活動、災害時に対応できるよう、各種訓練、消防資機材、消防水利の点検を通して常備消防との連携を深め、火災、自然災害などに対応できる組織の充実を図った。

関東・東北豪雨では、消防団が吉田川越水箇所での土のう積みや堤防亀裂の発見、避難誘導、巡回広報など、訓練の成果を示すことができた。消防防災設備については老朽化した小型動力ポンプ付積載車の更新並びに災害時等に使用する資機材運搬用として資材搬送車(軽トラック)を購入し設備の充実を図った。

また、非常時の情報伝達手段として活用される防災行政無線については、点検を実施し適正な状態保持に努めた。自主防災組織(結成率75.03%)については、各自主防災組織の指導及び活動支援を行い地域防災力の向上に努めた。

3　防火思想啓発事業
・火災予防運動(秋:平成27年11月9日～11月15日　春:平成28年3月1日～3月7日)
・婦人防火ｸﾗﾌﾞ育成指導
普通・上級救命講習会(7月29日)
・文化財防火デー警防演習(平成28年1月25日)

4　消防備品購入事業
・消防小型動力ポンプ付積載車購入事業　7,992,000 円
・消防団資材搬送車購入事業　1,973,818 円

5　消防水利対策事業
・消火ホース格納箱等交換工事　610,200 円

6　防災対策委託事業
・防災行政無線等施設保守点検業務委託　4,320,000 円
・気象防災支援情報提供業務委託　2,069,712 円

7　防災訓練・防災講演会
避難所開設訓練
・実施日　平成28年3月26日
・実施場所　下記のとおり6箇所
高城コミュニティセンター、白萩避難所、本郷ふれあいセンター、帰命院避難所
北小泉・下竹谷コミュニティーセンター、品井沼農村環境改善センター
・実施内容　避難所の開設手順について実践形式の訓練を実施
・訓練対象　町職員　100名

防災講演会
・実施日　平成28年3月26日
・場所　松島町文化観光交流館　大ホール
・演題　地震災害を経験して
・参加人数　202名(行政区・消防団・婦人防火クラブ会員・一般住民・町職員)
・その他　エントランスホールにて防災用品展示、アルファ米試食

8　自主防災組織育成事業
・自主防災組織訓練運営補助金　620,105 円　(実施団体数　16団体)

訓練実施地区	実施日	訓練実施地区	実施日
1 松島区松島一地区	10 月 25 日	9 手樽区古浦地区	9 月 6 日
2 松島区松島十地区	10 月 4 日	10 幡谷区新田地区	12 月 6 日
3 松島区松島十一地区	9 月 27 日	11 幡谷区品井沼第一地区	4 月 26 日
4 本郷区居網地区	2 月 20 日	12 幡谷区品井沼第二地区	10 月 25 日
5 本郷区三居山一地区	7 月 12 日	13 幡谷区くぬぎ台地区	10 月 10 日
6 本郷区反町地区	1 月 20 日	14 根廻区	10 月 18 日
7 磯崎区	7 月 19 日	15 初原区	9 月 20 日
8 手樽区早川地区	10 月 18 日	16 桜渡戸区	2 月 28 日

一　般　会　計

10　款	1　項	2　目	事　務　局　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	教育委員会教育課 学校教育班
	102,946	100,481		

目標

松島を大切にし、豊かな心を育てることを目標に、やさしく、たくましい児童生徒の育成、学力向上や学校支援体制の推進、国際理解教育の充実に努める。

1　学び支援事業(文科省委託事業　被災地対象「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」)
年間利用児童生徒数及び開設日数

上段：延べ利用児童生徒数　（単位：人）
下段：開設日数　（単位：日）

学校名	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校	27	75	145	179	791	23	234	344	218	241	215	281	197	2,943
		4	7	6	9	1	8	9	6	5	6	7	5	73
	26	134	267	233	704	33	270	327	291	247	174	277	545	3,502
		3	7	6	8	1	8	8	7	6	6	8	10	78
松島第二小学校	27	60	93	159	140	35	178	156	314	159	146	211	87	1,738
		2	3	5	5	1	5	4	7	4	3	5	3	47
	26	88	130	220	178	39	245	175	242	204	57	182	102	1,862
		4	6	8	7	1	8	5	6	5	2	5	3	60
松島第五小学校	27	24	162	238	225	79	189	268	219	196	172	187	147	2,106
		1	7	8	9	5	7	9	8	6	6	7	5	78
	26	86	169	170	184	80	155	195	166	143	166	158	95	1,767
		5	9	8	7	6	8	9	8	6	7	7	6	86
松島中学校	27	0	13	21	411	7	31	63	56	58	71	57	9	797
		6	16	19	15	6	15	18	17	13	13	20	11	169
	26	40	70	75	872	163	60	78	79	64	40	51	24	1,616
		12	19	19	15	5	15	18	16	13	12	18	14	176
計	27	159	413	597	1,567	144	632	831	807	654	604	736	440	7,584
		13	33	38	38	13	35	40	38	28	28	39	24	367
	26	348	636	698	1,938	315	730	775	778	658	437	668	766	8,747
		24	41	41	37	13	39	40	37	30	27	38	33	400

2　外国語指導助手（ALT）年間勤務日数　（単位：日）

学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校	0	1	2	1	0	2	2	1	2	1	2	1	15
松島第二小学校	0	3	4	2	0	3	3	3	2	3	4	1	28
松島第五小学校	0	0	1	2	0	2	2	2	2	1	2	0	14
小学校 計	0	4	7	5	0	7	7	6	6	5	8	2	57
松島中学校	21	11	9	11	9	5	4	7	6	5	3	6	97

※ 上記の学校教育活動の他、児童館に計15回、幼稚園に計22回、保育所に計29回訪問し、未就学児への英語に親しむ機会を設けた。

〈次頁へつづく〉

成果

1 学び支援事業
児童・生徒における家庭学習の習慣化に繋げるため、各小・中学校の放課後、長期休業等を利用した自主学習支援（学び支援事業）を継続して実施した。
学校と方向性を共有しながら、学び支援コーディネーター（指導主事経験者）・学び支援相談員（教員経験者）・学び支援員（補助者）による子どもの学習サポートにより積極的に学習に取り組む姿が見受けられるようになり、自主学習の習慣化が図られた。
2 心のケア・不登校対策事業
学校と連携し、児童・生徒の状況に合わせたきめ細やかな支援を実施。家庭環境が原因により学校不適応となっている児童生徒が安心して通える場を確保した。小学生を対象に、発達支援などを含めた心のケアを充実させるとともに中学校内に設置した「学びの相談室」では、不登校や不登校傾向にある生徒の教育支援を実施した。これにより通常授業に参加する時数が増え、進学への意欲を取り戻すことが出来、保護者や教職員への支援にも繋がった。
3 外国語指導助手事業
小・中学校のほか幼稚園・保育所・児童館等に指導助手（ALT）を派遣することで、国際理解を深める教育の一助となった。

10　款	1　項	2　目

実績

・研修会等

事業名	内容	日程	参加者数
教職員等対象研修会	学力向上講演会（講師：昭和女子大学大学院　教授　押谷由夫　氏） 演題：「特別の教科道徳（仮称）」への備えと具体的取組	7月14日	150
	男・女、年齢を越えて、人が活きる上で必要なルールやマナー、社会規範などを身に付け、人としてより良く生きることの根本について教職員に考えていただく良い機会となった。		
	公開授業研究会視察（場所：秋田県にかほ市立院内小学校）	10月23日	6
	公開授業研究会視察（場所：秋田県にかほ市立金浦中学校）	11月13日	3
	学力向上に大きな成果を上げている秋田県の指導の実態を学ぶ機会となった。児童・生徒が主体的に学ぶ環境づくりについて学ぶことが出来、今後の授業運営の一助とすることが出来た。		
児童・保護者・教職員対象講演会	学び支援研修会（講師：前矢本中央幼稚園長　津田眞一　氏） 演題：家庭で育てる学びの力	7月2日	60
	就学前から中学生にかけての教育のあり方について、保護者として配慮しなければならないことを具体的な事例を基に講話いただいたことで、家庭における愛のこもった子育て術について学ぶことが出来た。		
計			219

3　心のケア・不登校対策事業（文科省委託事業「学校教育活動復旧支援事業」）

対象	内容	延べ人数
小学生	教育相談員・支援補助員による心のケア・発達支援	250
中学生	教育相談員・支援補助員による不登校支援	154

教育相談員・・・教員免許を有し、全面的に学習サポートにあたる。
支援補助員・・・教員免許は持たない。教育相談員のサポートにあたる。

4　子供安全対策事業（スクールガードリーダーの配置）
児童・生徒の安心安全対策として登下校時に週2回の見守り活動の実施
1名（活動回数　80回）　480,000 円

5　震災復興支援中学校ホームステイ事業　1,992,490 円
松島町教育振興基本計画の基本構想である「誇りと絆を育み、しなやかに生きる松島人」の育成を目指し、松島中学校生徒のアメリカ合衆国ノースカロライナ州チャペルヒル町へのホームステイ事業をとおして、未来の松島を担い、広く世界に目を開き、社会に貢献する国際感覚を身に付けた生徒を育成する。
東日本大震災時、本町に宿泊中に被災経験をされたキャスリーン・ポールさんが中心となって松島救済基金（Matsushima　Relief　Fund）を立ち上げ、扇風機やストーブ等の支援物資や中学生のアメリカでのホームステイ受入れ等のご支援を頂いている。H27で3回目。

・ 日程　平成27年7月27日～8月2日
・ 行先　アメリカ合衆国　ノースカロライナ州チャペルヒル町
東チャペルヒル高校、チャペルヒル町長と教育委員会教育長との面会
ホストファミリー　3世帯
・ 参加者　松島中学校生徒
1年男子1人　1年女子2人
2年男子1人　2年女子2人　計6人
(同行者)松島中学校職員2人、松島町職員1人

一　般　会　計

10　款	2 3　項	1　目	小　学　校　管　理　費 中　学　校　管　理　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	教育委員会教育課 学校教育班
	62,638 28,060	60,033 26,456		

目標

町の教育基本方針である「かしこく、やさしく、たくましい児童・生徒の育成」と「特色ある学校づくりの推進」のため、児童生徒の安心・安全な学習環境の充実と学校施設整備の向上を図る。

実績

1　児童生徒数及び学校職員数（平成27年5月1日現在）

（単位：人）

学校名	児童・生徒数	教職員数						
		学校教員	事務職員	養護教員	栄養職員	教育補助員	業務員	総計
松島第一小学校	343	23	1	1	0	3	1	29
松島第二小学校	176	15	1	1	0	3	1	21
松島第五小学校	79	11	1	1	0	3	1	17
小計	598	49	3	3	0	9	3	67
松島中学校	317	23	2	1	1	4	1	32
総計	915	72	5	4	1	13	4	99

2　修繕料

・松島第一小学校	プールろ過装置修繕他	（　14　件）	905,197 円
・松島第二小学校	網入りガラス修繕他	（　16　件）	1,703,608 円
・松島第五小学校	教室引戸修繕他	（　11　件）	1,628,568 円
・松島中学校	音楽室カーペット修繕他	（　21　件）	2,645,950 円

3　備品購入費

（庁用備品）

・松島第一小学校	ワイヤレスマイク他	（　2 品目）	64,778 円
・松島第二小学校	傘立て他	（　6 品目）	302,135 円
・松島第五小学校	児童用ロッカー他	（　3 品目）	397,440 円
・松島中学校	ファクシミリ他	（　6 品目）	263,088 円

4　校務用コンピュータ（校務支援システム）整備状況　（単位：台）

項目／学校名	松一小	松二小	松五小	松中	計
整備年度	H24	H25	H27	H27	―
整備台数	27	17	16	34	94

成果

特別な支援を要する児童生徒へのきめ細やかな支援や基本となる学力の定着を図るため、教育補助員等を配置し、教育活動の向上を図った。

整備予定であった校務用コンピュータ（校務支援システム）の整備が完了し、各小中学校教職員の校務の効率化が図られた。

一　般　会　計

10　款	2 3　項	2　目	教育振興費（小学校） 教育振興費（中学校）	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	教育委員会教育課 学校教育班
	20,855 13,500	19,413 11,680		

目標

児童生徒の学習に必要な教材・教具の整備充実により教育環境保全向上に努めると共に、経済的理由により就学困難な世帯並びに特別支援学級入級世帯の児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行う。

実績

1　備品購入費

（教材備品）

・松島第一小学校	エスロン巻き尺他	（　4 品目）	76,550 円
・松島第二小学校	折りたたみ式画用紙乾燥棚他	（　2 品目）	288,928 円
・松島第五小学校	簡易気体検知管セット他	（　9 品目）	331,409 円
・松島中学校	塩ビ製薬品保管庫他	（　14 品目）	520,020 円

（図書備品）

・松島第一小学校	児童図書	（　99　冊）	139,752 円
・松島第二小学校	児童図書	（　36　冊）	69,984 円
・松島第五小学校	児童図書	（　81　冊）	121,586 円
・松島中学校	一般図書	（　72　冊）	133,056 円

2　教育用コンピュータ整備状況

平成27年度整備　　松島第一小学校　　3,155,306 円

・整備状況（教育用パソコン整備年次計画）　（単位：台）

項目／学校名	松一小	松二小	松五小	松中	計
整備年度	H27	H25	H26	H26	―
整備台数 うちタブレットPC	60 18	34 7	25 3	61 19	180 47

〈次頁へつづく〉

成果

学校教材備品、教育用コンピュータやタブレットなど児童生徒に必要な学習環境を整えるとともに、経済的な理由により就学援助費制度や特別支援教育就学奨励費制度を活用する保護者の負担軽減と児童生徒の適切な教育支援体制を整えた。

町内の小学校、中学校、高校において、志教育やまつしま防災学出前授業等による地域や防災、観光などをテーマに発表・交流する事業を行った事は、「ふるさと松島」について町の現状や将来について考える機会となった。

学び支援事業では、教育先進地である秋田県にかほ市の小中学校を町内の教職員等が視察、にかほ市立院内小学校が松島第二小学校の授業視察と学力向上に繋がる積極的な意見交換が行われ、今後の授業のあり方や指導力向上が図られた。

10 款	2 3 項	2 目

実績

3　要・準要保護家庭及び特別支援学級児童に対する教育扶助費
震災からの一定期間が経過したため、被災要件対象者にかかる「り災証明書」のみの対象要件を対象から除いた。

・小学校　（単位：円）

内容（一人当たり）	学校名 該当人員	松一小 53 人	松二小 16 人	松五小 8 人	小計 77 人	特別支援 11 人	合計 88 人
学用品費	11,420	515,802	161,783	91,360	768,945	62,810	831,755
通学用品費	2,230	81,580	20,441	15,610	117,631	10,035	127,666
校外活動(泊有)	3,570	21,420	3,570	13,500	38,490	13,470	51,960
校外活動(泊無)	1,550	43,200	1,420	4,640	49,260	7,750	57,010
新入学用品費	20,470	184,230	102,350	20,470	307,050	20,470	327,520
通学交通費	9,720	0	0	0	0	0	0
修学旅行費	21,190	175,000	38,738	39,600	253,338	21,180	274,518
医療費	(実費)	0	0	0	0	0	0
給食費	46,375	2,072,197	648,190	369,940	3,090,327	244,298	3,334,625
支給総額		3,093,429	976,492	555,120	4,625,041	380,013	5,005,054

※ 一人当たり支給額：医療費以外は年額又は上限額である。
※ 小学校全体：就学援助費77人（要保護9人・準要保護68人）、特別支援教育就学奨励費11人

・中学校　（単位：円）

内容（一人当たり）	学校名 該当人員	松中 46 人	特別支援 3 人	合計 49 人
学用品費	22,320	903,960	33,480	937,440
通学用品費	2,230	65,785	2,230	68,015
校外活動(泊有)	6,010	2,200	3,300	5,500
校外活動(泊無)	2,240	8,800	3,360	12,160
新入学用品費	23,550	259,050	11,775	270,825
通学交通費	2,230	80,000	0	80,000
修学旅行費	57,290	1,083,000	28,645	1,111,645
体育実技用具費(柔道)	7,510	23,500	0	23,500
医療費	(実費)	0	0	0
給食費	(下記)	2,039,198	75,330	2,114,528
支給総額		4,465,493	158,120	4,623,613

※ 一人当たり支給額：医療費以外は年額又は上限額である。　※ 給食費：1・2年生 51,770円、3年生 50,530円
※ 就学援助費46人（要保護6人・準要保護40人）、特別支援教育就学奨励費3人

4　小中合同交流事業・にかほ市との教育交流・志教育支援事業

事業名	内容
学び支援視察	にかほ市立院内小学校及び金浦中学校における学力向上対策を視察
町内小学5年生美術鑑賞	町内のガラス美術館見学
町内小学6年生交流事業（※1）	町内の小学6年生合同による遊覧船からの松島湾内見学及び自然学習、児童らによる交流会を実施。
にかほ市との教育交流	にかほ市立院内小学校の松二小への授業視察及び交流
小中合同発表交流会（※2）	町内の小学6年生と松島中学校1年生による総合的な学習の時間の発表交流会 テーマ「松島の歴史・文化・自然を調べよう」
志教育支援事業（※1、※2は関連事業）	・小中交流事業 まつしま防災学出前授業：小学3、4年生と中学1年生による防災に関した交流（中学生が防災について学んだことを出身校で小学生に教示） 学習発表交流授業：小学6年生と中学1年生による交流（町の現状や将来について発表） ・小高交流事業 松島の観光学習発表授業：小学5年生と松島高校1年生による交流（松島の観光について高校生が小学生に教示） ・中高交流事業 職場体験発表授業：中学2年生と松島高校1、2年生による交流（職場体験で得たことを互いに発表）

一　般　会　計

10　款	2 3　項	3　目	学校保健衛生費（小学校） 学校保健衛生費（中学校）	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	教育委員会教育課 学校教育班
	8,561 4,233	8,052 3,991		

目標

学校保健安全法に定められた各種健診を実施し、児童・生徒並びに教職員の健康保持増進に努める。

実績

1　児童生徒検診　　※内科・心電図・結核・眼科・耳鼻科については要精検・要受診となった人数を掲載

（単位：人）

項目＼学年			小学校 1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	中学校 1年	2年	3年	計	備考
在籍者数			96	89	91	92	112	117	597	92	114	111	317	
内科	肥満傾向		8	2	5	9	13	13	50	5	5	7	17	※肥満度中等度以上
内科	脊柱・胸郭		0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	
内科	心雑音		4	1	4	0	2	0	11	2	1	1	4	
内科	皮膚	アトピー	8	0	4	2	6	5	25	1	0	0	1	
内科	皮膚	その他湿疹	0	1	0	0	1	1	3	0	0	1	1	
内科	尿	1次所見有り	3	0	0	1	3	9	16	3	4	2	9	
内科	尿	2次所見有り　蛋白	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
内科	尿	2次所見有り　糖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
内科	尿	2次所見有り　潜血	2	0	0	0	0	5	7	1	0	0	1	
ぎょう虫検査保有			0	0	0	－	－	－	0	－	－	－	－	
血液(貧血検査)			－	－	－	－	－	1	1	－	1	－	1	※ 受診済
血液(LDLｺﾚｽﾃﾛｰﾙ)			－	－	－	－	－	6	6	－	7	－	7	※ 要再検（130mg/dl以上）
心電図二次検査			－	－	－	2	－	－	2	4	－	－	4	異常なし3人、経過観察3人
結核	問診 要検討者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
結核	結核対策委員会		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
眼科	視力矯正0.7未満		0	0	1	0	2	8	11	3	9	9	21	
眼科	ｱﾚﾙｷﾞｰ結膜炎		5	7	7	6	8	8	41	1	0	0	1	
眼科	その他（斜視）		3	4	4	3	3	6	23	1	0	0	1	
耳鼻科	聴力所見有り		1	1	1	－	1	－	4	1	－	0	1	
耳鼻科	耳疾患(中耳炎等)		－	3	5	－	1	－	9	6	－	0	6	
耳鼻科	鼻・副鼻腔疾患等		－	12	9	－	7	－	28	0	－	0	0	
歯科	健全歯者		35	28	18	28	20	56	185	66	81	44	191	※ 12歳永久歯平均う歯本数 松島町 1.50本　国 1.00本 (H26)
歯科	う歯所有者		22	16	43	23	54	34	192	11	17	50	78	
歯科	処置完了者		18	31	27	30	31	24	161	15	16	17	48	

2　平成27年度教職員検診

（単位：人）

		受診者	結果	備考
結核検診	（全教職員対象）	86	要精検4人	
胃がん検診	30歳以上希望者	40	要精検2人	※ 公立学校共済組合の人間ドック受診者を除く
一般検診	20歳以上希望者	69	要精検28人	※要精検：重篤な疾患無し

〈次頁へつづく〉

成果

学校医による指導助言のもと適切な保健管理や各種健康診断を実施し、児童生徒及び教職員の健康保持増進が図られた。また、学校保健連絡協議会で情報共有を図った他、「学校保健安全法施行規則の一部改正に伴う定期健康診断の変更について」の研修を実施し共通理解が得られた。

さらに、学校ごとに保健教育として『メディアコントロール』について講演を実施し、児童生徒及び保護者に対して啓発することができた。

10　款	2 3　項	3　目

実績

3　備品購入費
（保健衛生備品）

・松島第一小学校	非接触放射体温計シーゼ他	（　4 品目）	64,714 円
・松島第二小学校	組立書庫他	（　4 品目）	80,352 円
・松島第五小学校	シャークスチームモップ他	（　4 品目）	20,358 円
・松島中学校	カロスクリーン他	（　9 品目）	206,328 円

4　研修
・「学校保健安全法施行規則の一部改正（平成28年4月施行）に伴う定期健康診断の変更について」の勉強会
・一部改正の内容
　測定項目の変更
　　「座高・寄生虫卵の有無の検査」を必須項目から削除し、「四肢の状態」を追加

5　保健教育
・（メディアコントロール）についての講演会実施状況

	内容	対象	日程
松島第一小学校	「スマホ・ケータイ安全教室」 講師：NTTドコモ	6年生と その保護者	11月27日
松島第二小学校	ノーゲーム＆減テレビデー（週1回）、 保健指導「メディアと睡眠について」	全児童	8月27・28・31日
	講演会「映像メディアと児童生徒の成長発達について」 講師：仙台医療センター小児科医	全児童 及び保護者	12月3日
松島第五小学校	ノーメディアデー（週1回）、家庭学習強調週間（年3回）	全児童	―
	「メディア教室」 講師：塩竈警察署生活安全課	5・6年生	2月9日
松島中学校	保健指導「携帯依存、被害防止等について」	全生徒	随時、 夏期休業前
青少年健全育成 松島町民会議	講演会「携帯電話（スマホ等）の普及と被害予防～保護者の責務～」 講師：宮城県環境生活部共同参画社会推進課	保護者	2月6日

一　般　会　計

10　款	2　項	4　目	学校建設費（小学校）	（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	教育委員会教育課 学校教育班
	38,807	38,787		

目標

昭和60年度に建設し翌年2月から供用を開始した第五小学校は、築30年以上が経過し老朽化が著しく防水機能が低下し、上層階への影響が懸念されている。
そのため、児童の安全・安心な教育環境の質的整備を図ることを目的として屋根改修事業を実施する。

実績

1　委託料
・松島第五小学校屋根改修工事施工監理業務委託　966,600 円

2　工事請負費
・松島第五小学校屋根改修工事　37,146,600 円
施工場所:松島町幡谷字新田5番地の1
本体屋根　改修面積　A=981㎡
外壁改修　改修面積　A=732㎡
円形ドーマー屋根　50.9㎡
プラットホーム屋根　10.8㎡
南側円形状屋根　9.0㎡
雪止（北側2列・南側1列）　L=167.4m
雨樋設置（北側）　L=55.8m

・松島第五小学校教室等窓改修工事
飛散防止フィルム貼付　71.8㎡
（保健室、音楽室、図書室、いちょう学級、すぎのこ学級、玄関）

成果

小学校施設整備指針を遵守し、町北部に位置する学校教育の拠点施設として、子どもたちが健やかに成長できるよう安全面に配慮した第五小学校の屋根改修工事を実施し、平成27年9月に完成することができた。
また、窓改修工事については、新年度に入学する児童が難病と闘いながら通学することもあり、保護者の要望と現場である学校等と協議し、該当する児童への影響と障害者基本法第16条第4項の規定に基づく整備として実施した。
これらの整備は、校舎が地域の景観と隣接する第五幼稚園も考慮し行われた。また、学校施設は災害時に地域の避難所の拠点施設として位置付けられているため、今回の整備により、災害にも強い施設として教育環境の質的向上を図ることができた。

一　般　会　計

10　款	4　項	1　目	社　会　教　育　総　務　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	教育委員会教育課 生涯学習班
	14,743	14,139		

目標

心身ともに健全な人間形成と活力ある明るいまちづくりをめざし、生涯学習社会の形成に向けて、家庭・地域・学校との協働による社会教育の推進に努める。

実績

【重点施策】
- ○ 生涯学習活動の推進
- ○ 生涯学習情報提供と学習需要の喚起
- ○ 生涯学習指導者・ボランティアの育成と活用
- ○ 地域、家庭、学校及び各関係機関との融合
- ○ 歴史・文化教育の推進

1　民間指導者の養成及び発掘

・ジュニアリーダー養成・育成事業　44,605　円

実施日	内　容	参加人数	場　所
平成27年5月9・10日	天麟院五郎八姫物語ボランティア活動	延べ10 人	天麟院
平成27年5月17日	二市三町合同研修会	8 人	ふれあいエスプ塩竈
平成27年7月25日	初原お泊まり会ボランティア活動	5 人	初原コミュニティセンター
平成27年7月28・29日	中級研修会	7 人	多賀城市文化センター
平成27年8月11・12日	二市三町合同キャンプ	12 人	松島町野外活動センター
平成27年8月15・16日	海の盆ボランティア活動	延べ43 人	松島海岸
平成27年8月20日	高城地区夏祭りボランティア活動	5 人	高城中央広場
平成27年9月27日	紫神社御白石持祭りボランティア活動	1 人	高城商店街
平成27年10月18日	二市三町合同スポーツ大会	3 人	利府町総合体育館
平成27年11月29日	幡谷ミニ文化祭ボランティア活動	8 人	品井沼改善センター
平成28年1月31日	仙台管内青年文化祭ボランティア活動	7 人	文化観光交流館
平成28年2月28日	松っ子まつり（登り人形・スーパービンゴ）	延べ12 人	文化観光交流館
平成28年2月28日	火起こし研修会	7 人	手樽地域交流センター
平成28年3月19・20日	初級研修会	延べ15 人	保健福祉センター

※登録者数37人（3月末時点）

2　地域活動の充実(後援事業)
- ・松っ子まつり（平成28年2月28日）　幼児・児童・生徒　延べ400人以上と交流
- ・青少年健全育成活動支援
  （講演会「携帯電話（スマホ等）の普及と被害予防～保護者の責務～」を開催）
- ・女性団体連絡協議会活動支援

〈次頁へつづく〉

成果

「歴史文化教育」として地域と協働した体験活動や出前授業を実施し、松島らしい歴史文化教育の推進を図った。特に今年度は、26年度までに作成した「松島町歴史文化教育カリキュラム計画」をもとに、各小学校における統一化した学習（同一の講師に同一の内容を教わる）を実践した。このように、松島中学校へ入学する児童間で体験・学習を共有することで、中学校での発展的学習を見込むことができる。また、12月には「松島まるごと学」という愛称を決定し、よりいっそうの定着を目指している。統一したカリキュラムのほかにも、各学校からのニーズに応じた学校教育支援活動を行うことで、地域と学校の協働による教育を推進することができた。

ジュニア・リーダーの育成では、二市三町合同での研修会等に参加することで、ジュニア・リーダーとしての資質の向上が見られた。さらに、地域行事への派遣が増えたことで、行事をとおして子どもたちと交流したり、地域の方々と協力したりするなど地域に根ざした活動の充実を図った。

10　款	4　項	1　目

3　青少年活動事業

・こころ・はぐくみ隊パート14の実施（小学校低学年(1～3年生)を対象とした創作活動ワークショップ　270,000 円

実施日	テーマ(内容)	参加人数	場　所
平成 27 年 9 月 6 日	『今何時？』	27 人	手樽地域交流センター
平成 27 年 10 月 11 日	『ヒミツ絵本』	26 人	東部地域交流センター
平成 27 年 11 月 15 日	『誰のお城？』	28 人	手樽地域交流センター
平成 27 年 11 月 22 日	『紙袋で変身』	28 人	手樽地域交流センター

4　芸術文化事業

・宮城県巡回小劇場（音楽公演）の実施

平成27年10月8日　演目：姜建華（ジャン・ジェンホァ）とシルクロードアンサンブル

町内小学4・5年生　215人鑑賞　302,400 円

5　協働教育の推進　1,785,950 円

・歴史文化教育カリキュラムの推進（推進委員会）

歴史文化教育カリキュラムをもとに、町内各小学校で統一的な体験の実施。

小学4年生：品井沼干拓学習（2学期）　計92人参加

品井沼干拓に関する史跡・施設　計14ヶ所を見学

小学5年生：森林学習（1～3学期）　延べ242人参加

壇山での見学・チェーンソー体験、松食い虫に関する講話、木工体験　等

小学6年生：歴史出前授業　延べ485人参加

出前授業「縄文時代の松島」

出前授業「瑞巌寺の歴史」（6～7月）

瑞巌寺の見学（6～7月）

座禅体験（2学期）

第3回推進委員会（12月）で愛称「松島まるごと学」が決定。

・地域人材の活用・身近な地域の学習

「和」の体験　町内の人材を講師に、小学校での華道体験を実施。　計40人参加

「川」の学習　地域を流れる川に関する学習。　延べ44人参加

「みやぎ教育応援団」登録団体を講師に、講話・フィールドワークを実施。

・登下校時の見守り安全ボランティアの推進

各小学校より42名のボランティア登録

ボランティア時に着用する見守り安全ベスト100着を作成

・「松島防災キャンプ」事業

平成27年7月30日～31日（1泊2日）

松島町野外活動センター　町内小学生16人参加

6　社会教育団体、社会教育活動の育成と補助

・青少年健全育成松島町民会議　200,000 円
・松島町芸術文化協会　80,000 円
・松島町子ども会育成連合会　130,000 円
・松島町PTA連合会　160,000 円
・松島町女性団体連絡協議会　40,000 円
・松島町婦人会　160,000 円
・松島町小・中・高生徒指導連絡協議会　40,000 円
・ジョイントコンサート補助金　60,000 円

一　般　会　計

10　款	4　項	2　目	公　民　館　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	中央公民館
	32,610	32,062		

目標

町民のニーズに合わせた生涯学習の環境をつくるとともに、その事業の推進に努める。また、分館活動を通じて、町民の健康の増進・生活文化の振興に努める。

実績

1　教室・講座

・中央公民館教室・講座

名　称	内　容	開催期間	受講者（延べ人数）	回数（回）
松島の歴史を学ぼう	名所旧跡を巡りながら、松島の歴史や文化について学習した。 ①品井沼干拓の歴史 ②陽徳院と葉山神社の歴史 ③瑞巌寺の歴史・西の浜貝塚の歴史 ④松島に残る戦争の記憶 ⑤松島四大観	5月～11月	25 (105)	5
松島町史を読む	松島町史を用いて、「水主と御座船」について学習した。	7月	14 (66)	5
竹細工教室	技術指導を受けながら、松島産の竹を使って「楽器を演奏するアリとキリギリス」を製作した。	8月	11 (39)	4
プリザーブドフラワー教室	プリザーブドフラワーを使って、季節に合わせた作品を製作した。	5月～9月	10 (40)	4
親子工作教室	職工組合の指導の下、親子で協力してオリジナルのイスを製作した。	8月22日	11組 28人	1

〈次頁へつづく〉

成果

1.各種教室・講座を開催し、町民の学習意欲の向上に寄与した。特に「松島の歴史を学ぼう」「松島町史を読む」の講座は、松島の文化・歴史の再発見として人気の講座となり、町民のニーズに合わせた学習環境づくりに努めた。
2.町民ふれあいスポーツ大会を開催し、町民の健康増進や体力向上、さらに地域や世代間の交流促進に寄与した。また文化観光交流祭を開催し、本町の芸術文化の振興に寄与した。
3.分館活動を通じて、教養の向上や健康増進、地域間の交流促進に寄与した。

10　款	4　項	2　目

2　大会行事等

名　称	内　容	開催日	参加人数(人)
第55回町民ふれあいスポーツ大会	運動を通じて参加者の健康増進と体力向上、さらに地域や世代間の交流促進を図る目的で、各分館対抗で運動会形式のスポーツ大会を開催した。	6月7日	781人
2015松島町文化観光交流祭	町の芸術文化の振興と発展を図るため文化観光交流祭を開催し、人・産業・文化などの様々な交流と連携を図り、町内の個人・団体が日頃活動した成果を発表した。また、今回は松島高等学校が舞台並びに展示へ参加した。 昨年同様「まつしま産業まつり」「健康まつり」も同時開催した。	10月31日 11月1日	参加者数 延べ925人 来場者数 延べ3,350人
第67回成人式	新成人を祝い、励ますと共に社会人としての自覚を高めることを目的に成人式を開催した。 また、式典では新成人者に対し、六華亭遊花特任館長や、まつトミなどからお祝いのメッセージが贈られた。さらに新成人者の実行委員会によるアトラクションでは懐かしの映像を放映し、会場を盛り上げた。	平成28年 1月10日	101人

3　分館活動

各分館において、グラウンドゴルフ大会等のスポーツイベントや盆踊り大会などの地域イベントを開催した。また、分館活動推進を図るため、分館代表者による移動研修会を実施した。

・ 分館数　12 分館
・ 松島町公民館分館事業補助金　1,492 千円（均等割総額　1,200 千円／人口割総額　292 千円）

○ 主な分館活動
グラウンドゴルフ大会、盆踊り大会、敬老会、お花見会、新成人お祝い会　等

・ 分館長会議開催回数　5 回
・ 分館長・主事・会計移動研修会
○ 研修先　石ノ森章太郎ふるさと記念館（宮城県登米市）
みやぎの明治村（宮城県登米市）

一　般　会　計

10　款	4　項	3　目	文　化　財　保　護　費	（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	教育委員会教育課 生涯学習班
	30,458	29,659		

目標

松島の歴史や文化財を活かした教育を目指し、出前授業や文化遺産・教育資源の掘り起しを行うとともに、教育委員会所管施設の維持管理を行い、体験活動の場として整備する。

実績

1　国指定史跡西の浜貝塚公園管理（業務委託料・光熱水費）　1,389,791 円

2　品井沼干拓遺構・資料館維持管理（穴頭・ずり穴・穴尻草刈業務委託・浄化槽保守点検・清掃、消防施設保守点検、火災保険料、光熱水費含む）　903,846 円

3　指定文化財の保存修理等事業補助

・瑞巌寺本堂ほか7棟の建造物保存修理事業補助（事業期間　平成20～29年度）　5,000,000 円

・瑞巌寺・圓通院・陽徳院維持管理事業補助（自動火災報知設備維持等）　100,000 円

4　埋蔵文化財包蔵地の現況調査（文化財保護地区指導員と共同調査）　5 箇所

5　特別名勝松島の現状変更の指導及び許可申請受付、進達　160 件

6　埋蔵文化財の管理及び諸開発事業の事前協議書申請受付・進達　21 件

7　文化財の公開

・観瀾亭障壁画　（仙台市博物館常設展示）　2面貸出

8　瑞巌寺岩窟・鐘楼付近発掘調査　6,530,691 円

9　震災復興事業に係る埋蔵文化財確認調査（名込遺跡）　1　件

〈次頁へつづく〉

成果

所有者から申し出のあった指定文化財の修理・維持管理事業について、国・県とともに補助を行い、貴重な文化財を後世に残すための一助とした。また、瑞巌寺岩窟危険防除工事に伴い発掘調査を実施し、岩窟の利用状況や鐘楼付近の墓域等にかかわる遺構を確認するとともに、工事によって遺跡に影響を及ぼされないよう指導を行った。さらに避難施設建築に伴い、名込遺跡の発掘調査を行い、記録保存を行った。学校向けの出前講座等は「歴史文化教育カリキュラム」として位置づけられ、各小学校で共通の体験活動を実施し、地元にある文化財の普及・啓発を図った。

10　款	4　項	3　目

実績

10　指定文化財管理

・指定文化財の現況　（単位:件）

種別		国	県	町	計
有形文化財	建造物	7	3	11	21
	絵画	2	6	24	32
	彫刻	1	1	20	22
	工芸品	1	3	15	19
	書跡、典籍、古文書	1	―	12	13
記念物	史跡	1	―	6	7
	名勝	1	―	―	1
	天然記念物	―	1	14	15
合　計		14	14	102	130

・保存修理事業の指導
瑞巌寺本堂ほか7棟建造物保存修理に係る協議・指導

11　品井沼干拓資料館の利用　29 件　573 人
町内小学校も含む

12　体験活動の実施

・春日PA文化財展示室の活用(歴史体験まつりの実施)

・二市三町共同事業「縄文土器づくり教室」

13　出前講座の実施
・学校向け(歴史文化教育カリキュラム)
瑞巌寺・西の浜貝塚出土品を用いた出前授業など
合計　15件　636人

実施日	内　容	参加人数	場　所
平成 27 年 4 月 17 日	松島町と縄文時代	二小6年 26 人	松島第二小学校
平成 27 年 4 月 21 日	松島町と縄文時代	一小6年 76 人	松島第一小学校
平成 27 年 4 月 23 日	松島町と縄文時代	五小6年 15 人	松島第五小学校
平成 27 年 5 月 12 日	職業人の話を聞く会	中学校2年 110 人	松島中学校
平成 27 年 6 月 18 日	瑞巌寺の歴史	二小6年 26 人	松島第二小学校
平成 27 年 6 月 22 日	瑞巌寺見学	二小6年 26 人	瑞巌寺
平成 27 年 6 月 29 日	大仰寺座禅体験	二小6年 26 人	大仰寺
平成 27 年 6 月 30 日	瑞巌寺の歴史	一小6年 76 人	松島第一小学校
平成 27 年 7 月 3 日	瑞巌寺見学	一小6年 76 人	瑞巌寺
平成 27 年 7 月 8 日	瑞巌寺の歴史	五小6年 15 人	松島第五小学校
平成 27 年 7 月 10 日	瑞巌寺見学	五小5・6年 32 人	瑞巌寺
平成 27 年 9 月 14 日	二小院内小交流事業事前学習	二小6年 26 人	松島第二小学校
平成 27 年 9 月 17 日	陽徳院座禅体験	一小6年 76 人	陽徳院
平成 27 年 9 月 17 日	大仰寺座禅体験	五小6年 15 人	大仰寺
平成 27 年 11 月 4 日	松島町探検	五小6年 15 人	円通院他

・一般向け
瑞巌寺見学・史跡めぐりなど
合計　29件　754人

一　般　会　計

10　款	4　項	4　目	町　民　の　森　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	中央公民館
	13,467	13,445		

目標

民間の活力を活かして、町民の森施設の施設管理及び生涯学習の場として有効利用促進に努める。

実績

1　指定管理業務委託事業

・ 指定管理料　　12,180,000円（平成27年4月から平成28年3月まで）
・ 指定管理期間　　平成27年4月から平成32年3月まで（5年間）
・ 指定管理者　　特定非営利活動法人　ウイザス

2　利用状況

（単位：人）

	利用者数	内訳					
		センターロッジ	テント	多目的ホール	研修室	円形広場	炊事棟
4月	1,426	0	313	115	0	658	340
5月	1,473	0	234	71	56	778	334
6月	787	17	83	17	17	546	107
7月	1,564	139	192	179	139	593	322
8月	2,027	110	337	204	120	722	534
9月	1,649	25	320	71	111	730	392
10月	2,052	90	222	220	107	946	467
11月	606	18	19	91	20	349	109
12月	259	0	0	33	33	193	0
1月	105	0	0	0	0	105	0
2月	250	0	0	22	0	228	0
3月	353	0	3	20	20	307	3
合計	12,551	399	1,723	1,043	623	6,155	2,608

利用者内訳　　町内　4,351 人　　町外　8,200 人

〈次頁へつづく〉

成果

1.平成27年4月から5年間、指定管理者制度を活用して野外活動センターの施設管理を委託しており、民間のノウハウを活かして適正かつ円滑な管理運営を行うことができた。
2.施設の利用状況については、指定管理者による管理運営により、前年比で昨年を上回る1,555人増の利用者数となった。
3.各種団体や地域の協力により、様々な体験型事業を自主的に展開し、自然や文化、人々との交流を図り、生涯学習の場としての環境づくりに努めた。

10　款	4　項	4　目

3　指定管理者自主事業

事　業　名	実　施　日	参加人数等
森の親子きのこ作り教室	5月30日	12人
森の親子木工教室	6月20日	12人
海彦・山彦わんぱくキャンプ	7月25日～27日	24人
森のそば打ち教室	10月17日	16人
企画展　NPOウイザス　写真クラブ	11月 4日～15日	200人
森の親子リース教室	12月13日	2人
ボランティア感謝祭	12月13日	12人
松島の四季写真コンテスト	4月1日～2月	80人
松島の四季写真コンテスト表彰式	3月21日	38人

毎月第1土曜日、写真サークル開催。

一　般　会　計

10　款	4　項	5　目	地　域　交　流　セ　ン　タ　ー　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	中央公民館
	5,762	5,036		

目標

地域活動の拠点施設として、生涯学習の振興と健康の維持増進を図るとともに、町民相互の交流促進に努める。

実績

1　松島町地域交流センター施設利用一覧表

（単位：人）

区分	利用者数	内訳（手樽地域交流センター）		内訳（松島東部地域交流センター）		
		センター施設	グラウンド	センター施設	グラウンド	体育館
4月	116	95	0	0	0	21
5月	134	54	0	0	0	80
6月	166	66	0	20	0	80
7月	194	66	0	0	100	28
8月	231	131	0	0	0	100
9月	301	149	0	0	30	122
10月	310	108	0	55	0	147
11月	312	122	100	0	0	90
12月	486	33	0	21	0	432
1月	75	60	0	15	0	0
2月	135	105	0	0	0	30
3月	229	114	0	15	50	50
合計	2,689	1,103	100	126	180	1,180

2　主催事業

・手樽地域交流センター

名　称	内　容	開催期間	参加者
歴史体験教室（ジュニア・リーダー研修会）	縄文時代の松島について学習し、縄文土器づくりや火おこし体験に挑戦した。	2月28日	9

・松島東部地域交流センター

名　称	内　容	開催期間	受講者
陶芸体験教室	ろくろを使って、オリジナルのマグカップ、お皿等の焼物に挑戦した。	6月14日	18
蕎麦つくり教室	講師の指導の下、本格的な蕎麦つくりに挑戦した。	10月24日	23
手作り教室	家庭で簡単に作れるお菓子や支那そば、生春巻き等を作った。	12月6日	20

成果

1.両交流センターでは、会議や研修の他、各種スポーツ団体の活動や地域のイベント等で利用され、町民相互の交流促進に寄与した。
2.手樽地域交流センターでは、ジュニア・リーダーを対象に歴史体験教室を行い、今後地域での活動支援を行うための事業を実施した。また、松島東部地域交流センターでは、地域で活動している団体との共催事業として、様々な教室を開催し、町民及び地域住民の学習活動に寄与した。

一　般　会　計

10　款	5　項	1　目	保　健　体　育　総　務　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	スポーツ振興センター
	23,828	23,249		

目標

町民が心身ともに健康で活力に溢れた生活が営めるよう、スポーツ活動へのきっかけを提供する。
また、体育施設を町民の健康と体力づくり、コミュニケーションづくりの場として提供し、地域における生涯スポーツの普及と振興を図る。

実績

1　町民総スポーツの推進

名称	内容・目的等	参加人数	日程・回数・場所
キッズ・スポーツ・レッスン（幼児フロアリズム運動）	幼児期から、鉄棒、跳び箱、マットなど様々な運動に親しませ、総合的に運動能力を養っていく。	幼児28人（延べ190人）	1. 実施期間 10月16日～12月11日 2. 回数　8回 3. 場所　B&G海洋センター
松島町元気っこづくり＆体力づくり地域コーディネーター育成事業（コオーディネーショントレーニング）	個人や集団で行うリズムやバランスなどの運動を通して、運動神経の発達と運動能力の向上を図る。	園児延べ698人 幼児延べ193人	1. 実施期間 平成27年7月28日～平成28年1月29日 2. 回数　幼稚園　20回 保育所　14回 3. 場所　松一. 二. 五幼稚園 松島. 高城. 磯崎 保育所

2　補助金支出団体　　松島町体育協会　　3,010,000 円

3　町民グラウンド月別利用状況

月	件数（件）	人数（人）	
4	28	1,066	
5	38	1,422	
6	28	1,054	
7	38	1,669	
8	19	1,035	
9	25	1,017	
10	28	9,752	→KHBハーフマラソンでの利用含む
11	20	835	
12	15	765	
1	7	325	
2	8	390	
3	26	1,088	
計	280	20,418	

〈次頁へつづく〉

成果

体操を通して、幼児期に体を動かすことの楽しさを教え、将来、自ら進んで運動に参加する子どもを育てるため「キッズ・スポーツ・レッスン」を実施した。教室では、子ども同士と親子のコミュニケーションを図りながら多くの運動を体験させ、子どもの運動不足の解消と体力向上に寄与した。
松島町元気っこづくり&体力づくり地域コーディネーター育成事業では、町内の幼稚園児及び保育所幼児を対象にコオーディネーショントレーニングを行い、楽しみながらリズムやバランスなどの様々な運動に取り組み、運動神経の発達と運動能力の向上を図った。

10　款	5　項	1　目

実績

4　松島町立学校体育施設利用状況（一般開放分）

学校名		松島第一小学校	松島第二小学校	松島第五小学校	松島中学校	合　計
体育館	利用人数（人）	4,077	2,465	788	2,853	10,183
	利用件数（件）	164	82	30	230	506
校庭	利用人数（人）	1,151	1,203	270	919	3,543
	利用件数（件）	27	43	9	43	122
合計	利用人数（人）	5,228	3,668	1,058	3,772	13,726
	利用件数（件）	191	125	39	273	628

5　工事請負費

・松島町民グラウンドベンチ設置工事　745,200 円
　N=12基（3基×4箇所）

一　般　会　計

10　款	5　項	2　目	海　洋　セ　ン　タ　ー　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	海洋センター
	7,235	6,750		

目標

海洋性スポーツ事業を通して相互交流を図るとともに、安全に配慮しながら、誰でも安心して利用できる施設運営を目指す。

実績

1　海洋センター事業

名称	内容・目的等	参加人数	期日	会場
2015B&G宮城マリンスポーツフェスティバル	海洋性スポーツレクリエーションを通して、青少年の健全育成と海洋性スポーツの普及を図る。	宮城県全体で82人参加（松島町12人参加）	7月24日	宮城県長沼ボート場（登米市迫B&G海洋センター）
平成27年度B&G「川遊び体験交流会」	川遊び体験を通して、水辺の安全対策を学びながら自然を大切にするこころを育む。	東北ブロック全体で60人参加（松島町2人参加）	7月25日	山形県舟形町（あゆパークふながた）

2　海洋センター利用人数

（単位：人）

月	体育館	会議室	屋外多目的運動場	計
4	1,134	219	195	1,548
5	1,056	204	266	1,526
6	1,327	230	150	1,707
7	1,291	310	260	1,861
8	1,055	328	151	1,534
9	1,482	757	189	2,428
10	2,296	301	171	2,768
11	1,220	267	273	1,760
12	974	175	129	1,278
1	966	120	98	1,184
2	1,240	348	129	1,717
3	1,302	214	165	1,681
計	15,343	3,473	2,176	20,992

成果

自然体験や海洋性スポーツ・レクリエーションなどを通して、青少年の健全育成と海洋性スポーツの普及、更には参加者相互の親睦が図られた。

また、平成27年度から供用開始した屋外多目的運動場は、ゲートボールの練習や大会、少年野球やサッカーの練習場所として利用され、雨天時や暑熱期における運動機会の拡大と利用者の健康増進・体力向上が図られた。

一　般　会　計

10　款	5　項	3　目	給　食　施　設　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	学校給食センター
	120,505	117,052		

目標

学校給食を通じて、児童生徒の健康の増進に努め、食事のあり方や望ましい食習慣を身に付けさせ、心身の健全な発達のため、安全で栄養バランスに配慮した学校給食の提供に努める。

実績

1　給食実施状況

（平成27年5月1日現在）

区　分	給食人員（人）	1食当たり（円）	月　額（円）	年　額（円）
小学校	597	265	(4月) 4,375 (5～2月) 4,200	46,375
中学校 （月額及び年額の上段は1・2年生、下段は3年生）	314	310	(4月) 5,080 (5～2月) 4,700	52,080
			(4月) 5,530 (5～2月) 4,500	50,530
幼稚園	108	250	(4月) 4,250 (5～2月) 3,700	41,250

・給食人員計　　1,019 人

・給食費　　平成26年4月改定

2　食育の推進

・親子での給食試食会
○ 松島第二・五幼稚園の保護者
○ 松島第一小学校1年生の保護者
○ 松島第二小学校1年生の保護者
○ 松島第五小学校1・6年生の保護者

・栄養士による食育指導
○ 町内各幼稚園・小学校・中学校全クラス給食時に食育指導（年2回実施）を行った。
○ 各小学校の3年生を対象に、「食べ物のはたらき」をテーマに授業を行った。
○ 給食だよりを通じて、児童生徒、保護者に対して、食の大切さに関する情報を発信した。

・野菜生産者との交流会及びホテル調理人企画給食
○ 町内産野菜等を使った特別メニュー給食を実施し、あわせて第二小学校にて児童と野菜生産者との交流会を開催した。
○ 松島四季彩食料理コンテストの入賞者の協力による給食を実施し、あわせて第二小学校にて児童と関係者の交流会を開催した。

〈次頁へつづく〉

成果

食育の推進においては、食育指導により食べ物の働き、栄養バランスや体づくりの大切さの理解が深められた。また、小学校での野菜生産者、ホテル関係者との交流会を通じて、食生活が多くの人の活動に支えられていることを知り、感謝の気持ちが高められた。幼稚園児が自分たちで野菜を栽培することで、野菜に親しみ、好き嫌いの改善が図られた。郷土料理の給食により、地域の伝統的な食文化に触れ、親しむことができた。

地場産品の利用促進については、営農センターなどを通じ、活用を図り、生産者の顔がわかり、食材の安心安全や児童生徒が身近に感じることができた。

食物アレルギー対応は、保護者からの個人調査票の提出により、関係者の情報共有が図られた。

給食費の未収金対策として、支払督促を実施したことで、納付につながり、効果が見られた。

10　款	5　項	3　目

実績

・ 幼稚園児のニンジン栽培
○ 各幼稚園にて、JA仙台の協力により、園児がニンジンを栽培し、給食の食材として使用した。

・ 郷土料理給食の実施
○ 全国学校給食週間に合わせ、郷土料理の給食として、焼きハゼの雑煮や松島産かぼちゃを使用した献立を実施した。

3　地場産品の利用促進

・ 松島町産の米（環境保全米ひとめぼれ）やみそ、野菜等の活用を推進した。11月18日には、地場産推進デーとして9品目の町内産の食材を使った特別メニュー給食を実施した。

・ 学校給食用野菜等の使用状況
（野菜）

品　目	平成27年度			平成26年度		
	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)
じゃがいも	2,325	401	17.2	2,624	1,145	43.6
白菜	2,050	1,339	65.3	1,978	1,088	55.0
大根	1,709	571	33.4	1,765	501	28.4
人参	2,793	13	0.5	2,948	20	0.7
ねぎ	1,780	1,232	69.2	1,740	1,163	66.8
キャベツ	1,861	851	45.7	1,832	1,030	56.2
玉ねぎ	3,864	890	23.0	4,274	898	21.0
きゅうり	1,802	0	0.0	1,673	0	0.0
主要品目計	18,184	5,297	29.1	18,834	5,845	31.0

（米、その他の町内産使用数量 kg）

品　目	平成27年度	平成26年度
環境保全米（ひとめぼれ）	10,125	10,270
味噌	517	505
トマト	223	301
赤かぼちゃ	232	150
ブルーベリー	12	12

4　簡易放射能検査
・ 調理後の副食について、簡易放射能測定器で放射能検査を継続して実施した。

5　食物アレルギー対応
・ 食物アレルギーの児童生徒への対応として、保護者からの個人調査票の提出により、給食対応（給食の一部・全部停止、詳細献立の提供）を実施した。
　一部停止（牛乳停止）　15人
　全部停止　3人
　詳細献立の提供　12人

6　学校給食調理等業務委託料　21,384,000 円
・ 調理、食材の検収・保管、盛り付け・配食、食器具等の洗浄・消毒・保管、施設設備の清掃・点検、残滓・厨芥の処理、収配送(車両2台配備)、ボイラー運転及び付帯業務

〈次頁へつづく〉

10　款	5　項	3　目

実績

7　学校給食センター厨房機器等賃貸借料　13,040,352 円

・浸漬槽付超高圧洗浄機、食缶洗浄機、スチームコンベクションオーブン、連続揚物機、フードスライサー

8　学校給食契約申込書の受付

・給食の提供に対し、保護者は給食費を負担する義務があることを明示し、納付意識の向上を図るため、保護者から「学校給食契約申込書」を提出いただいた。

9　支払督促予告通知及び支払督促申立て

・未収金対策として、徴収困難な保護者5件について、町から支払督促の予告通知を行った。うち、3件は通知後、保護者と納付相談を行い、分納が開始された。

・連絡のない2件について、仙台簡易裁判所へ支払督促の申立てを行い、裁判所から保護者に対して支払督促が発付された。その後、保護者と納付相談を行い、分納が開始された。

10　学校給食費の収入状況

・現年度分　単位:円、%

区　分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
調　定　額(A)	53,819,475	54,619,185	49,693,354
収 入 済 額(B)	52,778,026	53,433,957	48,810,654
不納欠損額(C)	0	0	0
収入未済額(A-B-C)	1,041,449	1,185,228	882,700
徴　収　率(B/A*100)	98.1	97.8	98.2

・滞納繰越分　単位:円、%

区　分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
調　定　額(A)	15,859,474	15,736,434	15,623,873
収 入 済 額(B)	818,440	970,288	770,139
不納欠損額(C)	5,011,114	91,900	0
収入未済額(A-B-C)	10,029,920	14,674,246	14,853,734
徴　収　率(B/A*100)	5.2	6.2	4.9

(不納欠損処分の件数)　単位:件

区　分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
債権放棄	22	0	0
時効援用	24	3	0
計	46	3	0

「債権放棄」は、地方自治法第96条第1項第10号の規定に基づき、議会の議決を経て、権利を放棄するもの。平成27年度は、所在不明の債務者の債権放棄について、12月定例会に提案、可決された。

「時効援用」は、時効期間(給食費の場合2年間)を経過し、債務者が時効を援用する旨の申し出があった場合、債権が消滅するため、不納欠損処分を行った。

一　般　会　計

10　款	6　項	1　目	幼　稚　園　費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	教育委員会教育課 学校教育班
	81,306	79,504		

目標

幼稚園教育方針の趣旨に基づく幼児教育を行い、明るく元気な子どもを育てる。

実績

1　園児数及び教諭数　（平成27年5月1日現在）　（単位：人）

幼稚園名	定員	園児数	教職員数
松島第一幼稚園	70	43	7
松島第二幼稚園	40	34	6
松島第五幼稚園	40	31	7
計	150	108	20

※教職員数は、園長（校長・保育所長と兼務）・臨時職員を含む

2　一時預かり保育事業　（単位：人）

幼稚園名	利用実人員	延べ利用児数	利用事由
松島第一幼稚園	30	82	学校行事（授業参観、懇談会、役員会）、健診、通院等
松島第二幼稚園	13	36	
松島第五幼稚園	14	39	
計	57	157	

3　幼保小等の交流の取組み

事業名	内容
親と子の合同学習会	町内幼稚園合同保護者と園児参加のコンサートを開催（親子ふれあいコンサート）
小学校との交流	小学校見学、小学1年生と相互交流を実施、特別支援教育の相互交流等
保育所との交流	日常の保育・行事などにおける園児の交流を第二幼稚園と高城分園とで実施
小学校との合同行事	運動会・学習発表会・マラソン大会・あそび祭り・避難訓練等に参加
特別支援教育の連携	特別支援連携協議会等において幼・保・小・中・特別支援・保健福祉関係者等の情報交換等の実施

4　幼稚園教育推進の取組み

事業名	内容
体力づくり事業	COT（コオーディネーショントレーニング）を取り入れた運動プログラムの実施
体力づくり講習会	幼稚園教諭対象のCOT指導者研修
保護者向け研修	「家庭における正しい歯磨きとフッ化物先口による予防について」（歯科園医）
子育て講話	「小学校就学に向けた幼児の子育てについて」（各園長）
保護者アンケート	子どもの生活状況、幼稚園の行事や保育に関するアンケート調査をとおして、保護者のニーズや教育環境についてのニーズを把握するため実施。
幼保合同研修	子育て支援制度や3歳児保育・保育所のあり方についてなど、各幼稚園職員や保育所職員が情報共有や指導力向上を目的に実施。

〈次頁へつづく〉

成果

年齢に応じた教育計画のもとで、集団での遊びや絵本の読み聞かせ、生活習慣形成の指導、自然体験などの各種行事を継続実施し、心身ともに健康な幼児の育成に寄与した。また、保育所や小学校との連携により、学校探検や授業体験、学校行事への参加によって、小学校就学へ円滑な移行を図ることができた。

平成26年度に園舎が完成した第五幼稚園では、平成27年4月から3歳児保育が始まり、地域の教育環境の充実が図られた。平成28年度から3歳児教育を開始する松島第一幼稚園については、施設の改修工事を実施し、受入体制を整えた。

10　款	6　項	1　目

実績

5　修繕料

・松島第一幼稚園　遊戯室ステージ修繕他　（　4　件）　415,311 円
・松島第二幼稚園　網戸修繕他　（　3　件）　29,560 円
・松島第五幼稚園　電話配線修理　（　1　件）　23,760 円

6　工事費

松島第一幼稚園改修工事　5,809,320 円

7　備品購入費

・松島第一幼稚園　かんたんてんと3他　（　30 品目）　1,819,907 円
・松島第二幼稚園　シューズラックモア他　（　2 品目）　223,808 円
・松島第五幼稚園　カウンターキッチンシリーズコンロ他（　8 品目）　297,895 円

8　平成27年度幼稚園授業料減免状況　単位:円

区分		前期(H27.4-8)		後期(H27.9-H28.3)		総計	
		人数	金額	人数	金額	人数	金額
1子	生保	0	0	0	0	0	0
	非課税	12	100,200	8	93,520	20	193,720
	多子	－	－	－	－	0	0
2子	生保	0	0	0	0	0	0
	非課税	3	50,100	8	168,670	11	218,770
	多子	32	400,000	27	472,500	59	872,500
3子	生保	4	100,000	4	140,000	8	240,000
	非課税	2	50,000	3	105,000	5	155,000
	多子	5	125,000	4	140,000	9	265,000
計		58	825,300	54	1,119,690	112	1,944,990

一　般　会　計

11　款	1　項	2　目	農業用施設災害復旧費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	建設課建設班
	25,037	24,260		

目標	東日本大震災により被災した農業用施設の増破を防ぐと共に、早急に復旧し機能の回復を図る。
実績	1　災害復旧事業（負担金）　74,048 円 ・下志田(1)地区　県営災害復旧事業負担金　6,000 円 ・不来内(2)地区　災害復旧事業負担金　68,048 円 （繰越明許費） 2　工事請負費　24,030,080 円 ・品井沼(3)地区排水路災害復旧工事　24,030,080 円 施行延長　L＝654.1m 護岸工　A＝3107.4㎡
成果	東日本大震災により被災した農業用施設の災害復旧工事を実施し、機能の回復が図られた。

一　般　会　計

11　款	2　項	1　目	公共土木施設災害復旧費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	建設課建設班
	2,150,621	640,327		

目標

東日本大震災による、公共土木施設（漁港・道路・河川・橋梁）の調査測量設計、及び本復旧を行う。

実績

1　委託料	7,398,000 円
・名籠・古浦・銭神漁港災害復旧工事施工監理業務委託	6,804,000 円
・町道松島・磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事施工監理業務委託	594,000 円
2　工事請負費	289,900,000 円
・町道松島・磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事（債務負担行為）（前払金）	289,900,000 円
3　土地購入費	30,999,500 円
・町道松島・磯崎線道路災害復旧事業（松島大橋）土地購入	30,999,500 円
4　補償金	72,600,489 円
・町道松島・磯崎線道路災害復旧事業（松島大橋）物件等移転補償金	67,841,489 円
・名籠・古浦・銭神漁港災害復旧工事に伴うかき棚移転補償金	4,759,000 円
（繰越明許費）	
5　委託料	5,810,400 円
・町道松島・磯崎線松島大橋橋梁外災害復旧工事積算業務委託	5,810,400 円

〈次頁へつづく〉

成果

東日本大震災により被災した公共土木施設（漁港、河川、道路、橋梁）の調査、測量設計、土地購入・物件移転補償及び災害復旧工事を実施し、施設の復旧が図られた。

11　款	2　項	1　目

実績

6　工事請負費　6,900,120 円

・ 台風19号災害復旧その5工事　6,900,120 円

道路災害復旧工　N＝13箇所
河川災害復旧工　N＝ 5箇所

（事故繰越）

7　工事請負費　142,525,000 円

・ 名籠･古浦･銭神漁港災害復旧工事(債務負担行為)　142,525,000 円

護岸　L=49.8m　物揚場　L=182.9m

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計

－ 款	－ 項	－ 目	国民健康保険特別会計	（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課町民サービス班
	2,124,341	2,065,748		

目標

国民健康保険事業の健全な運営を確保し、社会保障及び福祉の向上に寄与する。
また、国民健康保険被保険者の適切な医療を確保するため各種給付を行う。

実績

1　適用状況

区分＼年度	平成27年度	平成26年度	比較
年間平均世帯数(世帯)	2,357	2,395	△ 38
年間平均被保険者数(人)	3,974	4,124	△ 150
年間平均介護保険第2号被保険者数(人)	1,404	1,503	△ 99

2　保険給付状況

区分＼年度	平成27年度		平成26年度		比較	
	件数(件)	支給額(千円)	件数(件)	支給額(千円)	件数(件)	支給額(千円)
療養給付費	69,447	1,107,689	71,145	1,106,439	△ 1,698	1,250
療養費	1,268	7,439	1,311	8,377	△ 43	△ 938
高額療養費	1,969	135,244	1,767	142,642	202	△ 7,398
出産育児一時金	13	5,040	9	3,780	4	1,260
葬祭費	24	1,200	23	1,150	1	50
計	72,721	1,256,612	74,255	1,262,388	△ 1,534	△ 5,776

区分＼年度		平成27年度(円)	平成26年度(円)	比較(円)
療養給付費平均1人当たりの額	一般被保険者	280,228	266,867	13,361
	退職被保険者等	192,924	331,432	△ 138,508
療養費平均1人当たりの額	一般被保険者	1,886	2,052	△ 166
	退職被保険者等	1,054	1,094	△ 40
高額療養費平均1人当たりの額	一般被保険者	34,584	34,278	306
	退職被保険者等	2,334	48,326	△ 45,992

〈次頁へつづく〉

成果

被保険者の疾病、負傷、出産及び死亡に関して、保険給付等を行った。また、前年度に継続して東日本大震災に係る震災支援として医療機関受診に伴う一部負担免除措置を行った。
レセプトデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のためのデータヘルス計画を策定した。

実績

3　拠出金等の状況

区分＼年度	平成27年度（千円）	平成26年度（千円）	比較（千円）	伸び率（%）
後期高齢者支援金	208,246	227,711	△ 19,465	△ 8.55
前期高齢者納付金	133	179	△ 46	△ 25.70
老人保健拠出金	10	10	0	0
介護納付金	81,566	106,600	△ 25,034	△ 23.48
共同事業拠出金	406,082	200,912	205,170	102.12

4　保健事業

区分＼年度	平成27年度			平成26年度		
	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
特定健康診査	3,136	1,473	47.0	3,183	1,510	47.4

区分＼年度	平成27年度			
	対象者 A（人）	参加者 B（人）	参加率（%）	修了者（人）
特定保健指導（動機付け支援）	166	21	12.7	21
特定保健指導（積極的支援）	77	8	10.4	8

区分＼年度	平成26年度			
	対象者 A（人）	参加者 B（人）	参加率 B/A（%）	修了者（人）
特定保健指導（動機付け支援）	184	34	18.5	28
特定保健指導（積極的支援）	79	10	12.7	9

5　国民健康保険税課税状況

区分＼年度		平成27年度（千円）	平成26年度（千円）	比較（千円）	伸び率（%）
現年課税分調定済額	医療給付費分	249,676	263,742	△ 14,066	△ 5.33
	後期支援金分	83,967	88,365	△ 4,398	△ 4.98
	介護納付費分	29,540	31,489	△ 1,949	△ 6.19
現年課税分収入済額	医療給付費分	232,532	244,185	△ 11,653	△ 4.77
	後期支援金分	78,300	81,863	△ 3,563	△ 4.35
	介護納付費分	26,665	28,162	△ 1,497	△ 5.32

区分＼年度		平成27年度（%）	平成26年度（%）	比較（pt）	伸び率（%）
収納率	医療給付費分	93.13	92.58	0.55	0.59
	後期支援金分	93.25	92.64	0.61	0.66
	介護納付費分	90.27	89.43	0.84	0.94

〈次頁へつづく〉

実績

6　東日本大震災に伴う一部負担金免除状況

期間・世帯数等 / 免除事由	H27.4.1～H27.7.31		H27.8.1～H28.3.31	
	世帯数	免除証明書発行枚数	世帯数	免除証明書発行枚数
家屋の全壊	48	70	40	58
家屋の大規模半壊	48	79	45	71
主たる生計維持者の死亡	2	4	2	3
福島原発の計画的避難区域	1	3	1	3
計	99	156	90	139

7　国民健康保険税軽減状況

年度・世帯数等 / 区分	平成27年度		平成26年度	
	(世帯数)	(被保険者数)	(世帯数)	(被保険者数)
	平等割軽減額(円)	均等割軽減額(円)	平等割軽減額(円)	均等割軽減額(円)
7割軽減	715	1,034	729	1,082
	15,884,428	24,942,795	16,256,762	25,532,732
5割軽減	326	601	321	592
	5,169,689	10,532,381	5,117,093	10,438,208
2割軽減	259	481	259	528
	1,655,549	3,461,164	1,661,105	3,685,116
計	1,300	2,116	1,309	2,202
	22,709,666	38,936,340	23,034,960	39,656,056

8　国民健康保険税減免状況

減 免 事 由	平成27年度		平成26年度	
	世帯数	金額(円)	世帯数	金額(円)
旧被扶養者減免 (社会保険加入者が、後期高齢者医療制度に移行することにより、その被扶養者であった者が国民健康保険に加入することによる減免)	4	40,100	6	112,200
原子力災害対策特別措置法による避難世帯に対する減免	1	38,100	1	19,900
収 監 減 免	2	53,700	2	13,900
台風被害による減免 (平成26年10月14日台風19号による減免	0	0	2	11,400
計	7	131,900	11	157,400

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計

－ 款	－ 項	－ 目	後期高齢者医療特別会計	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	町民福祉課町民サービス班
	194,242	188,515		

目標

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、適正な申請受付事務並びに保険料徴収事務等を遂行する。

実績

1　被保険者数　　2,828人（平成28年3月末日現在）

2　申請書受付状況　　（平成28年3月末日現在）

	申請・届書名	受付件数（件）
1	葬祭費支給申請書	133
2	受領申出・送付先届出書	131
3	高額療養費支給申請書	332
4	基準収入額適用申請書	28
5	限度額適用・標準負担額認定申請書	51
6	特定疾病認定申請書	2
7	療養費支給申請書	44
8	被保険者証等再交付申請書	125
9	資格取得喪失届出書	6
10	送付先変更申請書	23
11	高額介護合算療養費等支給申請書	65
12	負担区分等証明書	3
	計	943

3　保険料納付方法状況

（単位：人）

特別徴収	2,487
普通徴収	569
計	3,056

※うち併徴　270人

普通徴収内訳　（単位：人）

口座振替	179
納税組合	36
納付書	354

4　保険料収納状況

現年分　（単位：円）

徴収方法	調定額	収納額	収入未済額	徴収率
特別徴収	98,331,200	98,331,200	0	100%
普通徴収	41,430,600	40,803,400	627,200	98.49%
計	139,761,800	139,134,600	627,200	99.55%

〈次頁へつづく〉

成果

後期高齢者医療に係る各種申請の受付・説明の実施、被保険者の高齢期における適切な医療の確保、保健の向上を図った。

実績

滞納繰越分　（単位:円）

調定額	収納額	収入未済額	徴収率
1,064,400	787,400	277,000	73.98%

滞納処分状況　（単位:円）

差押件数	現年分
1件	4,300

5　保険料納付方法変更申請状況（平成28年3月末日現在）

・99人（特別徴収から普通徴収（口座振替）へ）

6　東日本大震災に伴う一部負担金免除状況

免除決定事由	免除決定者数（人）	
	H27.4.1～H27.7.31	H27.8.1～H28.3.31
家屋の全壊	50	61
家屋の大規模半壊	65	59
計	115	120

介護保険特別会計

介護保険特別会計

－ 款	－ 項	－ 目	介護保険特別会計	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	健康長寿課高齢者支援班
	1,511,885	1,480,315		

目標

介護保険事業の運営を健全、かつ、円滑に行うために、公正な要介護認定、住民の相談体制の充実を図り、適正な介護給付管理及び介護保険料の賦課徴収を実施する。

また、活動的な状態にある高齢者を対象に、生活機能の維持又は向上に向けた取り組みを行い、虚弱な状態にある高齢者については、生活機能低下の早期発見・早期対応を行うことにより、要介護状態若しくは要支援状態となることを予防する。

なお、包括的支援事業(総合相談支援業務、権利擁護業務及び包括的継続的ケアマネジメント業務)を行うことにより、被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態となった場合においても、地域において可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう支援する。

実績

1　要介護認定申請者数等

（単位：人）

		平成27年度申請者数						平成26年度申請者数	
申請者数		951						940	
			新規申請	更新申請	区分変更	転入申請	計	新規申請	205
	男		90	205	25	1	321	更新申請	639
	女		122	446	57	5	630	区分変更	89
	計		212	651	82	6	951	その他申請	7
								計	940
申請取下者数		29						15	
死亡		16						10	
その他		※状態が不安定等　13						5	

※区分変更申請者数には、要支援者の新規申請を含む。
※その他の申請者数には、転入申請、生活保護の継続申請を含む。

〈次頁へつづく〉

成果

1～8について

平成27年度に改正された内容も含めた介護保険制度の周知を行い、相談体制の充実と関係機関との連携により、対象者の円滑なサービス利用と適正な介護保険運営が図れた。

また、東日本大震災に係る介護保険利用者負担額の免除を平成27年度も継続して実施したことにより、被災者支援に寄与した。

9～10について

高齢者の状況に応じた介護予防に関する教室や通いの場を提供することにより、閉じこもりの防止と生きがいづくり・健康づくりに寄与し、健康寿命を延伸する一助となった。

11～16について

地域包括支援センターが核となり、医療・介護・保健福祉の連携を図りながら個別対応にあたると共に、地域住民への啓発を行い、地域包括ケア会議や、協議体設置により基盤づくりを進めたことで高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるような環境づくり推進の一助となった。

実績

2　要介護等認定者実人数

（単位：人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	84	84	187	164	133	108	95	855
65歳以上75歳未満	7	12	19	18	11	7	13	87
75歳以上	77	72	168	146	122	101	82	768
第2号被保険者	1	3	1	7	0	1	1	14
総　　数	85	87	188	171	133	109	96	869

3　居宅介護（介護予防）サービス受給者数

（単位：人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	57	57	124	107	74	46	22	487
第2号被保険者	1	2	0	7	0	0	1	11
総　　数	58	59	124	114	74	46	23	498

4　地域密着型（介護予防）サービス受給者数

（単位：人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	0	0	14	23	22	9	4	72
第2号被保険者	0	0	0	1	0	0	0	1
総　　数	0	0	14	24	22	9	4	73

5　施設介護サービス受給者数

（単位：人）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
介護老人福祉施設	4	9	20	21	16	70
第1号被保険者	4	9	20	21	16	70
第2号被保険者	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	11	20	24	21	26	102
第1号被保険者	11	20	24	20	26	101
第2号被保険者	0	0	0	1	0	1
介護療養型医療施設	0	0	0	2	16	18
第1号被保険者	0	0	0	2	16	18
第2号被保険者	0	0	0	0	0	0
総　　数	15	29	44	44	57	189

※総数は実人数であり、同月に入退所があったため要介護5の数は一致しない。
「表2～5」の数値については、介護保険事業状況報告〈平成28年3月分〉

〈次頁へつづく〉

実績

6　保険給付状況

	件数(件)	給付総額(円)	※減免件数(件)	※減免額(円)(再掲)
訪問サービス	4,034	104,386,590	270	637,871
通所サービス	4,236	276,463,521	126	956,171
短期入所サービス	915	60,571,378	45	407,677
福祉用具貸与	2,803	30,230,704	111	110,080
福祉用具購入	75	1,741,488	1	1,815
住宅改修費	54	5,529,470	2	8,468
特定施設入居者生活介護	115	16,808,348	21	370,156
介護予防支援・居宅介護支援	5,560	62,330,763	0	0
地域密着型サービス	859	142,522,952	54	1,431,252
介護老人福祉施設	857	192,376,221	153	3,893,981
介護老人保健施設	1,235	326,212,198	83	2,591,446
介護療養型医療施設	198	63,605,792	0	0
特定入所者介護サービス費	2,279	50,649,255	0	0
高額介護サービス等費	1,735	19,256,970	0	0
審査支払手数料	20,794	1,159,943	0	0
合　　計	45,749	1,353,845,593	866	10,408,917

※東日本大震災被災者に対する利用者負担額減免(大規模半壊以上)　減免実人数　44名

7　要介護度別支給限度額利用状況(月平均)

	要介護度別対支給限度額比率(%)							
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
平成27年度	47.5	33.6	51.5	62.3	58.3	68.6	71.9	56.2
平成26年度	65.5	44.2	57.9	63.3	72.9	78.1	78.4	65.8

	在宅1人当たりの給付月額(円)	在宅月平均給付総額(円)
平成27年度	97,238	48,424,665
平成26年度	108,987	50,461,192

8　第1号被保険者保険料収納状況

現年度分

徴収方法	調定額(円)	収納額(円)	収入未済額(円)	徴収率(%)
特別徴収	281,672,958	281,672,958	0	100 %
普通徴収	30,706,158	26,018,334	4,687,824	84.7 %
計	312,379,116	307,691,292	4,687,824	98.5 %

滞納繰越分

調定額(円)	収納額(円)	不納欠損額(円)	未納額(円)	徴収率(%)
14,049,411	1,669,222	4,935,114	7,445,075	11.9 %

〈次頁へつづく〉

実績

9　介護予防普及啓発事業

・シルバー昼食サービス事業(あったか～い・食楽サロン)

独居高齢者、高齢者世帯、日中一人で過ごしている高齢者等を対象に、保健福祉ボランティアの協力のもと昼食会を実施した。平成27年度より元気高齢者を対象とした”食楽サロン”を追加し、健康講話や運動の実技指導を取り入れ、健康で自立した生活を支援して、後期高齢者医療費や介護給付費の抑制を図った。

実施場所	実施回数(回)	参加延人数(人)
品井沼農村環境改善センター	84	1,907
保健福祉センター		
文化観光交流館		
食楽サロン(文化観光交流館)		

※参加者内訳
高齢者　　延べ1,448人
ボランティア　延べ　459人

・複合型介護予防教室

運動器の機能、認知機能、口腔機能の低下が見られる高齢者に対し、各機能低下を予防するための専門プログラムを実施し、各機能の低下及び介護予防のための支援を実施した。

実施回数(回)	実人数(人)	参加延人数(人)	実施内容
15	20	275	健康講話、コグニサイズ、食生活改善等

・健康水泳体操教室

健康水中運動教室は温水プール美遊を使用して、水中で各関節に負担をかけずに重心移動や大筋群を中心に動かすトレーニングを行ったことにより、腰痛や膝痛が解消されて運動器の機能向上に効果がみられた。健康体操教室は保健福祉センターの健康増進ホールを使用して、ストレッチや歩行運動、筋力トレーニングを行い、全身のバランスをととのえ、筋力の向上を図ることにより、転倒・骨折予防や閉じこもり予防に効果がみられた。

No.	教　室　名	実施回数(回)	実人数(人)	参加延人数(人)
1	健康水中運動教室	36	60	618
2	健康体操教室	36	67	675

・動楽ウォーキング教室

腰や膝関節痛等の痛みにより外出や運動を控えがちな高齢者に対し、早期に歩行の改善を図ることにより生活不活発病を予防することを目的として、ゆっくりペースのウォーキングを実施した。町内の観光名所をコースに取り入れたことにより、参加者が増加した。

実施回数(回)	実人数(人)	参加延人数(人)	実施内容
10	45	214	健康チェック、ストレッチ体操、ウォーキングの実技指導(町内2～5km程度)

・出前健康講座

各種団体の希望するテーマにあわせて保健師、栄養士等が出向いて健康講座を実施した。

実施回数(回)	参加延人数(人)	実施内容
18	259	健康講話、レクリエーション、ロコモ体操の実技指導、調理実習、健康相談、他

〈次頁へつづく〉

実績

・介護予防教室「まつしま元気塾」

概ね65歳以上の介護認定を受けていない方を対象に町内7箇所（10教室）の会場において、高齢者の「閉じこもり防止」、「介護予防」の観点から、脳トレ・体操・趣味活動・各種講話等を実施することにより、仲間づくり・健康づくりを支援し、介護費用や医療費の増加抑制に寄与した。

場所	実施日数	H28.3月末実人数 延べ人数	備考
ふれあいの家 （水・金コース）	週2回 95回	実人数　11人 延べ　924人	
ふれあいの家 （火・木コース）	週2回 97回	実人数　12人 延べ　868人	
ほほえみの家 （水・金コース）	週2回 95回	実人数　7人 延べ　584人	
ほほえみの家 （火・木コース）	週2回 97回	実人数　6人 延べ　464人	
白萩会館 （月・水コース）	週2回 89回	実人数　11人 延べ　799人	
品井沼農村環境 改善センター （火コース）	週1回 47回	実人数　13人 延べ　538人	
品井沼農村環境 改善センター （金コース）	週1回 48回	実人数　8人 延べ　294人	実人数は火コースと4人重複
本郷ふれあい センター（木コース）	週1回 51回	実人数　10人 延べ　391人	
初原コミュニティセンター（金コース）	週1回 41回	実人数　17人 延べ　585人	平成27年5月開始
華園集会所 （水コース）	週1回 33回	実人数　8人 延べ　154人	平成27年7月開始
計	693回	実人数　103人 延べ　5,601人	

・その他の介護予防事業

No	事業内容	実施回数（回）	参加延人数（人）	備　考
1	健康教育	254	4,540	一般高齢者
2	健康相談（総合・重点）	230	3,600	一般高齢者
3	訪問指導	33	33	歯科指導を含む

10　地域介護予防活動支援事業

・保健福祉ボランティア育成事業

介護予防に関するボランティア等の人材を育成するため、研修会並びに打ち合せ会を実施した。また、地域で行うボランティア活動を支援した。

	登録者数（人）	研修会実施回数（回）	研修会参加延人数（人）	地域活動ボランティア数（人）
平成27年度	42	6	107	392
平成26年度	46	6	62	418
平成25年度	45	6	107	409

〈次頁へつづく〉

実績

11　総合相談支援

・総合相談対応状況

高齢者の生活全般に係る相談に対応し、不安の軽減や必要な社会資源の活用につながった。

相談件数　　1,096件

相談方法別件数(延)	
来所	249件
訪問	408件
電話	456件
その他	76件

連絡機関の再掲(延)	
病院	41件
サービス事業者	88件
ケアマネジャー	180件
行政各係	105件
その他	86件

相談者内訳別件数(延)	
本人	490件
家族・親戚	533件
医療機関	97件
サービス事業所	148件
ケアマネジャー	288件
行政各係	33件
その他	69件

相談内容内訳(延)　※重複有	
介護相談	139件
健康疾病	203件
医療・入退院	142件
経済困窮	45件
介護保険	159件
在宅サービス	163件
認知症	119件
施設入所	146件
プラン指導	15件
虐待関係	15件
権利擁護	69件
高齢福祉・生活全般	286件
その他	138件

処理方法(延)	
他機関へ連絡	500

・機関紙「スマイル」の発行

発行回数	配布状況	内　　容
年4回	全戸配布ならびに役場、保健福祉センターに配置	介護保険、保健福祉に関するお知らせ、事業実施報告、各種行事案内、介護予防や栄養改善に関すること、権利擁護に関する啓発等

年4回発行し、介護予防、各種相談窓口の周知により高齢者が安心して暮らすための情報提供に寄与した。

・認知症サポーター養成講座

認知症の早期発見・早期対応のため、及び認知症の方が地域で生活していくために、地域全体の認知症に対する正しい理解を広め、認知症になったとしても、可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指し、認知症サポーター養成講座を開催した。

実施日	対象	人数	場所	講師
H28.1.27	町民	100	JA松島 (高城避難所3階)	グループホーム 桜の家

・出前講座

実施日	対象	人数	場所	内容
H27.5.20	母子福祉協議会	16	勤労青少年ホーム	高齢者の健康について

〈次頁へつづく〉

実績

・シルバー昼食サービス事業『あったか～い』 介護予防講話

実施日	内容	人数	場所
H27.7.9	着物着付け教室ボランティア（着物deスマイル）	16	文化観光交流館
H27.7.10		11	品井沼農村環境改善センター
H27.7.21		24	保健福祉センター
H27.8.19		19	文化観光交流館
H28.2.2	金融犯罪防止に関する講話（財務省東北財務局）	17	保健福祉センター
H28.2.3		20	文化観光交流館
H28.2.4		18	文化観光交流館
H28.2.5		11	品井沼農村環境改善センター

実施回数計　8回
実施人数計　136人

12　権利擁護

・権利擁護・財産管理に関する相談
　成年後見制度、財産管理に関する手続き、内容について説明対応した。関係機関と連携し支援を行なった。
　　相談実人数　　3 件
　　（内訳）町長申立て被後見人の支援　2件、その他相談　1件

・虐待相談
　虐待の疑いのあるケースについて、訪問等により状況確認を行い、その後、関係者による地域ケア会議の実施、ケアプランの見直しを行い、重症化を防ぐために迅速に対応した。また、各種福祉関係の諸制度の説明や紹介、利用手続き等の支援を行った。
　　相談実人数　　6 件

・やむを得ない事由による措置の実施
　虐待のケースについて、対象者保護のため特別養護老人ホームの短期入所生活介護の利用及び長期入所措置を実施した。
　　措置実施人数　　2 件

13　包括的・継続的ケアマネジメント

・地域ケア会議

場　所	回数	出席人数	内　容
保健福祉センター会議室他	5回	延べ45人	高齢者虐待の疑いのあるケース、処遇困難ケースに関する支援方法の検討

　介護サービス事業者、介護保険施設関係者、行政各担当、担当ケアマネジャー、地域包括支援センター職員等関係者で協議、検討した。

・地域包括ケア会議（関係機関連絡部会）

場　所	回数	出席人数	内　容
保健福祉センター会議室他	6回	延べ163人	介護保険情報提供及び連絡、各事業所情報交換、研修等

　居宅介護支援事業者、介護サービス事業者との情報交換、並びに地域資源に関する情報提供や介護保険情報、地域包括ケア体制構築に関する情報等を提供することにより、介護保険サービスの適正なサービス提供、並びにケアマネジメントの資質向上を図ることを目的に実施した。

〈次頁へつづく〉

実績

・介護保険認定者カンファレンス

介護保険認定調査担当と、処遇困難ケースを中心に心身の状況、生活状況等に関する情報交換を行い、今後の支援、対応方法の検討・確認、サービス利用に関する調整を随時行なった。

14　介護予防ケアマネジメント

・二次予防事業対象者把握事業

	対象人数	該当者数	割合
一般高齢者	234人	93人	39.7%
介護予防事業参加者	212人	85人	40.1%

介護予防事業に参加している高齢者と、参加していない高齢者（一般高齢者）に対して基本チェックリストを行い、二次予防事業対象者に該当するか否か、また、それぞれの結果の比較及び評価を実施し、介護予防事業を展開する際の参考資料としてデータを収集することができた。

15　松島町はいかい高齢者SOSネットワーク事業

登録者	9名
稼働実績	町内0回
協力団体	35団体 近隣自治体、警察署、消防署、地区民生委員・児童委員、タクシー会社、ガソリンスタンド、介護保険サービス事業所、シルバー人材センター等
事業開始年月	平成23年6月から運用開始

16　介護家族支援事業（介護者交流会）

実施回数	実人員	参加延人数	内容
6回	13人	42人	情報交換、介護保険情報の提供、各種制度や相談窓口の紹介、簡単なクッキングレシピの紹介等

17　生活支援体制基盤整備事業

平成27年5月に松島町生活支援・介護サービス基盤整備協議体を設置し、①生活支援サービス検討部会、②通所型・訪問型サービス検討部会、③認知症対策部会の3部会に分かれて協議を行った。

		委員数	実施回数	参加延人数	内　容
全体会		30人	2	62人	委嘱状交付、報告会
部会	生活支援サービス部会	12人	6	58人	各部会毎に検討を行った
	通所型・訪問型サービス部会	10人	6	46人	
	認知症対策部会	8人	5	35人	

延べ実施回数　19回　　参加延人数　　201人

介護サービス事業特別会計

介護サービス事業特別会計

1　款	1　項	1　目	介護サービス事業特別会計 居宅介護支援事業費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	健康長寿課高齢者支援班
	5,718	5,717		

目標

要支援認定者に対し、心身の状況等に応じ、適切なサービスが総合的かつ効率的に提供されるよう介護予防サービス計画を作成する。また、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援し、要支援状態の軽減、悪化の防止を図る。

実績

1　居宅介護支援事業

・作成人数　延べ　1,302　人　全件委託
・事業費　5,400,000　円　※初回加算発生件数　64件（全数委託分）

【　要支援認定者サービス利用状況　】　（認定有効期間の開始日を基準とする）

	要支援実人数			サービス利用者数			サービス未利用者数（今後利用予定・入院中を含む）		
	支1	支2	計	支1	支2	計	支1	支2	計
平成27年度	85	87	172	59	60	119	26	27	53
平成26年度	78	71	149	48	46	94	30	25	55

※ 介護認定及びサービス利用状況については3月末時点集計

【　要支援認定終了状況　】

終了事由	非該当	更新せず	要介護認定	死亡	入所	中止	計
終了人数	0	0	40	3	0	0	43

【　介護予防サービス計画作成状況　】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
委託事業所作成件数		97	98	106	102	103	102	114	118	112	115	116	119	1,302
委託内訳	介護相談センター	32	33	35	33	33	34	36	36	32	37	37	37	415
	松島町社会福祉協議会	11	10	11	11	11	10	11	12	11	10	11	11	130
	桜の家居宅介護支援事業所	4	5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	2	43
	長松園居宅介護支援事業所	9	9	10	9	9	8	9	11	12	12	13	14	125
	松島病院訪問看護ステーション	17	18	20	21	20	20	25	26	22	20	21	23	253
	壱ノ町居宅介護支援事業所	6	7	7	6	8	6	8	8	7	7	6	6	82
	マミーホーム居宅介護支援事業所	8	7	8	8	9	11	12	12	13	13	13	15	129
	その他の事業所	10	9	10	10	9	9	10	10	12	13	12	11	125
（自機関作成）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成27年度作成　合計		97	98	106	102	103	102	114	118	112	115	116	119	1,302
平成26年度作成　合計		104	101	102	104	100	98	100	97	95	91	91	93	1,176

※ 月平均約98件作成。全件委託している。

成果

要支援者の身体機能の改善を図り、要介護状態となることを予防することを目的に、関係機関と連携して介護予防支援を行った。その結果、多くの方の身体状況の維持や悪化防止につながり、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営む一助となった。

観 瀾 亭 等 特 別 会 計

観瀾亭等特別会計

1　款	1　項	1　目	観瀾亭等特別会計 観瀾亭費：管理費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	産業観光課観光班
	35,318	34,456		

目標

松島の重要な観光財産である観瀾亭の維持管理等を行い、誘客に努める。

実績

1　観覧者数及び観覧料・売上収入
- 観覧者数　42,462 人　（ 平成26年度　42,516 人 ）
- 観覧収入　7,348,220 円　（ 平成26年度　7,302,341 円 ）
- 売上収入　16,524,925 円　（ 平成26年度　16,215,038 円 ）

2　イベント開催に係る観覧者数及び観覧料・売上収入
- アコースティックギターライブ　6月29日
  - ○ 入場者数　40 人
- お月見会

【月の松島in観瀾亭　9月25～26日】
- ○ 観覧者数　121 人　（ 平成26年度　209 人 ）
- ○ 売上収入　60,500 円　（ 平成26年度　104,500 円 ）

【中秋の名月 観瀾亭夜間営業　9月27～28日】
- ○ 観覧者数　307 人
- ○ 売上収入　136,500 円

- 紅葉ライトアップ観瀾亭夜間営業　ライトアップ期間（10月24日～11月23日）のうち土日等10日間
  - ○ 観覧者数　278 人
  - ○ 売上収入　138,600 円

3　管理業務
- 観瀾亭環境整備業務委託　272,160 円
  - ○ 敷地内草刈作業　年3回
- 観瀾亭松島博物館清掃業務委託　126,360 円
  - ○ 博物館床清掃業務　年4回
- 観瀾亭樹木剪定業務委託　464,400 円
  - ○ 樹木剪定業務　一式
    - 針葉樹類　N=15本
    - 落葉樹類　N=7本
    - 常緑樹類　N=8本
    - 低木刈込　N=28本
    - ・低木刈込　A=21㎡
    - ・発生材処理　一式
- 観瀾亭大ケヤキ樹勢調査業務委託　一式　226,800 円

4　販売品等仕入
- 菓子・政宗公遺訓・抹茶他　8,194,619 円

成果

伊達文化を伝える施設として、抹茶の提供を行いながら観光振興に努めた。
また、町民優待券の発行やお月見会等のイベントを通して、観光客のみならず松島町民が町の歴史文化に触れる場として、観瀾亭を活用することができた。

観瀾亭・松島博物館入込及び売上

観覧料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度	2,821 人	4,899 人	3,790 人	3,364 人	4,782 人	4,426 人	5,501 人	5,016 人	2,021 人	1,533 人	1,631 人	2,678 人	42,462 人
	495,850 円	818,370 円	616,890 円	580,800 円	835,230 円	744,400 円	1,011,320 円	899,000 円	363,300 円	252,700 円	301,550 円	428,810 円	7,348,220 円
平成26年度	3,198 人	4,827 人	5,294 人	2,967 人	4,850 人	5,025 人	4,522 人	4,786 人	1,784 人	1,347 人	1,510 人	2,406 人	42,516 人
	555,320 円	769,290 円	426,271 円	567,980 円	912,570 円	964,600 円	874,160 円	922,750 円	327,310 円	271,080 円	281,350 円	429,660 円	7,302,341 円
比較増減	▲ 377 人	72 人	▲ 1,504 人	397 人	▲ 68 人	▲ 599 人	979 人	230 人	237 人	186 人	121 人	272 人	▲ 54 人
	▲ 59,470 円	49,080 円	190,619 円	12,820 円	▲ 77,340 円	▲ 220,200 円	137,160 円	▲ 23,750 円	35,990 円	▲ 18,380 円	20,200 円	▲ 850 円	45,879 円

平成27年度

個　　人	39,881 人	6,972,830 円
団　　体	2,581 人	375,390 円
合　　計	42,462 人	7,348,220 円

平成26年度

個　　人	40,745 人	7,052,300 円
団　　体	1,771 人	250,041 円
合　　計	42,516 人	7,302,341 円

売上収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度	1,046,040 円	1,536,905 円	1,109,455 円	1,050,390 円	1,488,850 円	1,597,697 円	1,981,560 円	4,127,993 円	659,445 円	560,200 円	544,080 円	822,310 円	16,524,925 円
平成26年度	932,147 円	1,388,660 円	1,023,250 円	1,120,600 円	1,617,655 円	1,715,020 円	1,759,330 円	4,211,360 円	530,560 円	482,800 円	558,230 円	875,426 円	16,215,038 円
比較増減	113,893 円	148,245 円	86,205 円	▲ 70,210 円	▲ 128,805 円	▲ 117,323 円	222,230 円	▲ 83,367 円	128,885 円	77,400 円	▲ 14,150 円	▲ 53,116 円	309,887 円

観瀾亭等特別会計

2 款	1 項	1 目	観瀾亭等特別会計 福浦橋費：管理費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	産業観光課観光班
	33,990	33,413		

目標

松島の重要な観光財産である福浦橋の維持管理等を行い、誘客に努める。
また、カフェベイランドを利用する観光客等へのサービスの向上を図る。

実績

1　通行者数及び通行料・売上収入

・通行者数　169,299 人（ 平成26年度　148,910 人 ）
・通行料収入　32,465,280 円（ 平成26年度　28,846,010 円 ）
・売上収入　9,353,548 円（ 平成26年度　8,824,508 円 ）

2　地場産品の提供に係る売上収入

・かき料理売上収入　1,092,650 円（H27.10～H28.3）

3　福浦橋を活用した観光PR

・福浦橋ライトアップ
四季やイベントごとに照明パターンを変えながら福浦橋のライトアップを実施
○点灯期間
4月～8月：午後6時～午後10時まで
9月～3月：午後5時～午後10時まで

・「橋の日」記念イベント　8月4日
松島三橋のPRチラシとノベルティ（先着100名）の配布

4　管理業務等

・カフェ・ベイランド自動扉開閉装置保守点検業務委託　70,848 円
○ 定期点検（自動ドア2台）　年4回

・カフェ・ベイランド清掃業務委託　71,280 円
○ 窓清掃　年2回
床清掃・ワックス塗布　年2回
エアコン清掃（5台）　年2回

・カフェ・ベイランド防犯機器警備業務委託　66,096 円
○ 防犯機器警備（12ヶ月）

〈次頁へつづく〉

成果

植物、草木等の自然に恵まれた福浦島の散策に訪れる観光客へ安らぎを与える福浦橋の維持運営を行った。
また、橋の日記念イベントやライトアップ等を実施し、福浦橋を観光資源として活用することができた。

実績

・カフェ・ベイランド施設賃貸料（12ヶ月）　686,400 円

5　各種リース料　781,200 円
・福浦橋券売機リース(12ヶ月）

6　備品購入　320,760 円
・厨房器具（冷凍庫）

福浦橋カフェ・ベイランド入込及び売上

通行料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度	11,145 人	22,357 人	9,304 人	12,142 人	24,359 人	19,418 人	13,212 人	13,244 人	9,259 人	7,338 人	9,367 人	18,154 人	169,299 人
	2,103,560 円	4,248,200 円	1,801,920 円	2,334,400 円	4,606,660 円	3,778,740 円	2,556,200 円	2,589,300 円	1,787,360 円	1,409,800 円	1,755,960 円	3,493,180 円	32,465,280 円
平成26年度	10,192 人	17,536 人	8,591 人	11,222 人	24,622 人	19,084 人	12,425 人	13,378 人	6,470 人	5,121 人	6,525 人	13,744 人	148,910 人
	1,980,200 円	3,393,700 円	1,681,960 円	2,176,400 円	4,692,200 円	3,762,010 円	2,409,700 円	2,609,100 円	1,254,360 円	981,600 円	1,272,600 円	2,632,180 円	28,846,010 円
比較増減	953 人	4,821 人	713 人	920 人	▲ 263 人	334 人	787 人	▲ 134 人	2,789 人	2,217 人	2,842 人	4,410 人	20,389 人
	123,360 円	854,500 円	119,960 円	158,000 円	▲ 85,540 円	16,730 円	146,500 円	▲ 19,800 円	533,000 円	428,200 円	483,360 円	861,000 円	3,619,270 円

平成27年度

個 人	168,829 人	32,391,300 円
団 体	470 人	73,980 円
合 計	169,299 人	32,465,280 円

平成26年度

個 人	148,255 人	28,735,100 円
団 体	655 人	110,910 円
合 計	148,910 人	28,846,010 円

売上収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成27年度	743,726 円	1,112,097 円	615,440 円	862,859 円	1,405,381 円	926,862 円	809,943 円	674,917 円	474,291 円	448,367 円	481,603 円	798,062 円	9,353,548 円
平成26年度	643,493 円	930,262 円	569,983 円	829,415 円	1,362,637 円	1,043,030 円	801,710 円	739,521 円	467,117 円	459,666 円	449,494 円	528,180 円	8,824,508 円
比較増減	100,233 円	181,835 円	45,457 円	33,444 円	42,744 円	▲ 116,168 円	8,233 円	▲ 64,604 円	7,174 円	▲ 11,299 円	32,109 円	269,882 円	529,040 円

下水道事業特別会計

下水道事業特別会計

1　款	1　項	1　目	下水道事業特別会計 一般管理費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	水道事業所施設班・経営班
	268,928	246,423		

目標

町民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全等を図ることを目的に建設された公共下水道施設の機能の維持保全を図り、適正な運転管理を行う。

実績

1　汚水系委託料

・松島浄化センター運転管理業務委託 （松島浄化センターの運転管理）	一式	52,583,040 円
・松島浄化センター汚泥脱水ケーキ運搬業務委託 （汚泥脱水ケーキの処理施設への運搬）	一式	7,171,200 円
・松島町公共下水道施設(汚水系)電気工作物点検業務委託 （松島浄化センター等の電気事業法に基づく電気工作物の点検）	一式	564,019 円
・松島浄化センター管理棟清掃業務委託 （松島浄化センター管理棟内の窓、床等の清掃）	一式	345,600 円
・松島浄化センター他消防設備点検業務委託 （松島浄化センター等の消防法に基づく防災設備の点検）	一式	237,600 円
・松島浄化センター他し渣運搬処分業務委託 （松島浄化センター等より発生するし渣の運搬処分）	一式	648,000 円
・松島浄化センター植栽管理業務委託 （松島浄化センター内の植栽管理）	一式	2,268,000 円
・松島中継ポンプ場運転管理業務委託 （松島中継ポンプ場の運転管理）	一式	5,581,440 円
・松島中継ポンプ場自動除塵機点検整備業務委託 （松島中継ポンプ場の自動除塵機の点検整備）	一式	864,000 円
・松島町マンホールポンプ場他清掃業務委託 （マンホールポンプ場、管渠の清掃）	一式	1,792,800 円
・町内マンホールポンプ場他点検整備業務委託 （町内、高城マンホールポンプ場のポンプ点検整備）	一式	1,404,000 円

〈次頁へつづく〉

成果

汚水処理施設である松島浄化センターを始め、関連施設の機能の維持保全と適正な運転管理に努めた。

浄化センターの年間流入汚水処理量は1,544千㎥であり、汚泥処理量は989tとなっている。維持管理費には200,317千円を要し、1㎥当たりの汚水処理費（資本費は含まない）は151円となっている。

平成27年度末の下水道人口普及率は67.7%となっており、水洗化戸数は3,558戸、水洗化人口は9,251人で水洗化率は92.2%である。

雨水排水施設については、雨水ポンプ場（11箇所）と雨水幹線の機能の維持保全を図り、大雨等降雨時における排水運転の管理に努めた。

1　款	1　項	1　目

実績

・破傷風予防接種業務委託 （職員の破傷風予防接種）	一式	939 円
汚水系委託料　合計　12 件		73,460,638 円
2　雨水系委託料		
・新町雨水ポンプ場他運転管理業務委託 （新町他10箇所の雨水ポンプ場の運転管理）	一式	15,275,520 円
・松島町公共下水道施設(雨水系)電気工作物点検業務委託 （雨水ポンプ場の電気事業法に基づく電気工作物の点検）	一式	1,639,051 円
・新町雨水ポンプ場天井クレーン点検整備業務委託 （新町雨水ポンプ場の天井クレーンの点検整備）	一式	1,684,800 円
・松島町公共下水道雨水路等清掃業務委託 （幹線雨水路の清掃）	一式	5,832,000 円
・松島町公共下水道雨水路等除草業務委託 （幹線雨水路の除草）	一式	958,500 円
雨水系委託料　合計　5 件		25,389,871 円
3　その他委託料		
（水質調査委託料）		
・松島浄化センター放流水及び松島湾内水質調査業務委託 （松島浄化センター放流水及び松島湾内の水質調査）	一式	2,970,000 円
（徴収関係委託料）		
・下水道使用料徴収事務委託 （下水道使用料の徴収事務委託）	一式	4,186,386 円
・松島町公共下水道受益者負担金データ移行業務委託 （受益者負担金管理システムの廃止に伴うデータ移行業務）	一式	702,000 円
その他委託料　合計　3 件		7,858,386 円
委託料　合計　20 件		106,708,895 円
4　工事請負費		
（維持補修等工事）		
・夕陽が丘調整池ネットフェンス更新工事 （夕陽が丘調整池のネットフェンスの更新）	一式	648,000 円
工事請負費　合計　1 件		648,000 円

業務概況の推移

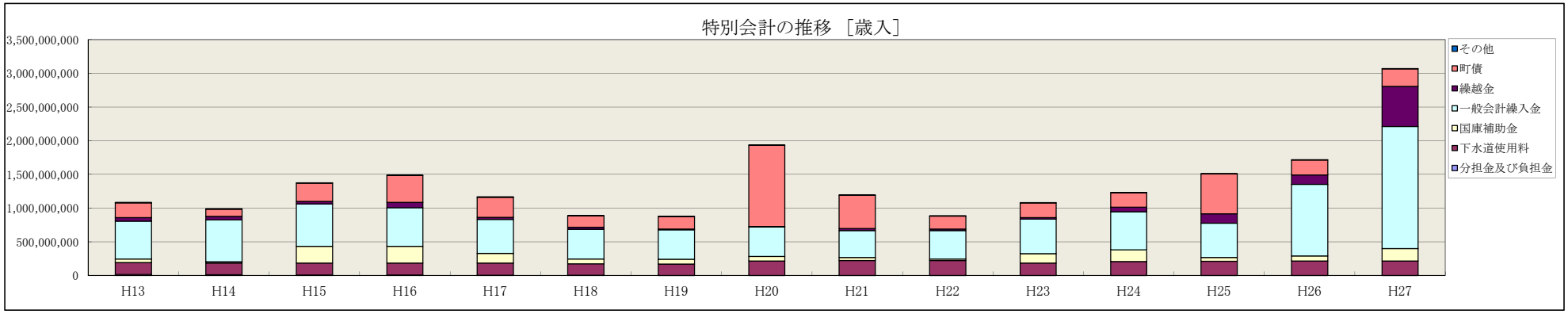
項 目 ＼ 年 度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	備考
行政区域内人口　人	16,990	16,819	16,649	16,542	16,420	16,168	15,863	15,694	15,540	15,340	15,255	15,141	15,040	14,918	14,817	
市街地人口　人	8,309	8,309	8,309	8,309	8,309	7,891	7,891	7,891	7,891	7,891	7,891	7,259	7,259	7,259	7,259	
全体計画人口　人	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	10,000	10,000	10,000	
供用開始区域人口　人	10,674	10,772	10,774	10,687	10,644	10,650	10,452	10,369	10,270	10,224	10,206	10,165	10,133	10,060	10,037	
供用開始区域世帯数　戸	3,584	3,687	3,722	3,739	3,764	3,808	3,756	3,778	3,792	3,811	3,825	3,860	3,915	3,961	3,985	
水洗化人口　人	8,139	8,279	8,480	8,724	8,872	8,975	9,104	9,222	9,303	9,381	9,465	9,761	10,075	9,929	9,251	
水洗化戸数　戸	2,682	2,732	2,799	2,899	2,952	2,987	3,026	3,068	3,097	3,125	3,155	3,258	3,373	3,484	3,558	
水洗化率(人口)　%	76.25	76.86	78.71	81.63	83.35	84.27	87.10	88.94	90.58	91.75	92.74	96.03	99.43	98.70	92.17	
水洗化率(戸数)　%	74.83	74.10	75.20	77.53	78.43	78.44	80.56	81.21	81.67	82.00	82.48	84.40	86.16	87.96	89.28	
年間有収水量　千m^3	1,491	1,506	1,502	1,534	1,503	1,411	1,395	1,379	1,436	1,442	1,156	1,135	1,357	1,338	1,326	
年間処理水量　千m^3	1,748	1,766	1,540	1,587	1,506	1,481	1,488	1,542	1,508	1,537	1,771	1,903	1,654	1,521	1,544	
日最大処理水量　m^3	6,155	7,835	5,599	5,493	4,972	4,776	5,133	4,850	5,087	4,791	5,583	6,465	5,714	5,714	4,831	晴天時最大
日平均処理水量　m^3	4,788	4,112	4,219	4,347	4,172	4,057	4,065	4,226	4,132	4,213	4,853	5,214	4,531	4,168	4,218	
有 収 率　%	85.30	85.28	97.53	96.66	99.80	95.27	93.75	89.43	95.23	93.82	65.27	59.64	82.04	87.97	85.88	
普 及 率　%	62.83	64.05	64.71	64.61	64.82	65.87	65.89	66.07	66.09	66.65	66.90	67.14	67.37	67.44	67.74	

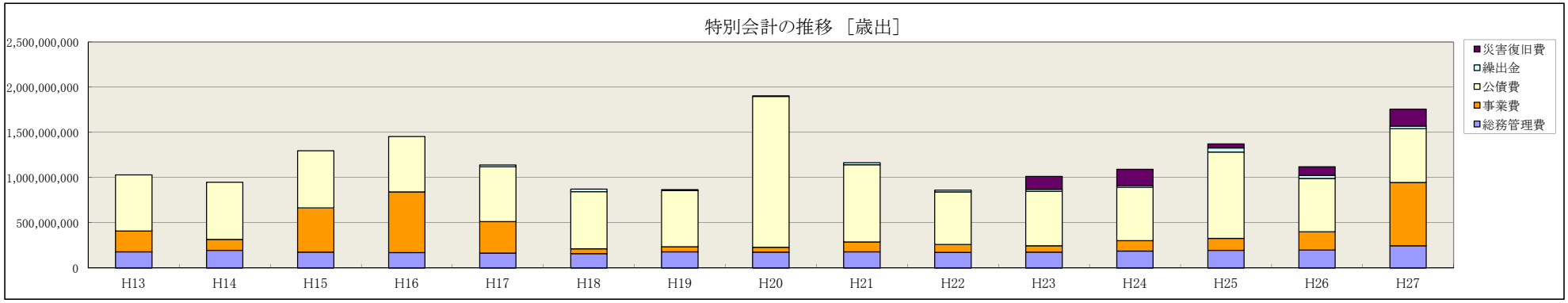
下水道事業特別会計決算の推移

（単位：円）

項目＼年度	S60～H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
分担金及び負担金	356,227,313	17,148,340	10,699,370	10,252,670	7,795,798	5,673,910	3,434,260	1,817,210	1,326,690	872,530	1,176,660	663,600	886,967	611,500	1,040,600	249,800
使用料及び手数料	1,098,677,337	176,996,340	174,463,190	173,417,210	177,629,380	180,496,160	171,991,786	169,416,120	213,031,730	221,425,930	220,186,740	184,965,230	207,262,340	211,548,140	214,363,080	213,897,810
国庫補助金	5,935,561,093	50,550,000	20,840,000	249,330,000	247,130,000	140,758,250	68,957,861	70,437,284	67,216,707	46,300,000	26,183,000	138,070,570	171,774,600	56,712,000	76,670,000	186,833,960
一般会計繰入金	4,138,291,000	563,791,000	618,314,000	629,423,000	575,609,000	508,094,000	442,276,000	436,584,000	439,814,000	400,597,000	419,610,000	513,937,000	566,979,000	509,126,000	1,062,648,000	1,811,456,000
繰越金	384,221,234	52,856,340	54,418,276	39,467,237	76,610,517	28,958,103	29,151,115	13,434,839	7,504,502	27,738,966	23,057,532	22,537,169	67,922,710	137,112,267	136,047,975	593,363,727
町債	8,805,750,000	215,600,000	105,600,000	271,500,000	398,500,000	295,400,000	170,000,000	184,000,000	1,204,000,000	492,600,000	193,800,000	218,600,000	214,100,000	594,000,000	222,100,000	260,300,000
その他	194,513,756	7,398,709	5,526,921	1,127,135	305,166	9,547,021	593,371	125,100	286,200	194,300	143,300	2,500,000	179,550	189,000	151,200	129,600
小計	20,913,241,733	1,084,340,729	989,861,757	1,374,517,252	1,483,579,861	1,168,927,444	886,404,393	875,814,553	1,933,179,829	1,189,728,726	884,157,232	1,081,273,569	1,229,105,167	1,509,298,907	1,713,020,855	3,066,230,897

項目＼年度	S60～H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
総務管理費	1,623,024,359	178,909,766	195,069,337	176,540,519	172,336,927	166,101,904	159,353,242	178,724,098	177,173,637	178,207,103	174,496,651	177,266,088	188,540,961	196,644,980	200,376,957	246,422,067
事業費	14,408,309,340	231,139,199	122,750,035	490,211,438	669,365,563	346,480,560	54,836,983	56,578,428	52,756,012	110,534,688	87,789,981	70,592,737	113,732,011	132,226,105	200,322,034	700,590,149
公債費	4,444,830,460	619,873,488	632,575,148	631,154,778	612,919,268	608,734,865	630,627,329	620,572,525	1,669,006,214	854,434,403	580,572,431	599,785,086	589,727,513	954,783,025	590,743,684	594,965,724
繰出金						18,459,000	28,152,000	12,435,000	6,505,000	23,495,000	18,761,000	21,466,000	21,191,000	43,814,000	32,249,000	27,313,000
災害復旧費												144,240,948	178,801,415	45,782,822	95,965,453	190,199,299
小計	20,476,164,159	1,029,922,453	950,394,520	1,297,906,735	1,454,621,758	1,139,776,329	872,969,554	868,310,051	1,905,440,863	1,166,671,194	861,620,063	1,013,350,859	1,091,992,900	1,373,250,932	1,119,657,128	1,759,490,239

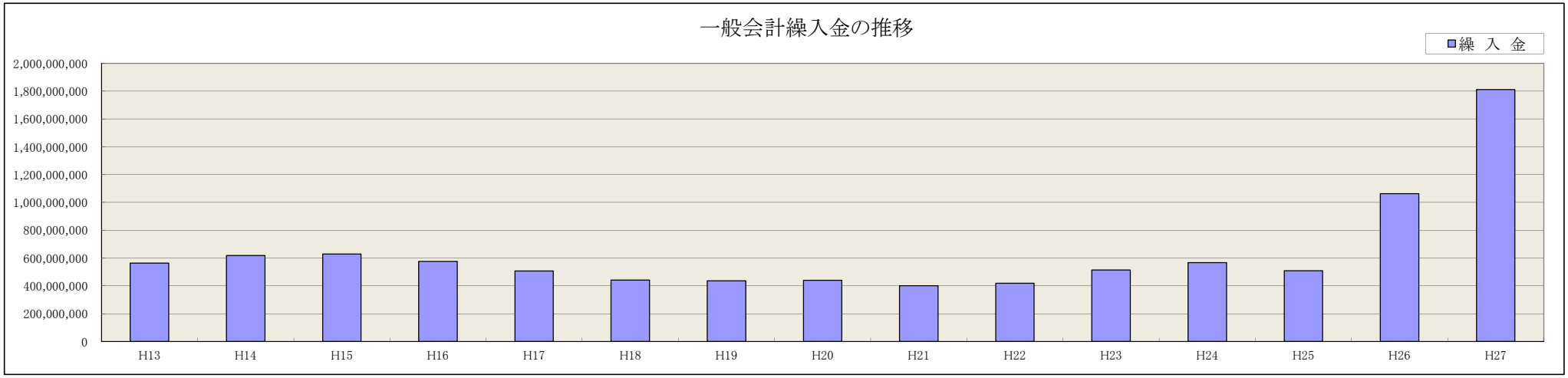




一般会計繰入金

（単位:円）

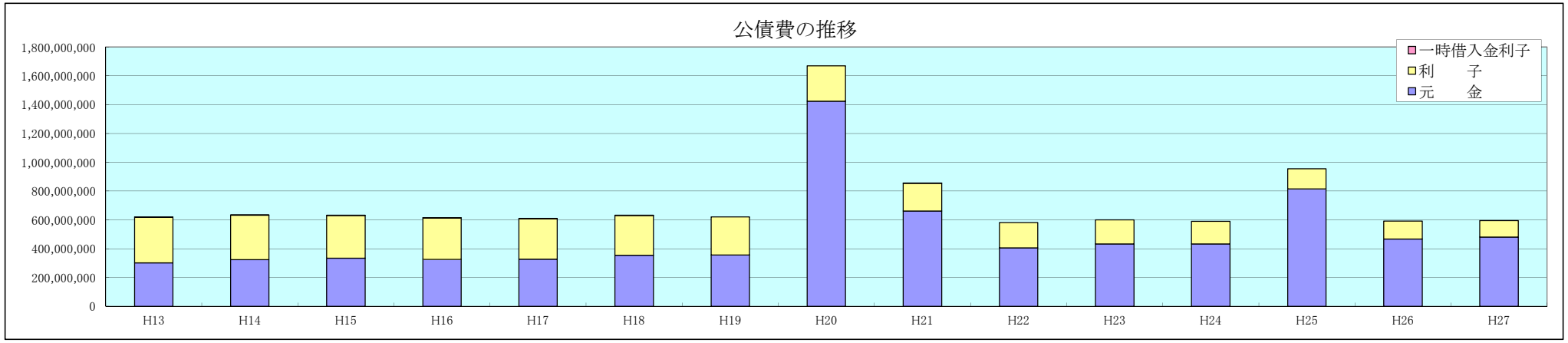
項目＼年度	S60～H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	計
繰入金	4,138,291,000	563,791,000	618,314,000	629,423,000	575,609,000	508,094,000	442,276,000	436,584,000	439,814,000	400,597,000	419,610,000	513,937,000	566,979,000	509,126,000	1,062,648,000	1,811,456,000	13,368,998,000
小計	4,138,291,000	563,791,000	618,314,000	629,423,000	575,609,000	508,094,000	442,276,000	436,584,000	439,814,000	400,597,000	419,610,000	513,937,000	566,979,000	509,126,000	1,062,648,000	1,811,456,000	13,368,998,000



公債費

（単位:円）

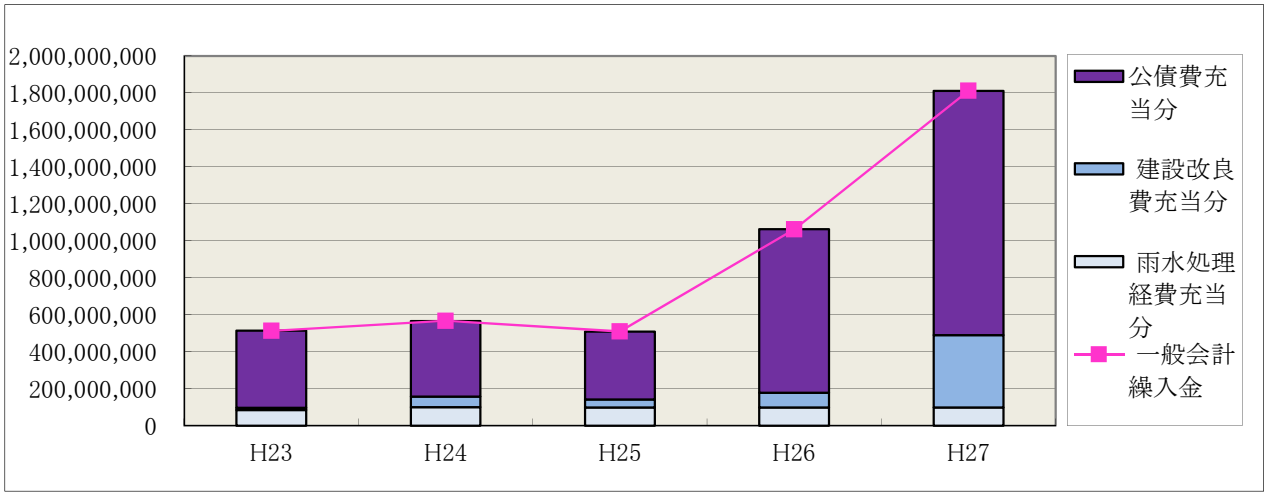
項目＼年度	S60～H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	計
元金	1,468,001,037	301,584,732	323,863,733	334,751,307	325,566,062	326,625,539	355,014,848	356,540,560	1,422,948,870	660,737,644	405,562,599	432,644,604	432,062,240	814,144,154	466,518,203	480,474,255	8,907,040,387
利子	2,943,251,005	317,828,483	308,474,087	296,314,047	287,262,139	282,078,506	275,351,481	264,031,965	246,057,344	193,603,609	175,009,832	167,140,482	157,665,273	140,638,871	124,225,481	114,491,469	6,293,424,074
一時借入金利子	33,578,418	460,273	237,328	89,424	91,067	30,820	261,000	0	0	93,150	0	0	0	0	0	0	34,841,480
小計	4,444,830,460	619,873,488	632,575,148	631,154,778	612,919,268	608,734,865	630,627,329	620,572,525	1,669,006,214	854,434,403	580,572,431	599,785,086	589,727,513	954,783,025	590,743,684	594,965,724	15,235,305,941



一般会計繰入金の推移

（単位;円）

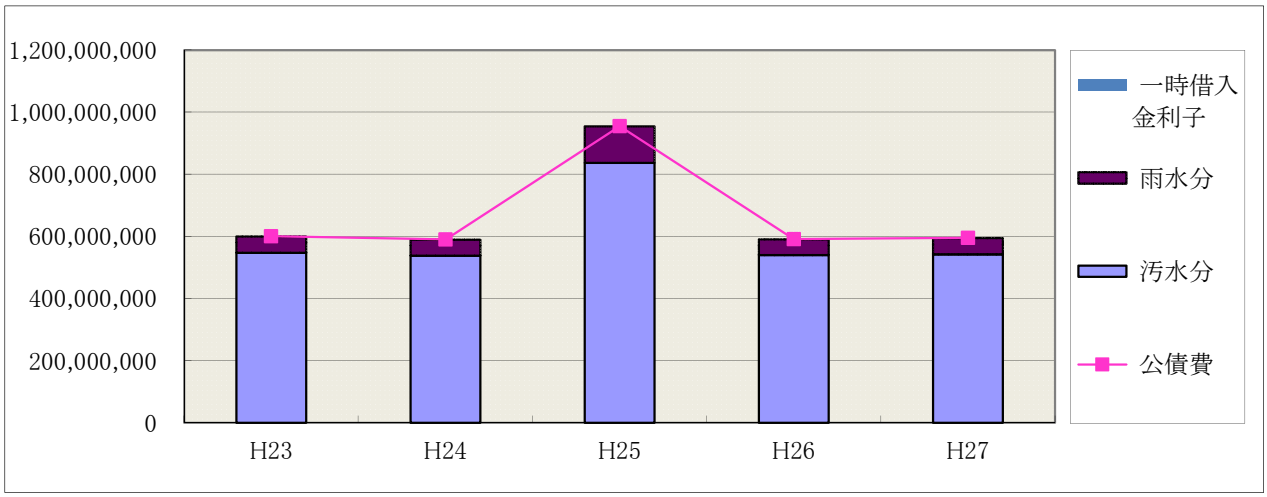
項　目 ＼ 年　度	H23	H24	H25	H26	H27
一般会計繰入金	513,937,000	566,979,000	509,126,000	1,062,648,000	1,811,456,000
雨水処理経費充当分	84,118,954	100,139,715	98,065,315	99,443,578	98,253,596
建設改良費充当分	13,533,137	56,931,894	44,644,455	78,395,954	392,180,389
公債費等充当分（雨水分除く）	416,284,909	409,907,391	366,416,230	884,808,468	1,321,022,015



公債費の推移

（単位;円）

項　目 ＼ 年　度	H23	H24	H25	H26	H27
公債費	599,785,086	589,727,513	954,783,025	590,743,684	594,965,724
汚水分	546,722,930	537,500,037	836,393,999	539,639,590	542,168,899
雨水分	53,062,156	52,227,476	118,389,026	51,104,094	52,796,825
一時借入金利子	0	0	0	0	0



公共下水道整備及び普及状況

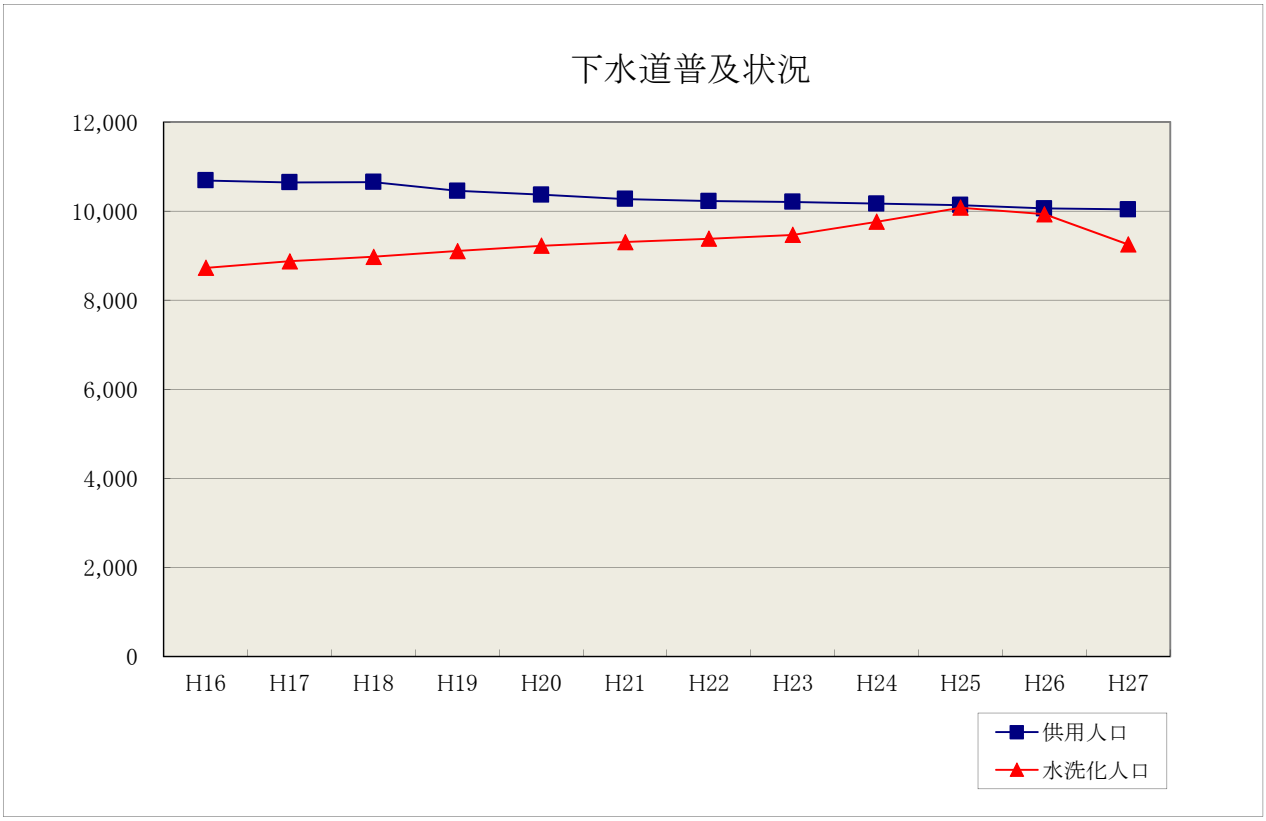
平成28年3月31日現在

（単位:ha）

行政区域面積	全体計画面積	事業計画面積	整備済面積	処理区域面積	整備率	
					対全体計画	対事業計画
5356.0	356.5	338.0	291.4	265.1	81.7%	86.2%

（単位:人）

普及状況	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
供用人口	10,687	10,644	10,650	10,452	10,369	10,270	10,224	10,206	10,165	10,133	10,060	10,037
水洗化人口	8,724	8,872	8,975	9,104	9,222	9,303	9,381	9,465	9,761	10,075	9,929	9,251



※下水道普及率＝下水道供用区域内人口10,037人÷行政人口14,817人×100＝67.7%

※水　洗　化　率＝下水道接続済み人口9,251人÷下水道供用区域内人口10,037人×100＝92.2%

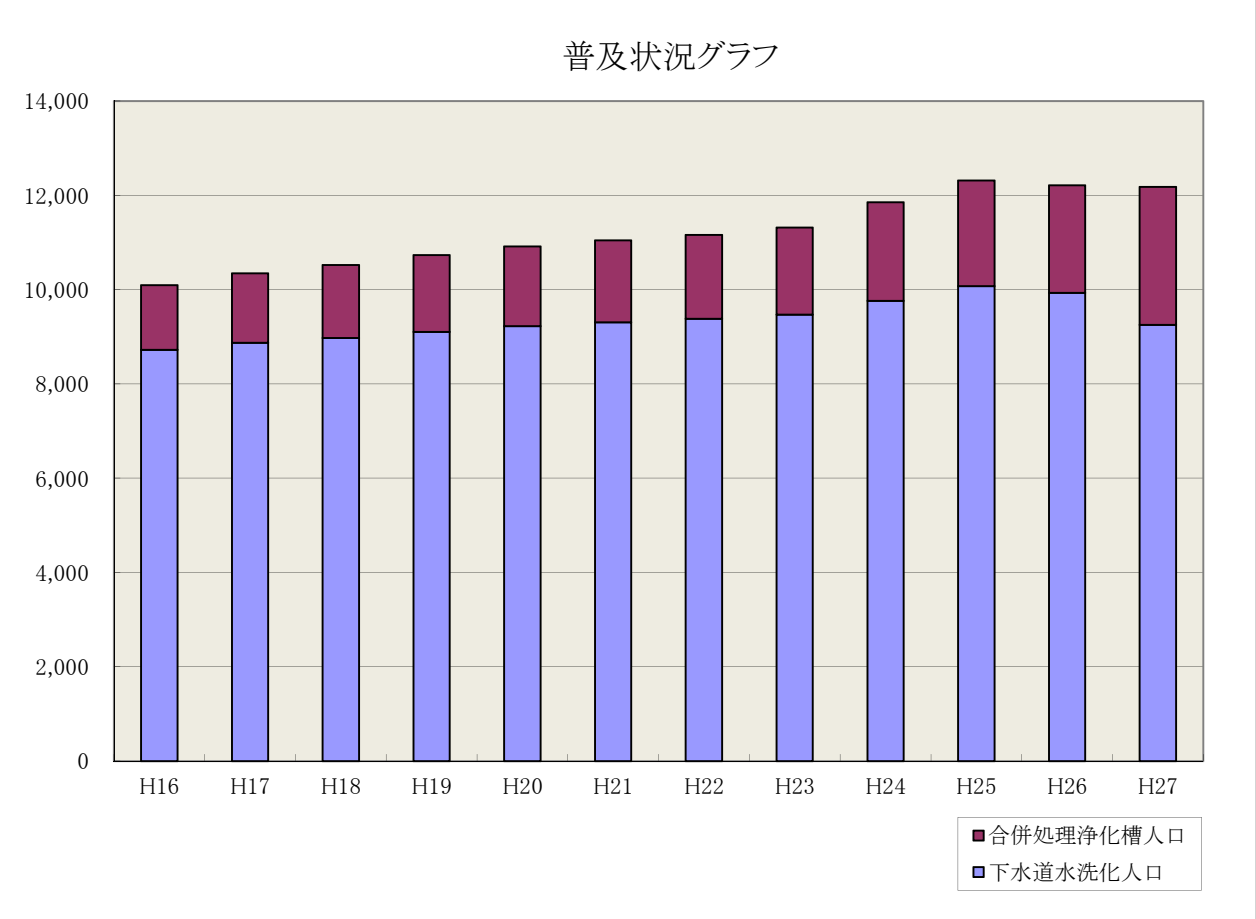
汚水処理普及状況

平成28年3月31日現在

合併処理浄化槽＋下水道

（単位：人）

普及状況	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
合併処理浄化槽人口	1,369	1,473	1,544	1,629	1,691	1,741	1,776	1,852	2,087	2,239	2,280	2,929
下水道水洗化人口	8,724	8,872	8,975	9,104	9,222	9,303	9,381	9,465	9,761	10,075	9,929	9,251
合計	10,093	10,345	10,519	10,733	10,913	11,044	11,157	11,317	11,848	12,314	12,209	12,180



※汚水処理率＝（下水道接続人口9,251人＋合併処理浄化槽処理人口2,929人）÷行政人口14,817人×100＝82.2%

汚水処理費の内訳

決算状況

項　　目	H25	H26	H27
現在水洗便所設置済人口（人）（外国人を含む）	10,075	9,929	9,251
現在処理区域内人口（人）（外国人を含む）	10,133	10,060	10,037
年間有収水量（㎥）	1,356,834	1,337,634	1,326,445
年間汚水処理（㎥）	1,653,886	1,521,262	1,543,693
使用料収入(千円)	211,269	214,056	213,729
汚水処理費（千円）	295,260	281,143	329,786
汚水処理費（維持管理費）	148,519	148,316	200,317
汚水処理費（資本費）	146,741	132,827	129,469

経営指標

項　　目	H25	H26	H27
(1)施設の効率性			
①　水洗化率	99.4	98.7	92.2
②　有収率（%）	82.0	87.9	85.9
(2)経営の効率性			
①　使用料単価（円／㎥）	155.71	160.03	161.13
②　汚水処理原価（円／㎥）	217.61	210.18	248.62
汚水処理原価（維持管理費）（円／㎥）	109.45	110.87	151.01
汚水処理原価（資本費）（円／㎥）	108.15	99.30	97.61
③　経費回収率（%）	71.6	76.1	64.8
経費回収率（維持管理費）（%）	142.3	144.3	106.7
資本費算入率	42.76%	49.49%	10.36%

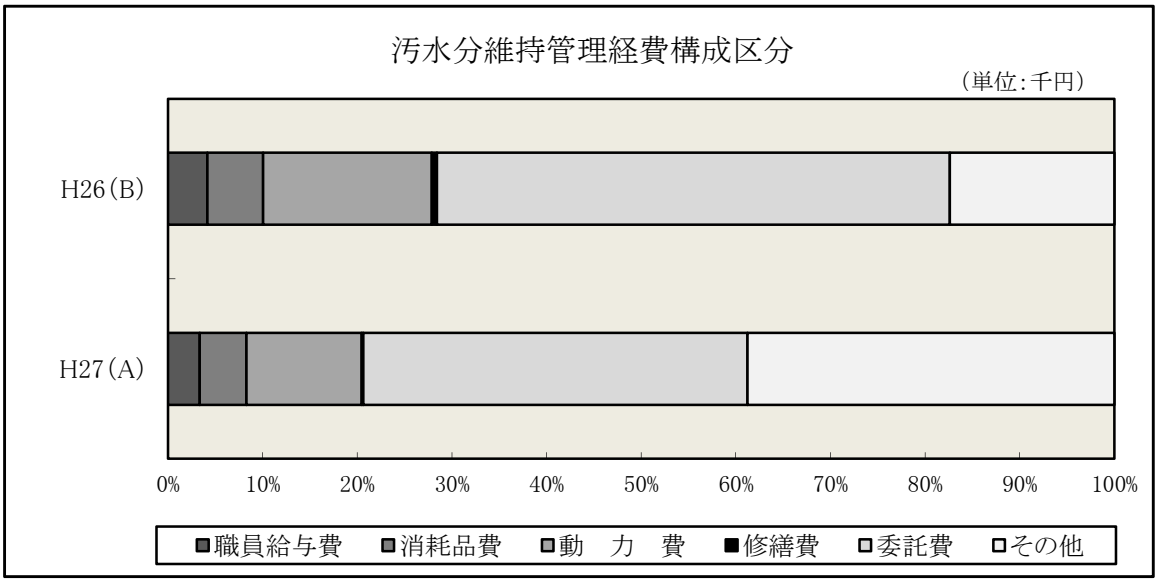
使用料対象経費は汚水維持管理費及び汚水資本費の合計で算定される。平成27年度決算でみると、汚水維持管理費200,317千円と汚水資本費129,469千円を合わせた329,786千円が使用料対象経費である。

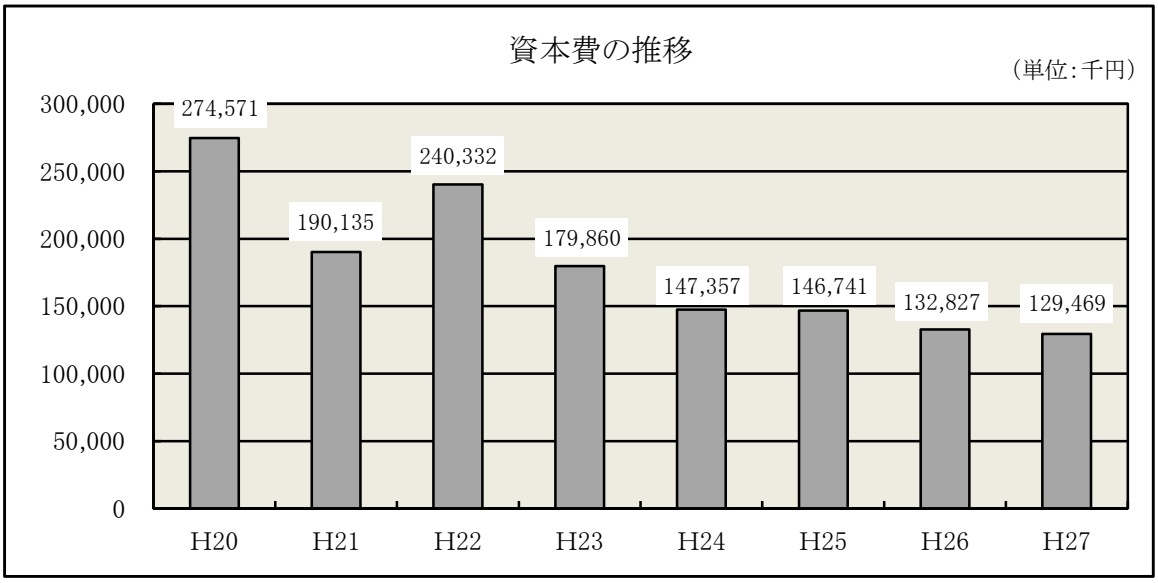
汚水処理原価は、平成27年度決算で、汚水処理に要した経費329,786千円に対して、有収水量が1,326,445立方メートルであり、1立方メートルあたり248円である。

使用料収入の213,729千円を有収水量で割り戻すと、1立方メートルあたり161円の収入となり、その差額分87円は資本費平準化債と一般会計からの繰入金で賄われる。

汚水処理費用構成区分　　（単位：千円）

区　　分	H27(A)	H26(B)	増減(A-B)	増減率(%)
職員給与費	6,754	6,192	562	9.08
消耗品費	9,894	8,703	1,191	13.68
動　力　費	24,332	26,445	▲ 2,113	▲ 7.99
修　繕　費	378	796	▲ 418	▲ 52.51
委　託　費	81,319	80,390	929	1.16
そ　の　他	77,640	25,790	51,850	201.05
小　　計	200,317	148,316	52,001	35.06
資　本　費	129,469	132,827	▲ 3,358	▲ 2.53
合　　計	329,786	281,143	48,643	17.30





下水道事業受益者負担金納付年度別未収額調書

平成27年度　下水道事業受益者負担金未収入の状況と不納欠損処分調べ

（単位：人：円）

納付年度	滞納額		収納額		不納欠損額		滞納残額	
	受益者数	金額	受益者数	金額	受益者数	金額	受益者数	金額
平成 14 年度	1	800	0	0	0	0	1	800
平成 15 年度	2	31,900	0	0	0	500	2	31,400
平成 16 年度	1	38,000	0	0	0	0	1	38,000
平成 17 年度	2	38,700	0	0	0	0	2	38,700
平成 18 年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 19 年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 20 年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 21 年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 22 年度	3	54,200	0	0	3	54,200	0	0
平成 23 年度	1	11,200	0	0	0	0	1	11,200
平成 24 年度	2	22,500	0	0	0	0	2	22,500
平成 25 年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 26 年度	0	0	0	0	0	0	0	0
小　　計	12	197,300	0	0	3	54,700	9	142,600
平成 27 年度	0	0	0	0	0	0	0	0
合　　計	12	197,300	0	0	3	54,700	9	142,600

※受益者数は、実人数で計上している。

下水道使用料年度別未収額調書

平成27年度　下水道使用料未収入と不納欠損処分調べ

（世帯数／月）　　（単位:円:件）

納付年度	滞納額		収納額		不納欠損額		滞納残額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成 21 年度	11	103,920	0	0	11	103,920	0	0
平成 22 年度	20	280,080	2	26,240	0	0	18	253,840
平成 23 年度	17	233,860	5	118,340	0	0	12	115,520
平成 24 年度	22	850,690	8	646,870	0	0	14	203,820
平成 25 年度	39	1,453,080	16	484,300	0	0	23	968,780
平成 26 年度	246	3,548,920	218	2,345,810	0	0	28	1,203,110
小　　計	355	6,470,550	249	3,621,560	11	103,920	95	2,745,070
平成 27 年度	258	3,471,120	0	0	0	0	258	3,471,120
合　　計	613	9,941,670	249	3,621,560	11	103,920	353	6,216,190

水洗便所改造資金斡旋状況

（単位:件:円）

年　度	確認申請 件　数	斡旋申請 件　数	斡旋率 (%)	斡旋金額	利子補給金額		備考
					予算計上額	決算額	
平成 2～12 年度	2,356	802	34.0	458,527,000	46,740,000	32,032,170	
平成　13　年度	123	19	15.4	11,008,000	3,000,000	829,377	
平成　14　年度	98	8	8.2	4,390,000	3,000,000	511,291	
平成　15　年度	66	6	9.1	3,315,000	481,000	295,986	
平成　16　年度	63	4	6.3	2,400,000	278,000	148,366	
平成　17　年度	53	1	1.9	550,000	200,000	41,097	
平成　18　年度	42	1	2.4	350,000	170,000	43,371	
平成　19　年度	30	2	6.7	1,180,000	138,000	37,973	
平成　20　年度	43	1	2.3	360,000	203,000	21,180	
平成　21　年度	39	1	2.6	360,000	223,000	13,226	
平成　22　年度	40	2	5.0	1,800,000	210,000	24,861	
平成　23　年度	54	2	3.7	2,500,000	209,000	46,200	
平成　24　年度	101	0	0.0	0	234,000	38,483	
平成　25　年度	115	0	0.0	0	235,000	11,915	
平成　26　年度	135	0	0.0	0	217,000	5,251	
平成　27　年度	60	0	0.0	0	196,000	2,414	
合　計	3,418	849	24.8	486,740,000	55,734,000	34,103,161	

下水道事業特別会計

2　款	1　項	1　目	下水道事業特別会計 公共下水道建設費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	水道事業所施設班
	256,745	99,430		

目標

公共下水道施設整備を行い、汚水系では生活環境の改善を図ると共に公共水域の水質保全を図る。また、雨水系では台風や大雨時の市街地の浸水防止を図り、住民の安全安心な暮らしを守るため、雨水路の整備を図る。

実績

1　汚水系委託事業　68,596,200 円
- 松島浄化センター長寿命化改築工事委託に関する協定　一式　54,000,000 円
- 高城字愛宕地内・磯崎字長田地内下水道管渠実施設計業務委託　一式　5,772,600 円
- 松島橋災害復旧事業に伴う下水道管渠移設設計業務委託　一式　3,099,600 円
- 松島町生活排水処理施設基本計画見直し策定業務委託　一式　3,024,000 円
- 松島町公共下水道霞ヶ浦地内汚水基本設計業務委託　一式　2,700,000 円

2　汚水系建設事業　194,400 円
- 松島町公共下水道夕陽が丘地内取付管布設工事　一式　194,400 円
  N＝1箇所

3　雨水系建設事業　8,000,640 円
（繰越明許費）
- 白萩地内雨水路整備工事　一式　8,000,640 円
  L＝22.9m

なお、下水道建設事業集計内訳は、次のとおりである。

水系別集計		汚水系		雨水系		合計	
費目		件数	決算額(円)	件数	決算額(円)	件数	決算額(円)
13節	委託料	5	68,596,200	0	0	5	68,596,200
15節	工事請負費	1	194,400	1	8,000,640	2	8,195,040
計		6	68,790,600	1	8,000,640	7	76,791,240
割合(%)			89.6		10.4		100.0

成果

公共下水道施設について、汚水系では、未整備地区の管渠基本設計・実施設計及び生活排水処理基本計画の見直しを実施した。雨水系では、雨水路整備を行い住民の暮らしの安全安心を図った。
また、松島浄化センターの水処理施設・電気設備の長寿命化を実施した。

下水道事業特別会計

2　款	1　項	2　目	下水道事業特別会計 復興推進費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	水道事業所施設班
	1,870,916	601,161		

目標

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により地盤沈下した浸水の恐れのある地区に対する復興事業を行う。

実績

1　雨水系委託事業		377,438,080 円
・普賢堂雨水ポンプ場他1施設の復興事業に係る建設工事委託に関する協定(前払金)	一式	295,000,000 円
・松島町公共下水道事業認可変更設計業務委託	一式	3,850,000 円
(繰越明許費)		
・松島町公共下水道(雨水)の復興事業に係る実施設計の作成委託に関する協定	一式	74,628,800 円
・長田雨水ポンプ場外用地測量業務委託	一式	1,786,320 円
(事故繰越)		
・小梨屋雨水ポンプ場用地測量業務委託	一式	2,172,960 円
2　雨水系建設事業		168,303,440 円
・蛇ヶ崎排水区雨水管渠築造工事(前払金)	一式	62,800,000 円
(繰越明許費)		
・小石浜雨水ポンプ場土木工事(前払金)	一式	49,400,000 円
・小石浜排水区河川護岸嵩上工事 L＝323.9m		24,763,440 円
・小石浜排水区河川護岸陸閘取付工事 陸閘取付 一式		11,340,000 円
・小石浜雨水ポンプ場機械設備工事(前払金)	一式	20,000,000 円
3　土地購入費		54,692,864 円
(繰越明許費)		
・長田雨水ポンプ場土地購入		35,941,500 円
・小梨屋雨水ポンプ場土地購入		18,751,364 円

成果

公共下水道施設の復興事業については、雨水対策の実施設計・用地測量・土地購入を実施した。
工事については、小石浜・普賢堂・蛇ヶ崎排水区について実施し、事業の推進を図った。

下水道事業特別会計

3　款	1　項	1　目	下水道事業特別会計 公共下水道施設災害復旧費	（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	担当部署名	水道事業所施設班
	2,118,061	190,200		

目標	平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴い、自然排水が困難となった地区に対し、災害復旧事業により浸水対策を図る。
実績	1　雨水系委託事業　151,821,960 円 ・浪打浜排水区雨水ポンプ場の災害復旧事業に係る建設工事委託に関する協定（前払金）　一式　150,000,000 円 （事故繰越） ・高城浜雨水ポンプ場用地測量業務委託　一式　1,821,960 円
成果	公共下水道施設の災害復旧については、浪打浜雨水ポンプ場の工事及び高城浜排水区の用地測量を行い、事業の推進を図った。

背表紙

平成二十七年度

主要施策の成果説明書

松島町